６　スポーツ・読書

（１）日常的な運動・スポーツの実施状況
（２）継続的に実施している運動・スポーツ
（３）運動・スポーツを行っている場所
（４）運動・スポーツを行うためのきっかけ
（５）東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた区の取り組みで関心があること
（６）新たに始めたいスポーツ、文化、ボランティア活動の有無
（７）新たに始めたい、または活動を継続したいスポーツ、文化、ボランティア活動
（８）スポーツ、文化、ボランティア活動を新たに始める場合のきっかけ
（９）区のスポーツ施設における高齢者免除制度に関する意識
（10）読書に関わる行動状況
（11）読書に関わる行動をできなかった・しなかった理由

６　スポーツ・読書

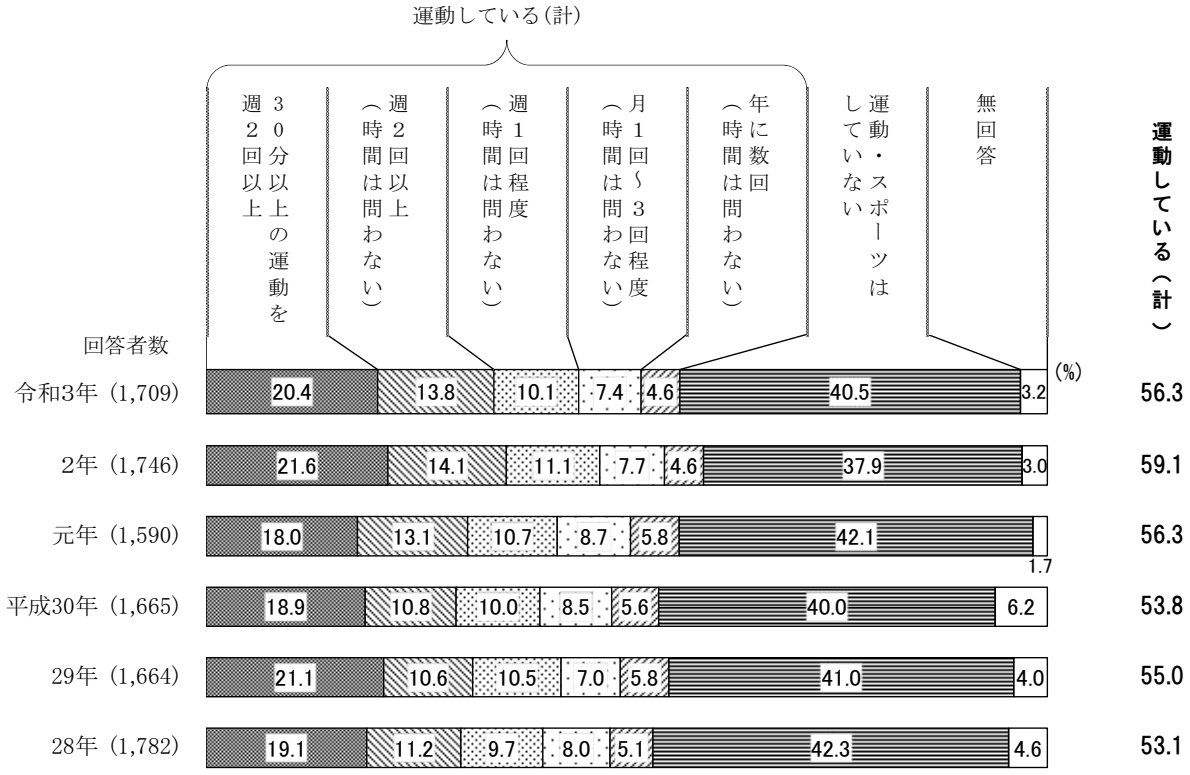
（１）日常的な運動・スポーツの実施状況

■「運動・スポーツはしていない」は４割、「30分以上の運動を週２回以上」は２割

問27　あなたは日常的に、どの程度運動・スポーツを行っていますか（○は１つだけ）。

※　ルールにもとづいて勝敗や記録を競うスポーツだけでなく、健康づくりのためのウォーキングや気分転換に行う軽い体操、自然に親しむハイキング、介護予防のためのトレーニングなど、目的をもった身体活動の全てを含みます。

図６－１－１　経年比較／日常的な運動・スポーツの実施状況



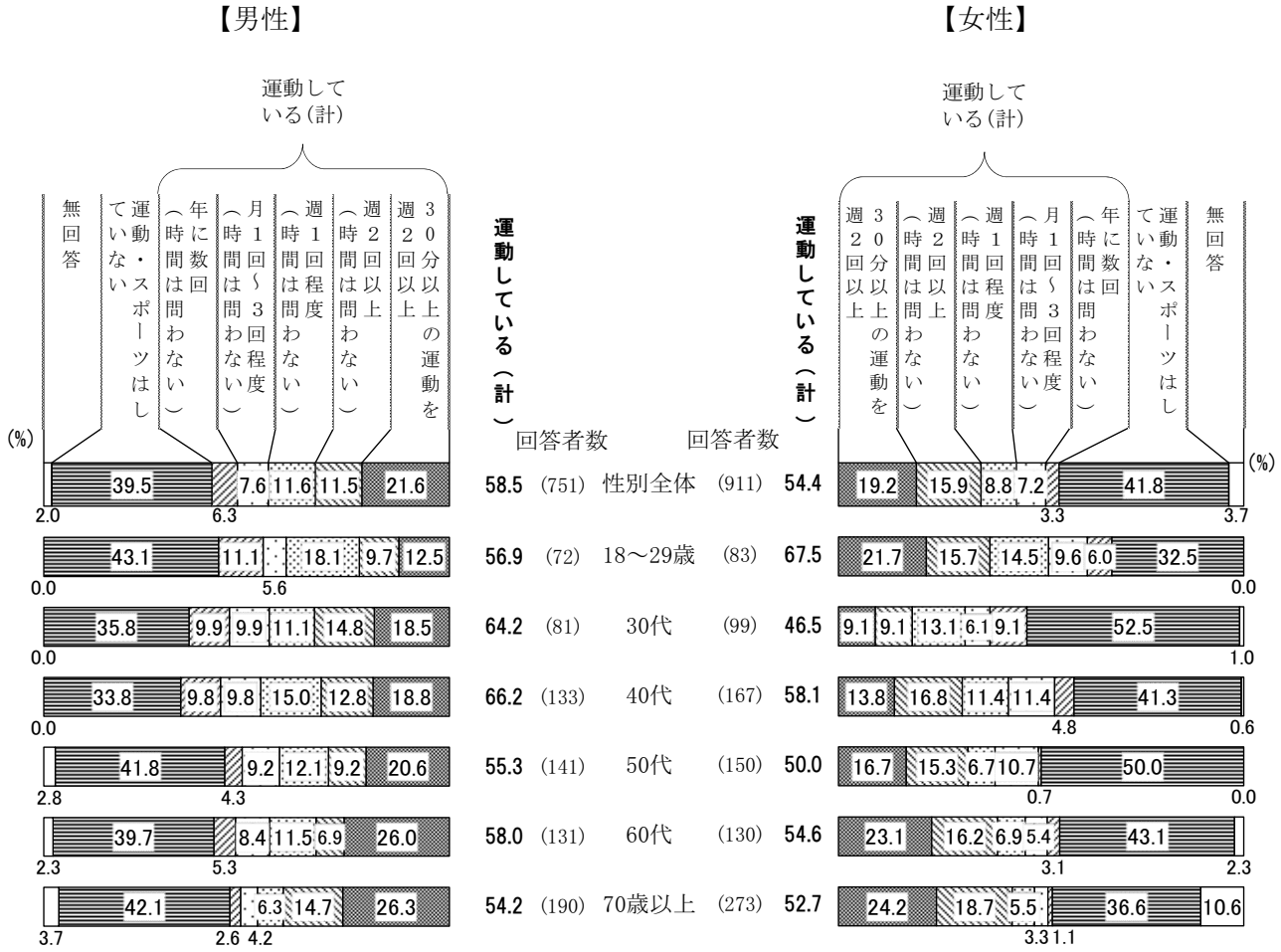
日常的に行っている運動・スポーツについては、「30分以上の運動を週２回以上」が20.4％で最も高く、次いで「週２回以上（時間は問わない）」（13.8％）、「週１回程度（時間は問わない）」（10.1％）など頻度順で続いており、これに「年に数回（時間は問わない）」（4.6％）を合わせた【運動している】は５割半ば近くとなっている。一方、「運動・スポーツはしていない」は40.5％となっている。

経年でみると、各年の回答分布に大きな変化はみられないが、【運動している】でみると、前回調査（59.1％）から2.8ポイント減少した。

性別でみると、男女で大きな違いはみられない。

性・年代別でみると、「30分以上の運動を週２回以上」は男女とも60代以上で２割台半ばと他の年代より高く、女性の30代（9.1%）で１割未満と最も低くなっている。一方、「運動・スポーツはしていない」は女性の30代（52.5%）と50代（50.0%）で５割台と高く、女性の18～29歳で32.5%と他の年代に比べて低くなっている。

図６－１－２　性別、性・年代別／日常的な運動・スポーツの実施状況



（２）継続的に実施している運動・スポーツ

■「ウォーキング」が５割強で突出し、「健康体操」が２割台半ばで続く

問27で１～５のいずれかをお答えの方に

問27－１　あなたが最近、継続的に行っている運動・スポーツは何ですか
（○はあてはまるものすべて）。

図６－２－１－①　経年比較／継続的に実施している運動・スポーツ

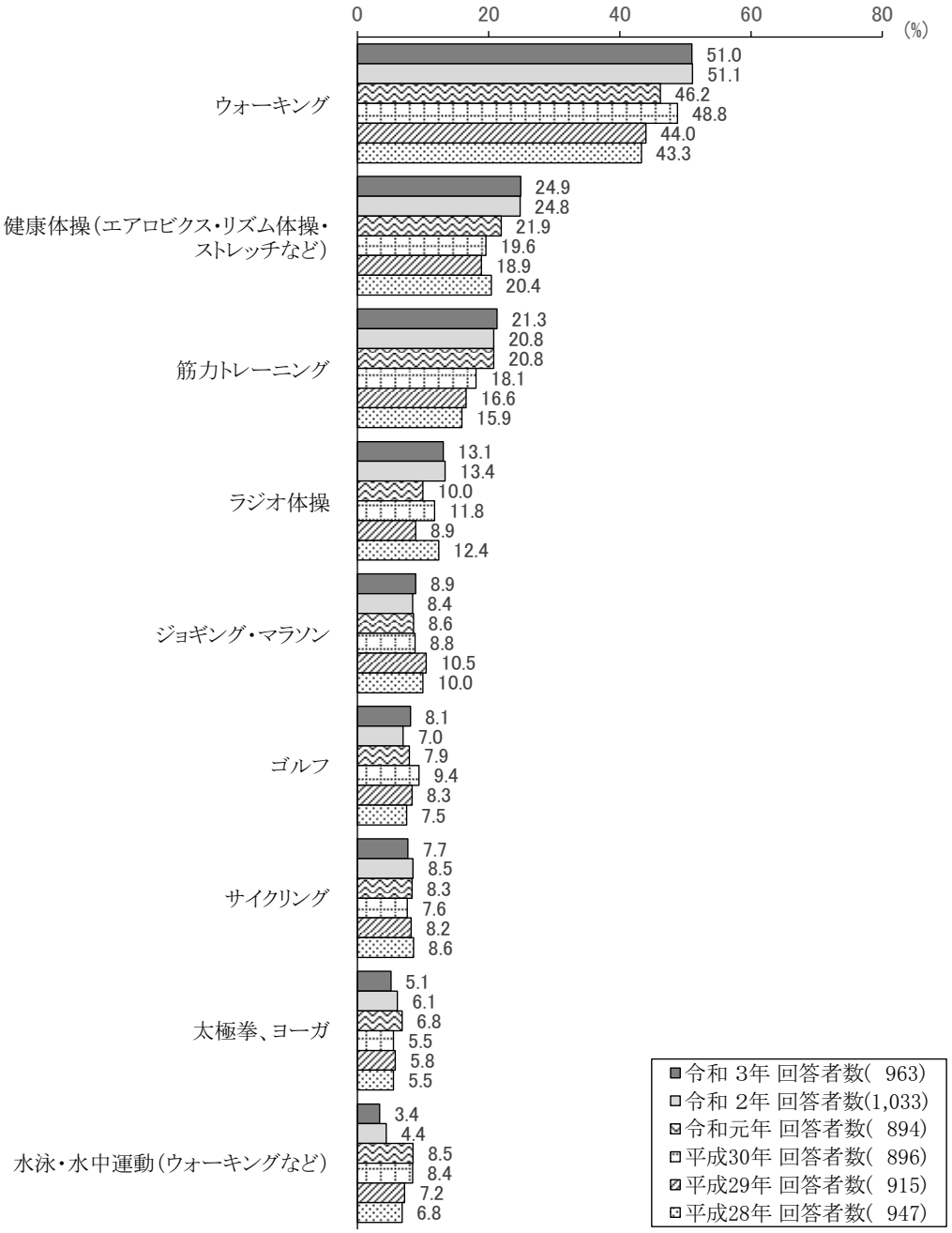


図６－２－１－②　経年比較／継続的に実施している運動・スポーツ

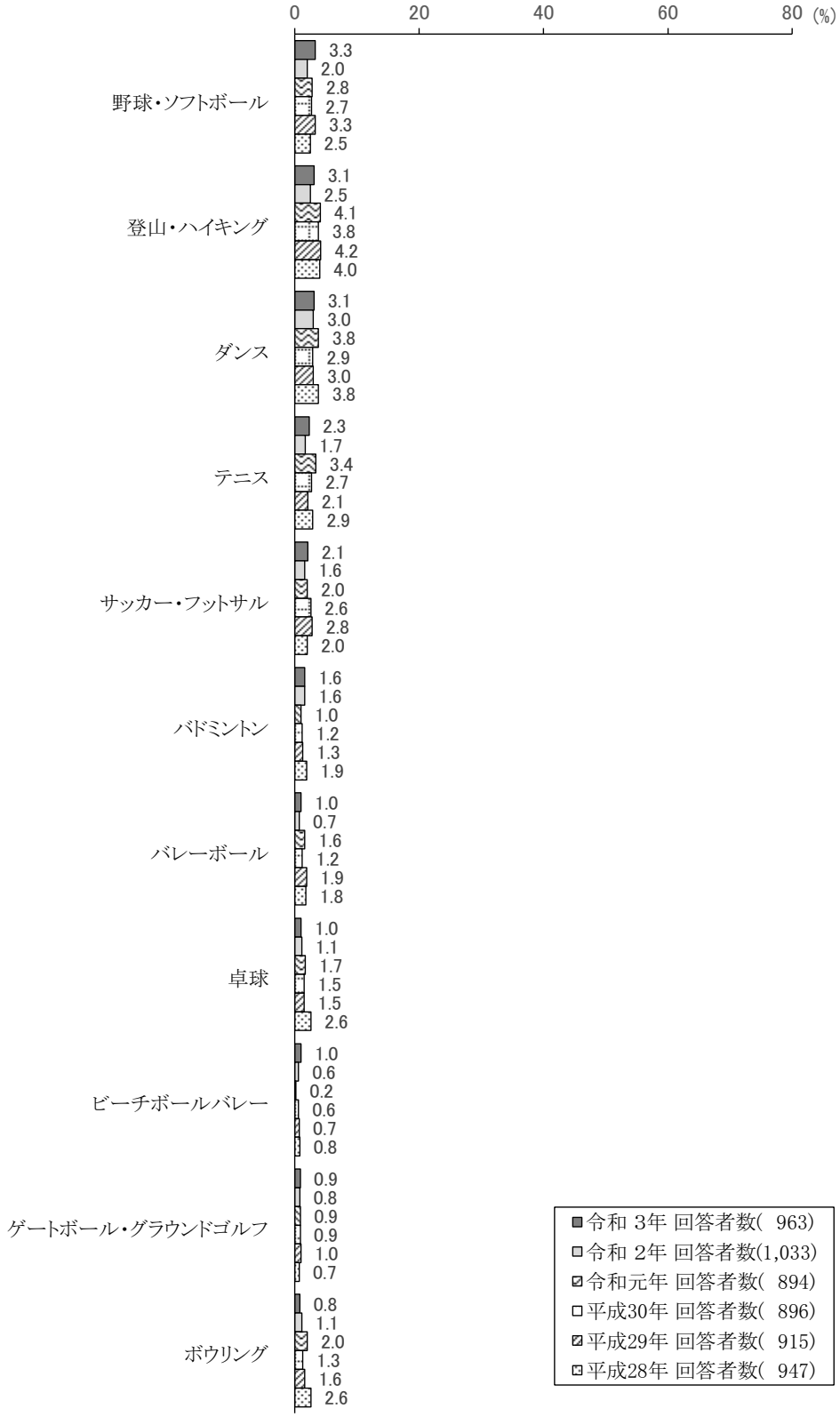
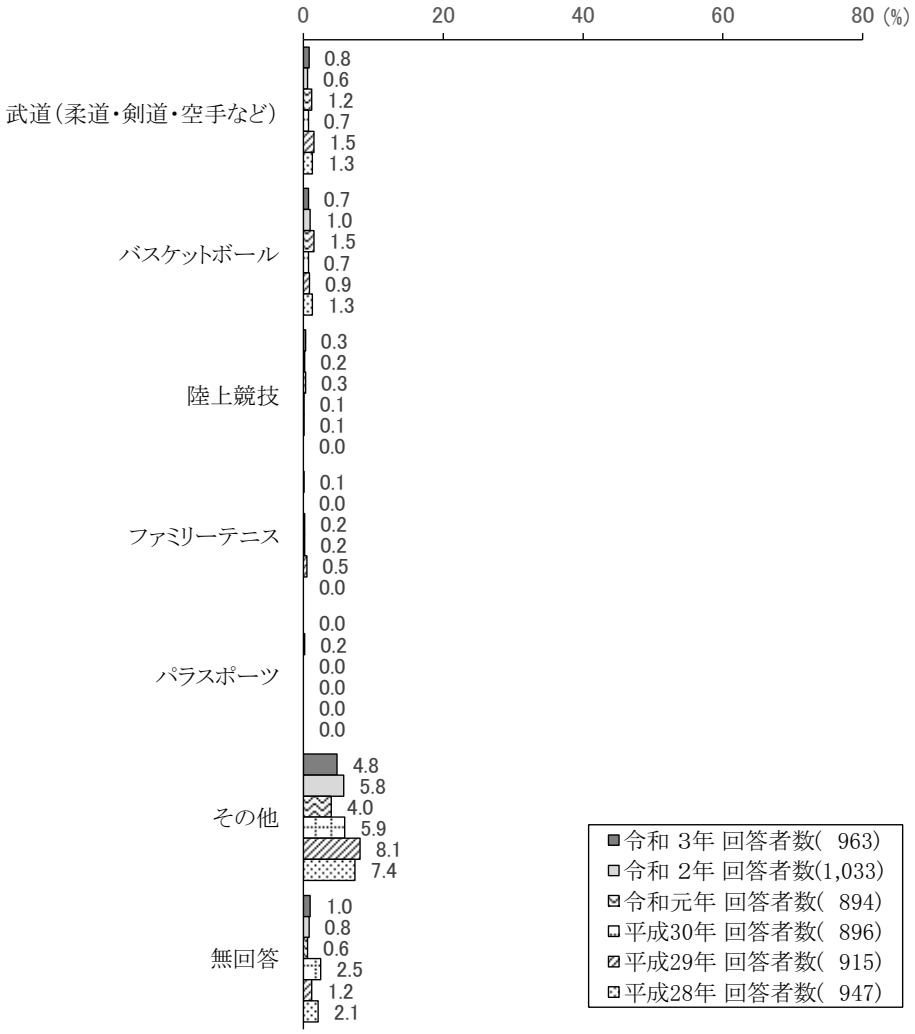


図６－２－１－③　経年比較／継続的に実施している運動・スポーツ



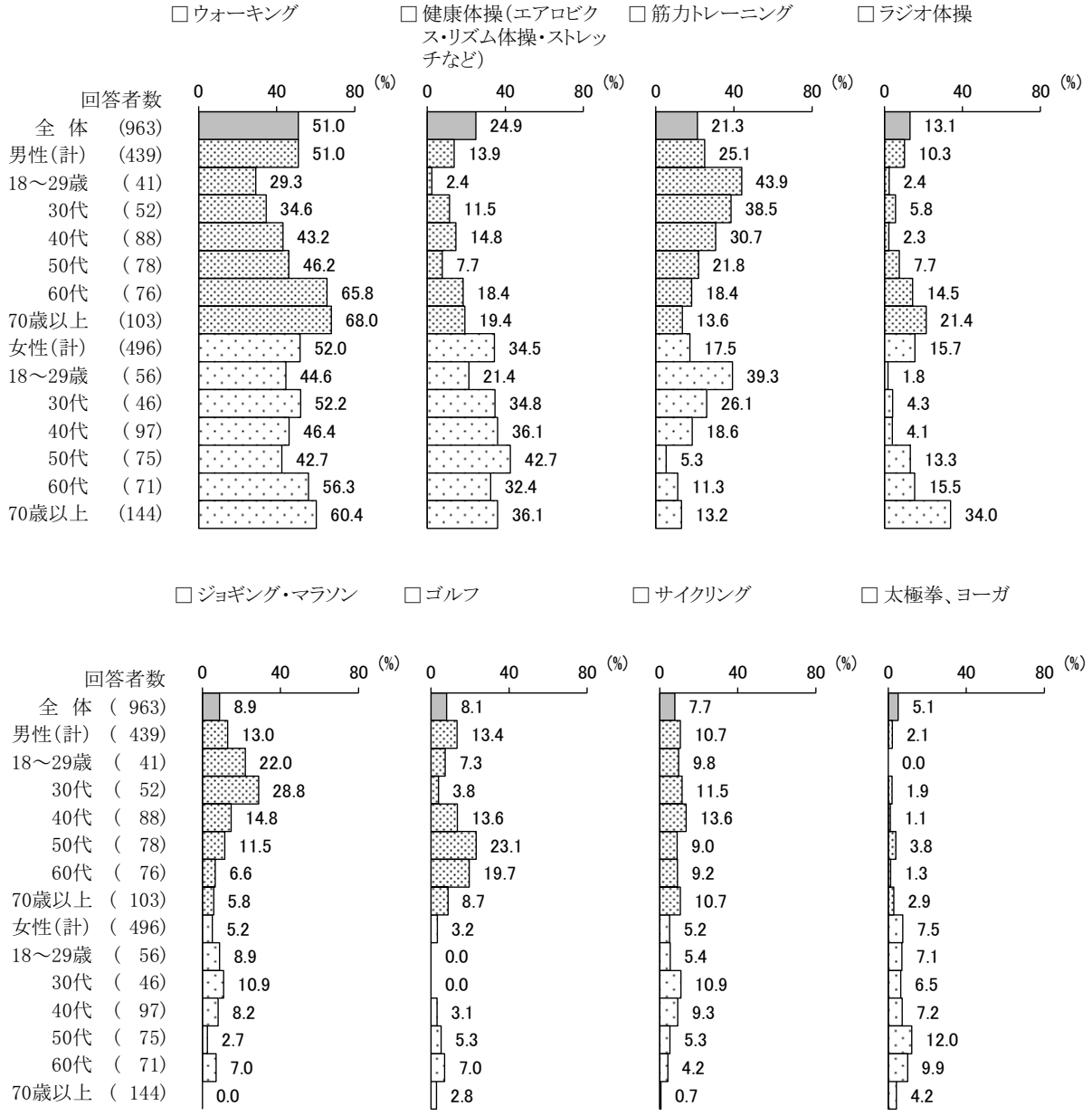
何らかの運動・スポーツを行っている人にその内容を聴いたところ、「ウォーキング」が51.0％で最も高く、以下「健康体操（エアロビクス・リズム体操・ストレッチなど)」(24.9％)、「筋力トレーニング」(21.3％）の順で続いている。

経年でみると、各項目の割合と順位で特に大きな違いはみられない。

性別でみると、「ウォーキング」は男女の割合に大きな違いはないが、「健康体操（エアロビクス・リズム体操・ストレッチなど)」は女性の方が20.6ポイント高く、「ラジオ体操」と「太極拳、ヨーガ」でも女性の方がそれぞれ約５ポイント高くなっている。一方、「ゴルフ」は男性の方が10.2ポイント高く、「ジョギング・マラソン」と「筋力トレーニング」でも男性の方が女性よりそれぞれ７～８ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「ウォーキング」は男女とも60代以上で高く、特に男性の70歳以上で68.0％と最も高くなっている。「健康体操（エアロビクス・リズム体操・ストレッチなど)」はすべての年代層で女性の方が男性より高くなっているが、年代別での傾向は特にみられない。また、「筋力トレーニング」は男性の18～29歳と30代、女性の18～29歳で４割前後と高くなっている。

図６－２－２　性別、性・年代別／継続的に実施している運動・スポーツ／上位８項目



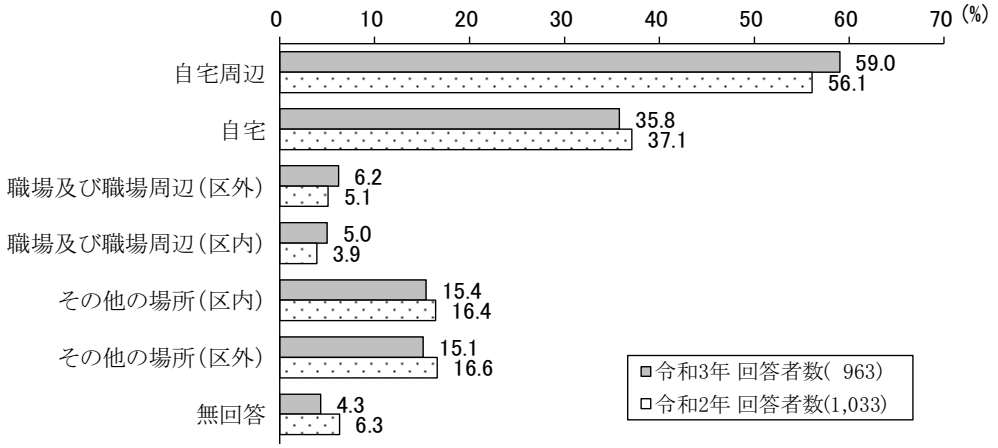
（３）運動・スポーツを行っている場所

■「自宅周辺」が約６割、次いで「自宅」が３割台半ば

問27で１～５のいずれかをお答えの方に

問27－2　あなたは、運動・スポーツをどこで行っていますか（○はあてはまるものすべて）。

図６－３－１　前回調査比較／運動・スポーツを行っている場所

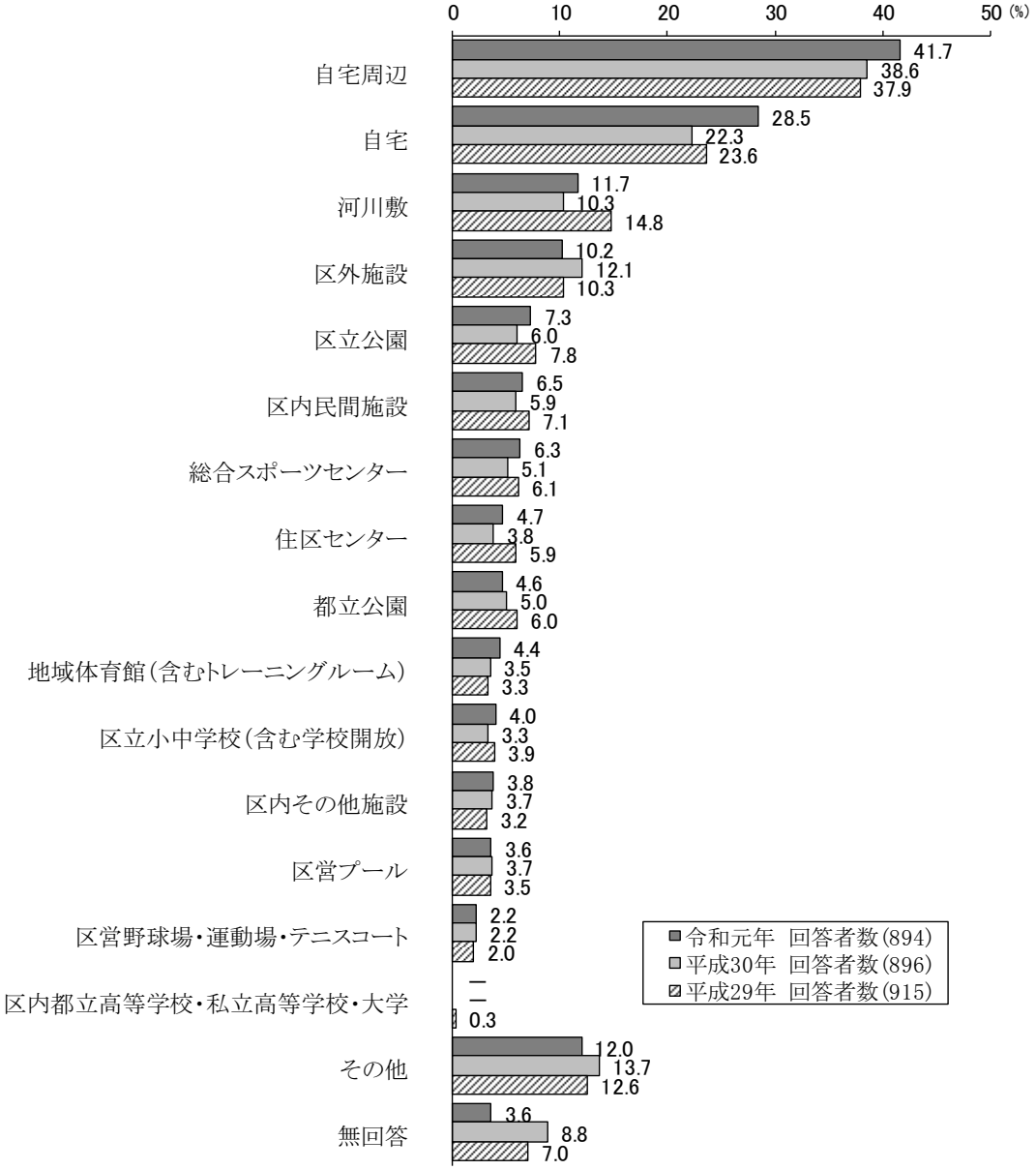


運動・スポーツの実施場所は、「自宅周辺」が59.0％で最も高く、次いで「自宅」（35.8％）、これに「その他の場所（区内）」（15.4％）と「その他の場所（区外）」（15.1％）が１割台半ばで続いている。

選択肢が変更されて比較が可能になった前回の令和２年調査と比較すると、運動・スポーツの実施場所に特に大きな違いはみられない。

参考／（令和元年までの選択肢）運動・スポーツを行っている場所

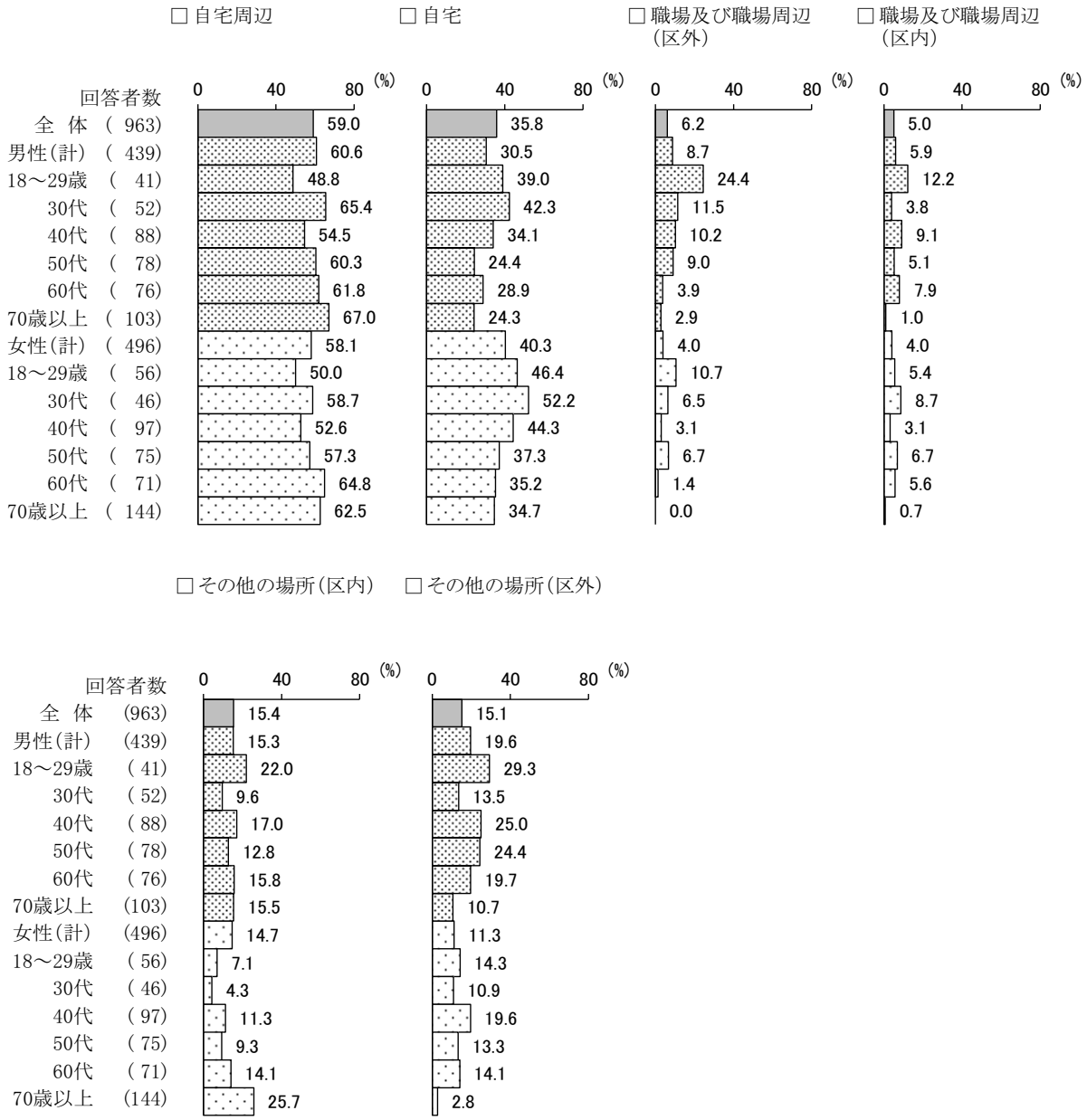
問　あなたは、運動・スポーツをどこで行っていますか（○はあてはまるものすべて）。



性別でみると、６項目のうち、「自宅」は女性（40.3%）の方が男性（30.5%）より9.8ポイント高く、「その他の場所（区外）」では男性（19.6%）の方が女性（11.3%）より8.3ポイント高く、「職場及び職場周辺（区外）」でも男性（8.7%）の方が女性（4.0%）より4.7ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「自宅」は女性の40代以下で４割台半ば以上と高く、男性の50代以上で２割台と低くなっている。「自宅周辺」は男性の70歳以上で６割台半ばを超えて最も高くなっているものの、年代での傾向は特にみられない。

図６－３－２　性別、性・年代別／運動・スポーツを行っている場所



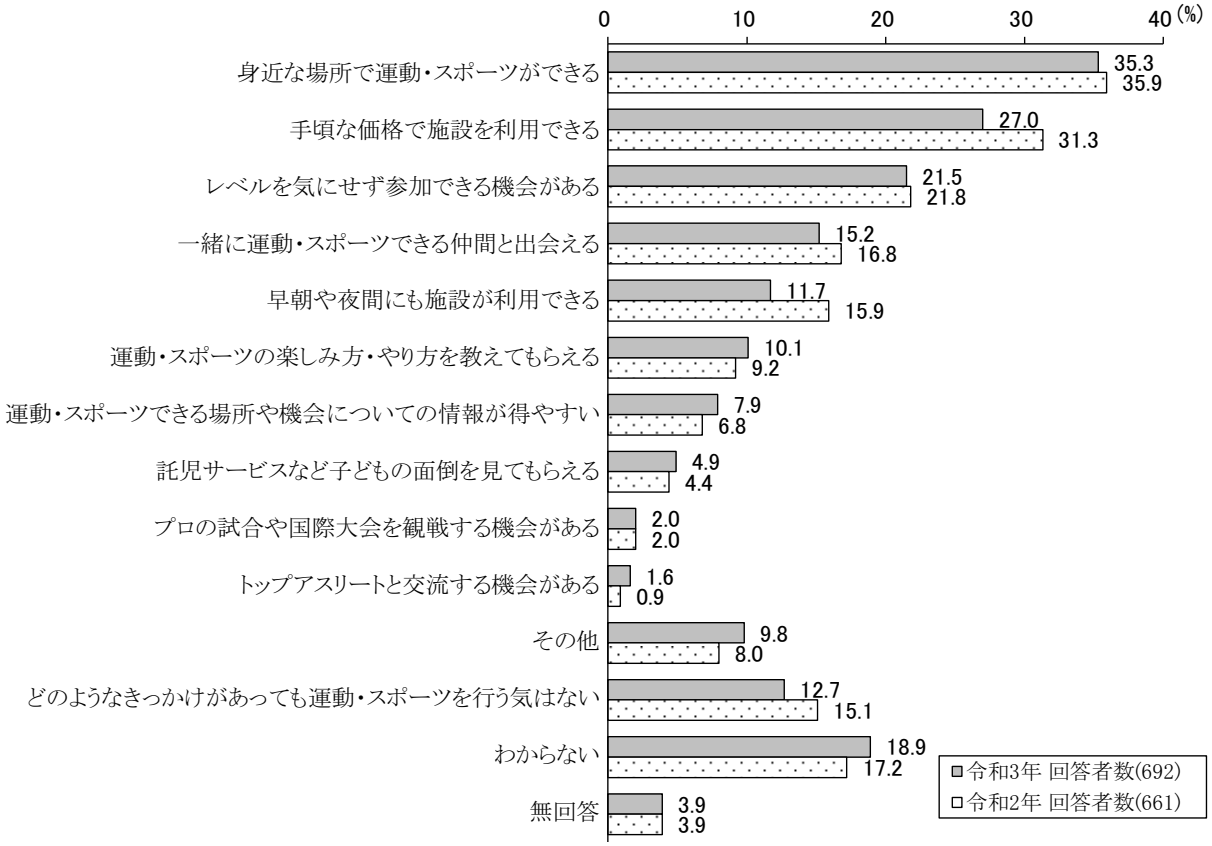
（４）運動・スポーツを行うためのきっかけ

■「身近な場所で運動・スポーツができる」が３割台半ばでトップ

問27で「６　運動・スポーツはしていない」とお答えの方に

問27－3　あなたは、どのようなきっかけがあれば、運動・スポーツを行いたいと思いますか（〇はあてはまるものすべて）。

図６－４－１　前回調査比較／運動・スポーツを行うためのきっかけ



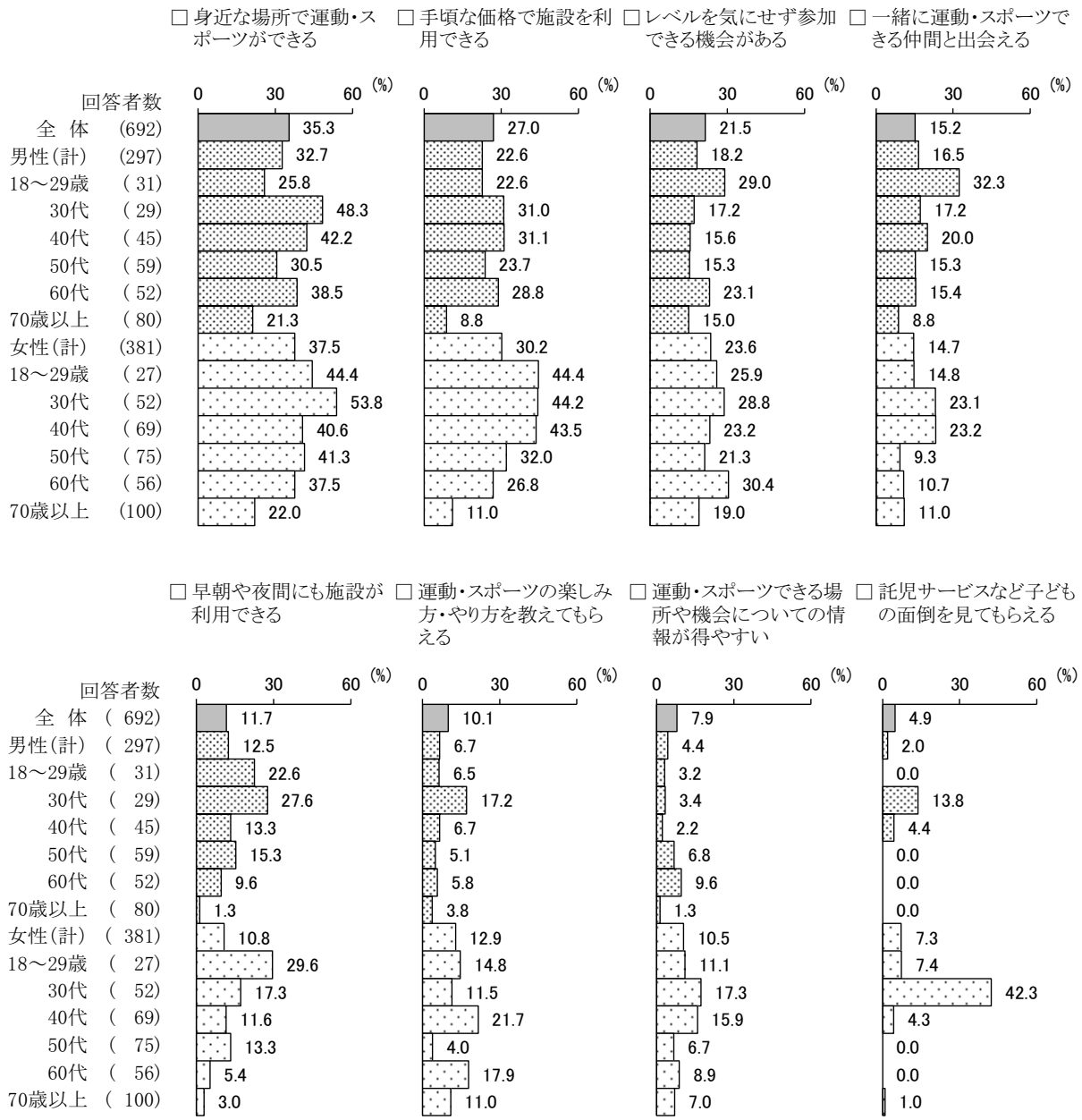
日常的に「運動・スポーツはしていない」と回答した人に、どのようなきっかけがあれば、運動・スポーツを行いたいと思うか聴いた結果、「身近な場所で運動・スポーツができる」が35.3%で最も高く、次いで「手頃な価格で施設を利用できる」が27.0%で続き、以下「レベルを気にせず参加できる機会がある」(21.5%)、「一緒に運動・スポーツできる仲間と出会える」(15.2%)、「早朝や夜間にも施設が利用できる」(11.7%) の順で続いている。一方、「どのようなきっかけがあっても運動・スポーツを行う気はない」は12.7%、「わからない」が18.9%となっている。

本設問が新設された前回の令和２年調査との比較でみると、「手頃な価格で施設を利用できる」で4.3ポイント減少、「早朝や夜間にも施設が利用できる」でも4.2ポイント減少となっている。

性別でみると、上位３項目はいずれも女性の方が男性より高く、「手頃な価格で施設を利用できる」が7.6ポイント高く、「レベルを気にせず参加できる機会がある」と「身近な場所で運動・スポーツができる」は５ポイント前後高くなっている。

性・年代別でみると、男性の30代（29サンプル）と女性の18～29歳（27サンプル）でサンプル数が30未満と少ないことを考慮する必要があるが、「身近な場所で運動・スポーツができる」は女性の30代が53.8％で最も高く、男性の30代も48.3％で高くなっている。「手軽な価格で施設を利用できる」は女性の40代以下で４割台前半と高くなっている。

図６－４－２　性別、性・年代別／運動・スポーツを行うためのきっかけ／上位８項目



（５）東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた区の取り組みで関心があること

■「選手の育成や支援」が１割台半ばで最多も、オリンピック終了後のため「特にない」が５割弱

問28　東京2020オリンピック・パラリンピックにおける区の取り組みで、関心があることは何ですか（○は３つまで）。

※参考　東京2020オリンピックの日程：令和３年７月23日～令和３年８月８日
東京2020パラリンピックの日程：令和３年８月24日～令和３年９月５日
本調査の日程：令和３年８月19日～令和３年９月10日

図６－５－１－①　経年比較
／東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた区の取り組みで関心があること

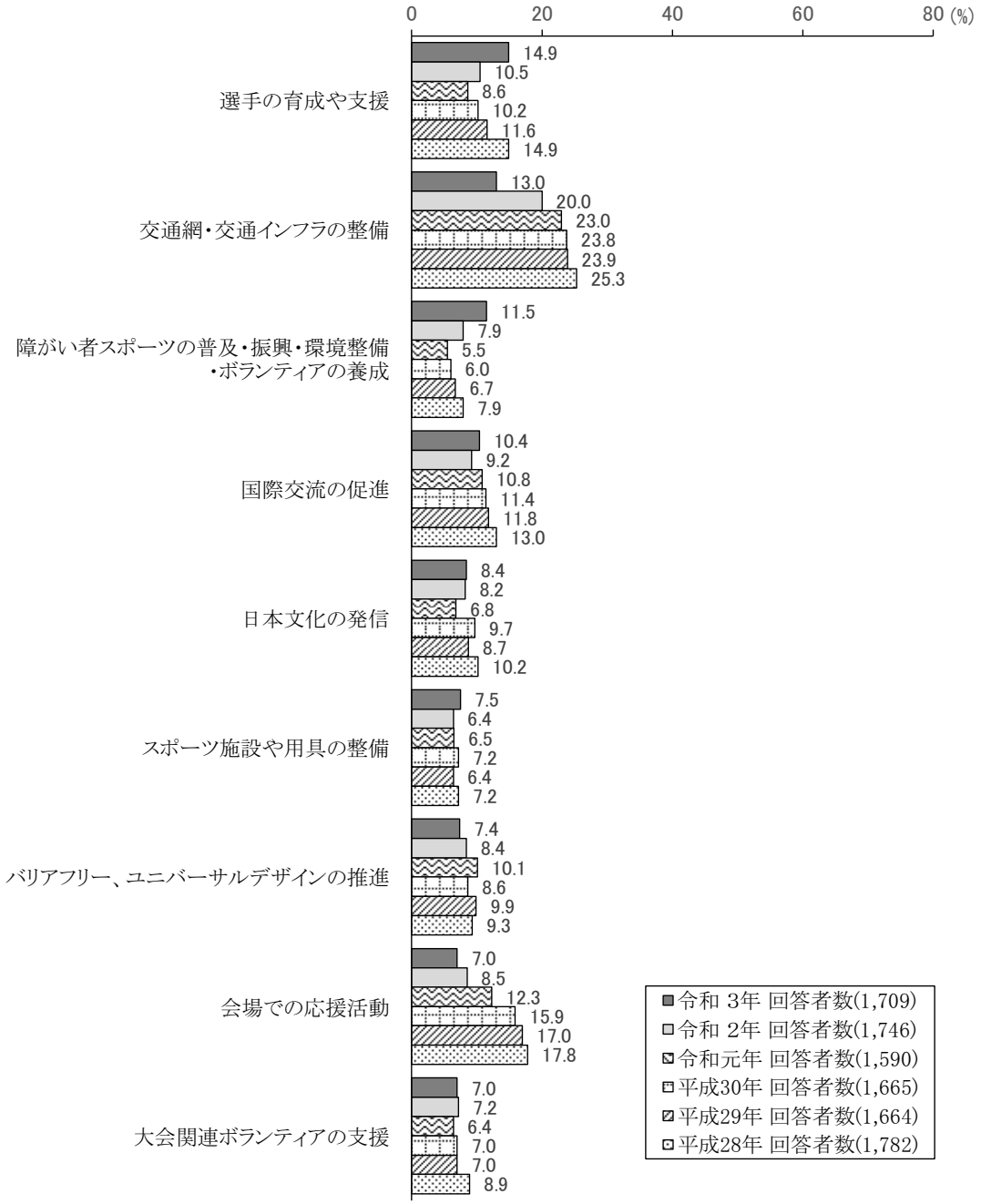
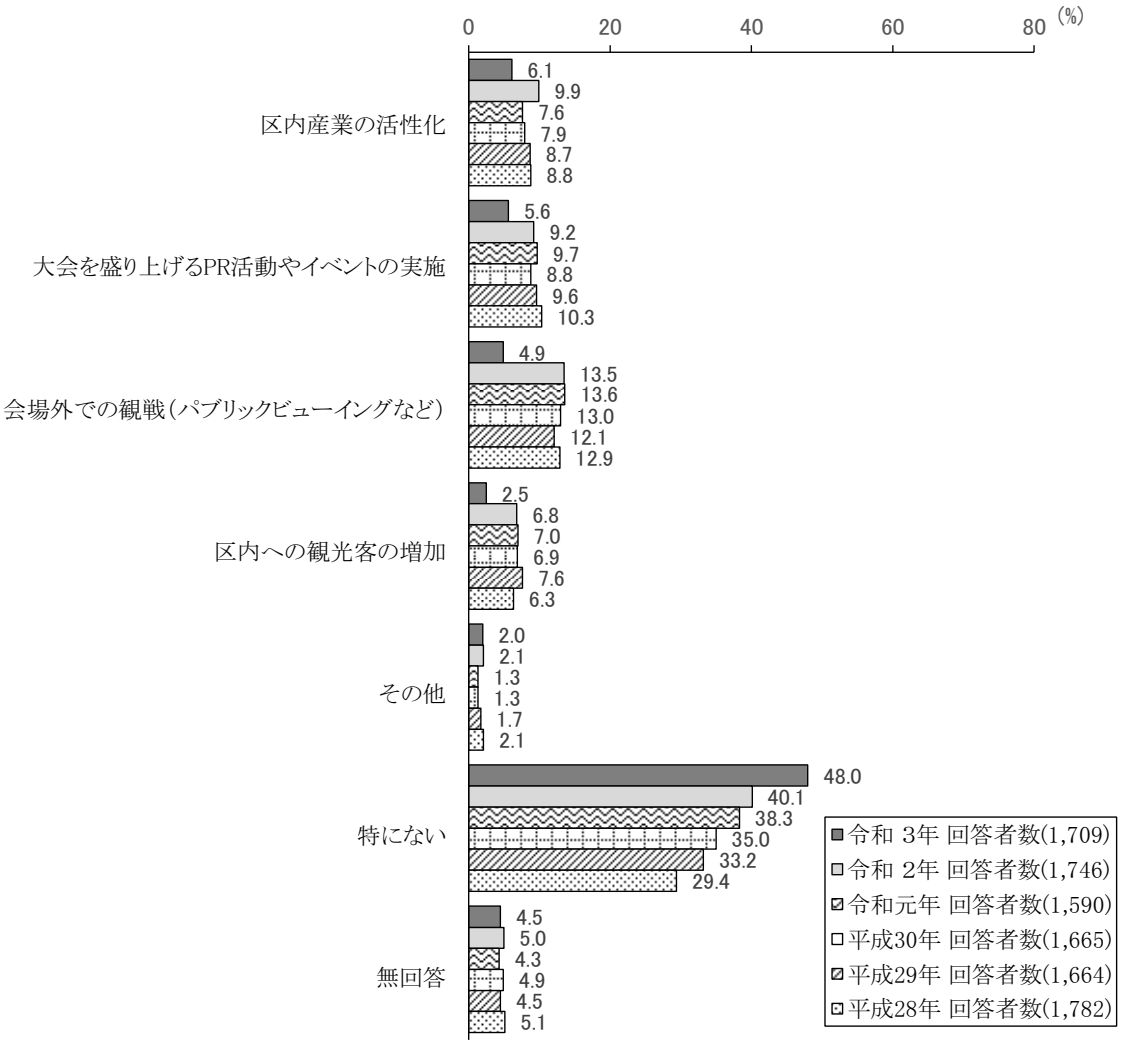


図６－５－１－②　経年比較
／東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた区の取り組みで関心があること



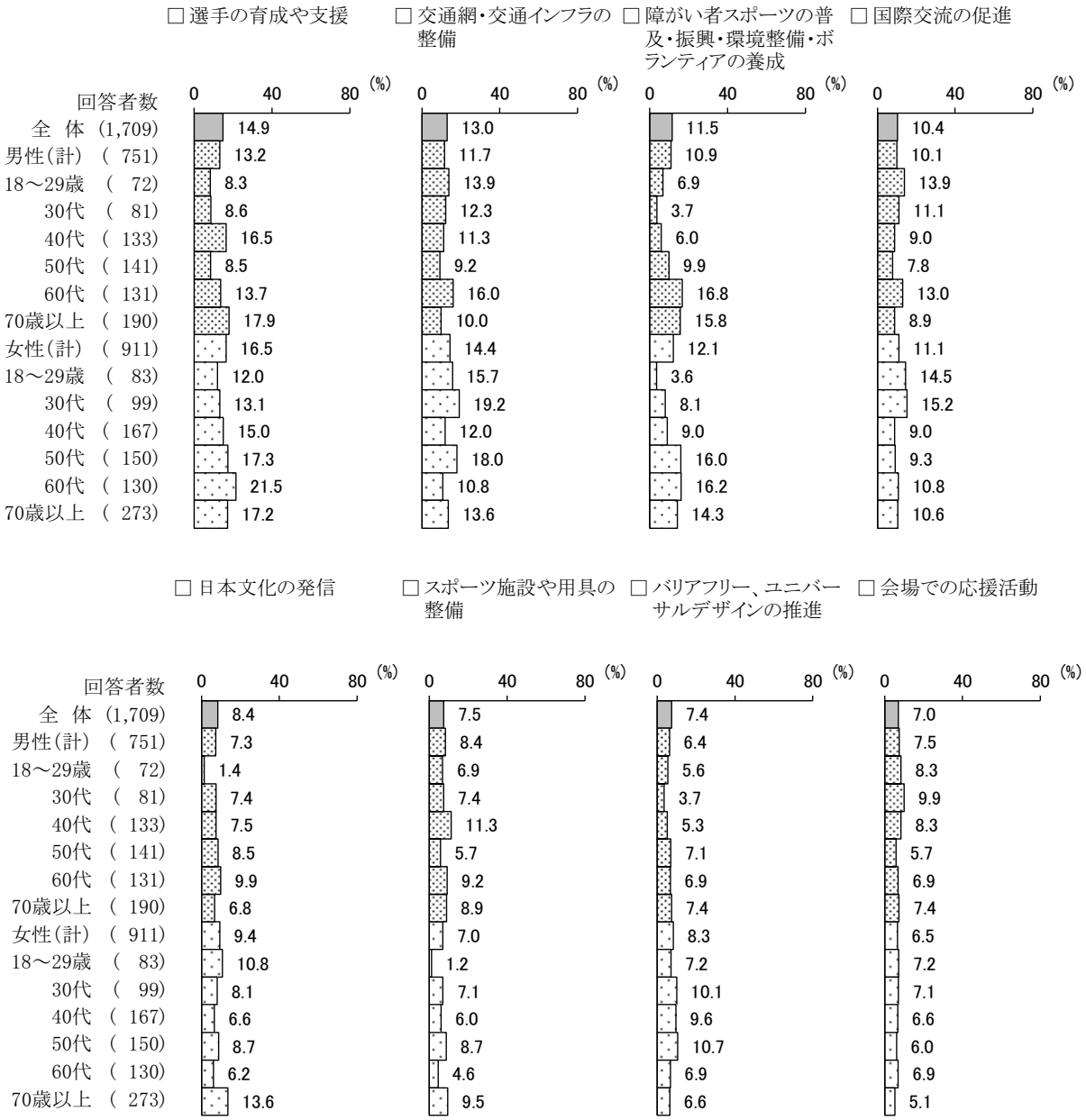
１年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、区の取り組みで関心のあることとしては、「選手の育成や支援」が14.9%で最も高く、以下「交通網・交通インフラの整備」（13.0%)、「障がい者スポーツの普及・振興・環境整備・ボランティアの養成」（11.5%)、「国際交流の促進」（10.4%)、「日本文化の発信」（8.4%）の順で続いている。一方、「特にない」が48.0%となっている。

経年でみると、オリンピックについては終了後のタイミングということもあって、「特にない」が前回調査（40.1%）に比べて今回調査（48.0%）は7.9ポイント増加した。その結果、具体的な取り組み12項目中８項目で割合が減少しており、減少幅が大きい取り組みとしては、「会場外での観戦（パブリックビューイングなど)」（-8.6ポイント)、「交通網・交通インフラの整備」（-7.0ポイント)、「区内への観光客の増加」（-4.3ポイント)、「区内産業の活性化」（-3.8ポイント）などとなっている。逆に増加した取り組みは今回調査で上位となっている「選手の育成や支援」（+4.4ポイント)、「障がい者スポーツの普及・振興・環境整備・ボランティアの養成」（+3.6ポイント）などとなっている。

性別でみると、「選手の育成や支援」は女性（16.5%）の方が男性（13.2%）より3.3ポイント高くなっている。その他の取り組みでは大きな違いはみられない。

性・年代別でみると、「選手の育成や支援」は女性の60代（21.5%）、「交通網・交通インフラの整備」は女性の30代（19.2%）、「障がい者スポーツの普及・振興・環境整備・ボランティアの養成」は男性の60代（16.8%）で高くなっているものの、性年代による傾向は特にみられない。

図６－５－２　性別、性・年代別
／東京2020年オリンピック・パラリンピックに向けた区の取り組みで関心があること／上位７項目

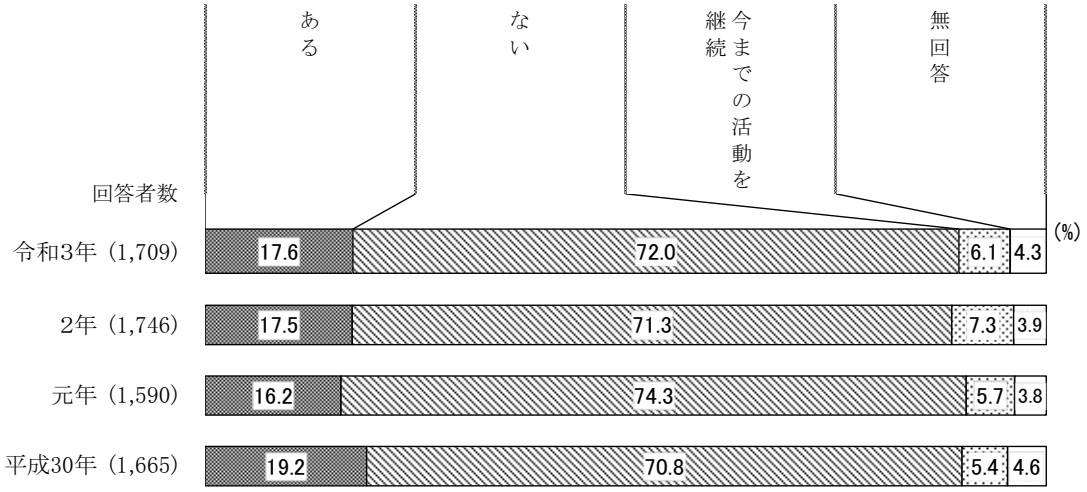


（６）新たに始めたいスポーツ、文化、ボランティア活動の有無

■　新たに始めたい活動がある人は１割台半ばを超えているものの、「ない」が７割強と多数

問29　東京2020大会はスポーツ・文化の祭典です。さらに、ボランティアが活躍できる場でもあります。そこで、あなたが新たに始めたいスポーツ、文化、ボランティア活動などはありますか（○は１つだけ）。

図６－６－１　経年比較／新たに始めたいスポーツ、文化、ボランティア活動の有無



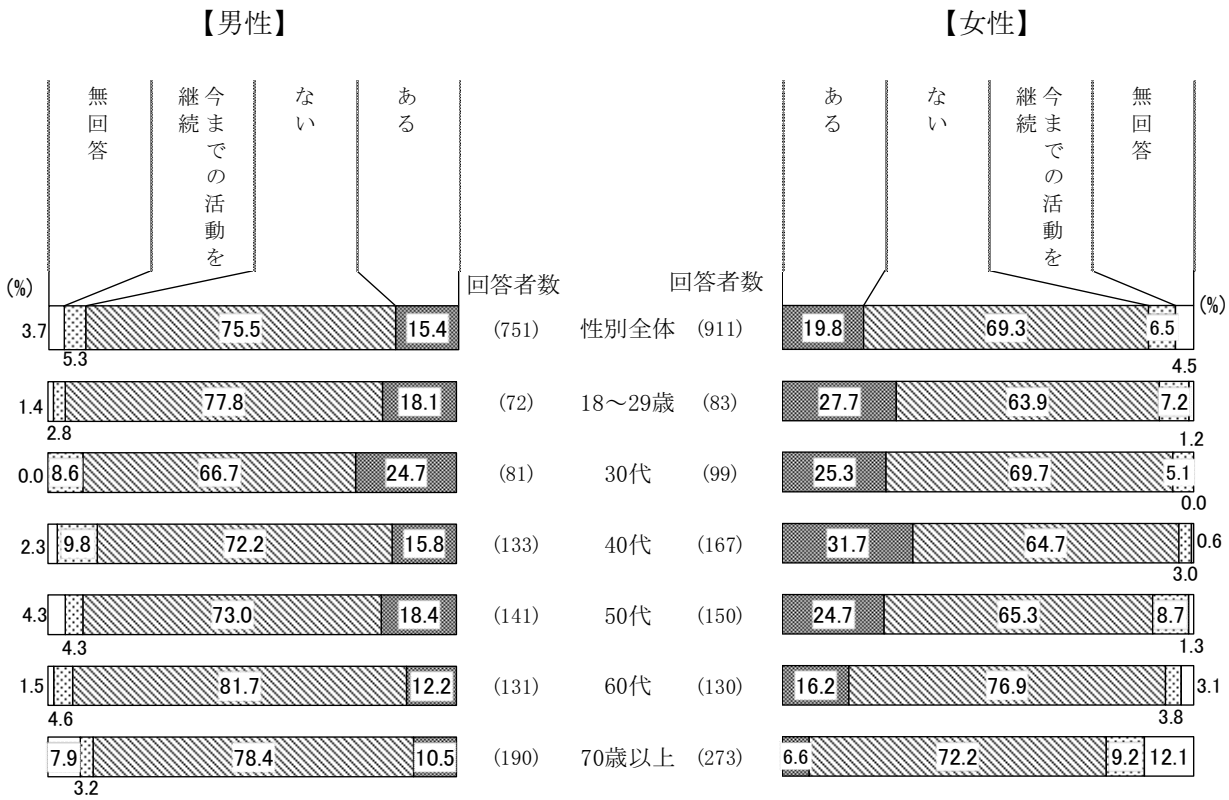
新たに始めたいスポーツ、文化、ボランティア活動の有無は、「ない」が72.0％を占めており、「ある」は17.6％、「今までの活動を継続」が6.1％となっている。

前回の令和２年調査との比較では、特に大きな違いはみられない。

性別でみると、「ある」は女性（19.8%）の方が男性（15.4%）より4.4ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「ある」は女性の50代以下と男性の30代で２割台半ば以上と他の性・年代層に比べて高く、女性の40代で31.7%と最も高くなっている。

図６－６－２　性別、性・年代別／新たに始めたいスポーツ、文化、ボランティア活動の有無



（７）新たに始めたい、または活動を継続したいスポーツ、文化、ボランティア活動

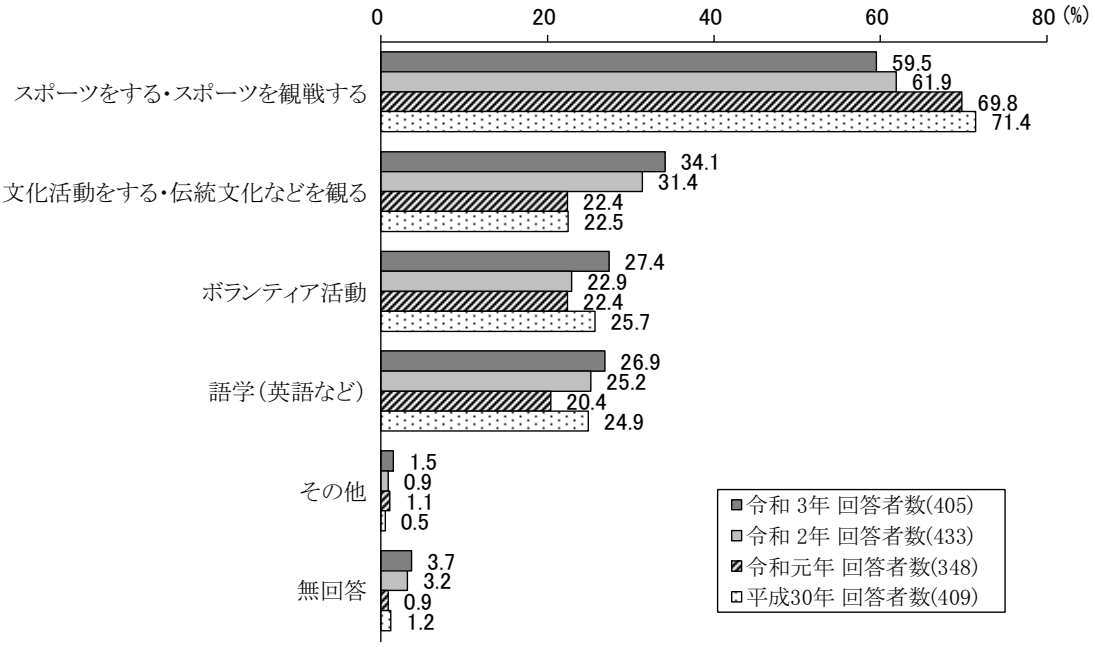
■“スポーツをする・観戦する”が約６割と高いものの減少傾向

問29で「１　ある」または「３　今までの活動を継続」とお答えの方に

問29－１　それは何ですか（○はあてはまるものすべて）。

※　文化活動とは、華道、茶道、書道などの日本文化や音楽、美術、写真、舞踊などのスポーツ以外の習い事や趣味的な活動とお考えください。

図６－７－１　経年比較／新たに始めたい、または活動を継続したいスポーツ、文化、ボランティア活動



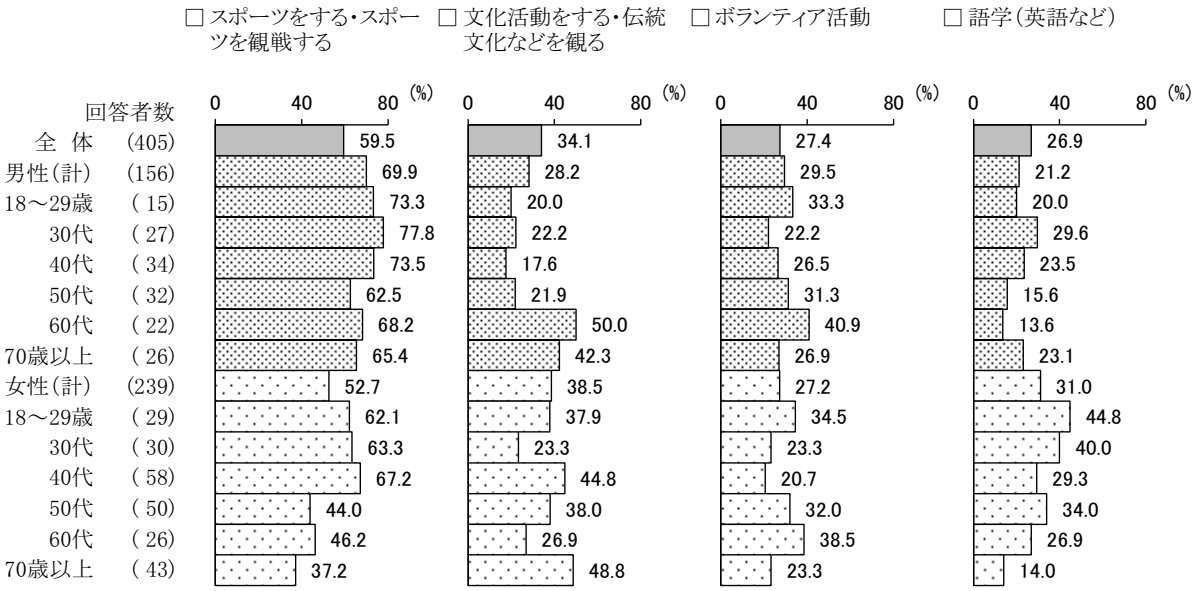
新たに始めたいスポーツ、文化、ボランティア活動がある、または、今までの活動を継続と回答した人に対して、活動の内容を聴いたところ、「スポーツをする・スポーツを観戦する」が59.5％と最も高く、次いで「文化活動をする・伝統文化などを観る」（34.1％）、「ボランティア活動」（27.4％）、「語学（英語など）」（26.9％）の順となっている。

経年でみると、「スポーツをする・スポーツを観戦する」は前回調査からは大きな減少はないものの、平成30年調査以降減少を続けており、４年間で11.9ポイント減少している。逆に「文化活動をする・伝統文化などを観る」は前回調査（31.4％）より2.7ポイント増加しており、平成30年調査に比べると11.6ポイント増加している。

性別でみると、「スポーツをする・スポーツを観戦する」は男性（69.9%）の方が女性（52.7%）より17.2ポイント高くなっている。一方で、「文化活動をする・伝統文化などを観る」は女性（38.5%）の方が男性（28.2%）より10.3ポイント高く、「語学（英語など)」でも女性（31.0%）の方が男性（21.2%）より9.8ポイント高くなっている。

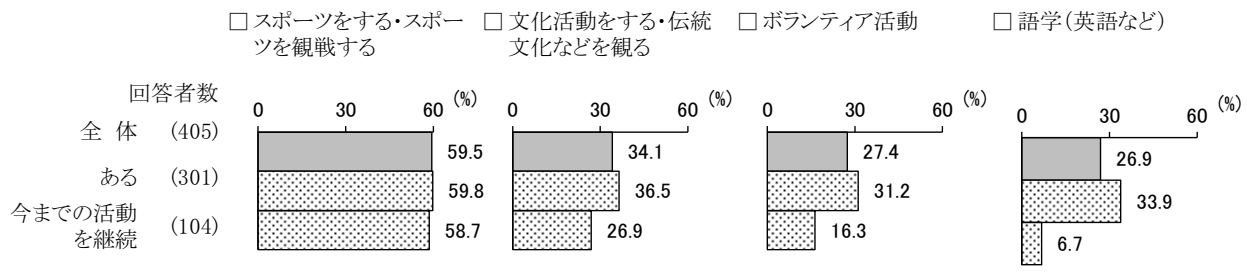
性・年代別でみると、「スポーツをする・スポーツを観戦する」は男性の40代以下で７割台と高く、女性の50代以上で３割から４割台と低くなっている。「文化活動をする・伝統文化などを観る」は男性の60代で５割、女性の70歳以上で５割弱と高くなっている。また、「語学（英語など)」は女性の30代以下で４割台と高く、「ボランティア活動」は男女ともに60代で４割前後と高くなっている。

図６－７－２　性別、性・年代別
／新たに始めたい、または活動を継続したいスポーツ、文化、ボランティア活動



新たに始めたいスポーツ、文化、ボランティア活動があると回答した層、および、今までの活動を継続と回答した層別にみると、「スポーツをする・スポーツを観戦する」では層別による違いはみられないが、「語学（英語など)」は、新たに始めたいスポーツ、文化、ボランティア活動があると回答した層（33.9%）が、今までの活動を継続と回答した層（6.7%）を27.2ポイント大きく上回っている。「文化活動をする・伝統文化などを観る」と「ボランティア活動」についても新たに始めたいスポーツ、文化、ボランティア活動があると回答した層の方が10～15ポイント程度高くなっている。

図６－７－３　新たに始めたいスポーツ、文化、ボランティア活動の有無別
／新たに始めたい、または活動を継続したいスポーツ、文化、ボランティア活動



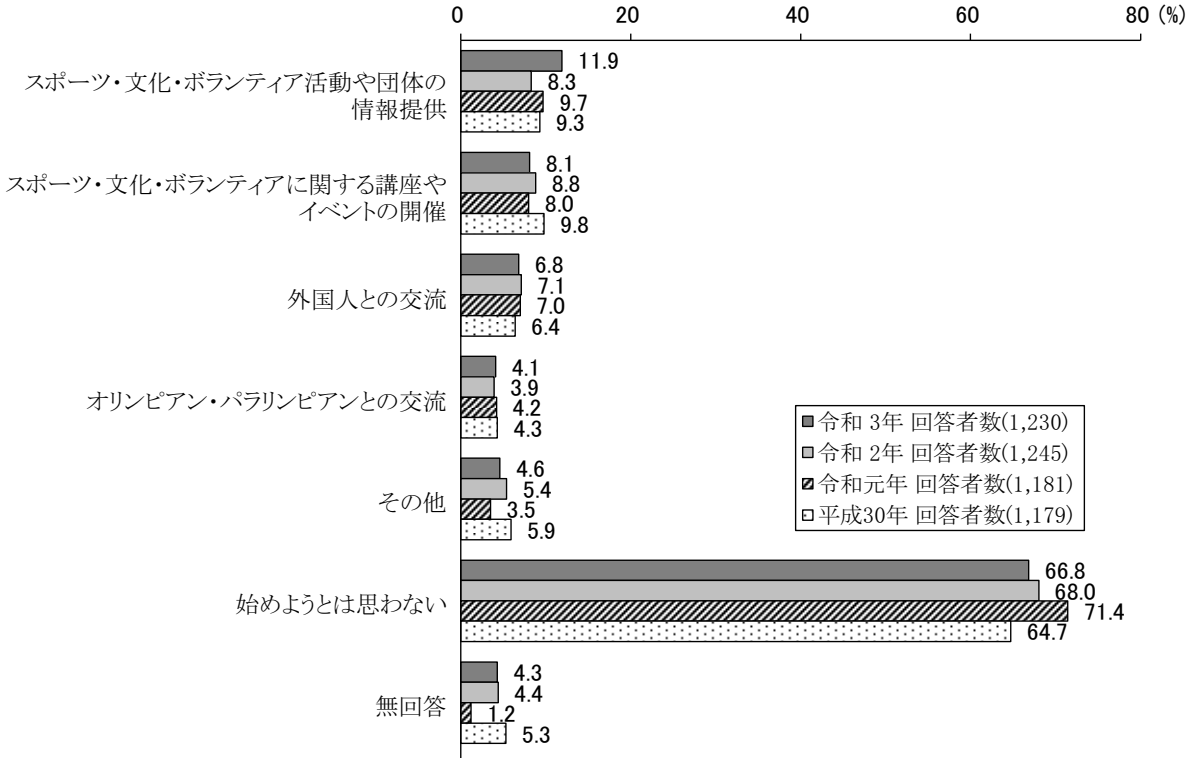
（８）スポーツ、文化、ボランティア活動を新たに始める場合のきっかけ

■“活動や団体の情報提供”が１割強も、「始めようとは思わない」が６割台半ばを占める

問29で「２　ない」とお答えの方に

問29－２　あなたは、どのようなきっかけがあれば始めてみようと思いますか
（○はあてはまるものすべて）。

図６－８－１　経年比較／スポーツ、文化、ボランティア活動を新たに始める場合のきっかけ



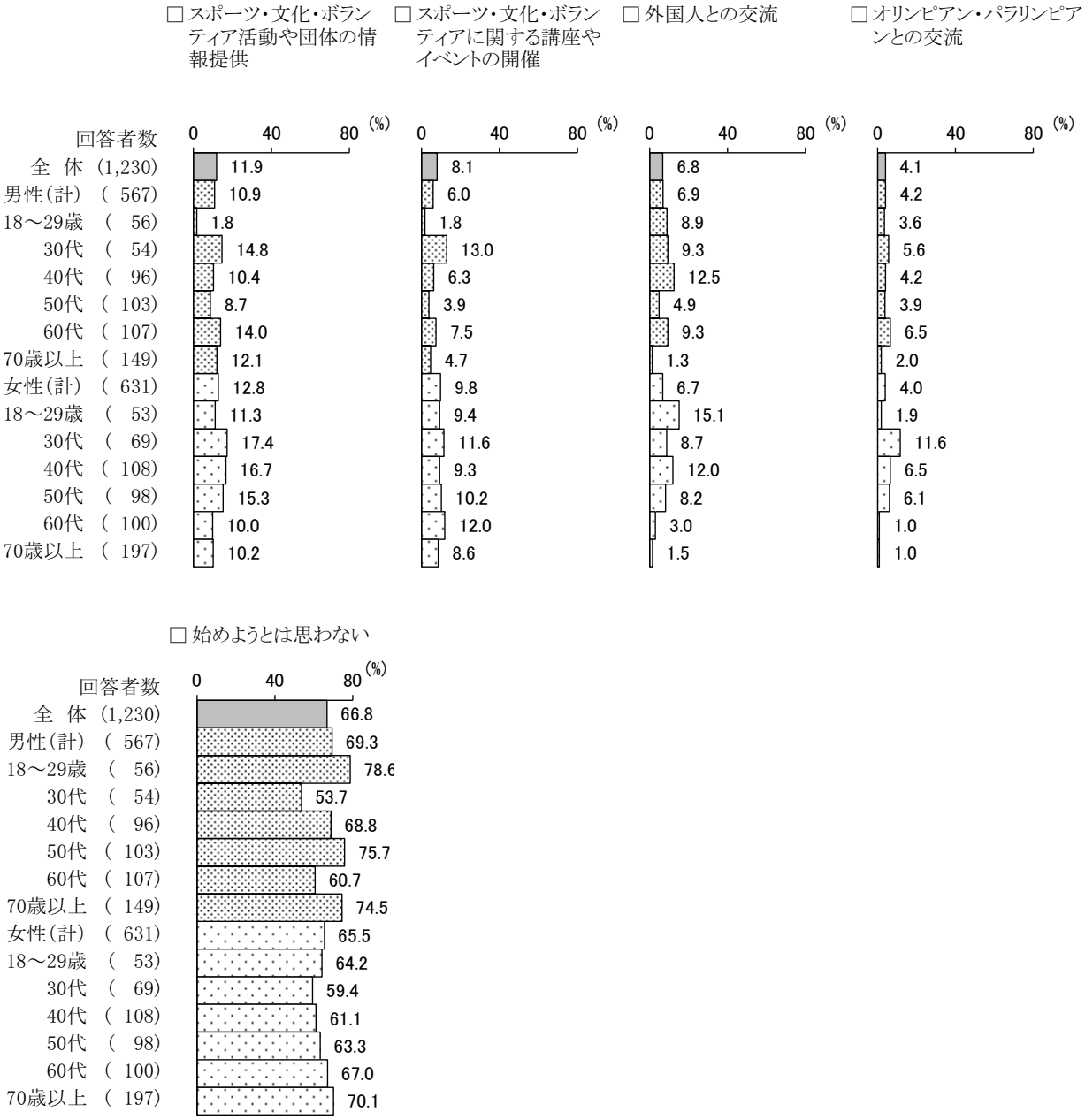
新たに始めたいスポーツ、文化、ボランティア活動はないと回答した人に対して、どのようなきっかけがあれば始めてみようと思うかを聴いたところ、「始めようとは思わない」が66.8%を占めている。具体的なきっかけとしては、「スポーツ・文化・ボランティア活動や団体の情報提供」（11.9%）、「スポーツ・文化・ボランティアに関する講座やイベントの開催」（8.1%）、「外国人との交流」（6.8%）などとなっている。

前回結果と比較すると、「スポーツ・文化・ボランティア活動や団体の情報提供」が3.6ポイント増加している。

性別でみると、「始めようとは思わない」は男性（69.3%）の方が女性（65.5%）より3.8ポイント高く、「スポーツ・文化・ボランティアに関する講座やイベントの開催」は女性（9.8%）の方が男性（6.0%）より3.8ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「始めようとは思わない」は男性の18～29歳で78.6%と最も高く、男性の30代で53.7%と最も低くなっている。「スポーツ・文化・ボランティア活動や団体の情報提供」は女性の30代と40代で１割台後半と高く、男性の18～29歳で1.8%と特に低くなっている。

図６－８－２　性別、性・年代別／スポーツ、文化、ボランティア活動を新たに始める場合のきっかけ

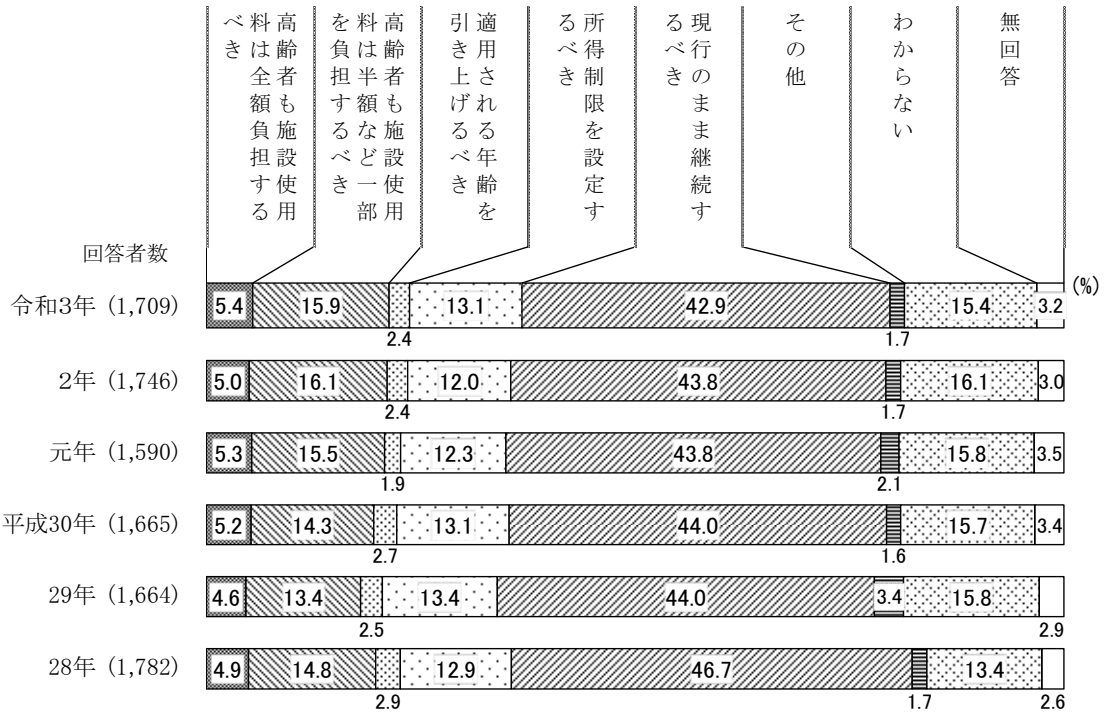


（９）区のスポーツ施設における高齢者免除制度に関する意識

■「現行のまま継続するべき」が４割強と主流

問30　足立区の温水プールは65歳以上、その他のスポーツ施設は70歳以上の区民（高齢者）は無料で使用できます。この高齢者免除制度について、あなたの考えに最も近いものはどれですか（○は１つだけ）。

図６－９－１　経年比較／区のスポーツ施設における高齢者免除制度に関する意識



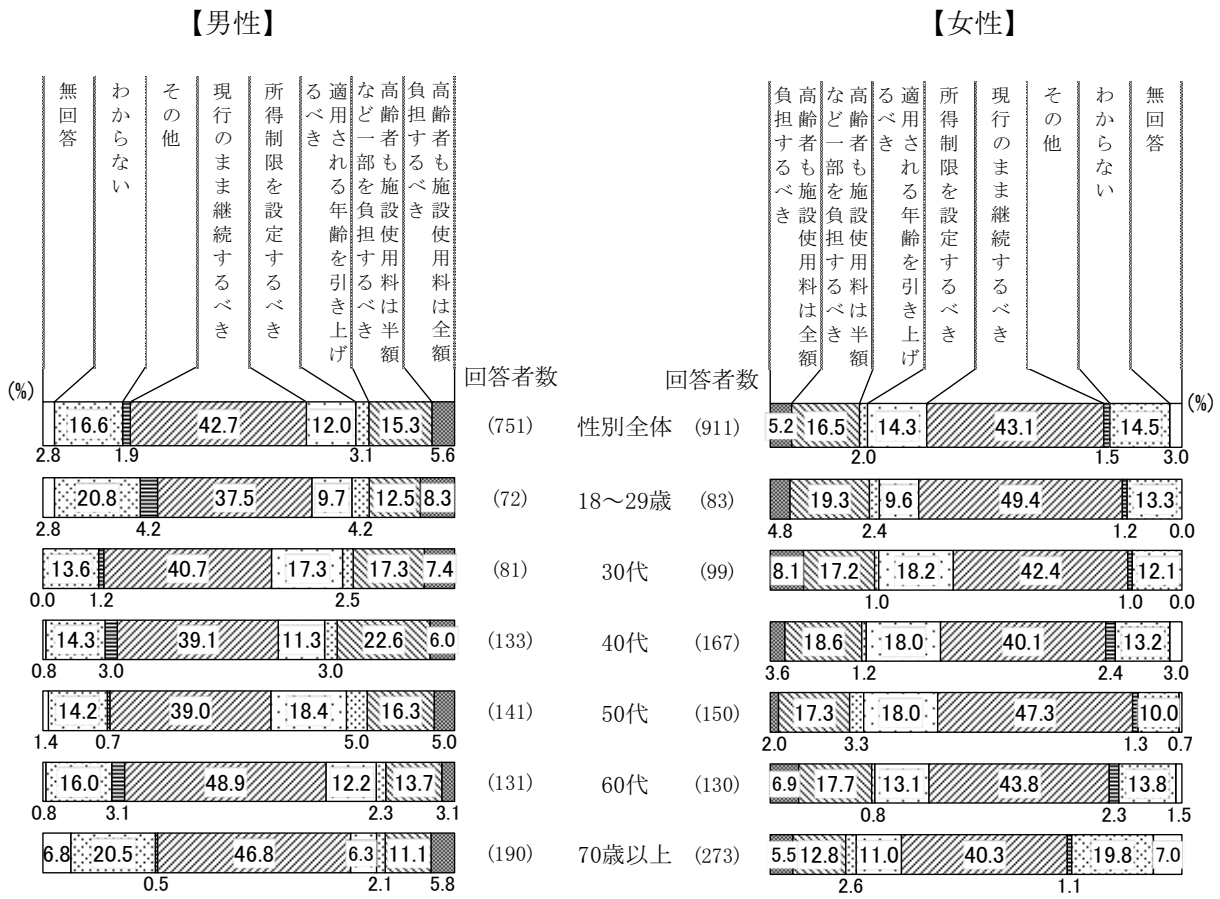
スポーツ施設における高齢者免除制度については、「現行のまま継続するべき」が42.9％で最も多く、次いで「高齢者も施設使用料は半額など一部を負担するべき」（15.9％）、「わからない」（15.4％）、「所得制限を設定するべき」（13.1％）などとなっている。

経年でみると、それぞれの回答割合に特に大きな違いはみられない。

性別でみると、それぞれの回答割合に特に大きな違いはみられない。

性・年代別でみると、「現行のまま継続するべき」は女性の18～29歳で49.4％と最も高く、次いで男性の60代で48.9％となっている。「高齢者も施設使用料は半額など一部を負担するべき」は男性の40代（22.6％）で２割強と最も高く、男性の70歳以上（11.1％）で１割強と最も低くなっている。

図６－９－２　性別、性・年代別／区のスポーツ施設における高齢者免除制度に関する意識

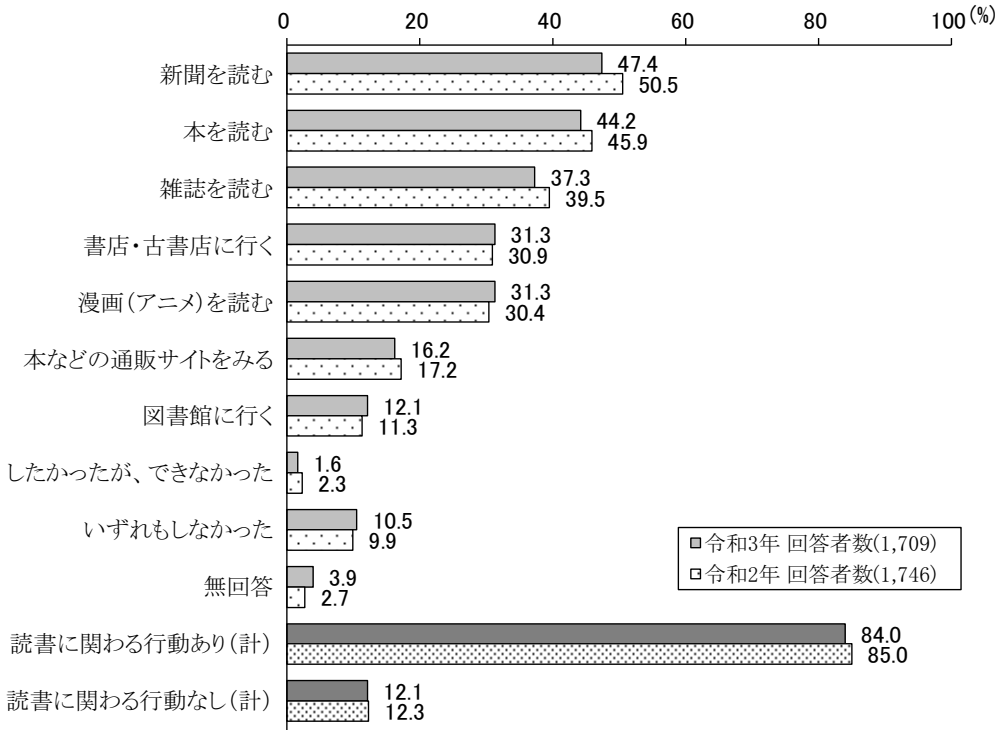


（10）読書に関わる行動状況

■「新聞を読む」が微減するも４割台半ばを超えて最高、【読書に関わる行動なし】は１割強

問31　あなたは、最近１か月間において、次のことをしたことはありますか。あなたの行動にあてはまるものを選んでください（○はあてはまるものすべて）。
※　ここでいう「本」「漫画（アニメ）」「雑誌」には、スマートフォンやパソコンなどで読む電子書籍も含みます。いずれも最後まで読み切っていなくてもかまいません。
※「新聞」には、電子版、オンライン上の新聞記事を読むことも含みます。
※　ただし、学校の課題図書、授業で読んだ本や教科書は含みません。

図６－10－１　前回調査比較／読書に関わる行動状況



最近１か月間の読書に関わる行動は、「新聞を読む」が47.4％と最も高く、次いで、「本を読む」（44.2％）、「雑誌を読む」（37.3％）、「書店・古書店に行く」（31.3％）、「漫画（アニメ）を読む」（31.3％）などとなっている。

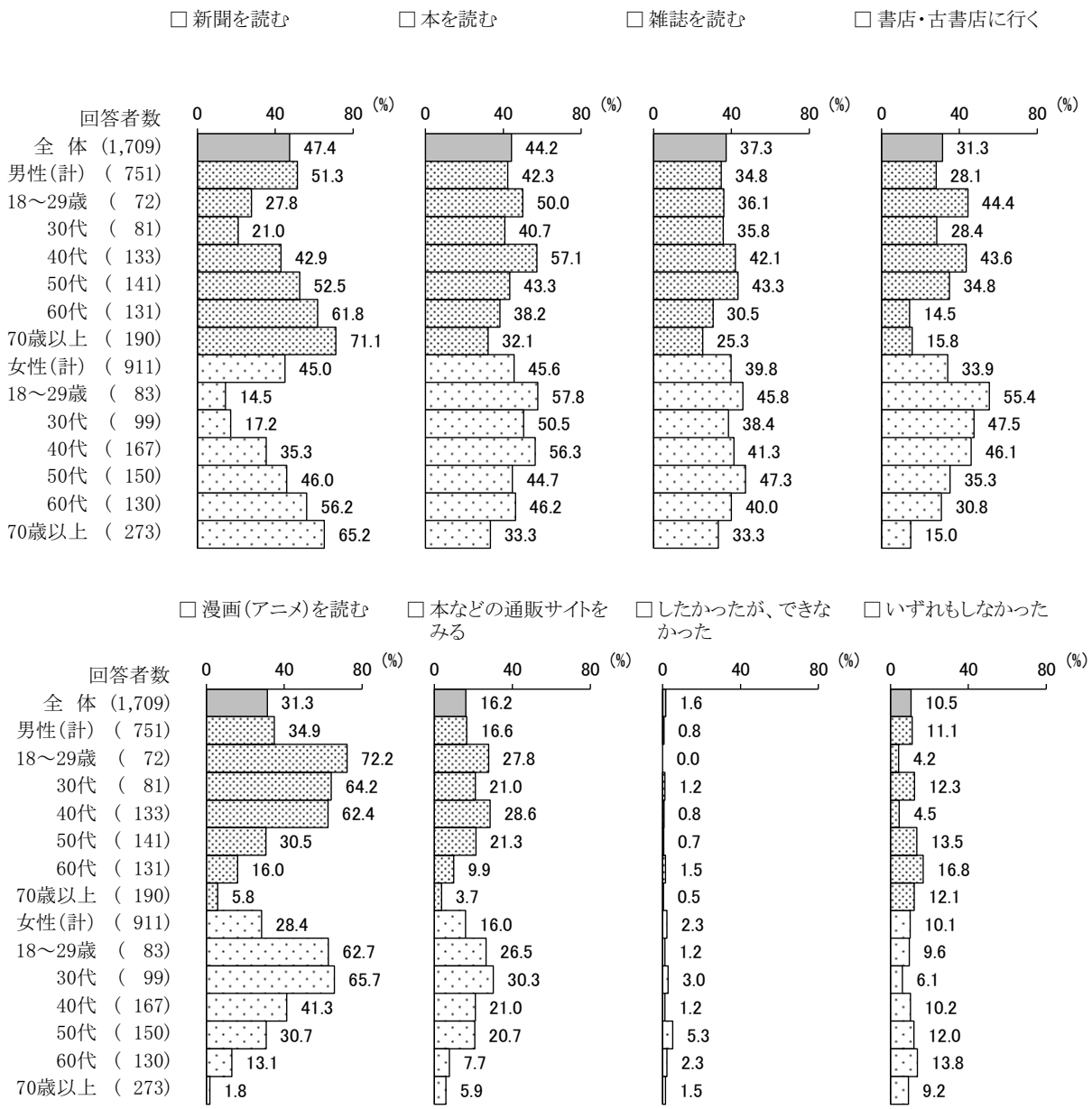
一方、「したかったが、できなかった」は1.6％、「いずれもしなかった」は10.5％となっており、この両者を合わせた【読書に関わる行動なし】は12.1％で１割強となっている。

新設された前回の令和２年調査と比較すると、「新聞を読む」が3.1ポイント減少したが、他の項目では特に大きな違いはみられない。

性別にみると、「新聞を読む」と「漫画（アニメ）を読む」は男性の方が女性よりそれぞれ６～７ポイント高くなっており、逆に「書店・古書店に行く」、「雑誌を読む」では女性の方が男性よりそれぞれ５～６ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「新聞を読む」は男女ともおおむね年代が上がるほど割合も高くなっており、男性では70歳以上（71.1%）、女性でも70歳以上（65.2%）が最も高くなっている。一方、それ以外の項目ではおおむね年代が上がるほど割合が低くなる傾向がみられ、特に「漫画（アニメ）を読む」でその傾向が顕著になっている。

図６－10－２　性別、性・年代別／読書に関わる行動状況／上位６項目＋なし２項目



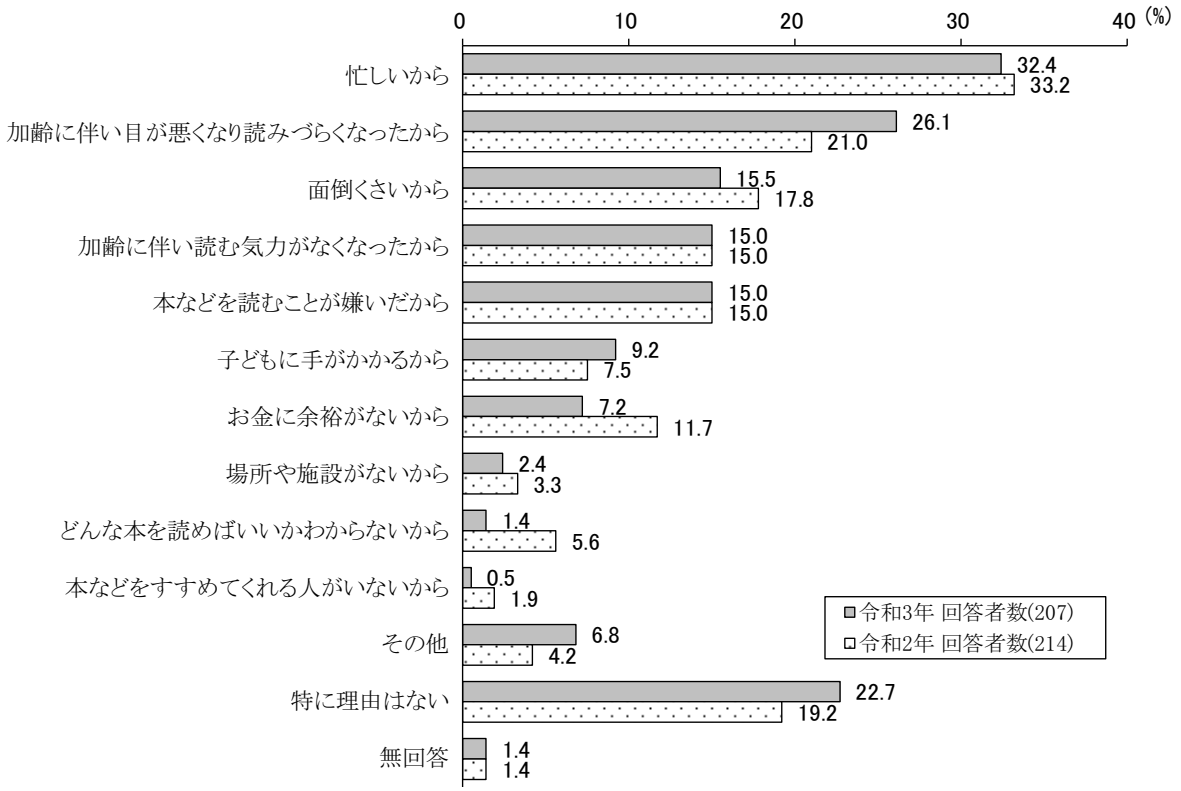
（11）読書に関わる行動をできなかった・しなかった理由

■「忙しいから」が３割強で最も高く、“加齢で目が悪く読みづらくなった”が２割台半ばで次点

問31で「８　１～７のことをしたかったが、できなかった」または「９　１～７のことはいずれもしなかった」をお答えの方に

問31－１　あなたが「できなかった」または「しなかった」理由は何ですか
（○はあてはまるものすべて）。

図６－11－１　前回調査比較／読書に関わる行動をできなかった・しなかった理由



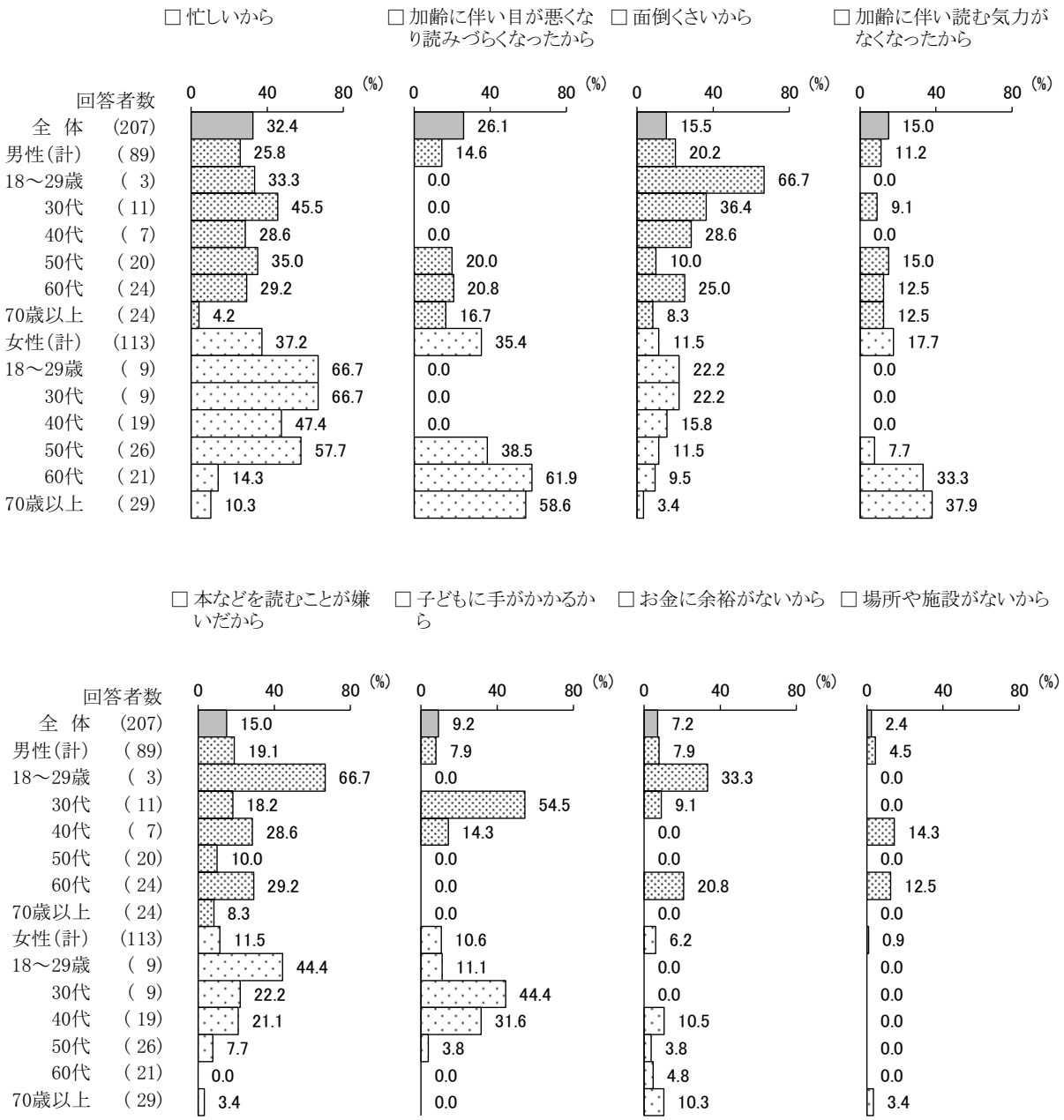
最近１か月間に読書に関わる行動が「できなかった」または「しなかった」理由としては、「忙しいから」が32.4％で最も高く、次いで「加齢に伴い目が悪くなり読みづらくなったから」（26.1％）、「面倒くさいから」（15.5％）、「加齢に伴い読む気力がなくなったから」と「本などを読むことが嫌いだから」（各15.0％）などとなっている。一方で「特に理由はない」は22.7％となっている。

前回の令和２年調査との比較でみると、「加齢に伴い目が悪くなり読みづらくなったから」が5.1ポイント増加し、「特に理由はない」が3.5ポイント増加している。逆に「お金に余裕がないから」が4.5ポイント減少している。

性別にみると、「加齢に伴い目が悪くなり読みづらくなったから」は女性（35.4%）の方が男性（14.6%）より20.8ポイント高く、「忙しいから」も女性（37.2%）の方が男性（25.8%）より11.4ポイント高くなっている。逆に「面倒くさいから」は男性（20.2%）の方が女性（11.5%）より8.7ポイント高く、「本などを読むことが嫌いだから」でも男性（19.1%）の方が女性（11.5%）より7.6ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、いくつかの項目で目立った違いがみられるものの、いずれの性・年代別層もサンプル数が少ないことから、あくまで参考値としての掲載にとどめ、コメントは割愛する。

図６－11－２　性別、性・年代別／読書に関わる行動をできなかった・しなかった理由／上位８項目



7　ビューティフル・ウィンドウズ運動

（1）「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況
（2）参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み
（3）『花のビュー坊プレート』『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況
（4）治安が改善していることの認知
（5）居住地域の治安状況
（6）区内の治安が良いと感じる点
（7）区内の治安が悪いと感じる点
（8）治安対策として区に力を入れてほしいこと
（9）駐車時の鍵かけ状況

７　ビューティフル・ウィンドウズ運動

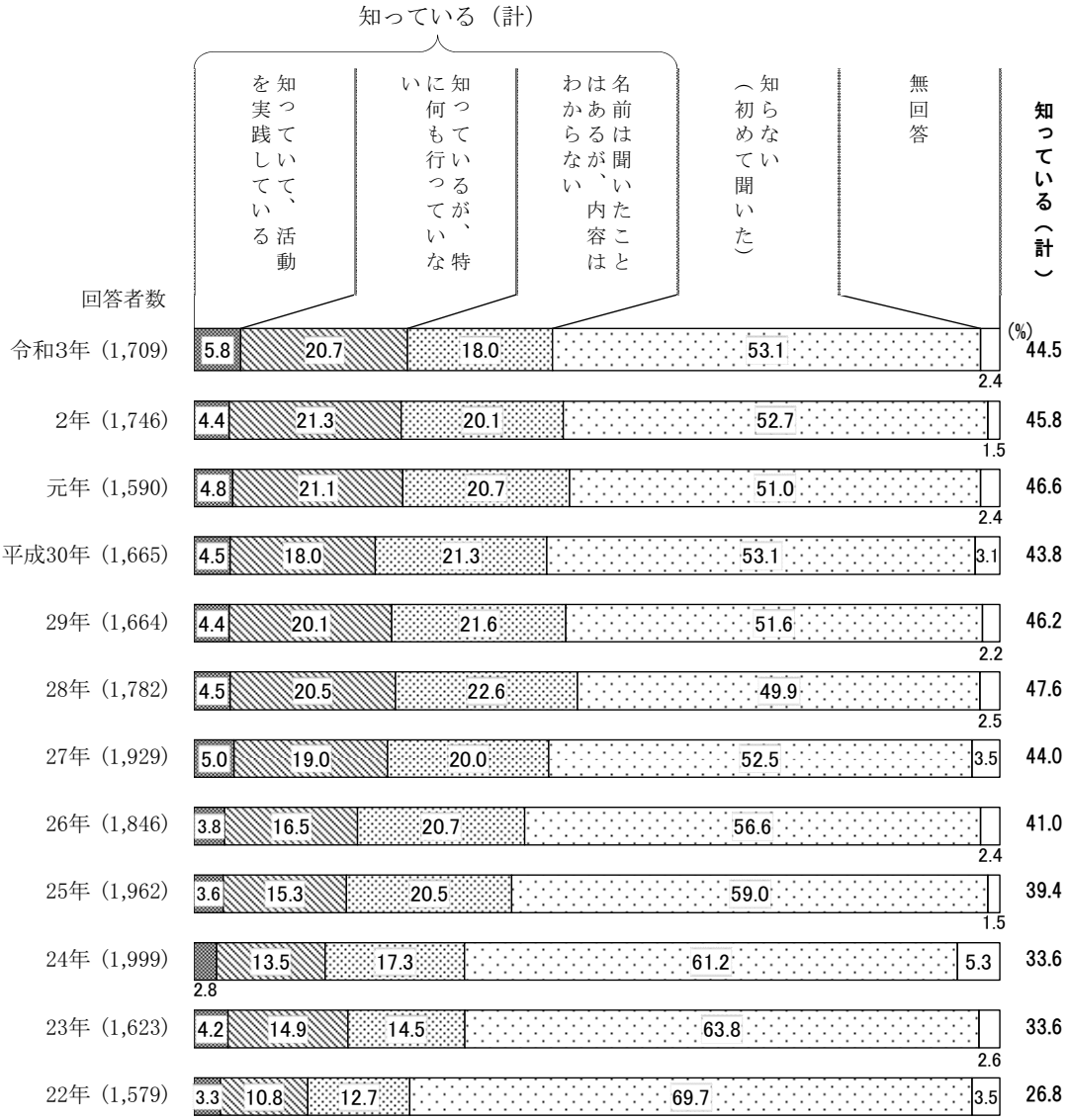
（１）「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

■【知っている】が４割台半ば、「知らない（初めて聞いた）」が５割台半ば近く

問32　あなたは、足立区が取り組んでいる「ビューティフル・ウィンドウズ運動（※）」という取り組みを知っていますか（○は１つだけ）。

※「ビューティフル・ウィンドウズ運動」とは、「美しいまち」を印象付けることで犯罪を抑止しようという足立区独自の運動です。区は、警視庁や区民のみなさんと協働して、まちの美化活動や防犯パトロールなどの取り組みを推進し、犯罪のない住みよいまちの実現をめざしています。

図７－１－１　経年比較／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

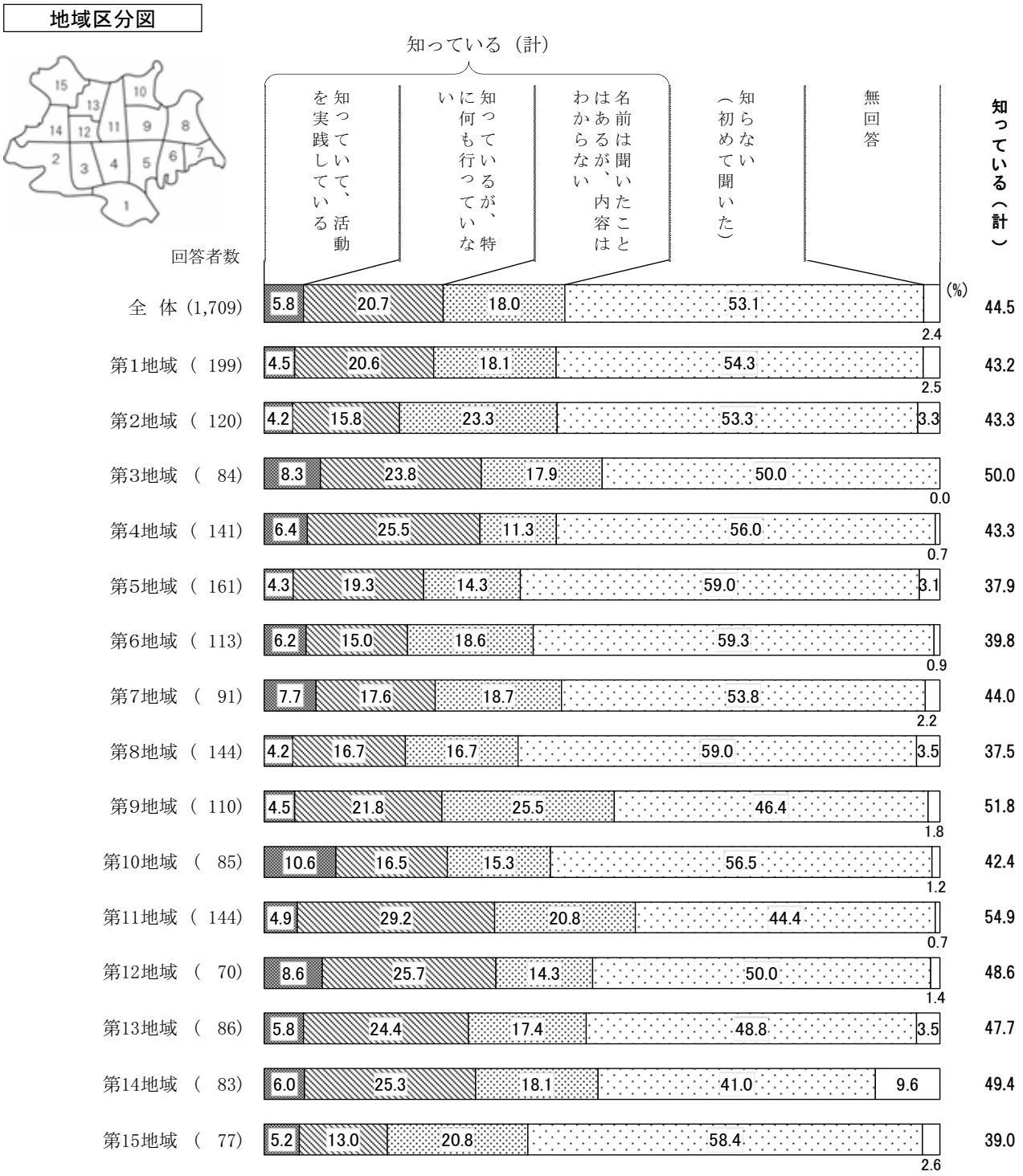


「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知っていて、活動を実践している」は5.8％で、これに「知っているが、特に何も行っていない」（20.7％）と「名前は聞いたことはあるが、内容はわからない」（18.0％）を合わせた【知っている】は44.5％となっている。一方で、「知らない（初めて聞いた）」は５割台半ば近くとなっている。

前回の令和２年調査との比較では、各認知レベルの回答割合に大きな違いはみられない。

地域別でみると、【知っている】は、第11地域で54.9％と最も高く、第９地域（51.8％）と第３地域（50.0％）でも５割台と高くなっている。一方、第８地域（37.5％）と第５地域（37.9％）で３割台半ばと低くなっている。

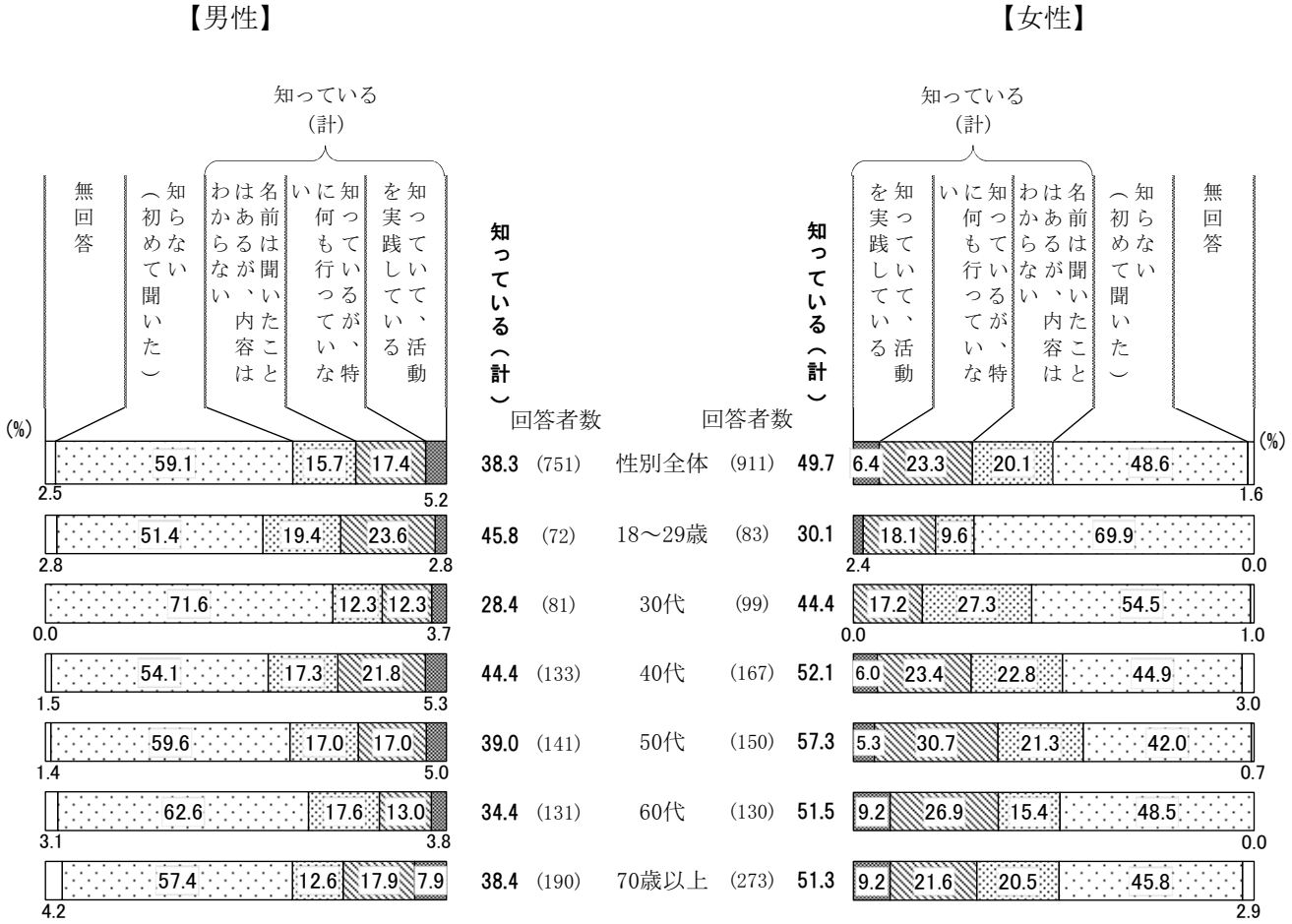
図７－１－２　地域別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



性別でみると、【知っている】は女性（49.7%）の方が男性（38.3%）より11.4ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【知っている】は女性の40代以上で５割台と高く、特に50代で57.3%と最も高くなっている。一方、男性の30代で28.4%と最も低くなっている。

図７－１－３　性別、性・年代別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

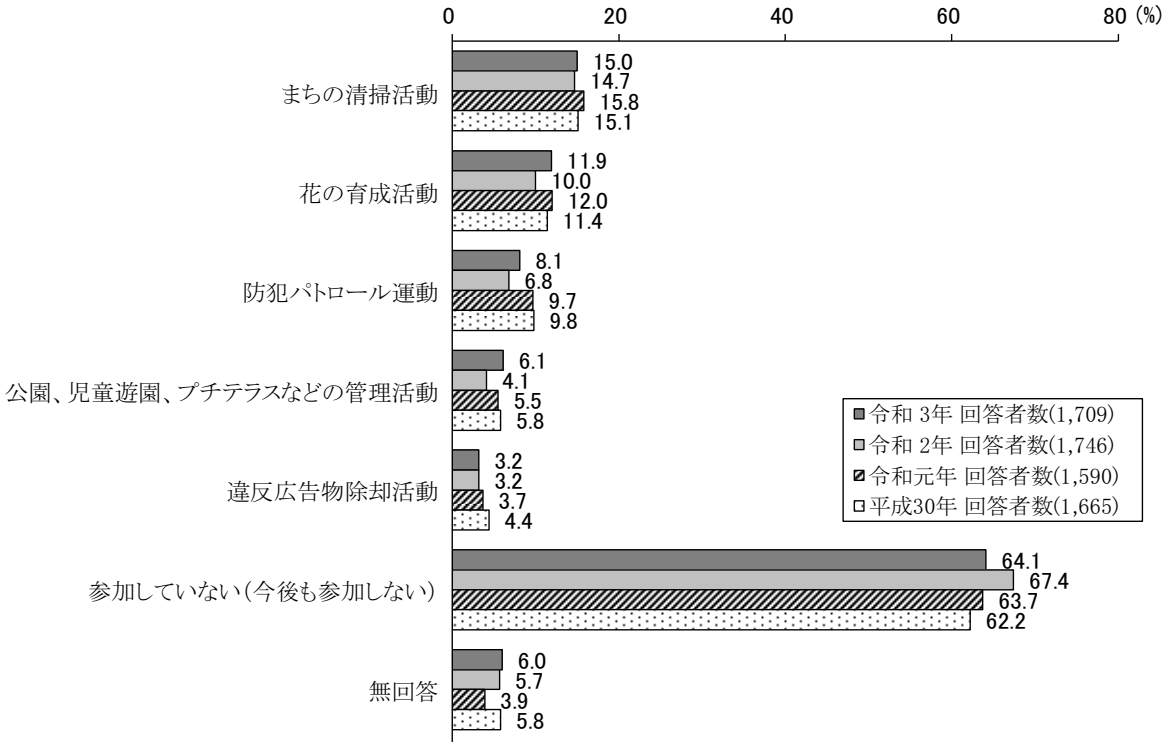


（２）参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

■「まちの清掃活動」が１割台半ばで最多も、「参加していない(今後も参加しない)」が６割台半ば

問33　「ビューティフル・ウィンドウズ運動」に関連する取り組みのうち、あなたが現在参加している、もしくは今後参加したいものは何ですか（○はあてはまるものすべて）。

図７－２－１　経年比較／
参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



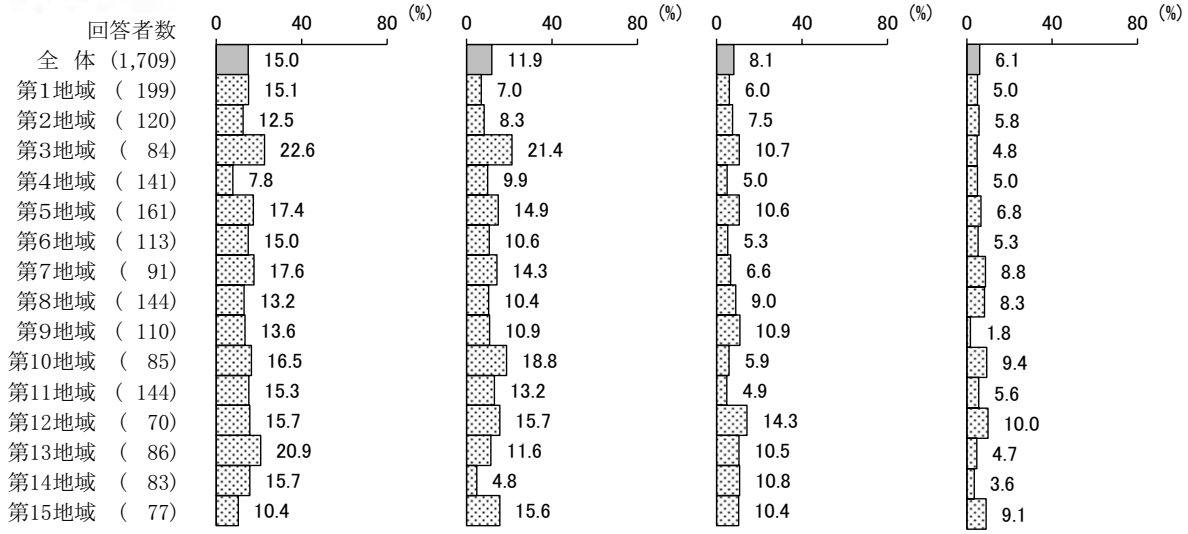
「ビューティフル・ウィンドウズ運動」に関する取り組みのうち、現在参加している、もしくは今後参加したい取り組みを聴いたところ、「まちの清掃活動」が15.0％で最も高く、次いで「花の育成活動」（11.9％）、「防犯パトロール運動」（8.1％）、「公園、児童遊園、プチテラスなどの管理活動」（6.1％）などとなっている。一方、「参加していない（今後も参加しない)」は64.1％となっている。

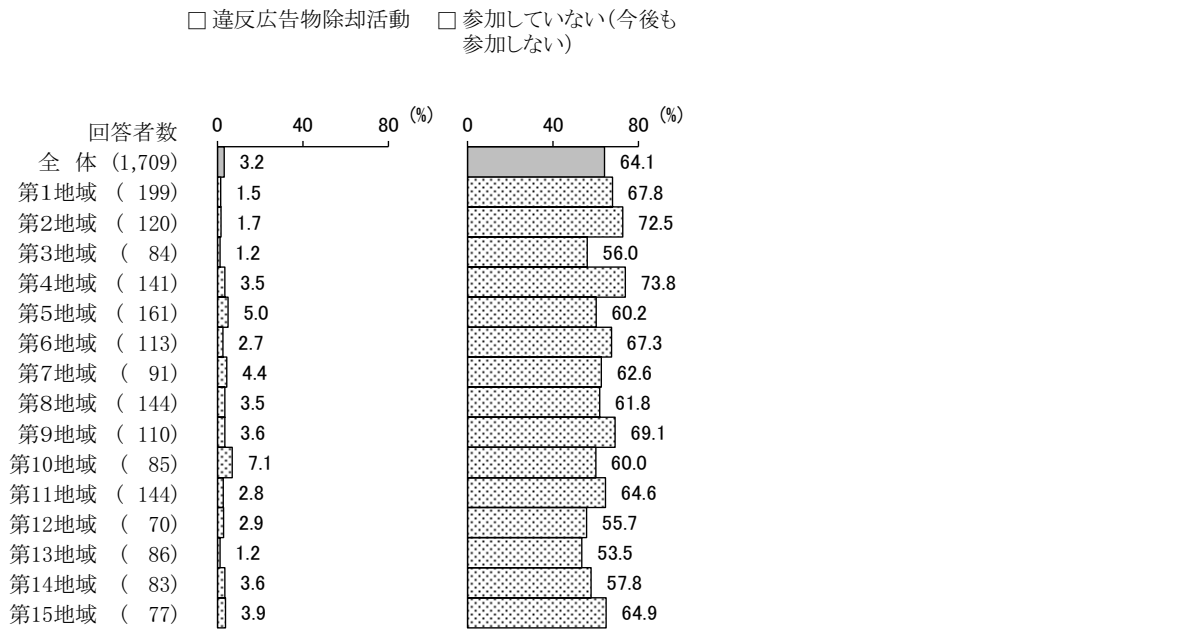
前回の令和２年調査と比較すると、「参加していない（今後も参加しない)」は3.3ポイント減少したが、具体的な活動の回答割合では特に大きな違いはみられない。

地域別でみると、「まちの清掃活動」と「花の育成活動」はともに第３地域（22.6％・21.4％）で２割強と最も高くなっている。「防犯パトロール運動」は第12地域で１割台半ばと最も高くなっている。また、「参加していない（今後も参加しない)）は、第４地域で７割台半ば近くと最も高く、次いで第２地域で７割強となっている。一方で、第13地域で５割台半ば近くと最も低くなっている。

図７－２－２　地域別／
参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

地域区分図

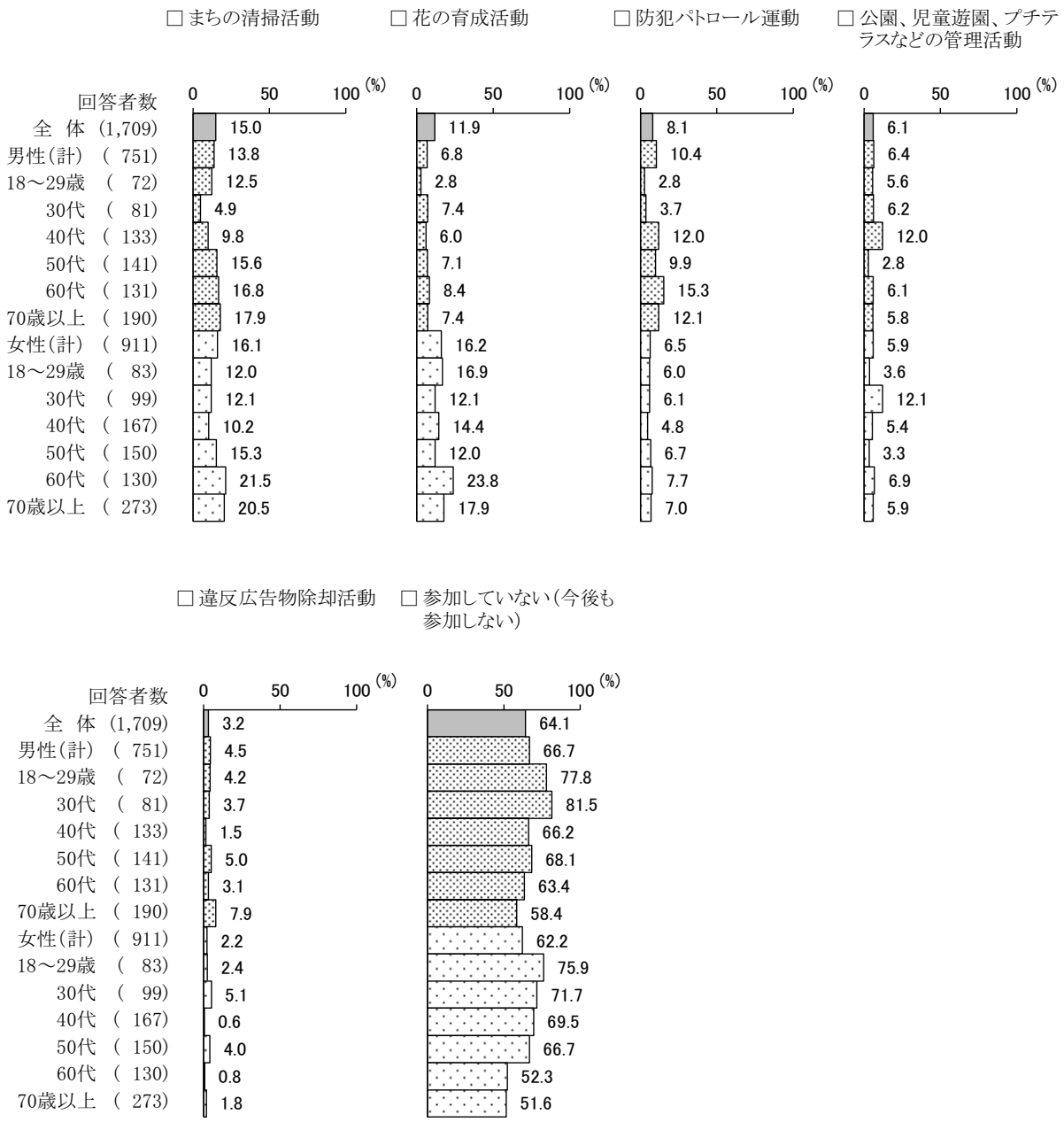




性別でみると、「防犯パトロール運動」は男性（10.4%）の方が女性（6.5%）より3.9ポイント高く、「参加していない（今後も参加しない)」でも男性（66.7%）の方が女性（62.2%）より4.5ポイント高くなっている。逆に「花の育成活動」は女性（16.2%）の方が男性（6.8%）より9.4ポイント高くなっている。

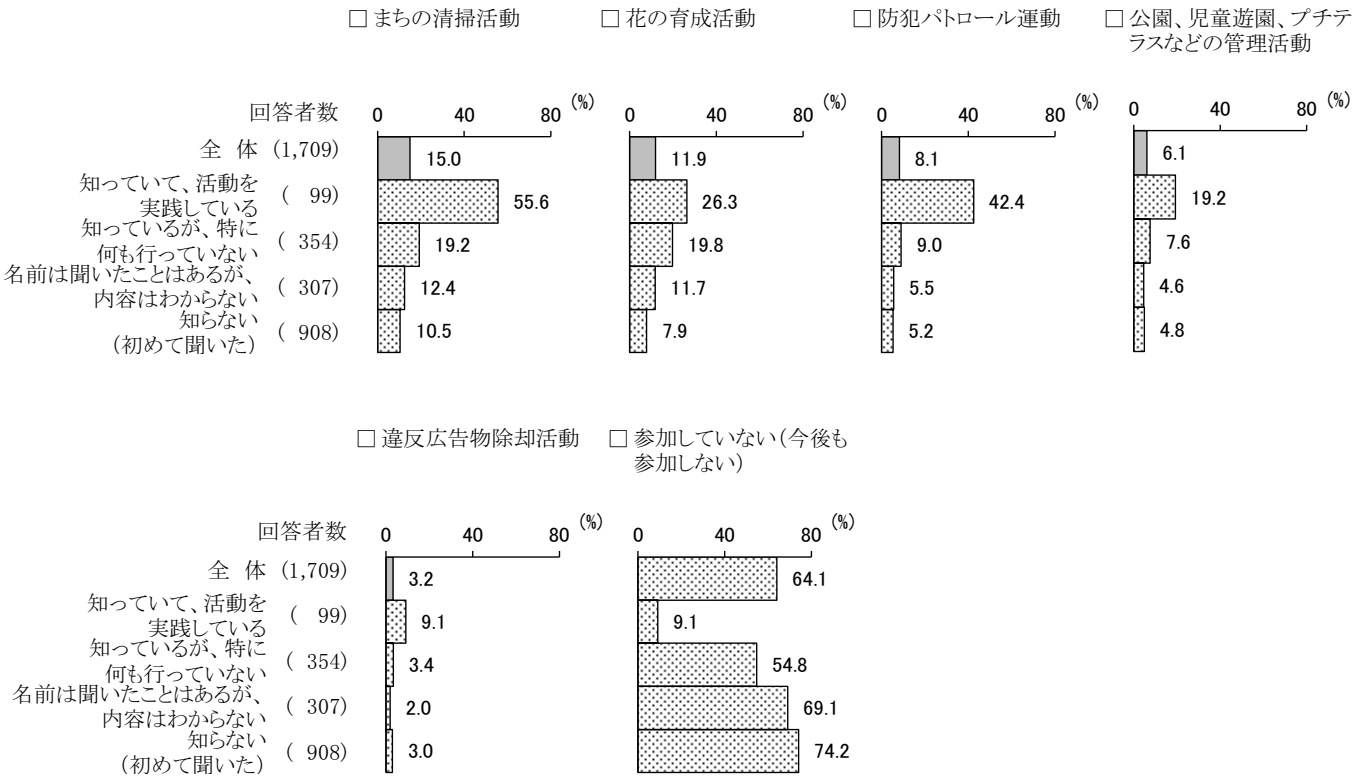
性・年代別でみると、「まちの清掃活動」は女性の60代以上で２割台と高く、「花の育成活動」でも女性の60代が２割台半ば近くで最も高くなっている。一方、「参加していない（今後も参加しない)」は、年代が下がるほどおおむね割合が高くなっており、男性の30代で81.5%と最も高く、女性の70歳以上で51.6%と最も低くなっている。

図７－２－３　性別、性・年代別／
参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別にみると、認知・実践レベルが高いほど、それぞれの取り組みに対する参加率、参加意向が高くなる傾向がみられ、その傾向は〈知っていて、活動を実践している〉層でとくに顕著で、「まちの清掃活動」（55.6％）で40.6ポイント、「防犯パトロール運動」（42.4％）で34.3ポイント、「花の育成活動」（26.3％）で14.4ポイント、それぞれ全体に比べて高くなっている。

図７－２－４　「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



（３）『花のビュー坊プレート』『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況

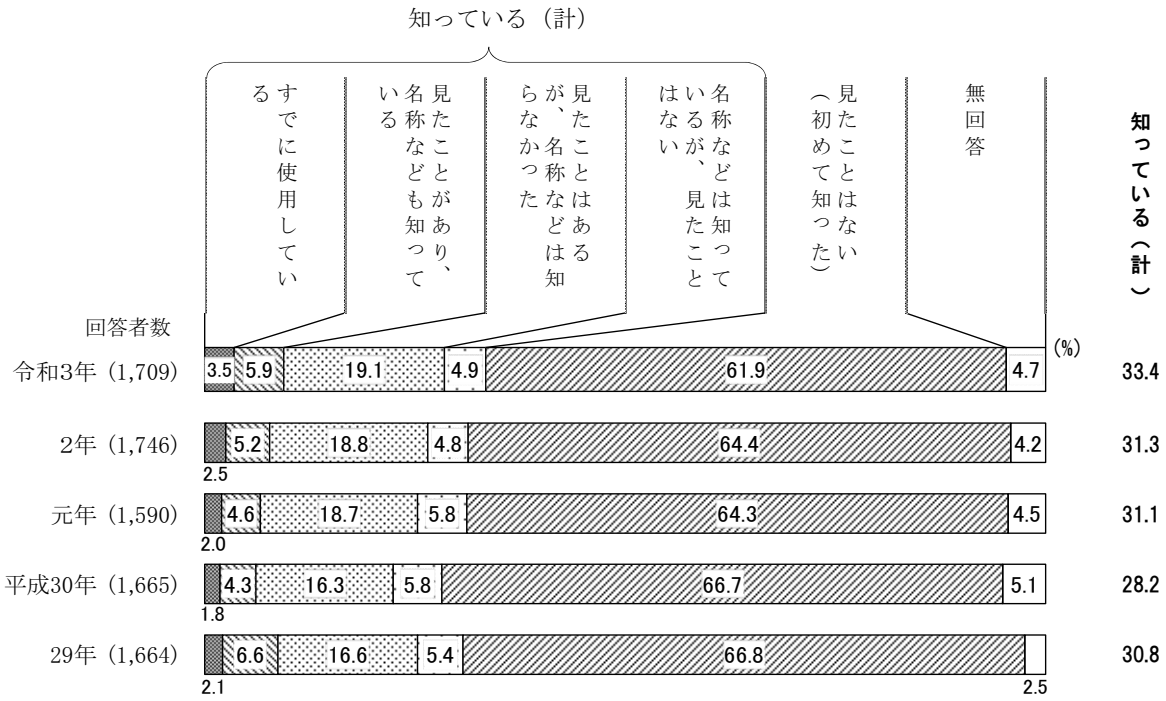
■「見たことはない（初めて知った）」が６割強と変わらず最高

問34　あなたの行動範囲で、「花のあるまちかど事業（※）」の『花のビュー坊プレート』や『ビュー坊のガーデンピック』を見たことがありますか（○はそれぞれ１つずつ）。

※「花のあるまちかど事業」とは、玄関先や店先で鉢植えやプランターを飾ったり、公園や公共施設などの花壇で花を育てることにより、まちを彩ることと、花の手入れを行う際の人の目で犯罪を抑止しようとする事業です。植木鉢などに『花のビュー坊プレート』や『ビュー坊のガーデンピック』をさして、事業をアピールしています。

『花のビュー坊プレート』

図７－３－１－①　経年比較／『花のビュー坊プレート』の認知状況

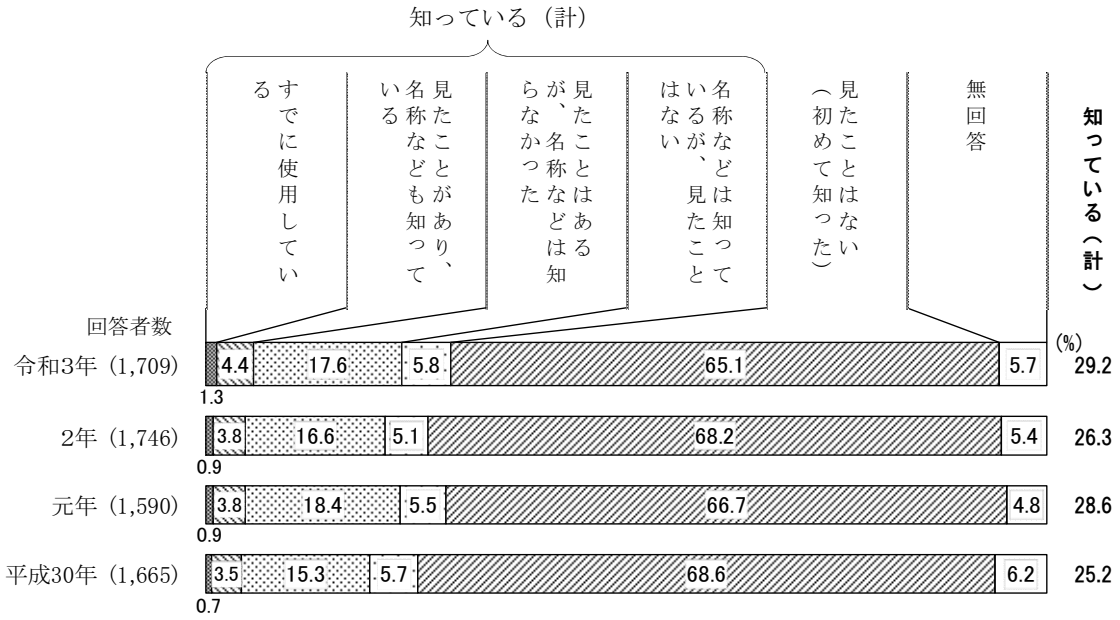


『花のビュー坊プレート』を「すでに使用している」は3.5％で、これに「見たことがあり、名称なども知っている」（5.9％）、「見たことはあるが、名称などは知らなかった」（19.1％）、「名称などは知っているが、見たことはない」（4.9％）を合わせた【知っている】は33.4％となっている。一方、「見たことはない（初めて知った）」は61.9％となっている。

経年でみると、【知っている】は前回調査（31.3％）から2.1ポイントの微増となっている。

『ビュー坊のガーデンピック』

図７－３－１－②　経年比較／『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況



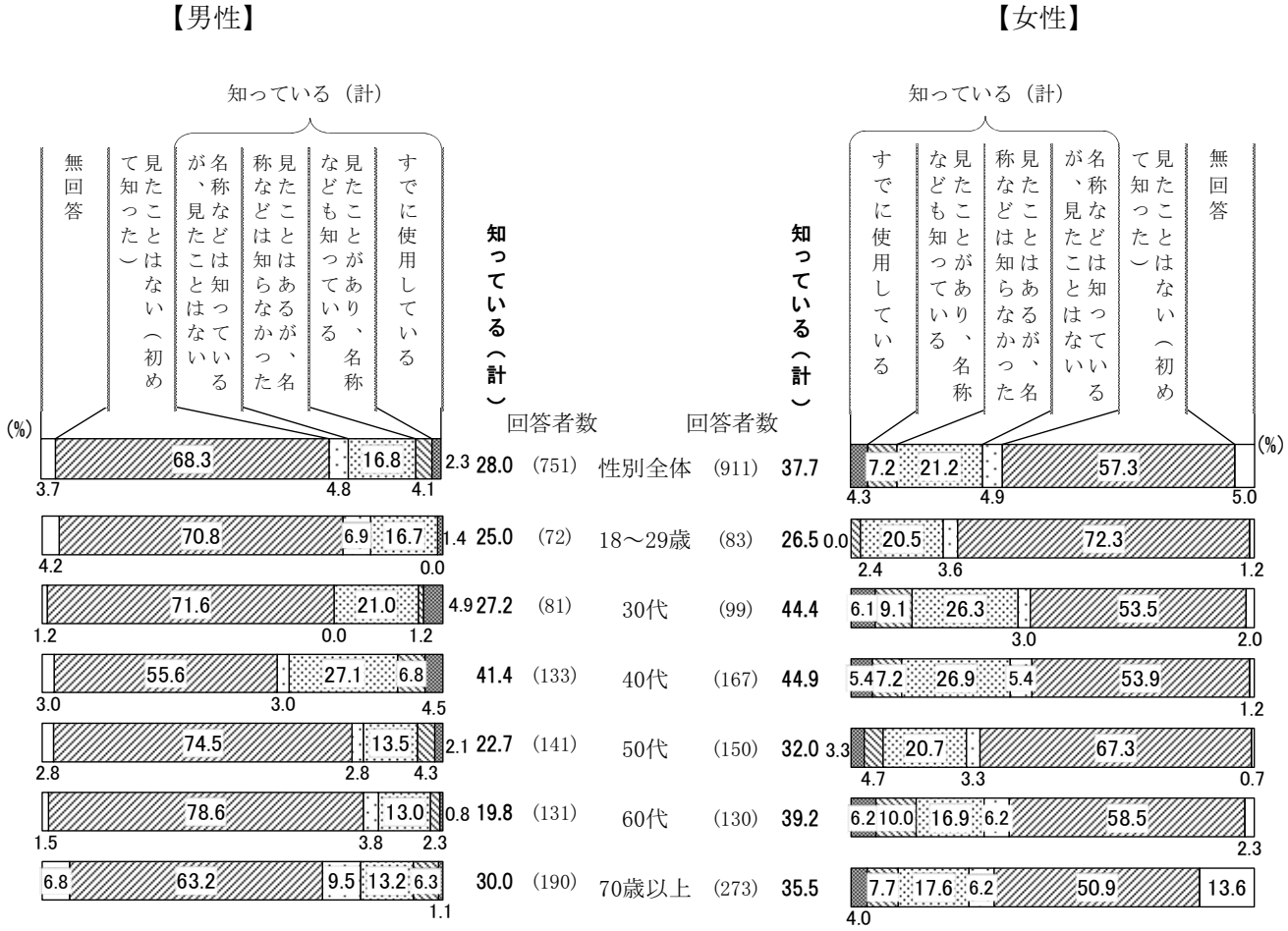
『ビュー坊のガーデンピック』を「すでに使用している」は1.3%で、これに「見たことがあり、名称なども知っている」（4.4%）、「見たことはあるが、名称などは知らなかった」（17.6%）、「名称などは知っているが、見たことはない」（5.8%）を合わせた【知っている】は29.2%となっている。一方、「見たことはない（初めて知った）」は65.1%となっている。

経年でみると、【知っている】は前回調査（26.3%）から2.9ポイントの微増となっており、「見たことはない（初めて知った）」が前回調査（68.2%）から3.1ポイント減少している。

『花のビュー坊プレート』の認知状況を性別でみると、【知っている】は女性（37.7%）の方が男性（28.0%）より9.7ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【知っている】は、女性の40代で44.9%と最も高く、次いで、女性の30代（44.4%）、男性の40代（41.4%）で４割台となっている。一方、男性の60代で19.8%と最も低くなっている。

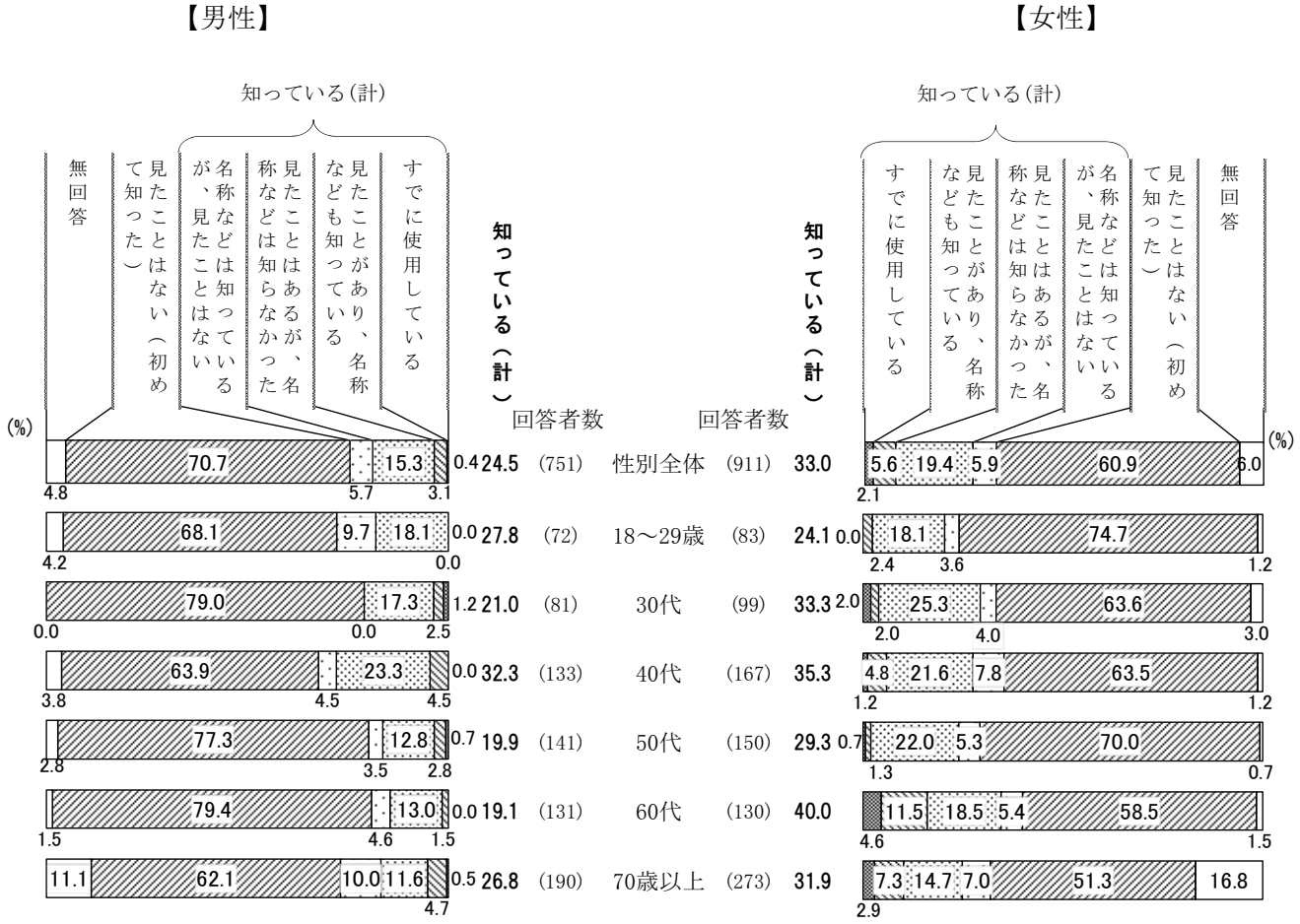
図７－３－２－①　性別、性・年代別／『花のビュー坊プレート』の認知状況



『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況を性別でみると、【知っている】は女性（33.0%）の方が男性（24.5%）より8.5ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【知っている】は、女性の60代で40.0%と最も高く、次いで女性の40代（35.3%）となっている。一方、男性の50代と60代でそれぞれ約２割と最も低くなっている。

図７－３－２－②　性別、性・年代別／『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況



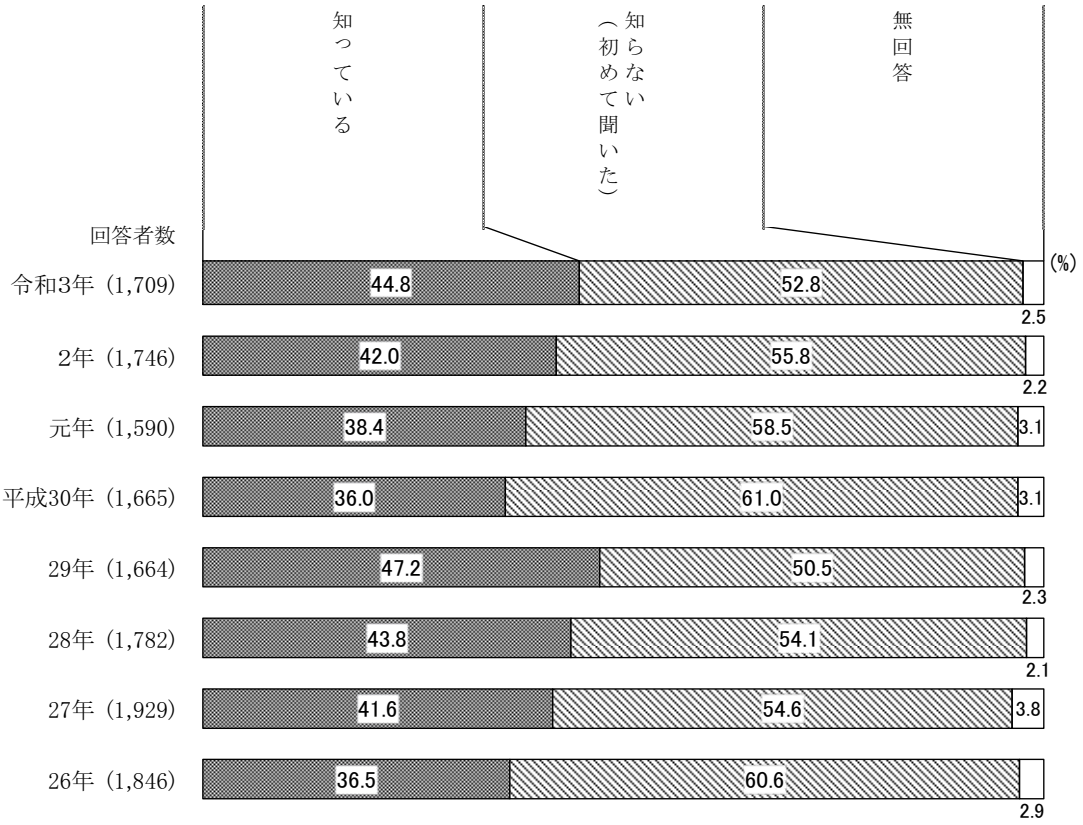
（４）治安が改善していることの認知

■「知っている」が４割台半ば、「知らない（初めて聞いた)」が５割強

問35　あなたは、足立区内の刑法犯認知件数（※）が、ピークであった平成13年と比較して１万件以上、減少していることを知っていますか（○は１つだけ)。

※　警察が犯罪について、被害の届出などによりその発生を確認した件数。ただし、交通違反などを除きます。

図７－４－１　経年比較／治安が改善していることの認知



※　平成29年度までの設問文は、「あなたは、平成○年の足立区内の刑法犯認知件数（※）が減少し、治安が改善していることを知っていますか。
（※）は質問文に続き「警察が犯罪について、被害の届出などによりその発生を確認した件数。ただし、交通違反などを除きます。」の説明文あり。

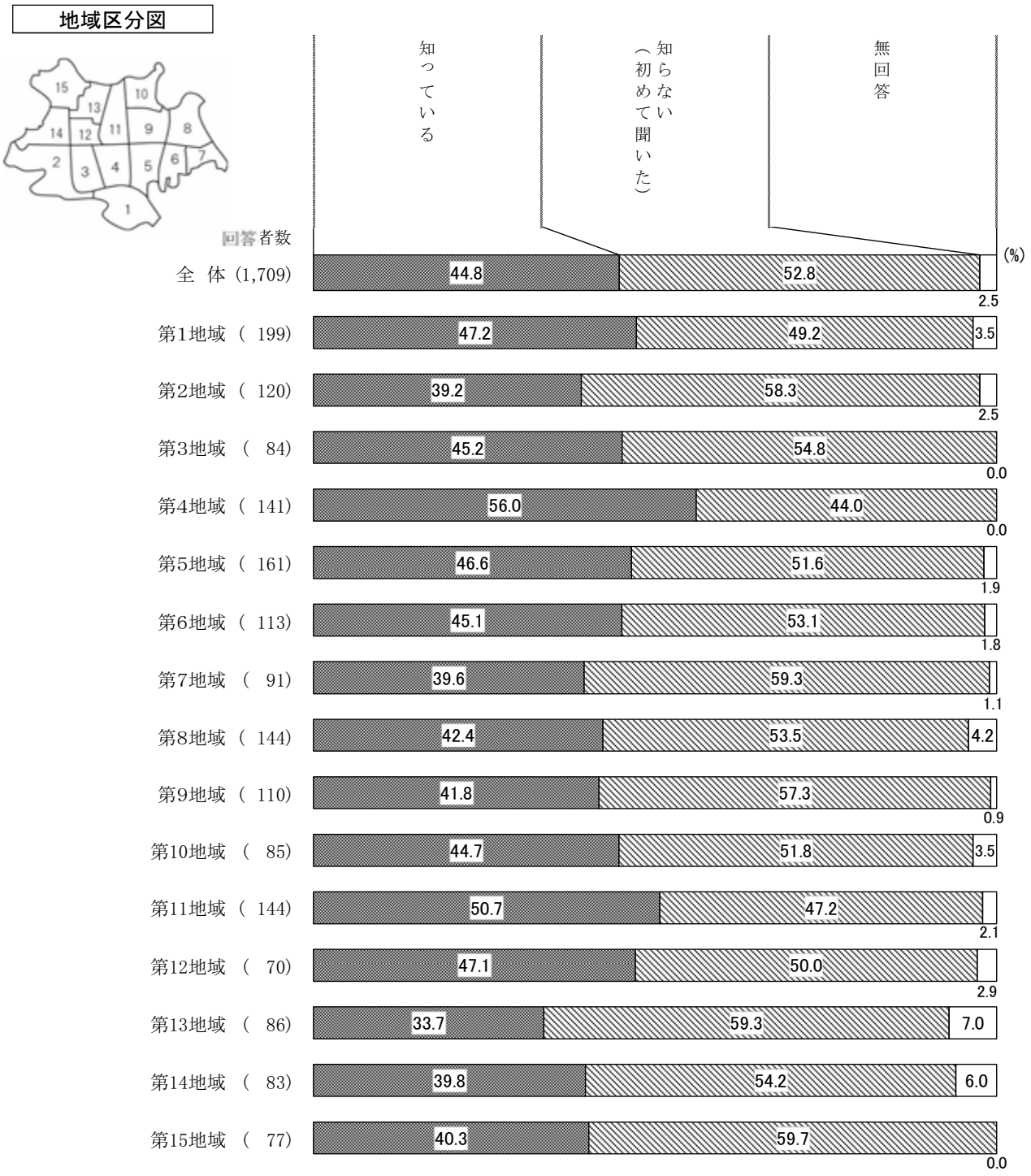
※　平成30年度と令和元年度の設問文は、「あなたは、足立区内の刑法犯認知件数（※）がピーク時から1万件以上、減少していることをご存知ですか。」で聴取。なお、(※)の説明文は今年度と同じで変更なし。

足立区内の刑法犯認知件数がピークであった平成13年と比較して１万件以上減少していることについて、「知っている」は44.8％で、「知らない（初めて聞いた)」は52.8％となっている。

経年でみると、「知っている」は設問文が大きく変わった平成30年以降は増加を続けており、前回調査（42.0％）からも2.8ポイント増加している。

地域別でみると、「知っている」は第４地域で56.0％と最も高く、次いで第11地域（50.7％）となっている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は第２地域、第７地域、第９地域、第13地域、第15地域の５地域で約６割と高くなっている。

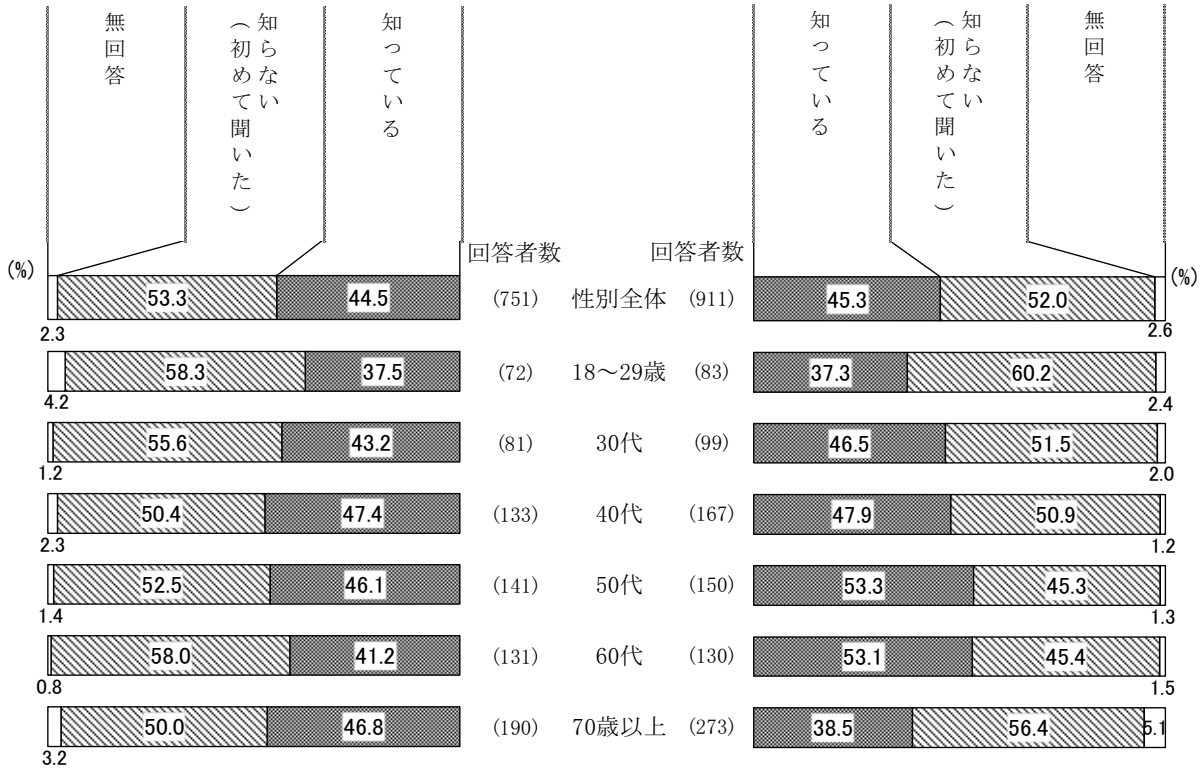
図７－４－２　地域別／治安が改善していることの認知



性別では、認知割合に特に大きな違いはみられない。

性・年代別でみると、「知っている」は、女性の50代（53.3％）と60代（53.1％）で５割台半ばと高くなっている。一方、男女とも18～29歳で３割台半ばと低くなっている。

図７－４－３　性別、性・年代別／治安が改善していることの認知



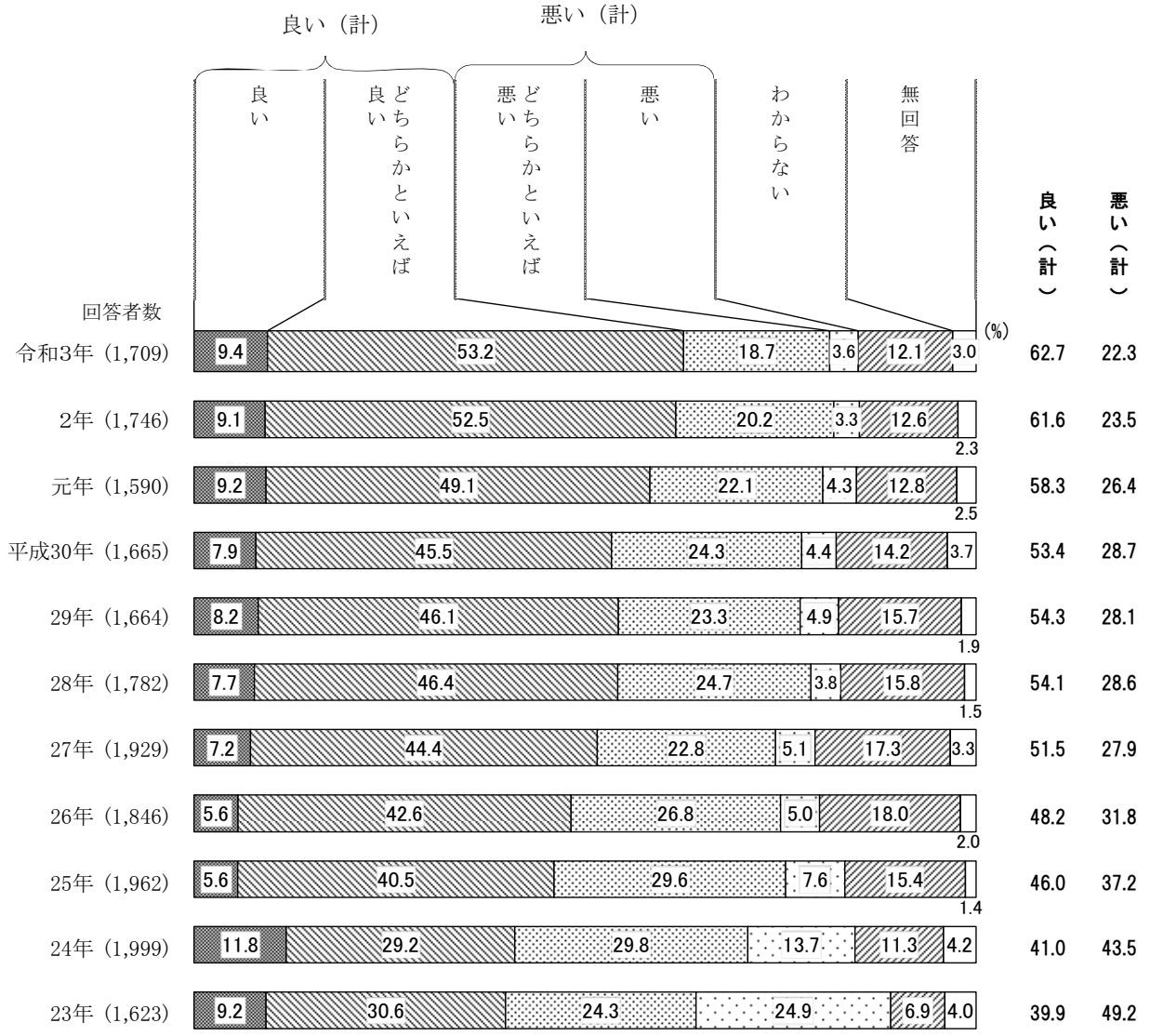
（５）居住地域の治安状況

■【良い】は６割強で、平成23年調査以降は漸増が続く

問36　あなたは、お住まいの地域の治安（※）について、どのように感じていますか
（○は１つだけ）。

※　犯罪が少なく、世の中の秩序が保たれている状態のことです。

図７－５－１　経年比較／居住地域の治安状況



住んでいる地域の治安について、「良い」が9.4％で、これに「どちらかといえば良い」（53.2％）を合わせた【良い】は６割強となっている。一方、「どちらかといえば悪い」（18.7％）と「悪い」（3.6％）を合わせた【悪い】は２割強となっている。

経年でみると、【良い】は、前回の令和２年調査の比較では大きな違いはないものの、平成23年調査の39.9％から漸増しており、この10年間で22.8ポイント増加している。

地域別でみると、【良い】は第７地域で73.6％と最も高く、僅差で第１地域（73.4％）が続いている。一方、【悪い】は第11地域で31.9％と最も高く、僅差で第９地域（31.8％）となっている。

図７－５－２　地域別／居住地域の治安状況

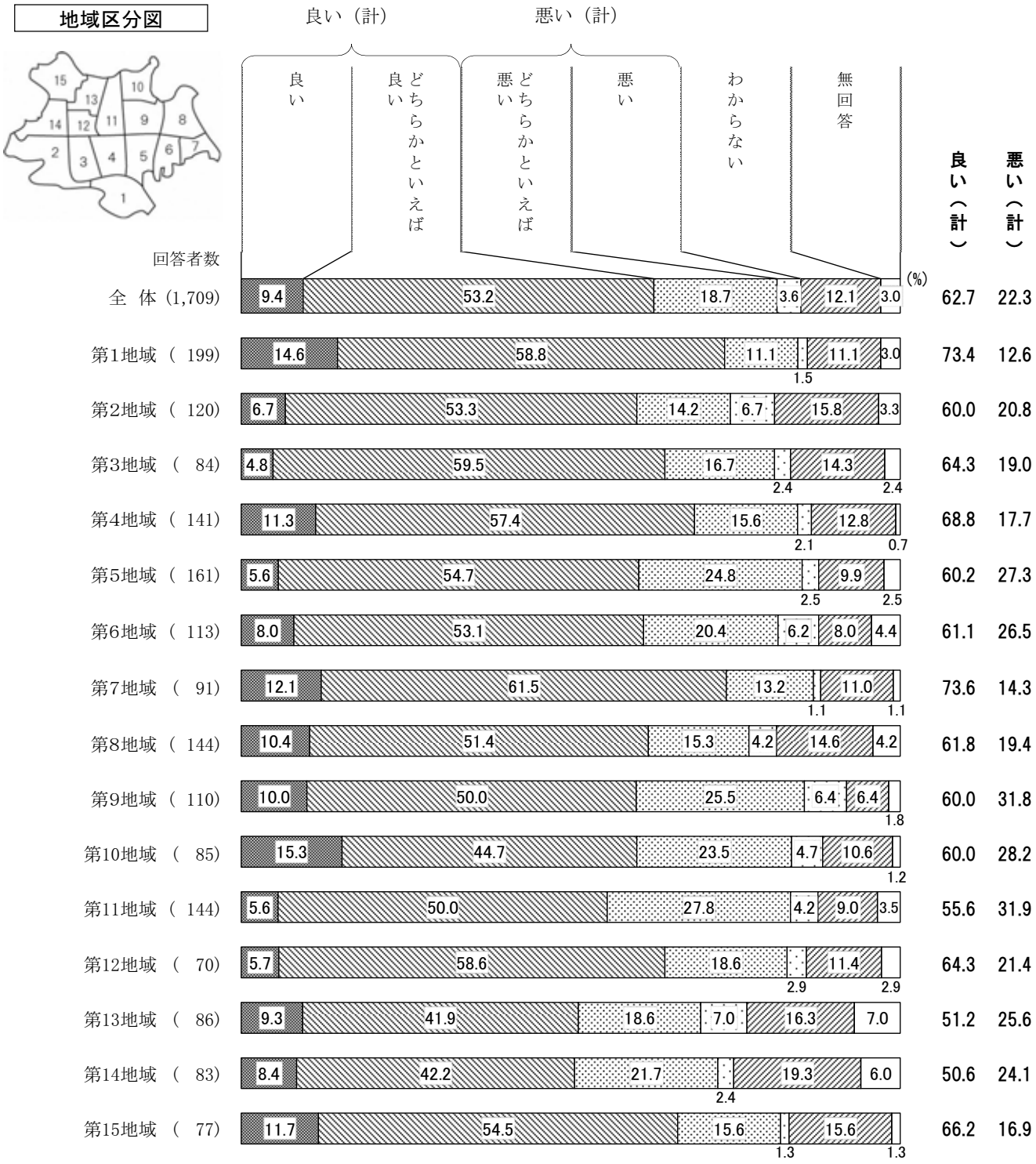
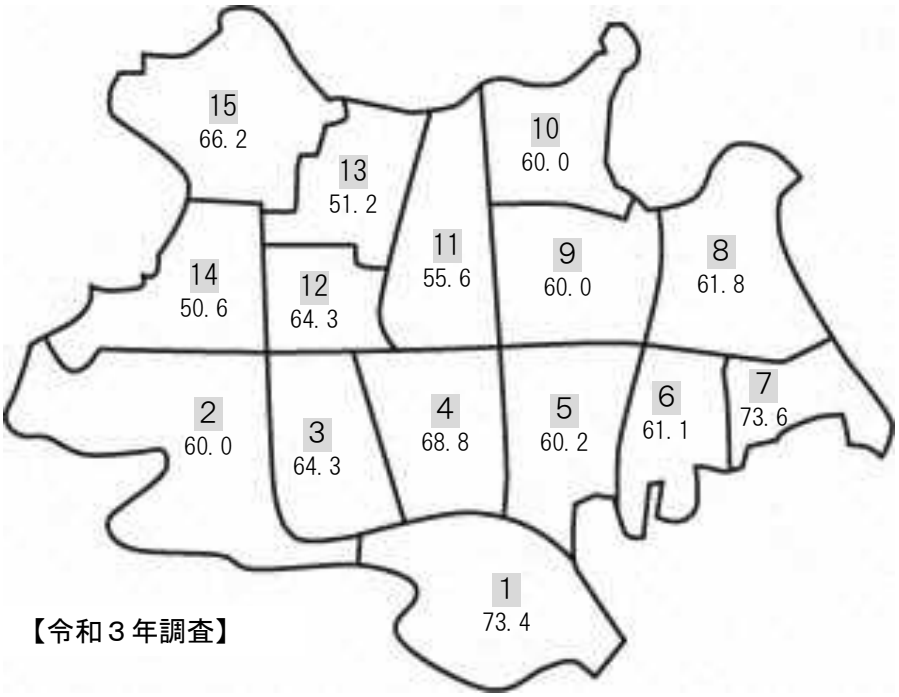


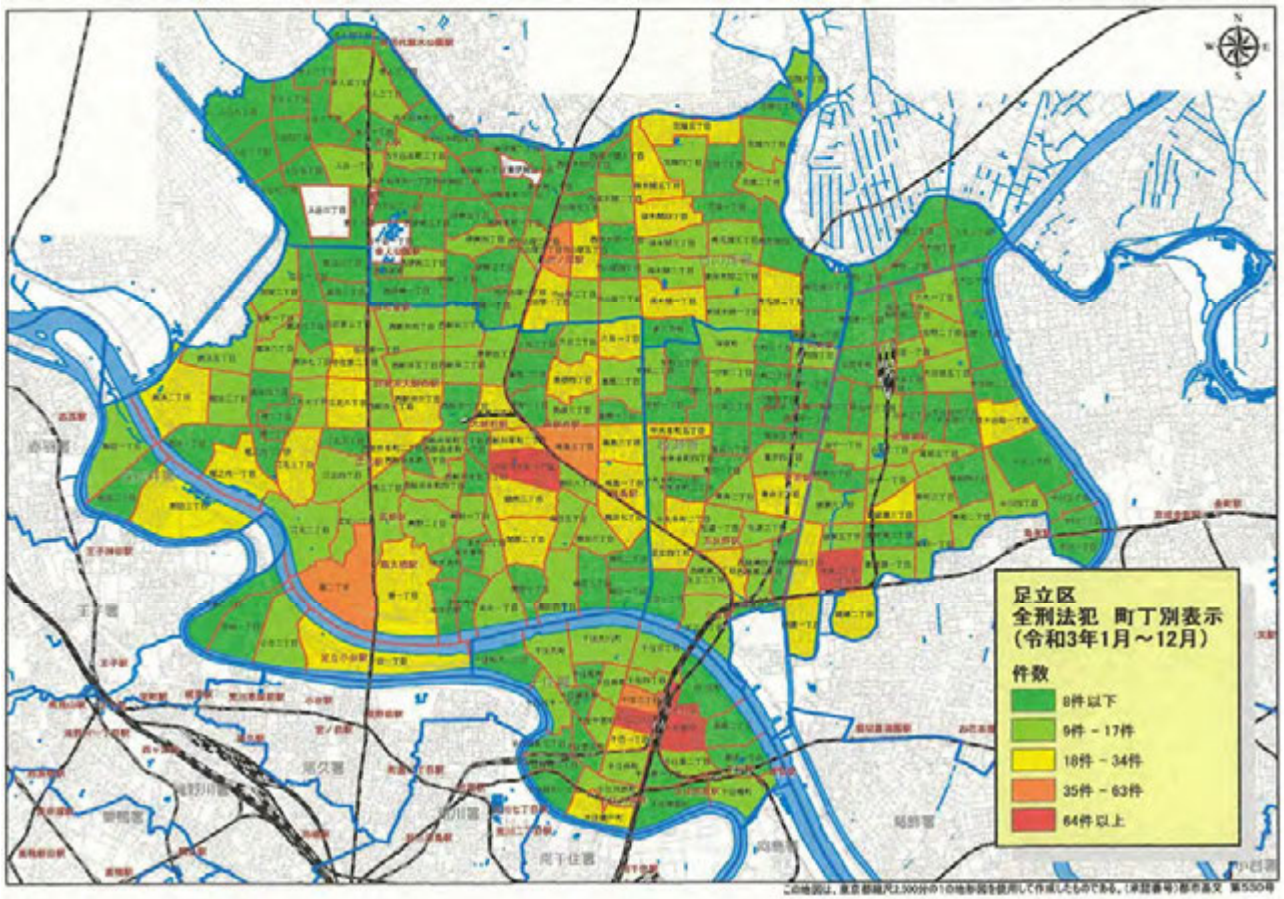
図７－５－３　地域区分図／居住地域の治安状況

（上段：地域番号、下段：治安が【良い】と答えた回答者の割合%）



【令和３年調査】

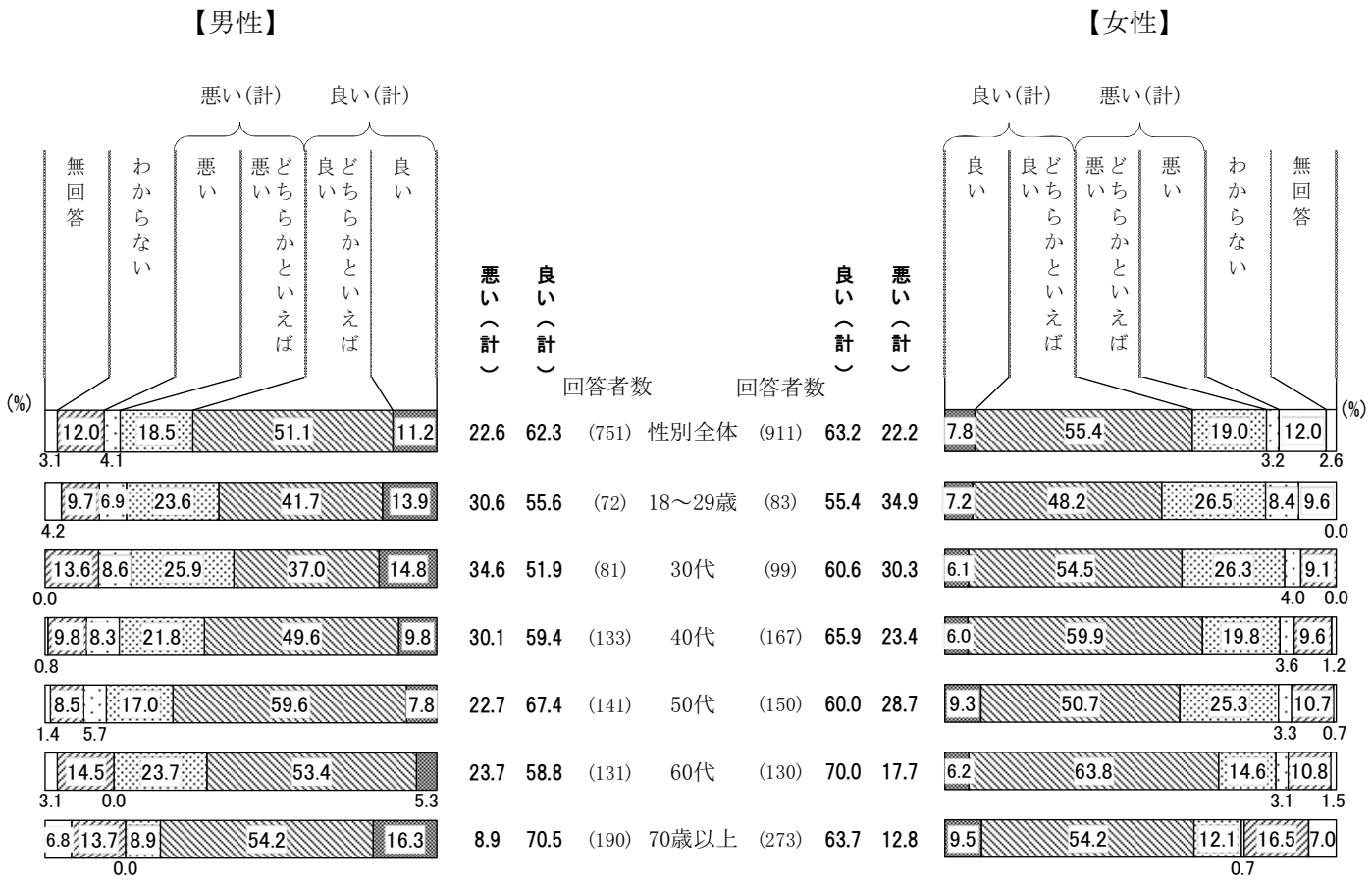
【参考資料】区内全刑法犯認知件数（令和３年１月～12月）



性別でみると、【良い】では特に違いはないが、「良い」は男性（11.2%）の方が女性（7.8%）より3.4ポイント高く、「どちらかといえば良い」は女性（55.4%）の方が男性（51.1%）より4.3ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【良い】は、男性の70歳以上で70.5%と最も高く、僅差で女性の60代も70.0%で続いている。一方、【悪い】は女性の18～29歳で34.9%と最も高く、僅差で男性の30代も34.6%で続いている。

図７－５－４　性別、性・年代別／居住地域の治安状況



（６）区内の治安が良いと感じる点

■“身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから”が４割台半ばと最も高いものの漸減傾向

問36で「１　良い」または「２　どちらかといえば良い」とお答えの方に

問36－１　どのような点で治安が良いと感じますか（○は２つまで）。

図７－６－１－①　経年比較／区内の治安が良いと感じる点

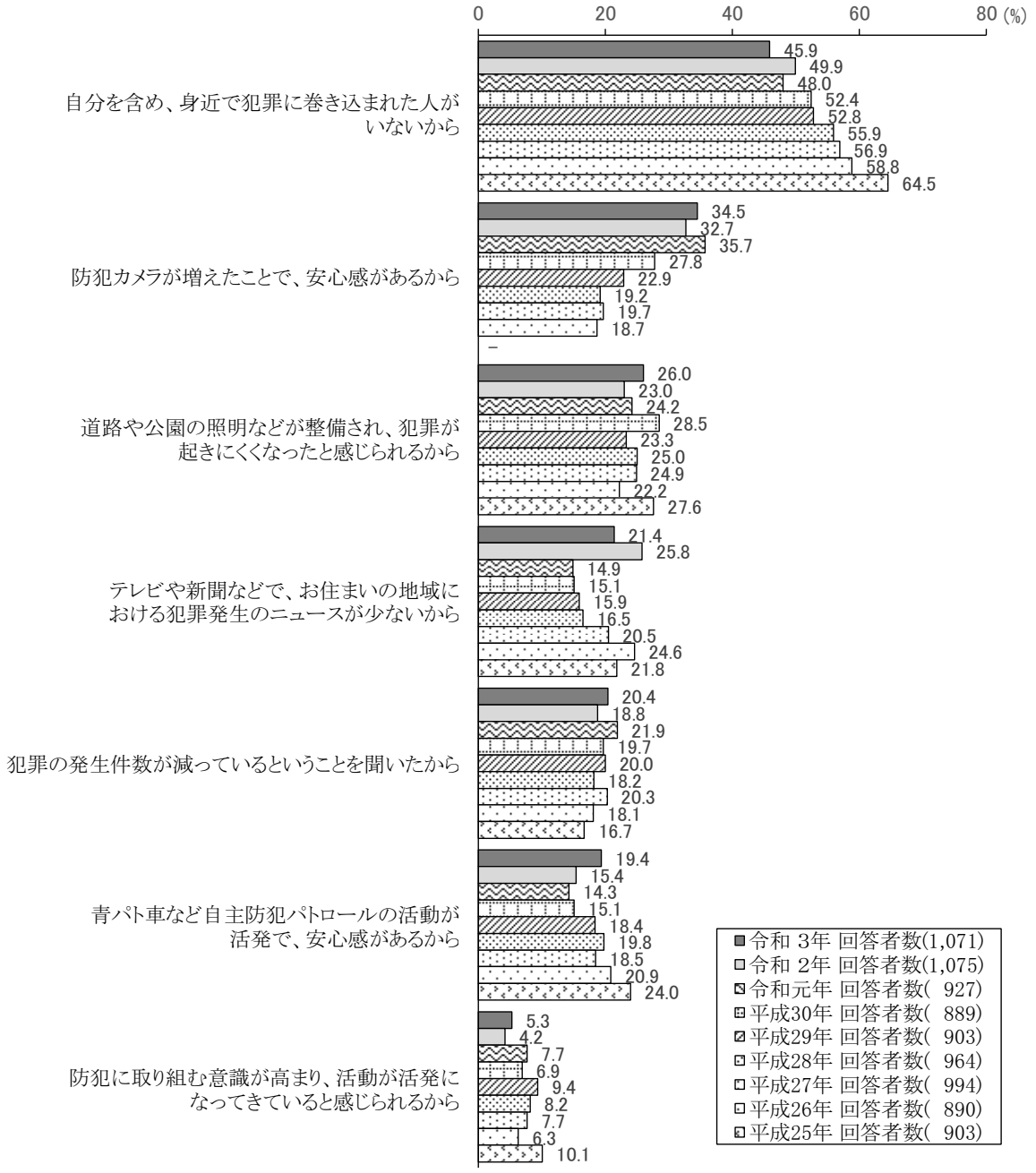
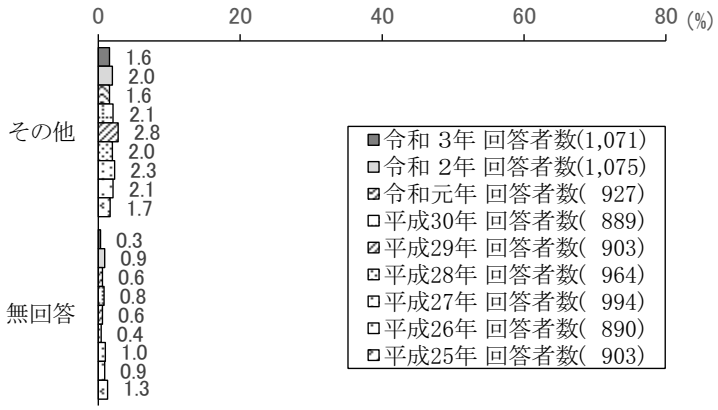


図７－６－１－②　経年比較／区内の治安が良いと感じる点



※「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は、平成26年度新設。
※「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」は、令和元年度までは「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」。
※「防犯に取り組む意識が高まり、活動が活発になってきていると感じられるから」は、令和元年度までは「犯罪に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」、平成25年度では「区全体の防犯に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」。

居住地域の治安を【良い】と評価した人に、その理由を聴くと、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」が45.9％で最も高く、以下「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」（34.5％）、「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」（26.0％）、「テレビや新聞などで、お住まいの地域における犯罪発生のニュースが少ないから」（21.4％）の順となっている。

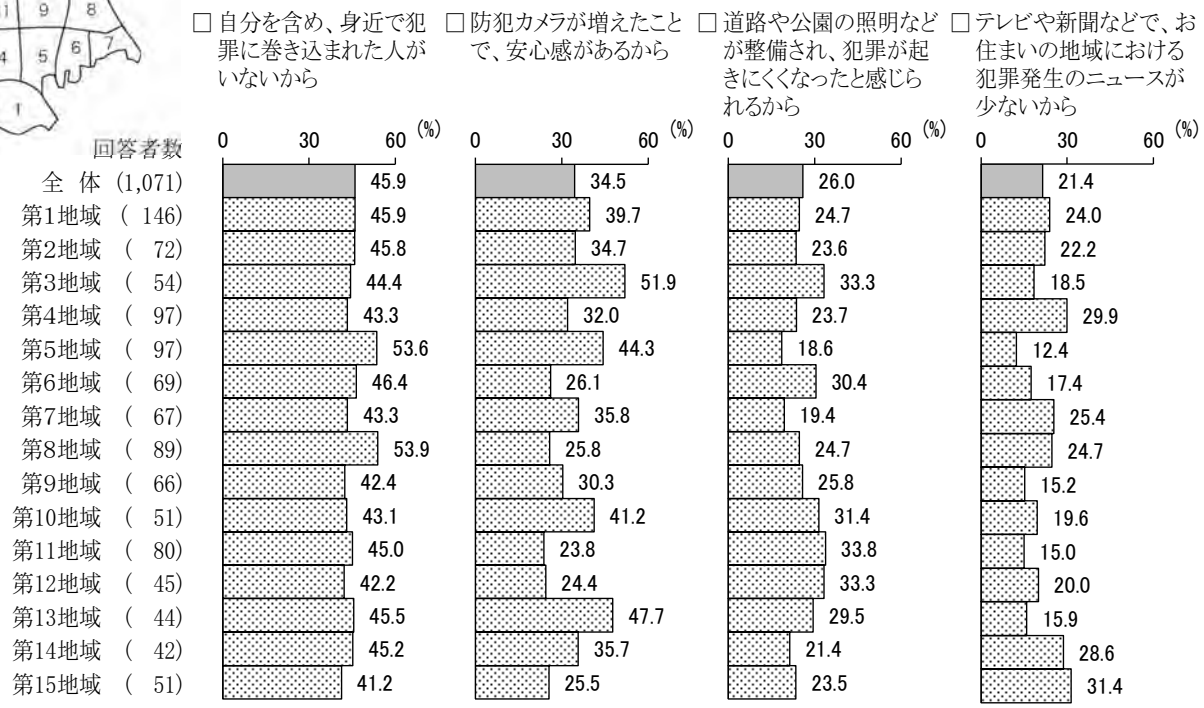
経年でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は前回調査（49.9％）から4.0ポイント減少しており、平成25年調査（64.5％）から漸減傾向が続き20ポイント近く減少している。また、「テレビや新聞などで、お住まいの地域における犯罪発生のニュースが少ないから」は前回調査に比べ4.4ポイント減少している。

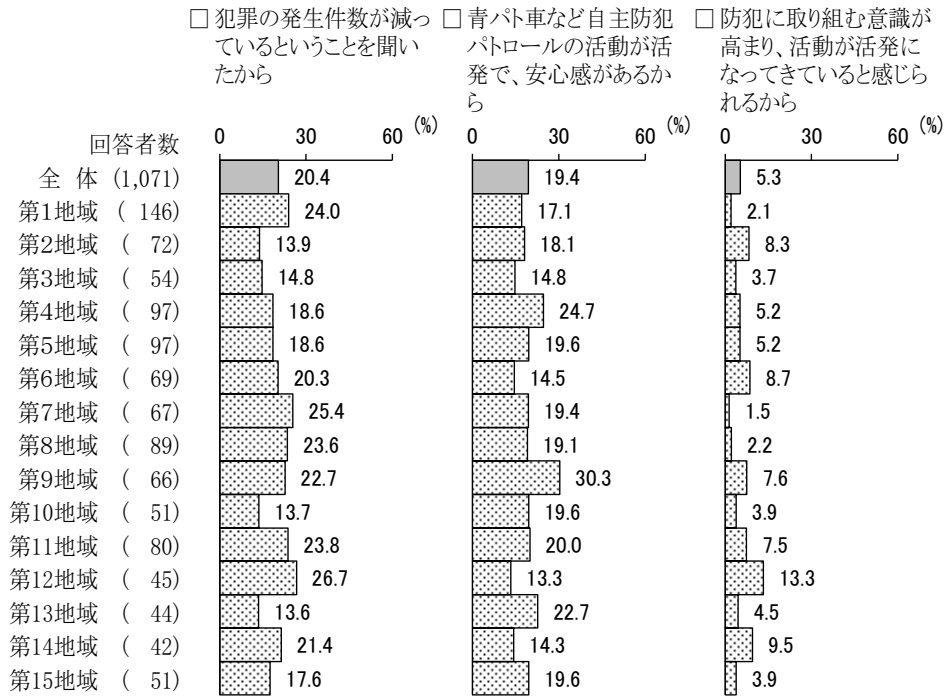
一方、「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は前回調査から微増しており、平成26年以降はおおむね増加傾向が続いている。また、「青パト車など自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから」が4.0ポイント、「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」が3.0ポイント、それぞれ前回調査に比べて増加している。

地域別でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は第５地域と第８地域で５割半ば近くと高く、第15地域で41.2％と最も低くなっている。「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は第３地域で５割を超えて最も高く、第11地域で２割台半ば近くと最も低く、地域差が大きい項目となっている。また、「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」は第11地域、第３地域、第12地域で３割台半ば近くと高くなっている。

地域区分図

図７－６－２　地域別／区内の治安が良いと感じる点





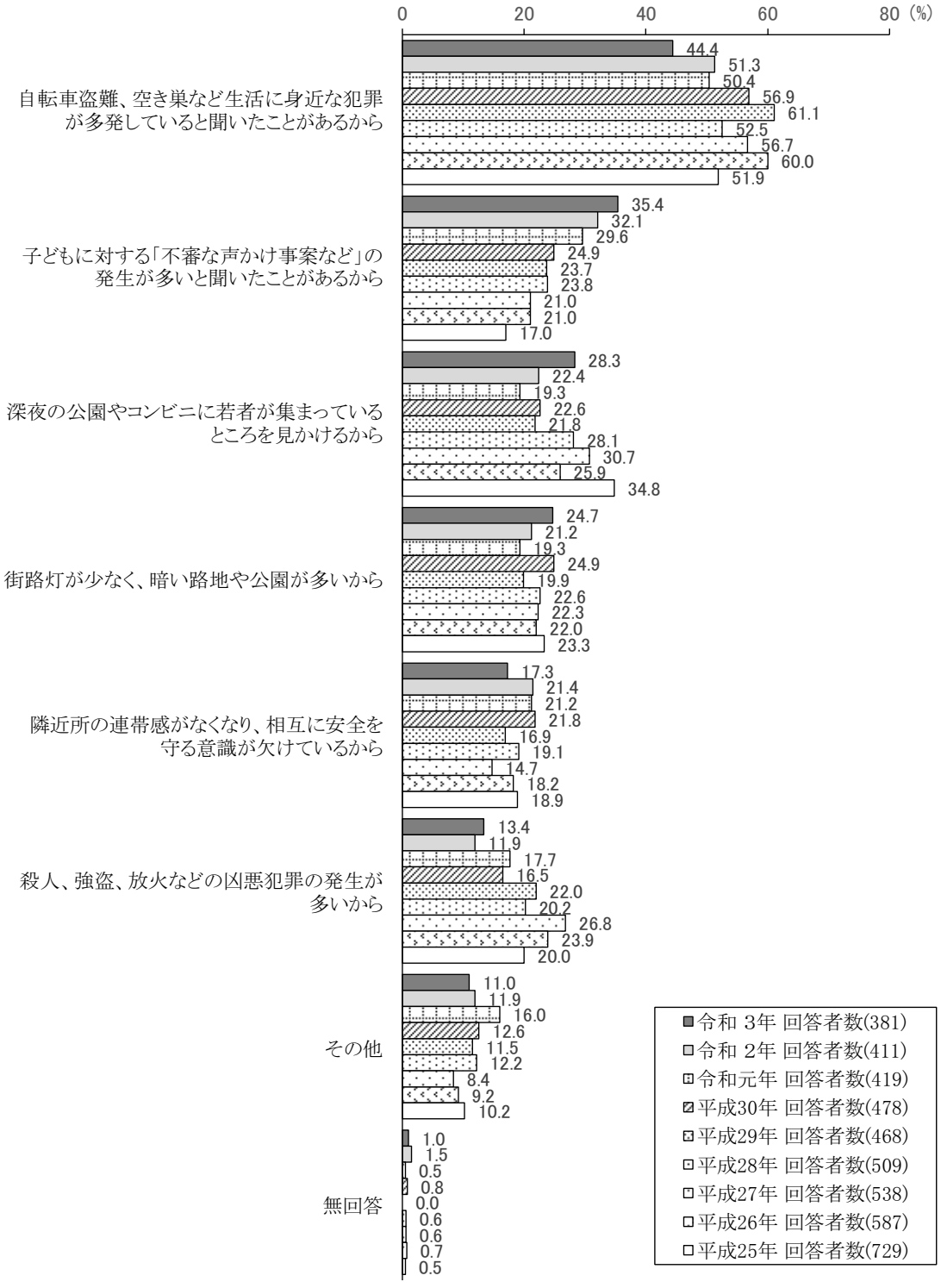
（７）区内の治安が悪いと感じる点

■“生活に身近な犯罪が多発していると聞いた”が４割台半ばで１位

問36で「３　どちらかといえば悪い」または「４　悪い」とお答えの方に

問36－２　どのような点で治安が悪いと感じますか（○は２つまで）。

図７－７－１　経年比較／区内の治安が悪いと感じる点



※「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は、25年度では「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発しているから」。
※「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は、25年度では「子どもに対する『不審な声かけ事案等』の発生が多いから」。

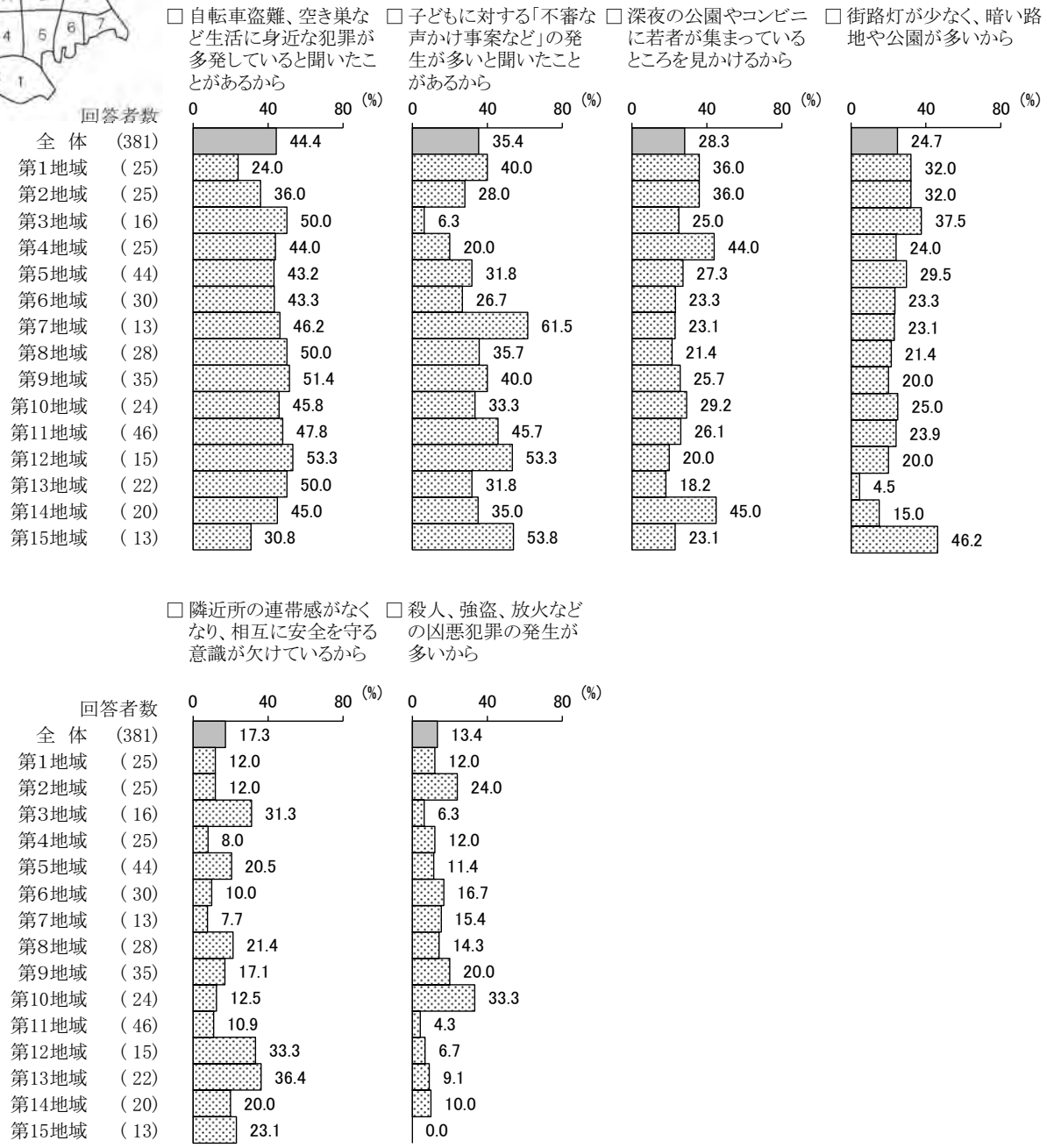
居住地域の治安が【悪い】と評価した人に、その理由を聴いたところ、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」が44.4％で最も高く、次いで、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」（35.4％）、「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」（28.3％）、街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」（24.7％）、「隣近所の連帯感がなくなり、相互に安全を守る意識が欠けているから」（17.3％）などとなっている。

経年でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は前回調査より6.9ポイント減少しており、平成29年調査から漸減傾向にある。また、「隣近所の連帯感がなくなり、相互に安全を守る意識が欠けているから」も前回調査から4.1ポイント減少している。一方、「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」は前回調査から5.9ポイント、「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」は3.5ポイント、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は3.3ポイントそれぞれ増加している。

地域別でみると、多くの地域で回答者数が少ないことから、参考値としてみる必要があるが、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は第12地域で高く、第１地域で低くなっている。また、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は第７地域で高く、第３地域で低くなっている。「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」は第14地域で高く、第13地域で低くなっている。「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」は第15地域で高く、第13地域で低くなっている。

地域区分図

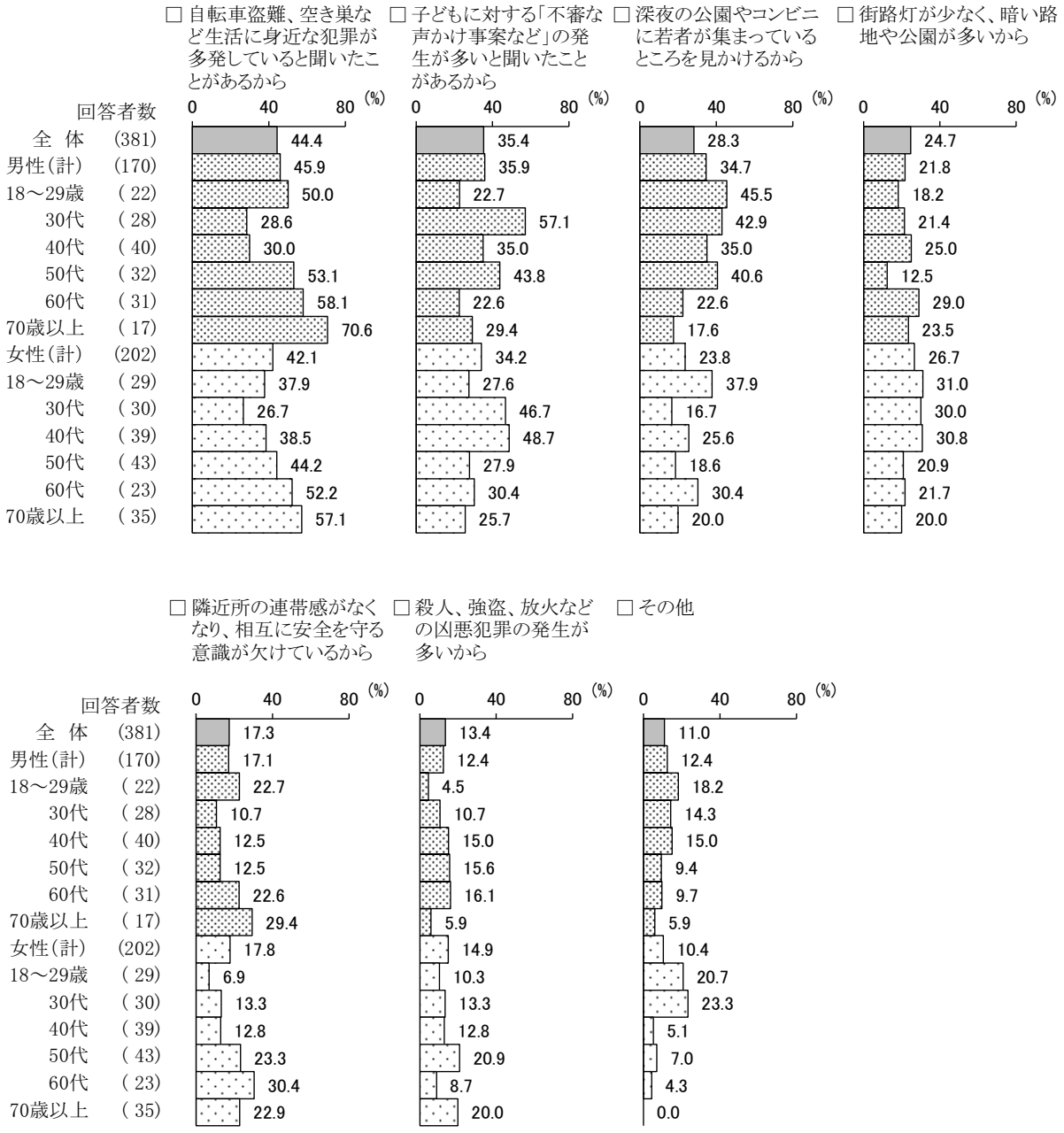
図７－７－２　地域別／区内の治安が悪いと感じる点



性別でみると、「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」は男性（34.7%）の方が女性（23.8%）より10.9ポイント高く、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」でも男性（45.9%）の方が女性（42.1%）より3.8ポイント高くなっている。一方、「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」は女性（26.7%）の方が男性（21.8%）より4.9ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、多くの性・年代層で回答者数が少ないことから、参考値としてみる必要があるが、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は男性の70歳以上で高く、女性の30代で低くなっている。「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は男性の30代で高く、男性の60代で低くなっている。「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」は男性の18～29歳で高く、女性の30代で低くなっている。

図７－７－３　性別、性・年代別／区内の治安が悪いと感じる点



（８）治安対策として区に力を入れてほしいこと

■「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」が５割強

問37　あなたが、治安対策として足立区に特に力を入れてほしいと考えていることは何ですか（○は２つまで）。

図７－８－１－①　経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと

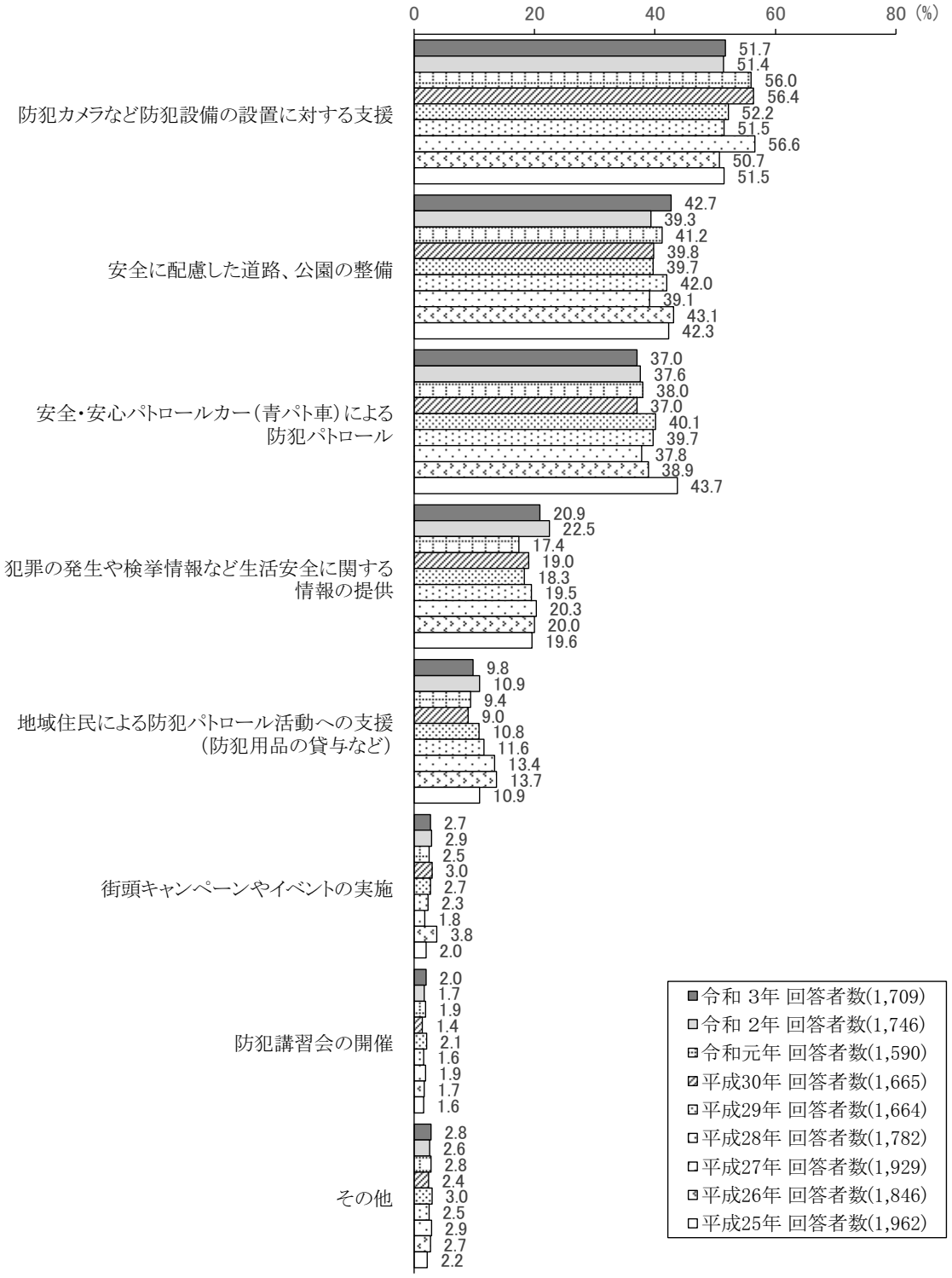
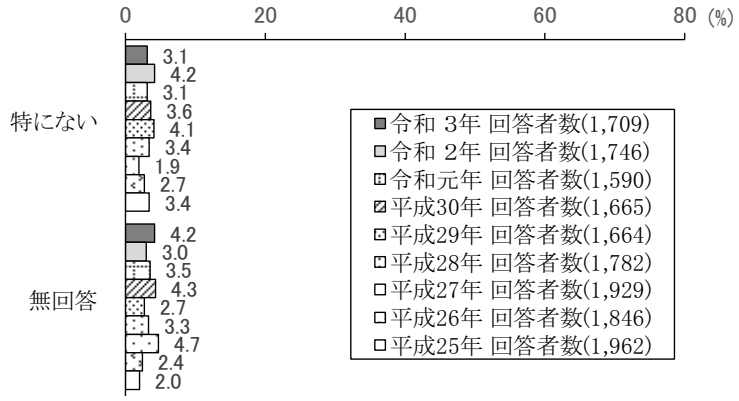


図７－８－１－②　経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと



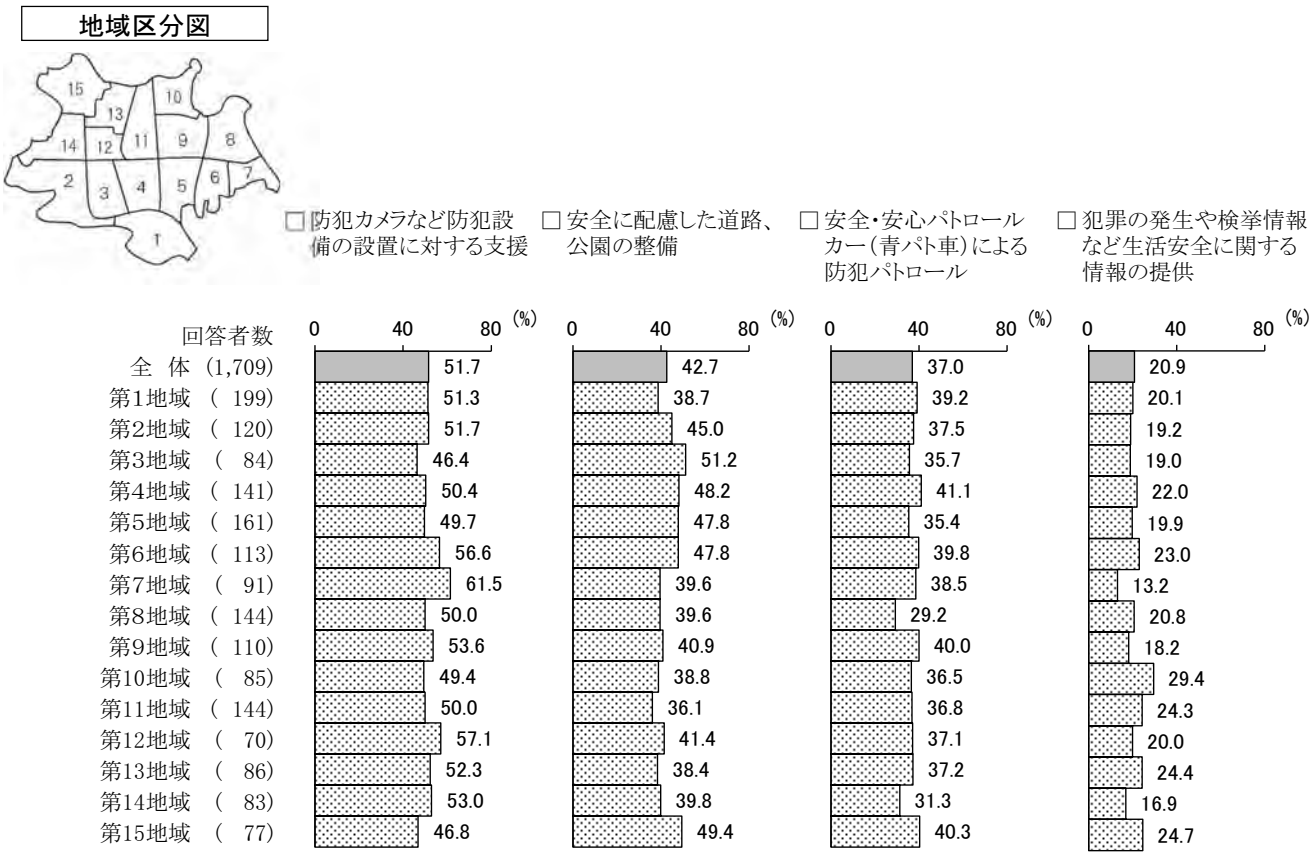
※「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は、平成28年度までは「防犯カメラなど防犯設備の設置などに対する支援」

治安対策として足立区に力を入れてほしいこととしては、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」が51.7％と最も高く、次いで、「安全に配慮した道路、公園の整備」（42.7％）、「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」（37.0％）、「犯罪の発生や検挙情報など生活安全に関する情報の提供」（20.9％）などとなっている。

経年でみると、「安全に配慮した道路、公園の整備」は前回調査（39.3％）より3.4ポイント増加しているが、他の項目では特に大きな変動はみられない。

地域別でみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は第７地域で61.5％と最も高く、第３地域（46.4％）で最も低くなっている。「安全に配慮した道路、公園の整備」は第３地域で51.2％と最も高く、第11地域（36.1％）で最も低くなっている。「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」は第４地域で41.1％と最も高く、第８地域（29.2％）で最も低くなっている。

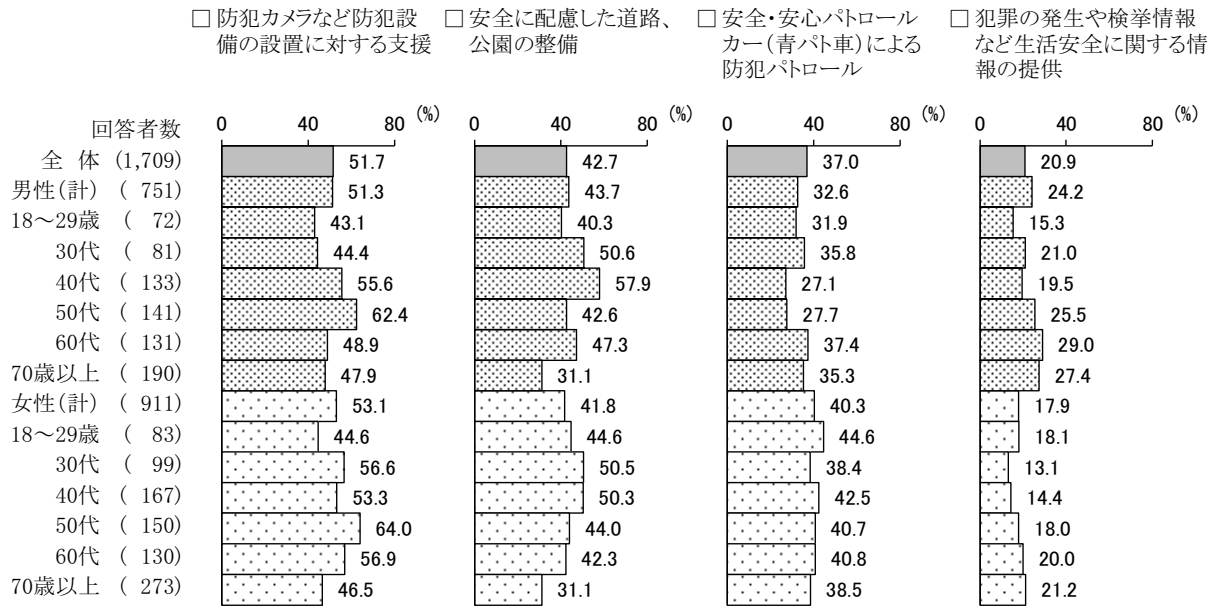
図７－８－２　地域別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位４項目



性別でみると、「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」は女性（40.3%）の方が男性（32.6%）より7.7ポイント高く、「犯罪の発生や検挙情報など生活安全に関する情報の提供」は男性（24.2%）の方が女性（17.9%）より6.3ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は女性の50代で64.0%と最も高く、男性の18～29歳（43.1%）で最も低くなっている。「安全に配慮した道路、公園の整備」は男性の40代で57.9%と最も高く、男女ともに70歳以上（各31.1%）で最も低くなっている。「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」は女性の18～29歳で44.6%と最も高く、男性の40代（27.1%）で最も低くなっている。

図７－８－３　性別、性・年代別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位４項目



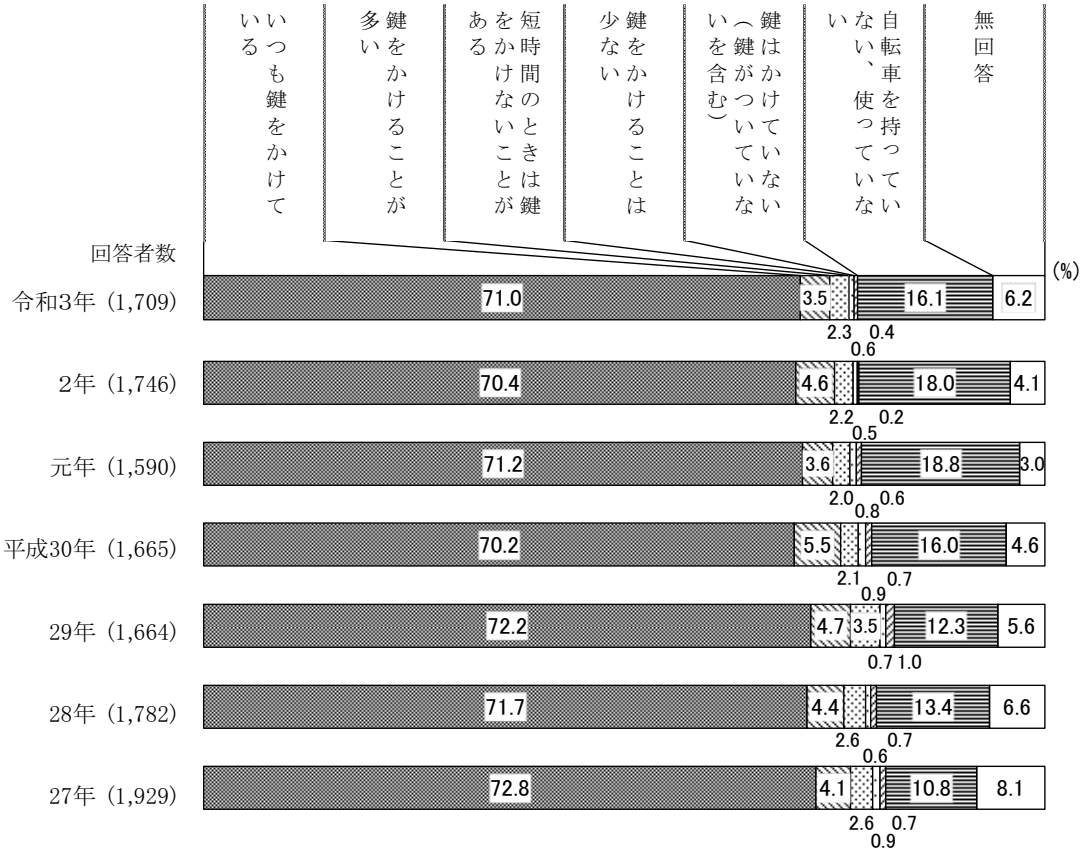
（９）駐車時の鍵かけ状況

■「いつも鍵をかけている」は、外出先が７割強、敷地内が６割強と傾向は変わらず

問38　あなたは、自転車を駐車するときには、自転車に鍵をかけていますか
（○はそれぞれ１つずつ）。

図７－９－１－①　経年比較／駐車時の鍵かけ状況

ア　外出先で駐車するとき

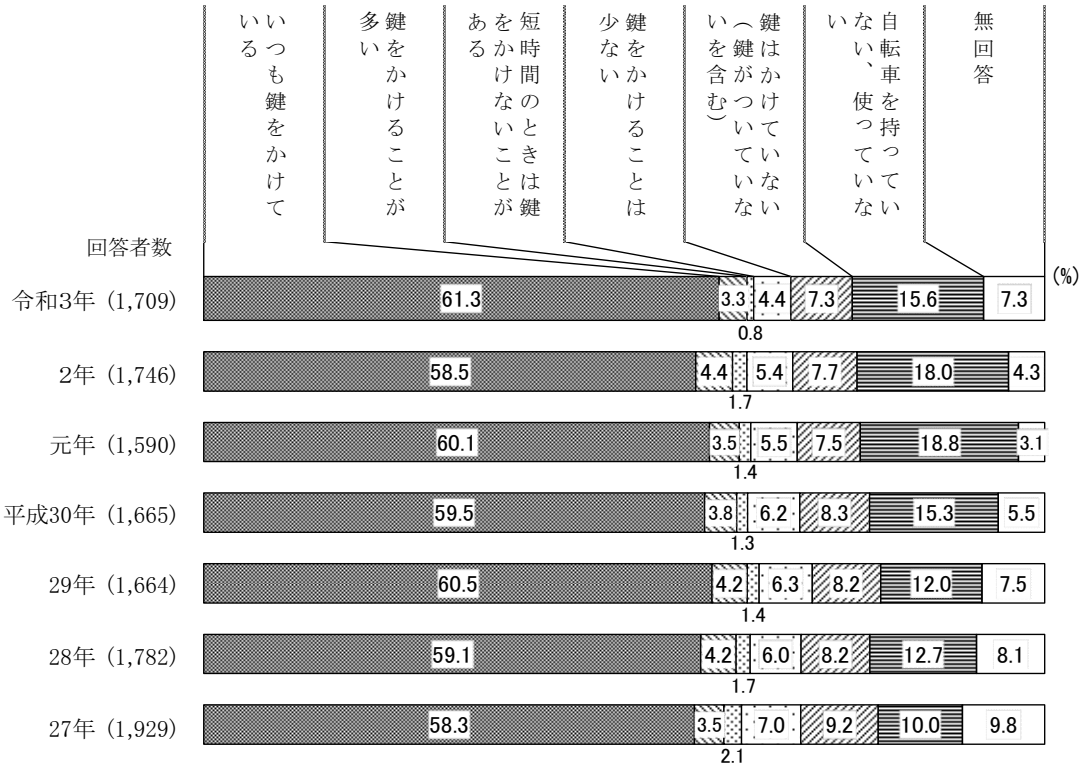


外出先で自転車を駐車するときの鍵かけ状況は、「いつも鍵をかけている」が71.0%を占め最も多く、次いで「鍵をかけることが多い」（3.5%）となっている。一方、「短時間のときは鍵をかけないことがある」は2.3%となっている。

経年でみると、平成27年以降「いつも鍵をかけている」は各年７割から７割強で推移しており、回答傾向に大きな変化はみられない。

図７－９－１－②　経年比較／駐車時の鍵かけ状況

イ　自宅・マンションなどの敷地内に駐車するとき

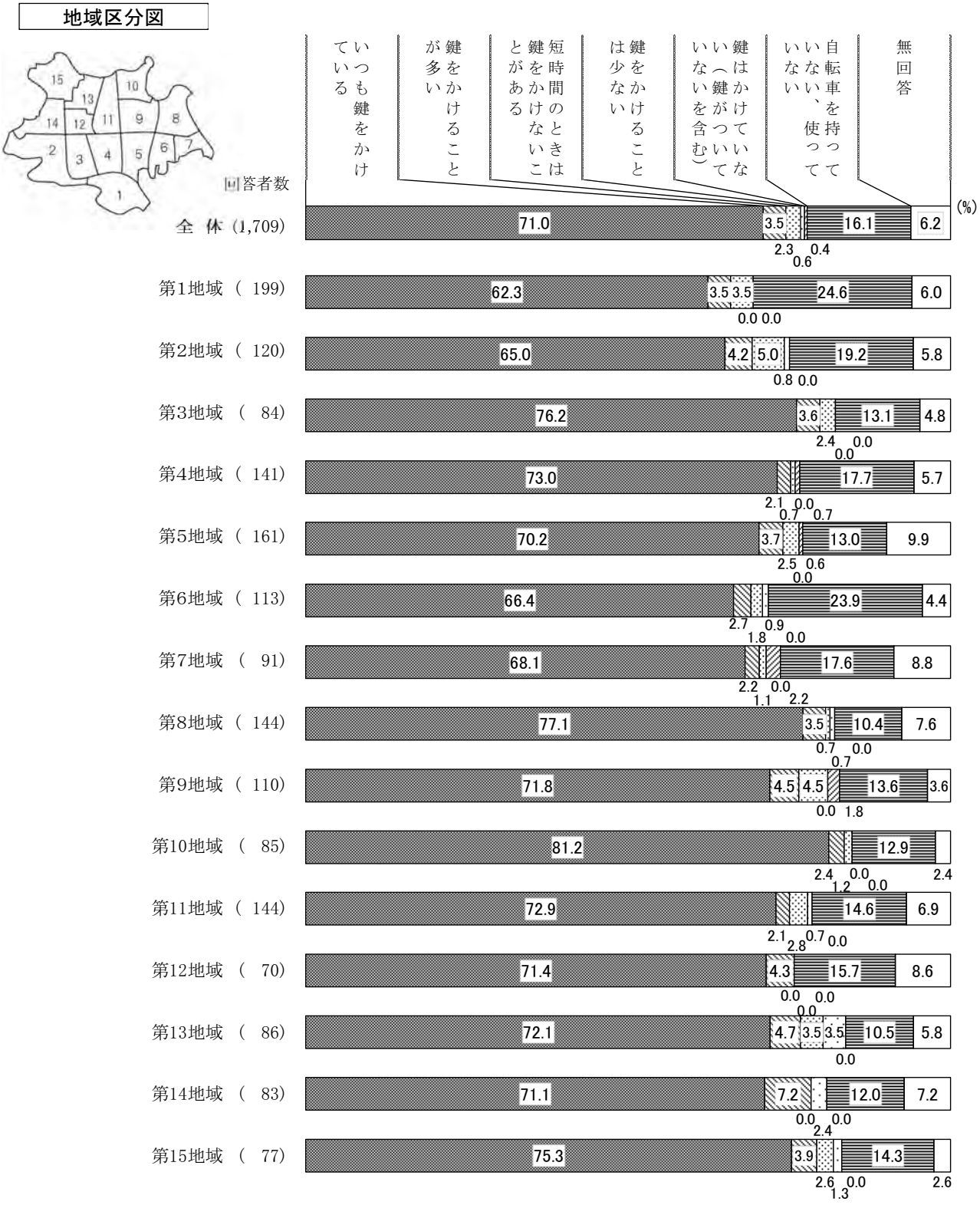


自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車するときの鍵かけ状況は、「いつも鍵をかけている」が61.3％で最も多く、次いで、「鍵をかけることが多い」は3.3％となっている。一方、「鍵をかけることは少ない」は4.4％、「鍵はかけていない（鍵がついていないを含む）」は7.3％となっており、これまでと同様に外出先に比べると鍵をかけない割合が増える傾向がみられる。

経年でみると、「いつも鍵をかけている」は前回調査（58.5％）に比べて2.8ポイント微増しているものの、外出先での施錠状況と同様、回答傾向に大きな変化はみられない。

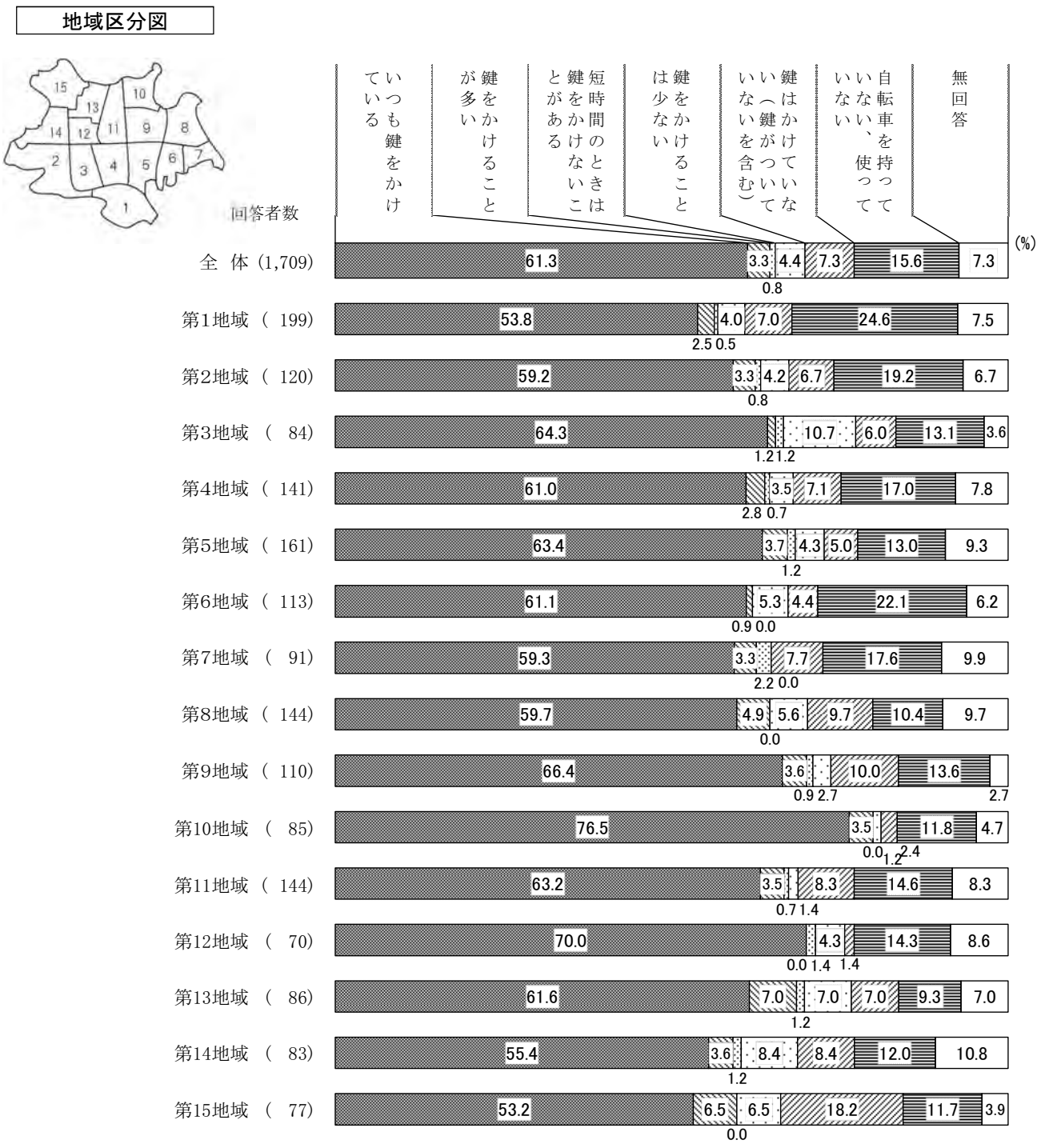
外出先で自転車を駐車するときの鍵かけ状況を地域別にみると、「いつも鍵をかけている」は第10地域が81.2％と最も高く、次いで、第８地域（77.1％）、第３地域（76.2％）などとなっており、第１地域が62.3％で最も低くなっている。なお、「自転車を持っていない、使っていない」は第１地域（24.6％）と第６地域（23.9％）で２割台半ばと高くなっている。

図７－９－２－①　地域別／駐車時の鍵かけ状況／外出先



自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車するときの鍵かけ状況を地域別にみると、「いつも鍵をかけている」は第10地域で76.5％と最も高く、次いで、第12地域（70.0％）となっており、第15地域（53.2％）と第１地域（53.8％）が５割台半ば近くと低くなっている。なお、「自転車を持っていない、使っていない」は、外出先で自転車を駐車するとき同様、第１地域（24.6％）と第６地域（22.1％）で２割台半ばと高くなっている。

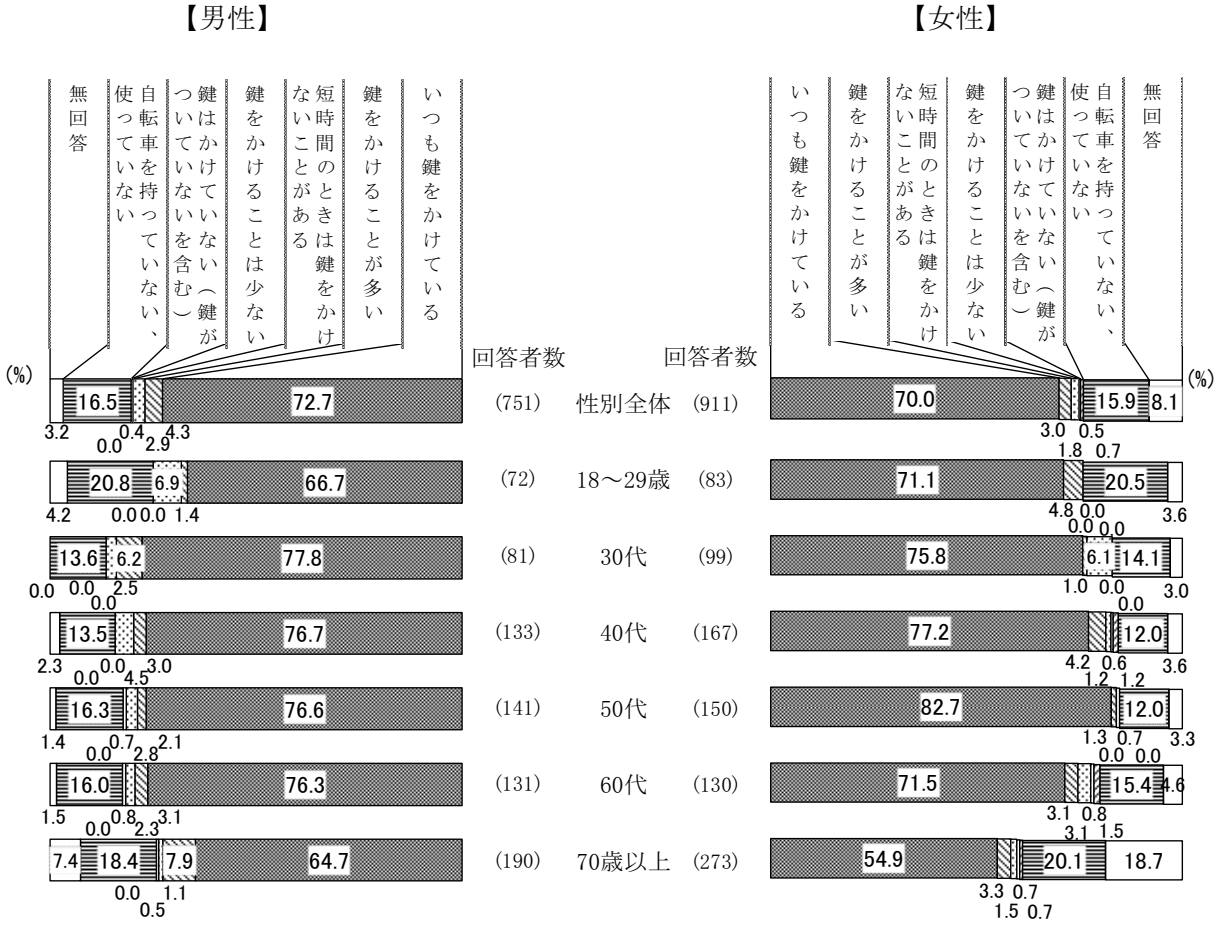
図７－９－２－②　地域別／駐車時の鍵かけ状況／敷地内



外出先で自転車を駐車するときの鍵かけ状況を性別でみると、「いつも鍵をかけている」は男性（72.7%）の方が女性（70.0%）より2.7ポイント僅かに高くなっている。

性・年代別でみると、「いつも鍵をかけている」は、女性の50代で82.7%と最も高く、女性の70歳以上で54.9%と最も低くなっている。

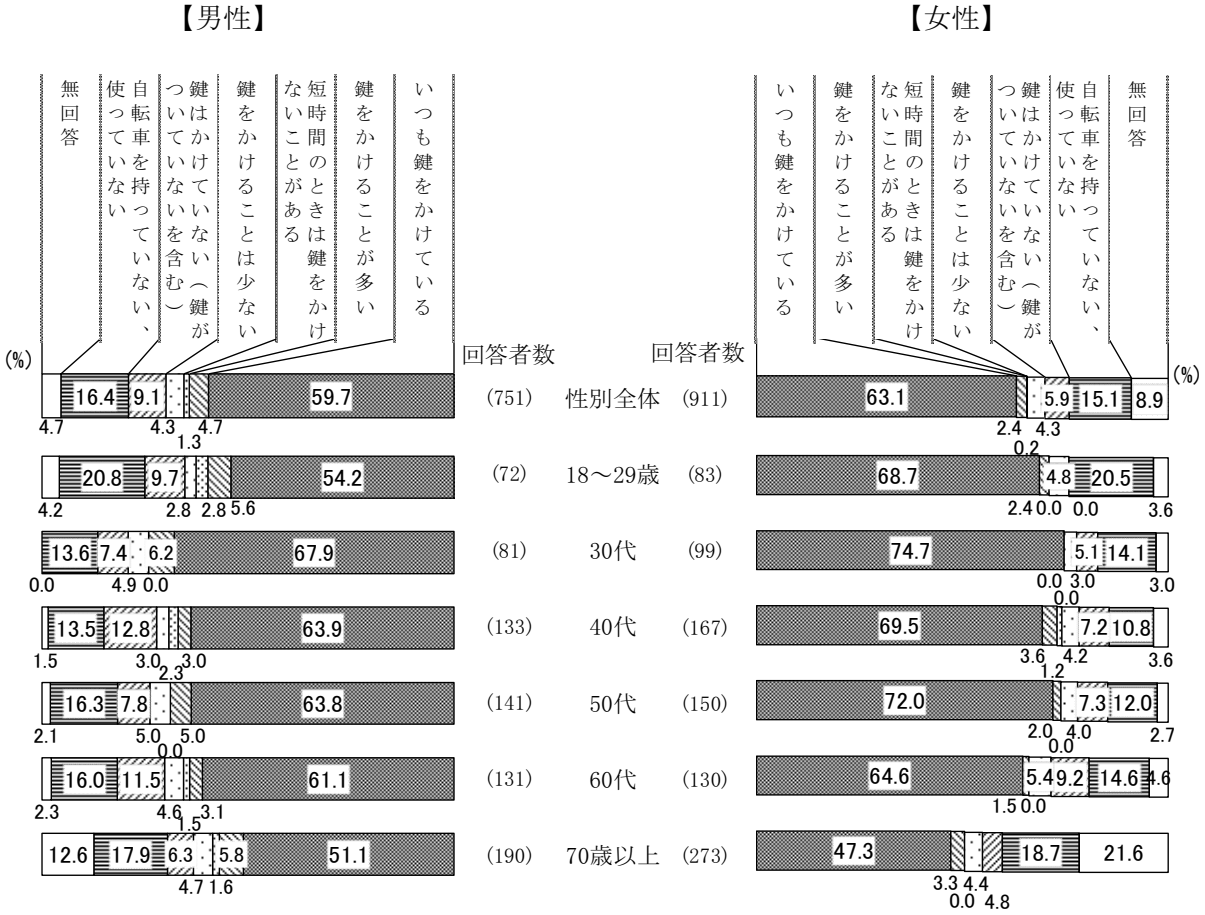
図７－９－３－①　性別、性・年代別／駐車時の鍵かけ状況／外出先



自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車するときの鍵かけ状況を性別でみると、「いつも鍵をかけている」は女性（63.1%）の方が男性（59.7%）より3.4ポイント高く、「鍵はかけていない（鍵がついていないを含む)」は男性（9.1%）の方が女性（5.9%）より3.2ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「いつも鍵をかけている」は、女性の30代で74.7%と最も高く、女性の70歳以上で47.3%と最も低くなっている。一方、「鍵はかけていない（鍵がついていないを含む)」は、男性の40代と60代でそれぞれ１割強と他の性・年代層に比べてやや高くなっている。

図７－９－３－②　性別、性・年代別／駐車時の鍵かけ状況／敷地内



８　　環境・地域活動

（１）環境のために心がけていること

（２）食品ロス削減のために心がけていること

（３）日頃から環境への影響を考えた具体的な行動状況

（４）町会・自治会の加入や活動

（５）町会・自治会に加入しない理由

（６）この１年間に参加した活動と引き続き、または今後参加したい活動

８　環境・地域活動

（１）環境のために心がけていること

■“ごみと資源の分別”が８割台半ばを超えて１位、“不要なレジ袋を断る”が約８割で２位

問39　あなたが、環境のために心がけていることは何ですか（○はあてはまるものすべて）。

図８－１－１－①　経年比較／環境のために心がけていること

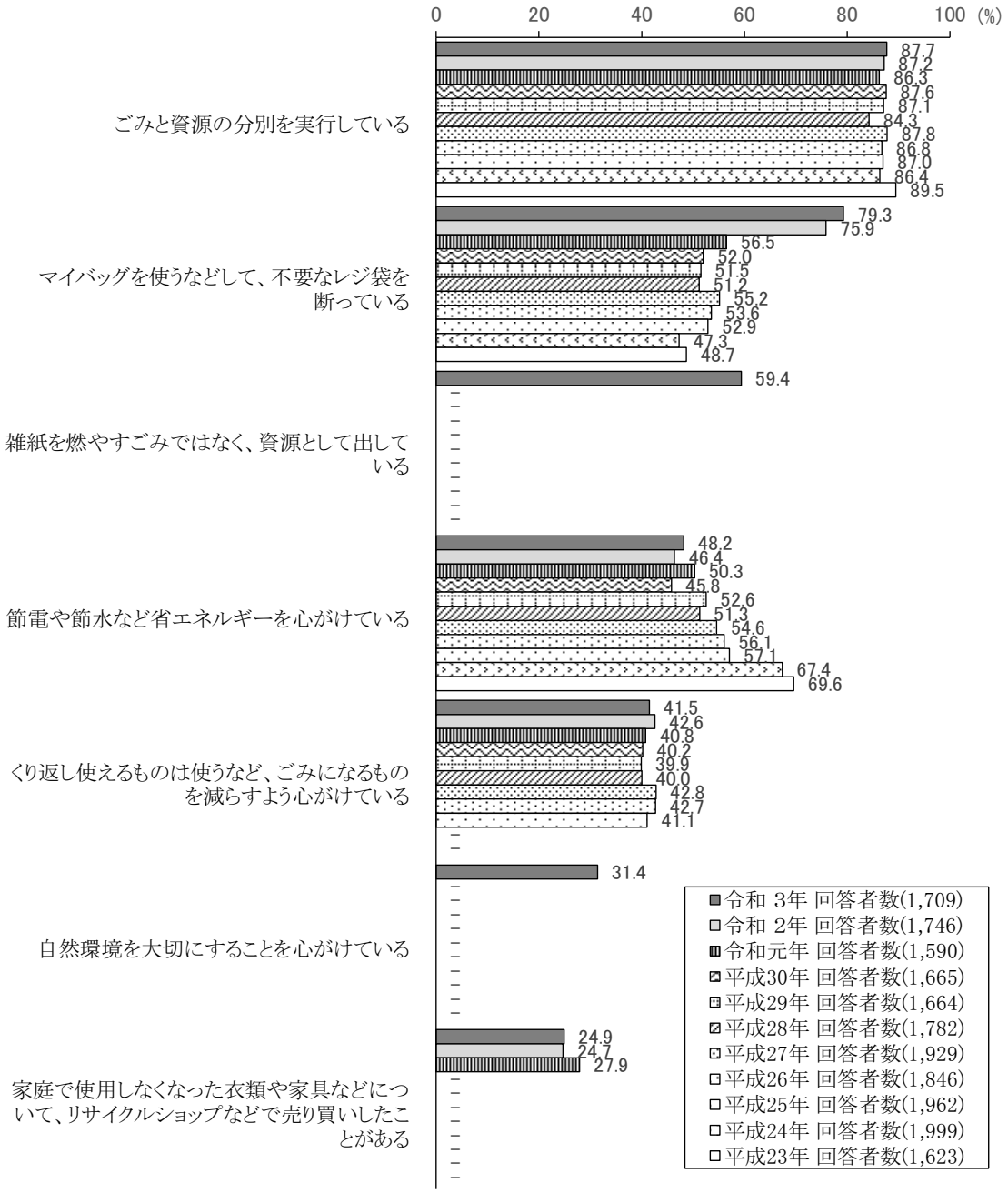
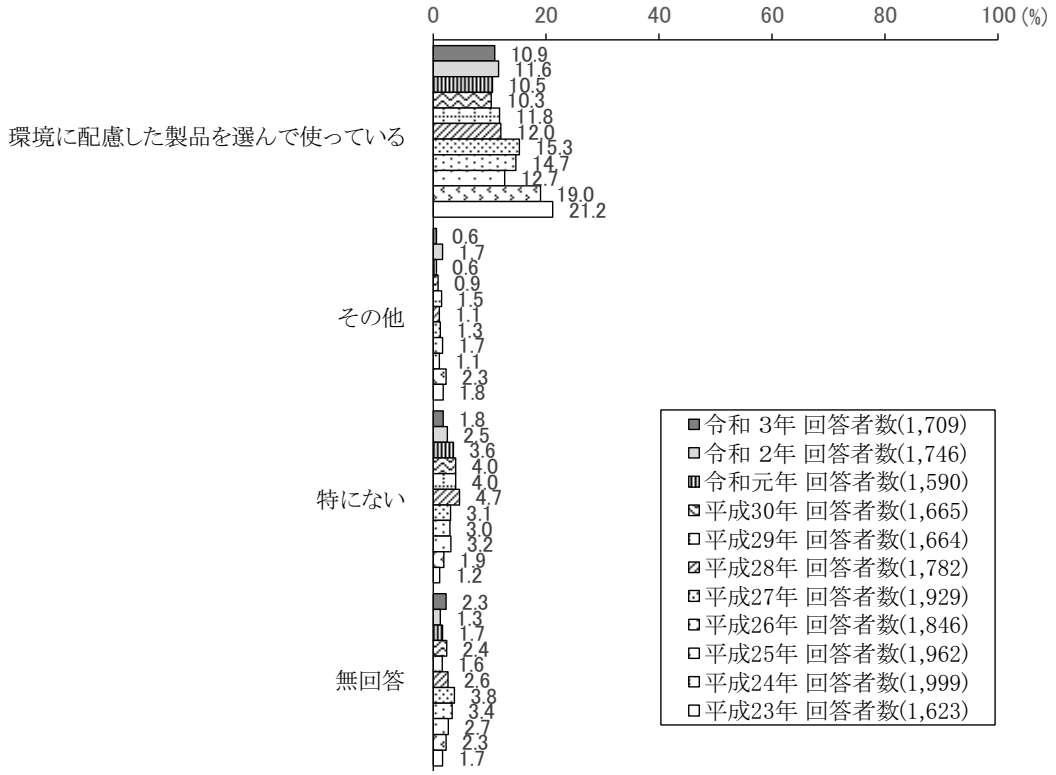


図８－１－１－②　経年比較／環境のために心がけていること



※「くり返し使えるものは使うなど、ごみになるものを減らすよう心がけている」は、平成25年度新設。
※「家庭で使用しなくなった衣類や家具などについて、リサイクルショップなどで売り買いしたことがある」は令和元年度新設。
※「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」と「自然環境を大切にすることを心がけている」は今回の令和３年度調査で新設。

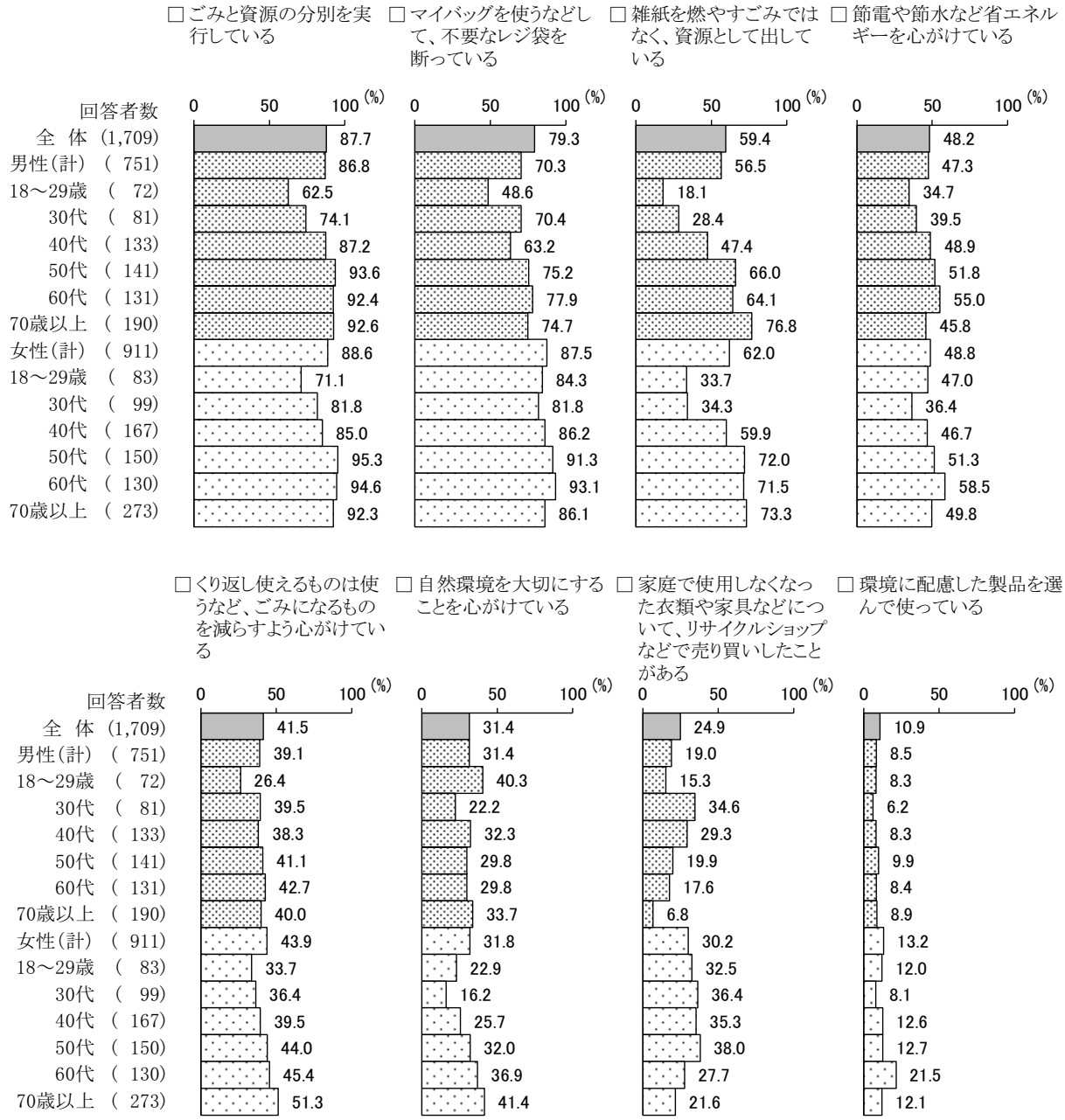
環境のために心がけていることとしては、「ごみと資源の分別を実行している」が８割台半ばを超えて最も高く、次いで、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」（79.3%）、「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」（59.4%）、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」（48.2%）、「くり返し使えるものは使うなど、ごみになるものを減らすよう心がけている」（41.5%）などとなっている。

経年でみると、今回調査で新設された「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」（59.4%）と「自然環境を大切にすることを心がけている」（31.4%）の２項目がそれぞれ第３位と第６位となっている。前回調査と比較可能な項目では、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」が前回調査（75.9%）より3.4ポイント増加している。

性別でみると、すべての項目で女性の方が男性より高くなっており、特に差が大きい項目は、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」（女性87.5％・男性70.3％）で17.2ポイント、「家庭で使用しなくなった衣類や家具などについて、リサイクルショップなどで売り買いしたことがある」（女性30.2％・男性19.0％）で11.2ポイントとなっている。

性・年代別でみると、「ごみと資源の分別を実行している」は男女とも50代以上で９割台と高く、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」は女性の50代、60代で９割台と高くなっている。また「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」は男性の70歳以上（76.8％）、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」は女性の60代（58.5％）で最も高くなっている。上位５項目のすべてで男性の18～29歳が最も低くなっているのが特徴的だが、第６位の「自然環境を大切にすることを心がけている」では女性の70歳以上（41.4％）とともに男性の18～29歳（40.3％）が４割台と高くなっていることも特徴となっている。

図８－１－２　性別、性・年代別／環境のために心がけていること

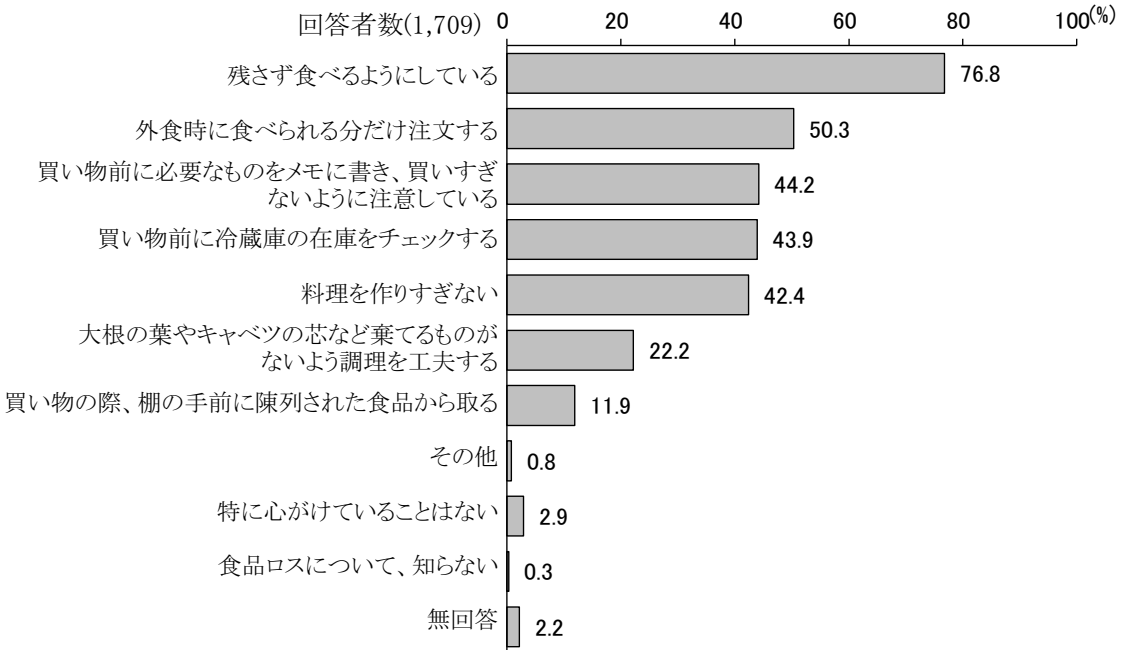


（２）食品ロス削減のために心がけていること

■「残さず食べるようにしている」が７割台半ば

問40　あなたが、食品ロス削減のために心がけていることは何ですか
（○はあてはまるものすべて）。

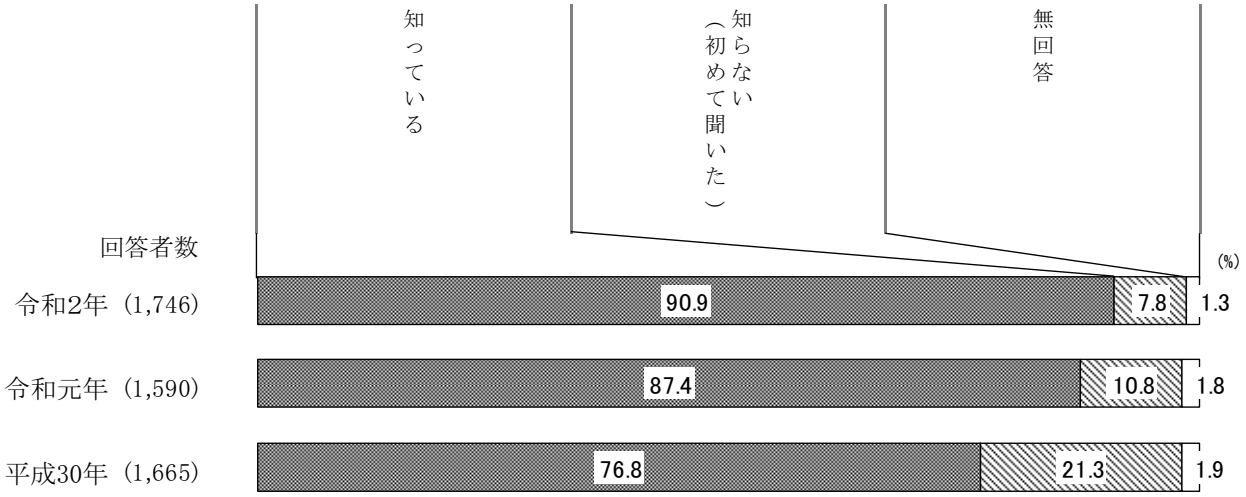
図８－２－１　食品ロス削減のために心がけていること



食品ロス削減のために心がけていることとしては、「残さず食べるようにしている」が76.8％で最も高く、次いで、「外食時に食べられる分だけ注文する」（50.3％）、「買い物前に必要なものをメモに書き、買いすぎないように注意している」（44.2％）、「買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする」（43.9％）、「料理を作りすぎない」（42.4％）などとなっている。

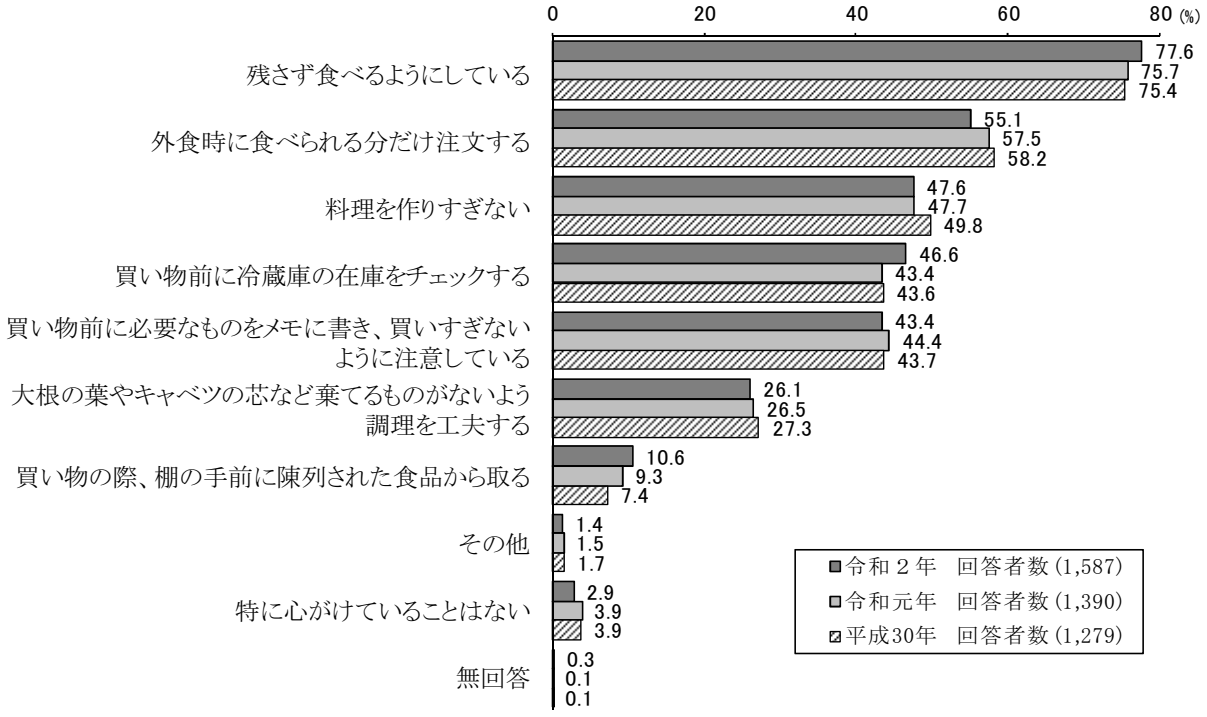
参考／（令和２年度以前）「食品ロス」の認知者を対象にして、食品ロス削減のために心がけていることを聴いた

問　あなたは、「食品ロス」という言葉を知っていますか（○は１つだけ）。



問　で「１　知っている」とお答えの方に

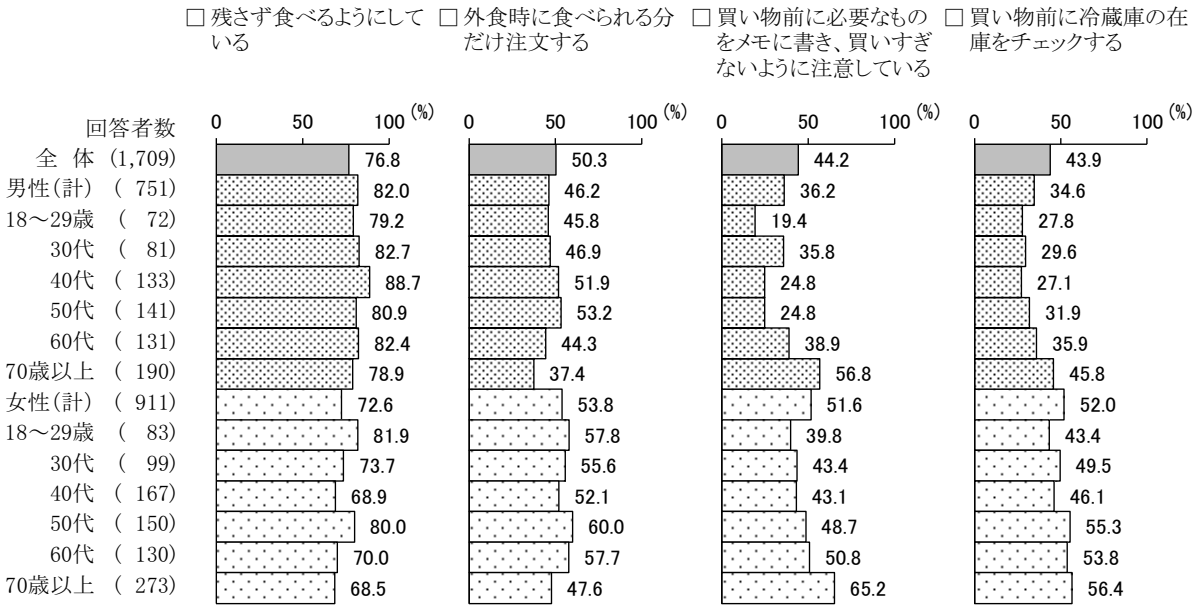
問　－１　あなたが、食品ロス削減のために心がけていることは何ですか（○はあてはまるものすべて）。

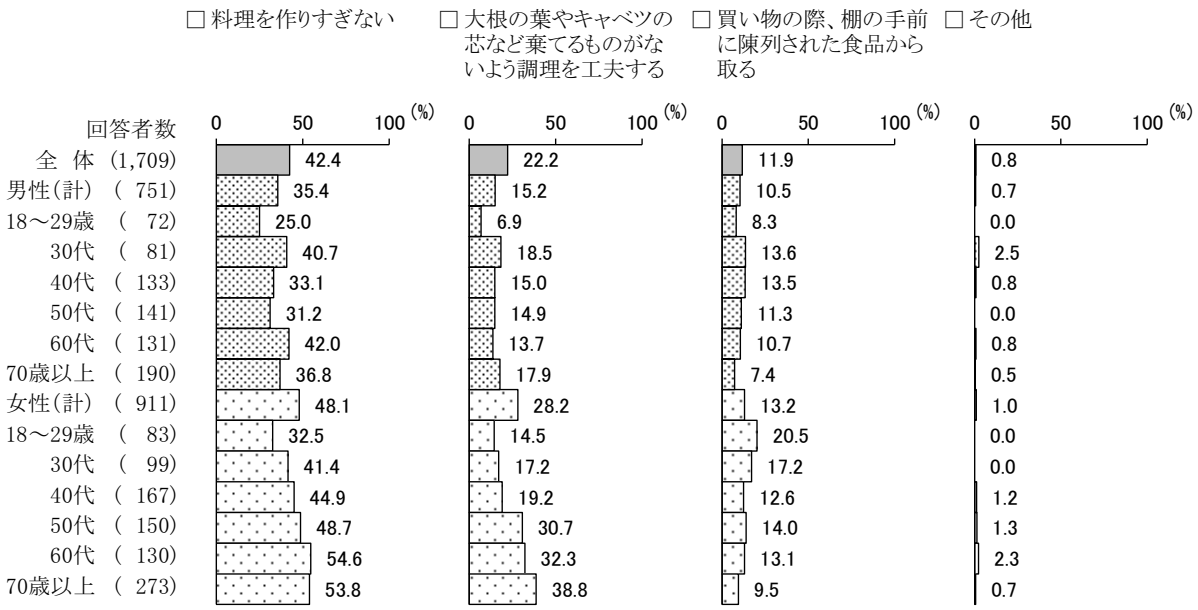


性別でみると、「残さず食べるようにしている」は男性（82.0％）の方が女性（72.6％）より9.4ポイント高くなっている。その他の項目はすべて女性の方が男性より高くなっており、特に、「買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする」（性差17.4ポイント）、「買い物前に必要なものをメモに書き、買いすぎないように注意している」（性差15.4ポイント）でそれぞれ女性の方が15ポイント以上高くなっている。

性・年代別でみると、「残さず食べるようにしている」は男性の40代で88.7％と最も高くなっているが、「外食時に食べられる分だけ注文する」は女性の50代（60.0％）、「買い物前に必要なものをメモに書き、買いすぎないように注意している」は女性の70歳以上（65.2％）、「買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする」も女性の70歳以上（56.4％）など、おおむね女性の50代以上で他の性・年代層に比べ高くなっている。

図８－２－２　性別、性・年代別／食品ロス削減のために心がけていること





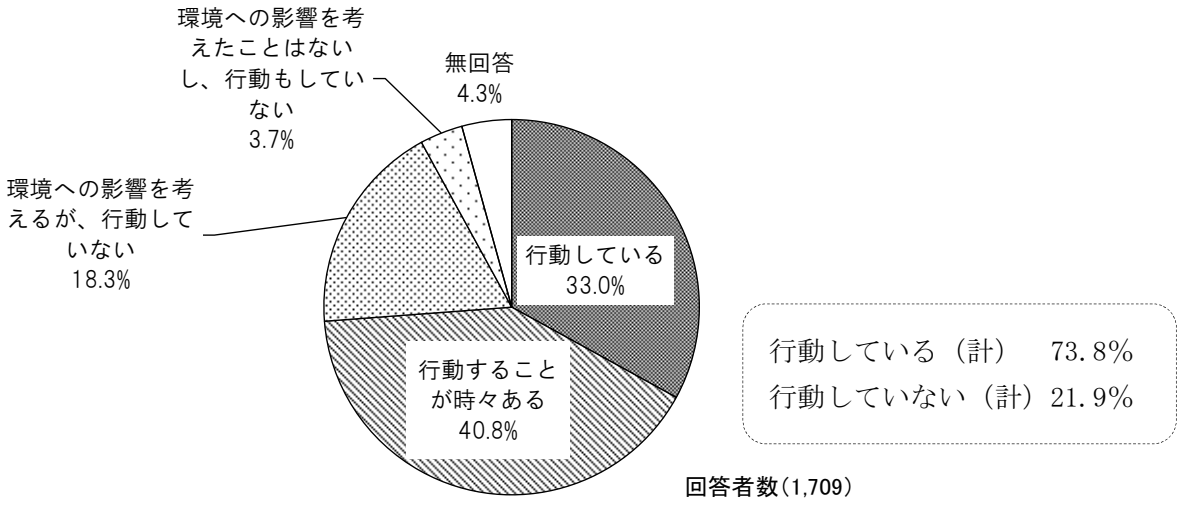
（３）日頃から環境への影響を考えた具体的な行動状況

■ 「行動している」が３割強、「行動することが時々ある」が４割

問41　あなたは、日頃から環境への影響を考えて具体的に行動（※）していますか
（○は１つだけ）。

※　問39（1から8）や問40（1から7）で示された内容のことです。

図８－３－１　日頃から環境への影響を考えた具体的な行動状況

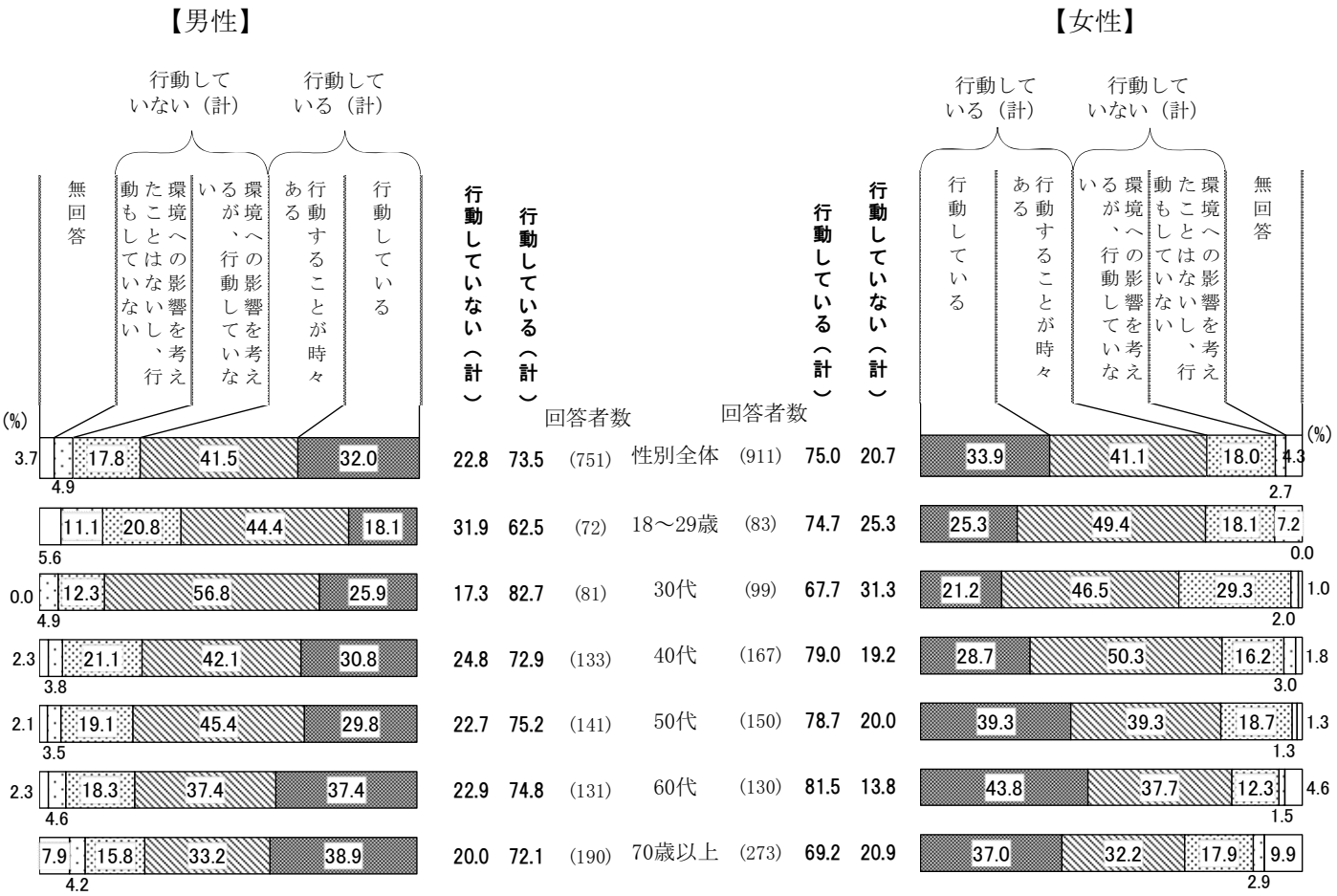


環境への影響を考えた日頃からの行動状況は、「行動することが時々ある」が40.8%で最も高く、次いで、「行動している」で33.0%となり、これらを合わせた【行動している】は７割台半ば近くとなっている。一方、「環境への影響を考えるが、行動していない」（18.3%）と「環境への影響を考えたことはないし、行動もしていない」（3.7%）を合わせた【行動していない】は２割強となっている。

性別でみると、特に大きな違いは見られない。

性・年代別でみると、【行動している】は男性の30代で82.7％と最も高く、女性の60代でも81.5％と高くなっており、男性の18～29歳で62.5％と最も低くなっている。

図８－３－２　性別、性・年代別／日頃から環境への影響を考えた具体的な行動状況

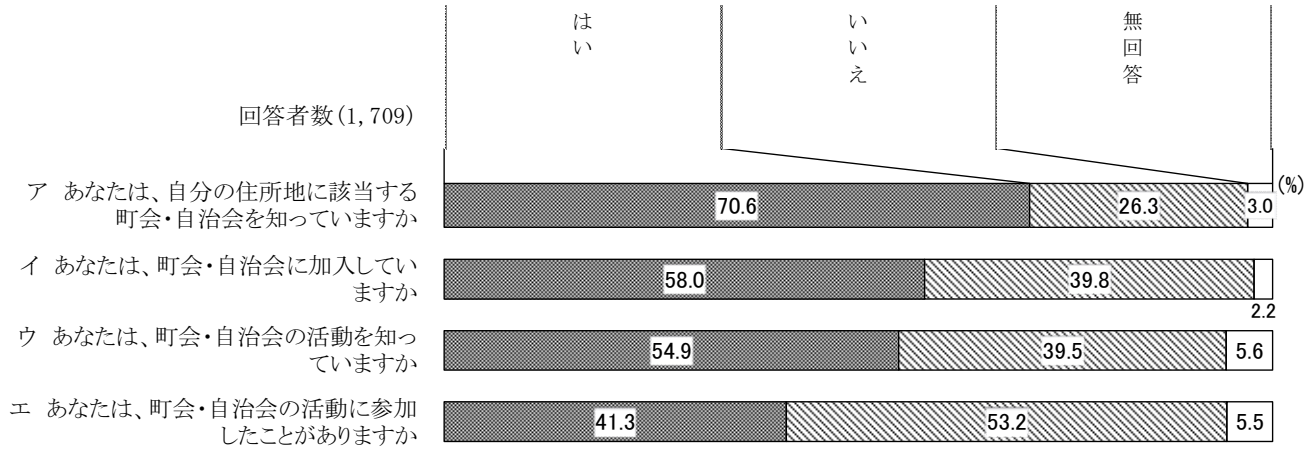


（４）町会・自治会の加入や活動

■ 「加入している」が６割弱、「活動に参加している」は４割強

問42　町会・自治会の加入や活動についてお答えください（○はそれぞれ１つずつ）。

図８－４－１　町会・自治会の加入や活動



自分の住所地に該当する町会・自治会の認知については、「はい（知っている)」が70.6%を占め、「いいえ（知らない)」が26.3%となっている。

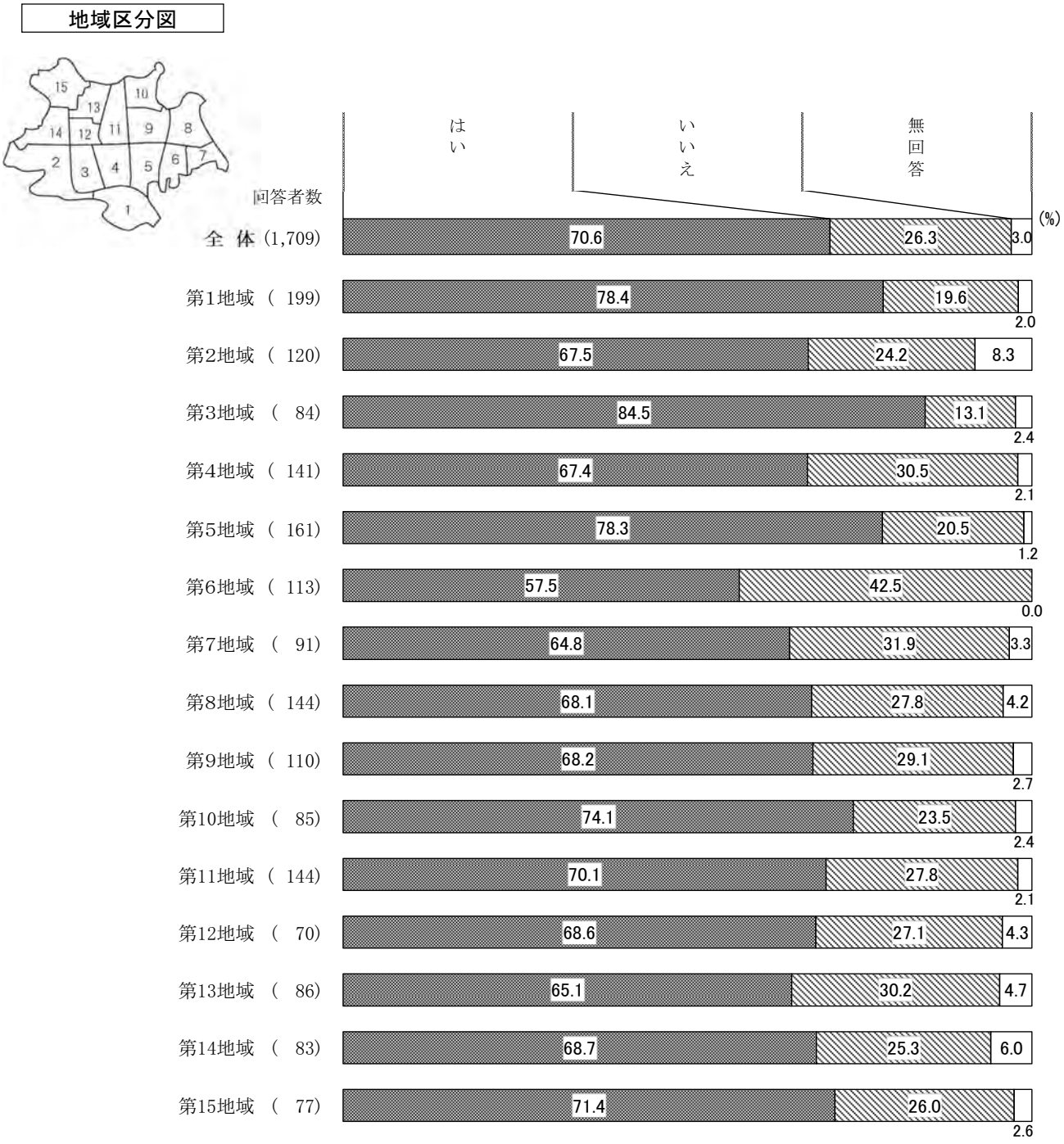
町会・自治会への加入状況は、「はい（加入している)」が58.0%で、「いいえ（加入していない)」の39.8%を上回っている。

町会・自治会の活動内容については、「はい（知っている)」が54.9%で、「いいえ（知らない)」の39.5%を上回っている。

町会・自治会の活動への参加状況は、「いいえ（参加していない)」が53.2%で、「はい（参加している)」の41.3%より上回っている。

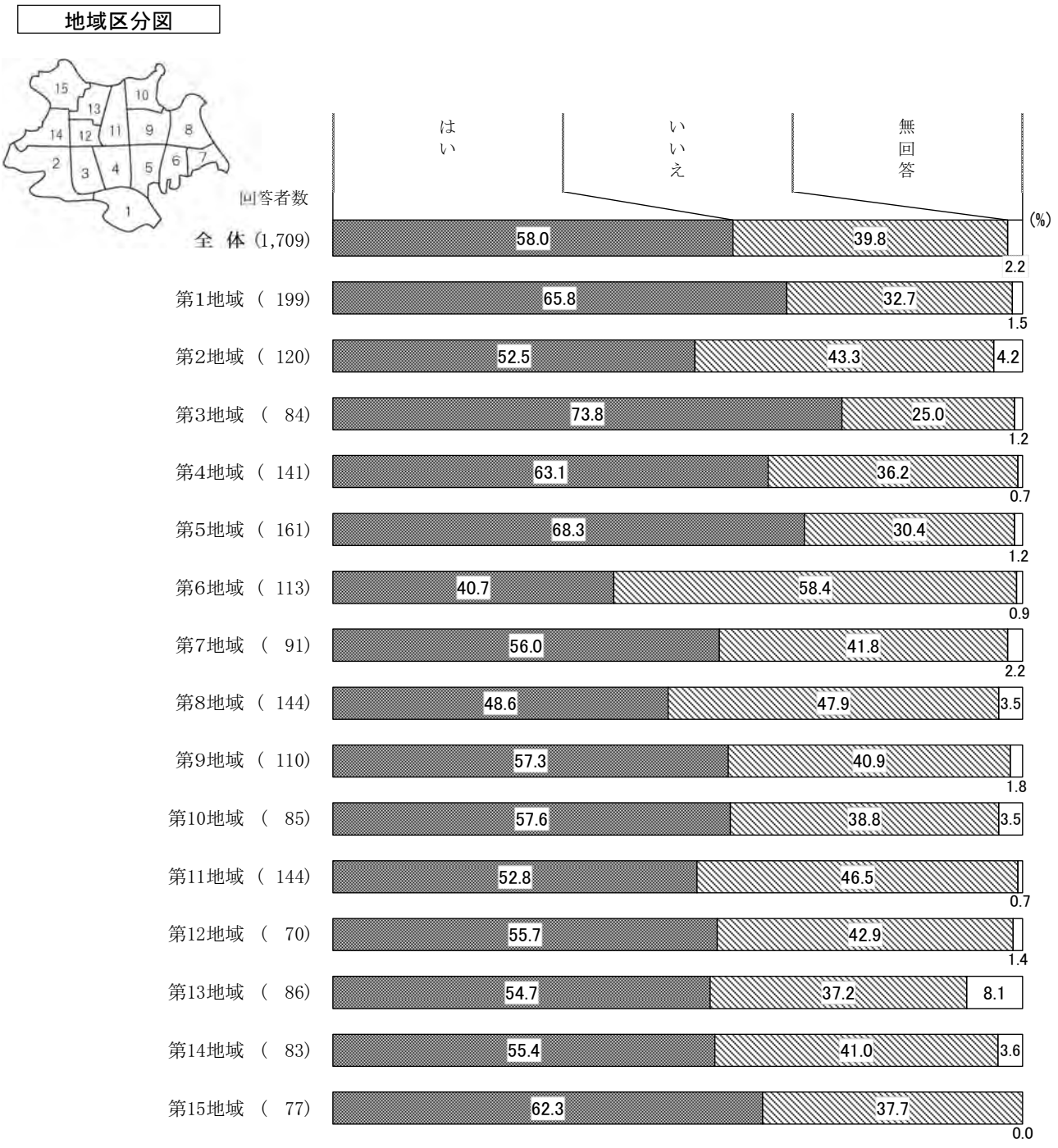
自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況を地域別にみると、「はい（知っている）」は第３地域が84.5％で最も高く、次いで、第１地域（78.4％）、第５地域（78.3％）が７割台後半となっている。一方、「いいえ（知らない）」は第６地域が42.5％で他の地域に比べ特に高く、次いで、第７地域（31.9％）、第４地域（30.5％）、第13地域（30.2％）が３割台となっている。

図８－４－２－①　地域別／自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況



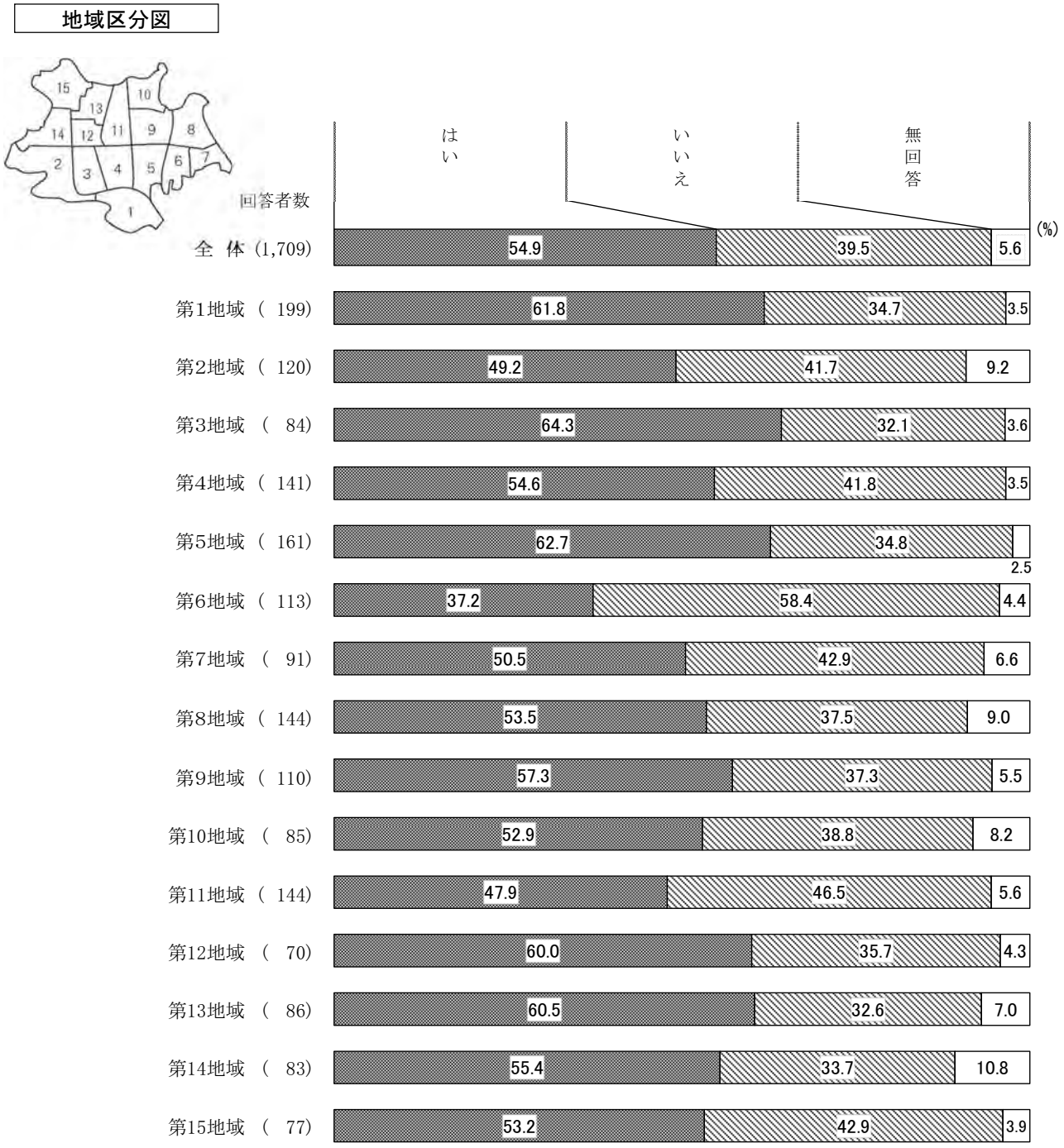
町会・自治会への加入状況を地域別にみると、「はい（加入している）」は第３地域が73.8％で最も高く、次いで、第５地域（68.3％）が７割弱となっている。一方、「いいえ（加入していない）」は第６地域が58.4％で他の地域に比べ特に高く、次いで、第８地域（47.9％）、第11地域（46.5％）が４割台後半となっている。

図８－４－２－②　地域別／町会・自治会の加入状況



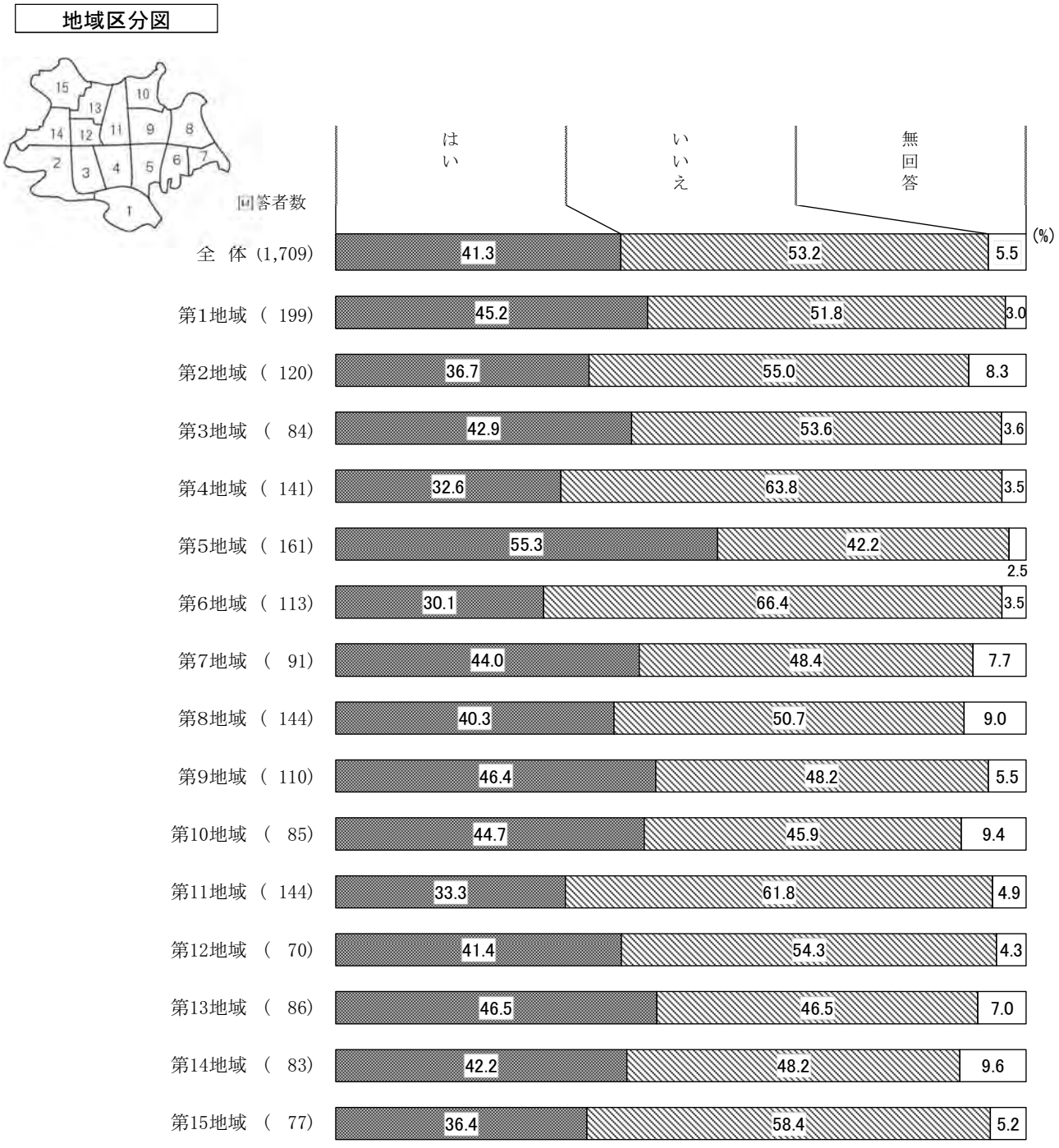
町会・自治会活動の認知状況を地域別にみると、「はい（知っている）」は第３地域が64.3％で最も高く、次いで、第５地域（62.7％）、第１地域（61.8％）が６割強となっている。一方、「いいえ（知らない）」は第６地域が58.4％で他の地域に比べ特に高く、次いで、第11地域が46.5％となっている。

図８－４－２－③　地域別／町会・自治会活動の認知状況



町会・自治会活動への参加状況を地域別にみると、「はい（参加している）」は第５地域が55.3%で最も高く、次いで、第13地域（46.5%）、第９地域（46.4%）が６割台半ばで続いている。一方、「いいえ（参加していない）」は第６地域が66.4%で最も高く、次いで、第４地域（63.8%）、第11地域（61.8%）が６割台となっている。

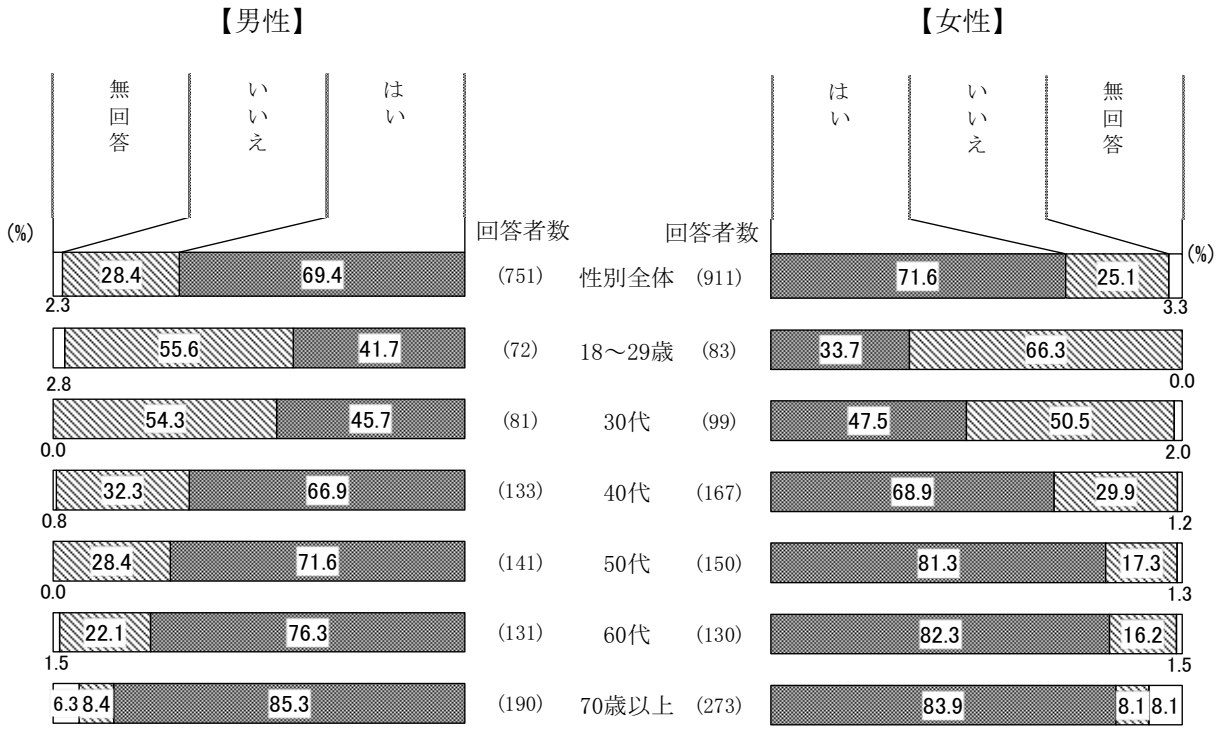
図８－４－２－④　地域別／町会・自治会活動の参加状況



自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況を性別にみると、「はい（知っている）」は女性（71.6%）の方が男性（69.4%）より僅かに高くなっている。

性・年代別にみると、「はい（知っている）」は男性の70歳以上が85.3%で最も高く、女性の50代以上でも８割台と高くなっている。一方、「いいえ（知らない）」は、女性の18～29歳で66.3%と最も高く、次いで、男性の30代以下と女性の30代で５割台となっている。

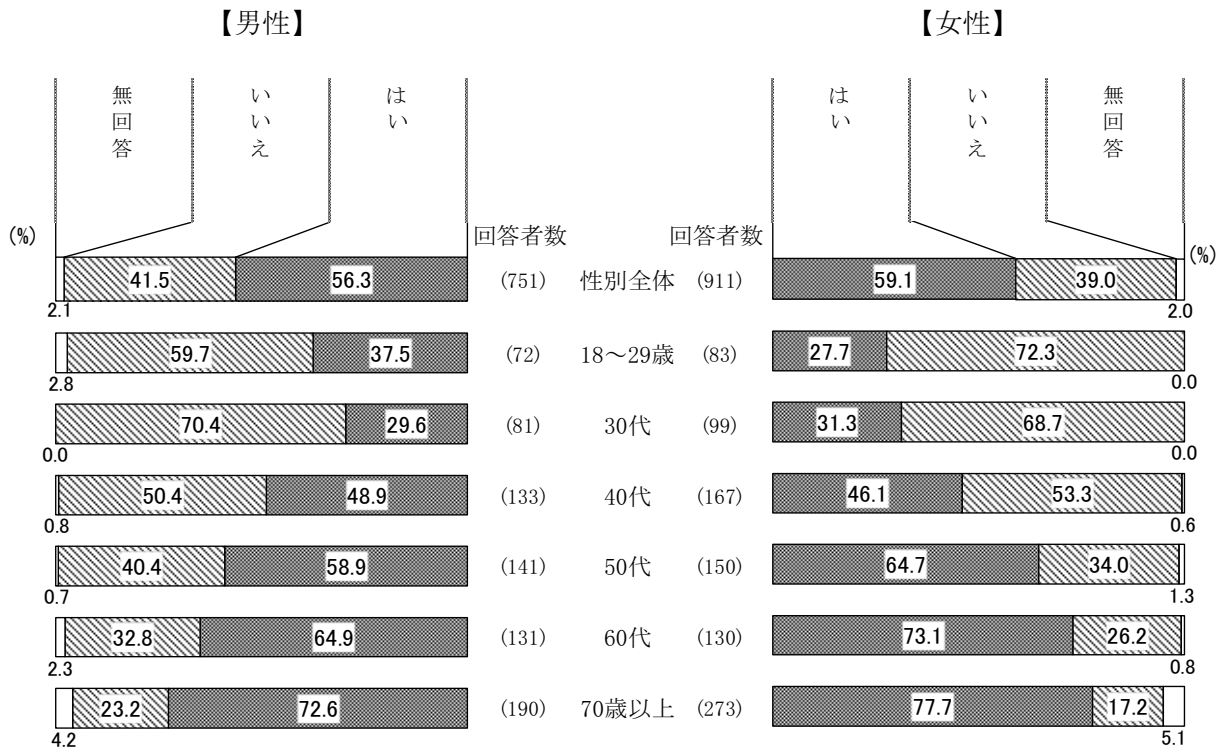
図８－４－３－①　性別、性・年代別／自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況



町会・自治会の加入状況を性別にみると、「はい（加入している）」は女性（59.1%）の方が男性（56.3%）より僅かに高くなっている。

性・年代別にみると、「はい（加入している）」は女性の70歳以上が77.7%で最も高く、女性の60代と男性の70歳以上でも７割台と高くなっている。一方、「いいえ（加入していない）」は、女性の18～29歳で72.3%と最も高く、次いで、男性の30代も７割となっている。

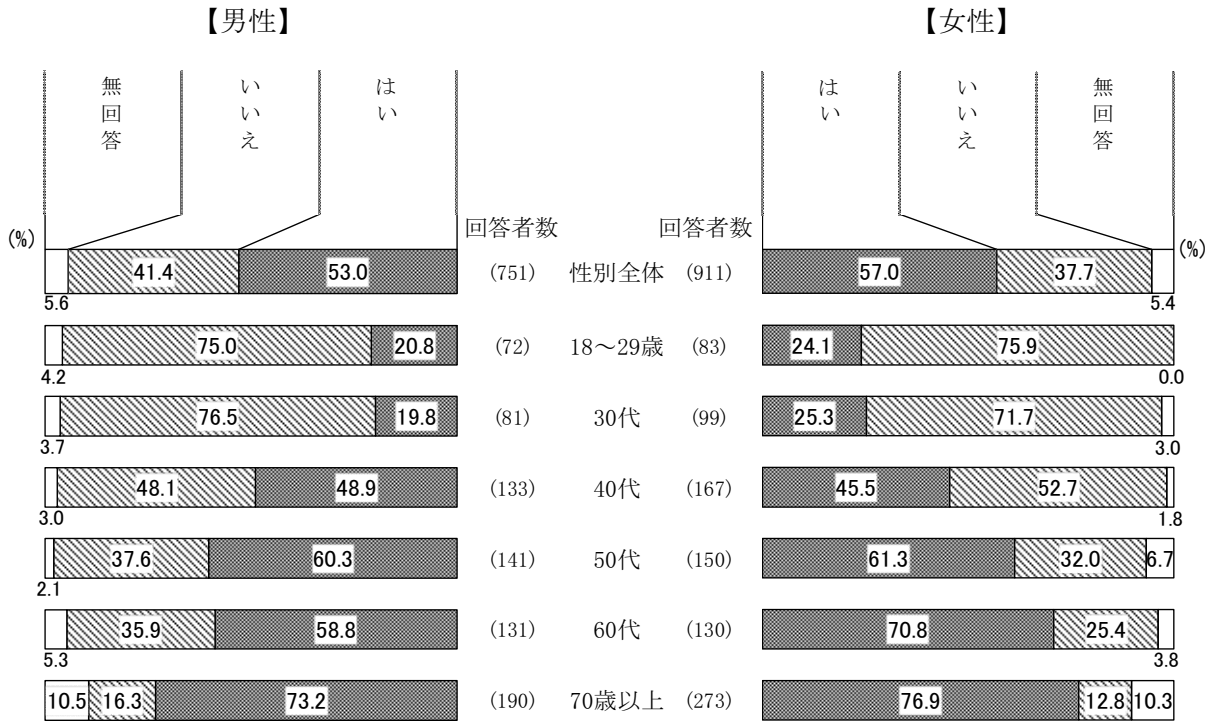
図８－４－３－②　性別、性・年代別／町会・自治会の加入状況



町会・自治会活動の認知状況を性別にみると、「はい（知っている）」は女性（57.0％）の方が男性（53.0％）より4.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「はい（知っている）」は女性の70歳以上が76.9％で最も高く、次いで男性の70歳以上も７割台半ば近くと高くなっている。一方、「いいえ（知らない）」は、男性の30代で76.5％と最も高く、次いで女性の18～29歳と男性の18～29歳でも７割台半ばで続いている。

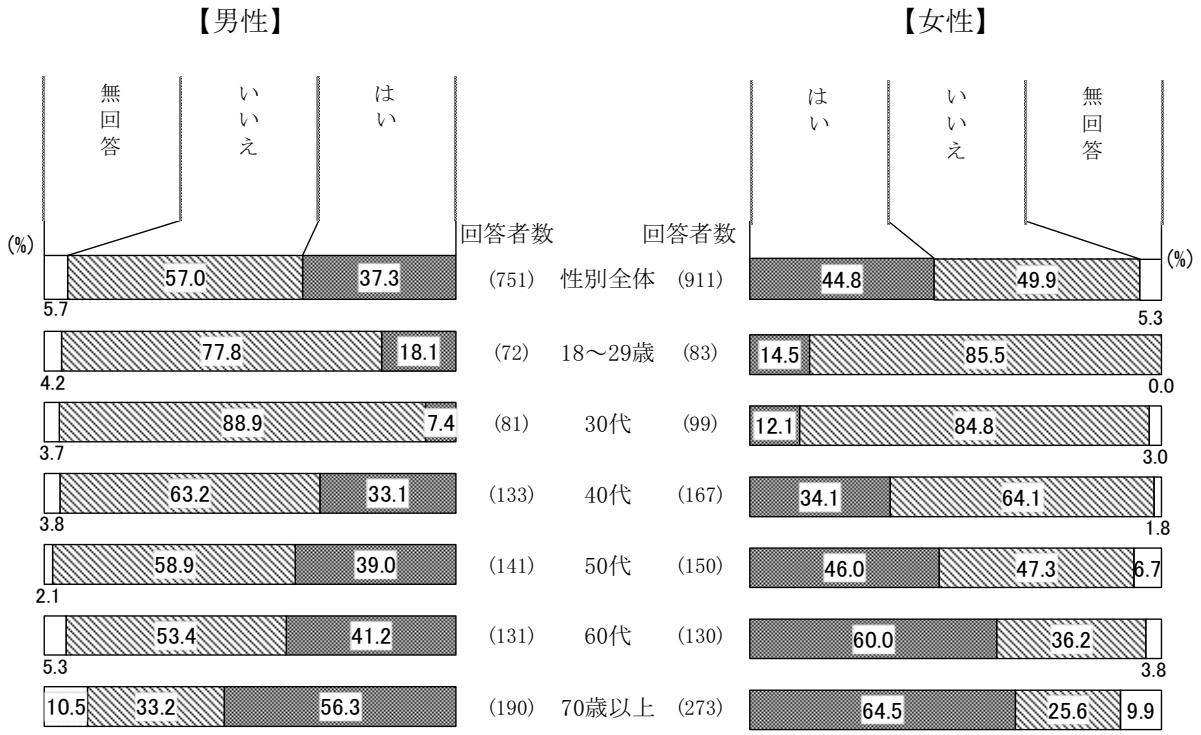
図８－４－３－③　性別、性・年代別／町会・自治会活動の認知状況



町会・自治会の活動への参加状況を性別にみると、「はい（参加している）」は女性（44.8%）の方が男性（37.3%）より7.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「はい（参加している）」は女性の70歳以上が64.5%で最も高く、次いで女性の60代が６割と高くなっている。一方、「いいえ（参加していない）」は、男性の30代で88.9%と最も高く、次いで、女性の30代以下でも８割台半ばと高くなっている。

図８－４－３－④　性別、性・年代別／町会・自治会活動の参加状況



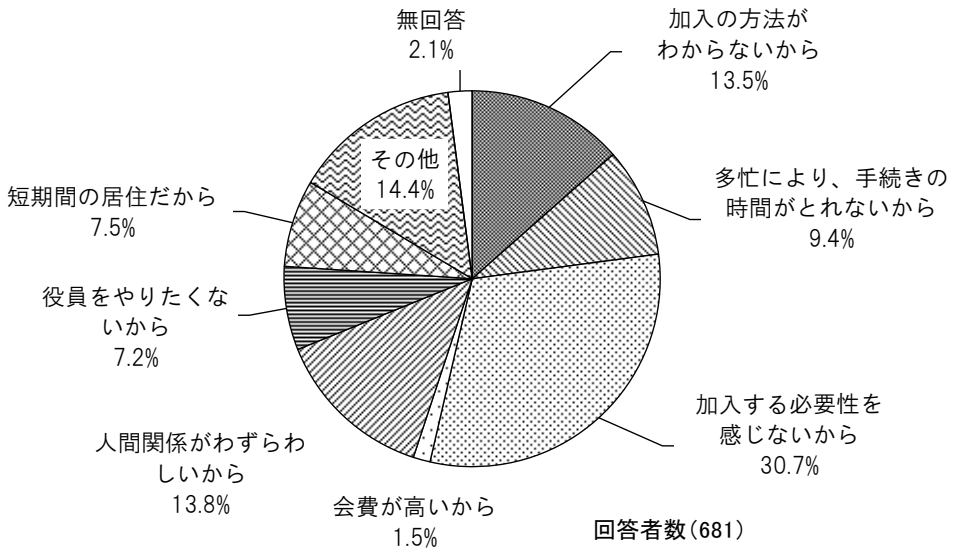
（５）町会・自治会に加入しない理由

■ 「加入の必要性を感じない」が３割、次いで「人間関係がわずらわしい」が１割台半ば近く

問42の「イ　あなたは、町会・自治会に加入していますか。」で「２　ない」とお答えの方に

問42－１　あなたが、町会・自治会に加入しない最も大きな理由は何ですか（○は１つだけ）。

図８－５－１　町会・自治会に加入しない理由

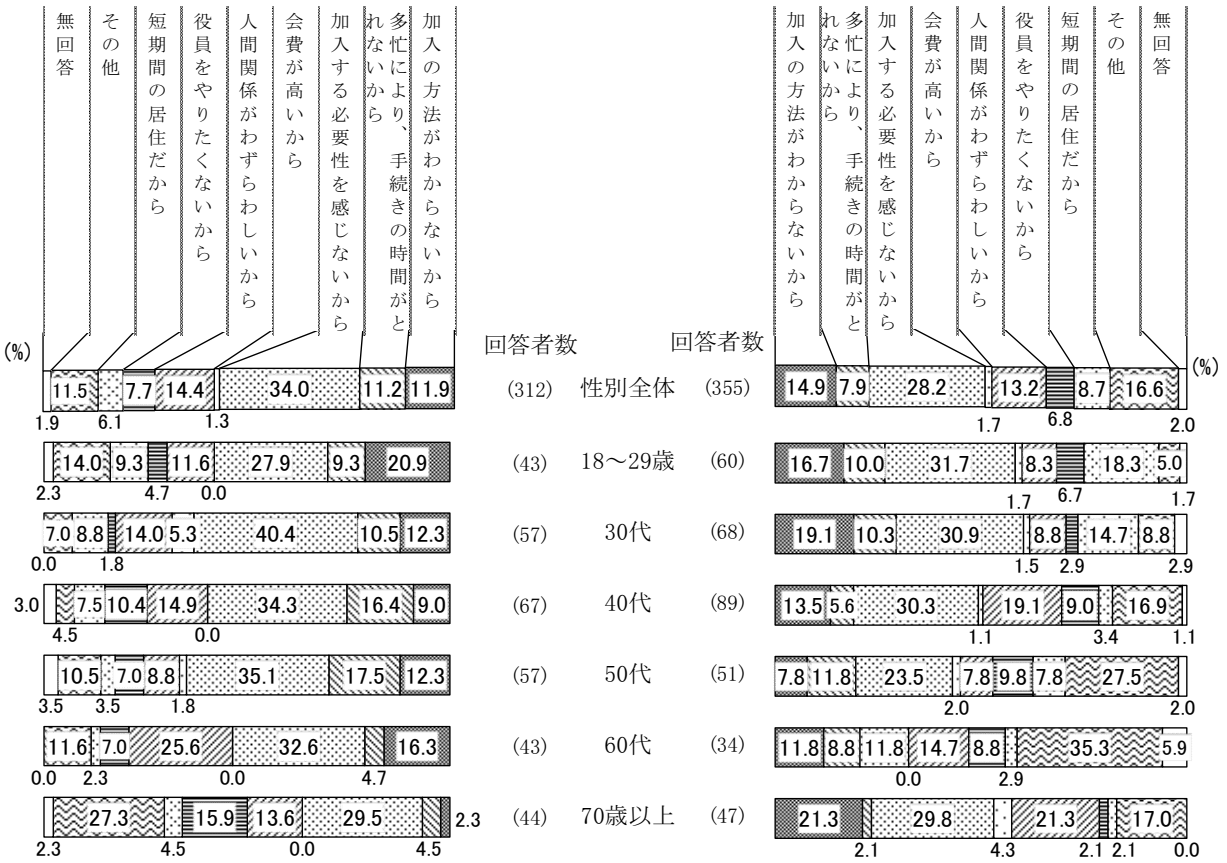


町会・自治会に加入していない理由は、「加入する必要性を感じないから」が30.7%で最も高く、以下「人間関係がわずらわしいから」(13.8%)、「加入の方法がわからないから」(13.5%)、「多忙により、手続きの時間がとれないから」(9.4%)、「短期間の居住だから」(7.5%)、「役員をやりたくないから」(7.2%)、「会費が高いから」(1.5%) と続いている。なお「その他」が14.4%となっている。

町会・自治会に加入していない理由を性別にみると、「加入する必要性を感じないから」は男性（34.0%）の方が女性（28.2%）より5.8ポイント高く、「多忙により、手続きの時間がとれないから」でも男性（11.2%）の方が女性（7.9%）より3.3ポイント高くなっている。逆に「加入の方法がわからないから」は女性（14.9%）の方が男性（11.9%）より3.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「加入する必要性を感じないから」は男性の30代で40.4%と最も高く、女性の60代（11.8%）で最も低くなっている。「人間関係がわずらわしいから」は男性の60代で25.6%と最も高く、女性の50代（7.8%）で最も低くなっている。

図８－５－２　性別、性・年代別／町会・自治会に加入しない理由



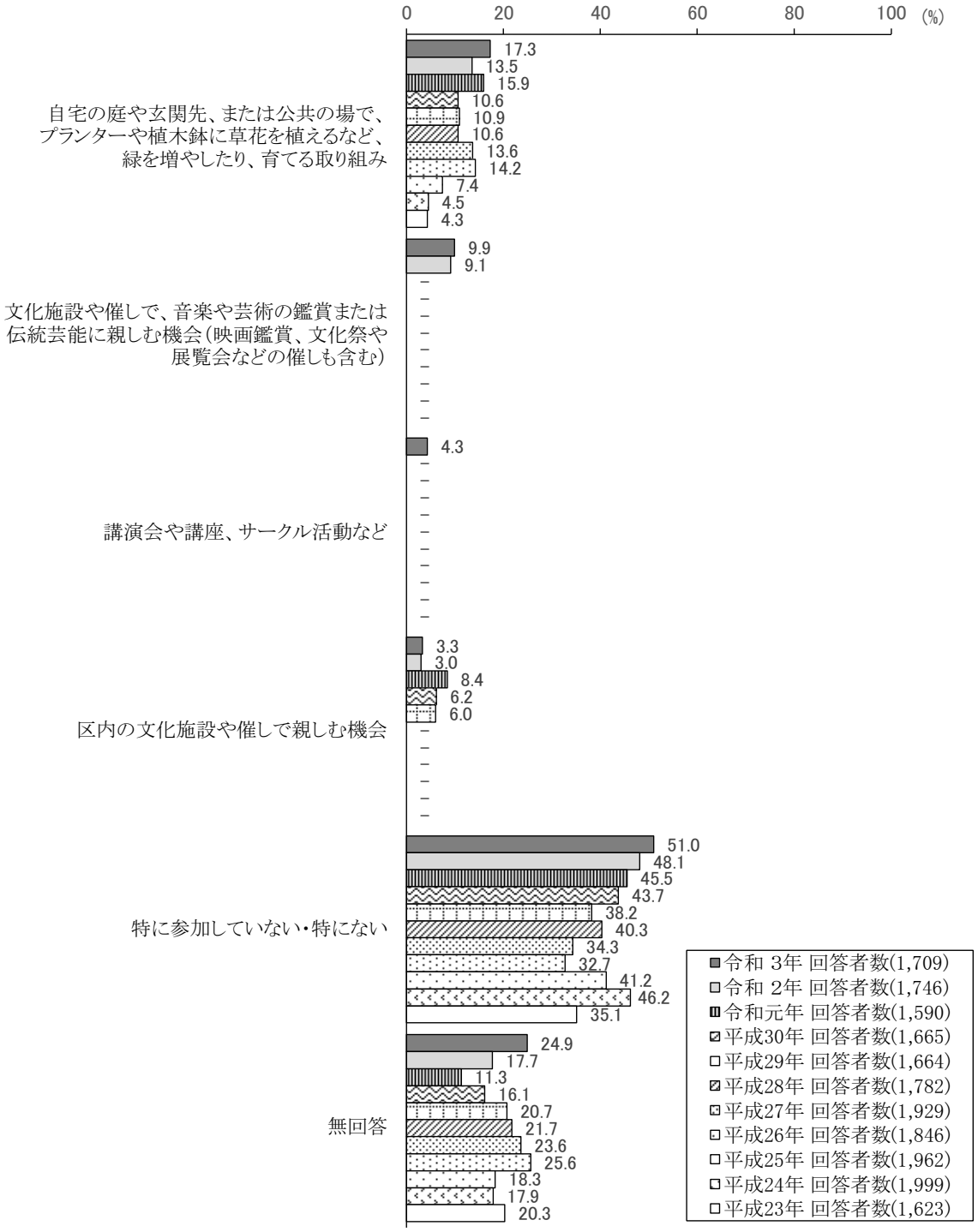
（６）この１年間に参加した活動と引き続き、または今後参加したい活動

■　活動実績は、コロナ禍の影響で「特に参加していない・特にない」が増加し５割強

問43　あなたがこの１年間に参加された活動と、引き続き、または今後あなたが参加したいと思う活動はどれですか（○はいずれも、あてはまるものすべて）。

＜この１年間に参加した活動＞

図８－６－１　経年比較／この１年間に参加した活動



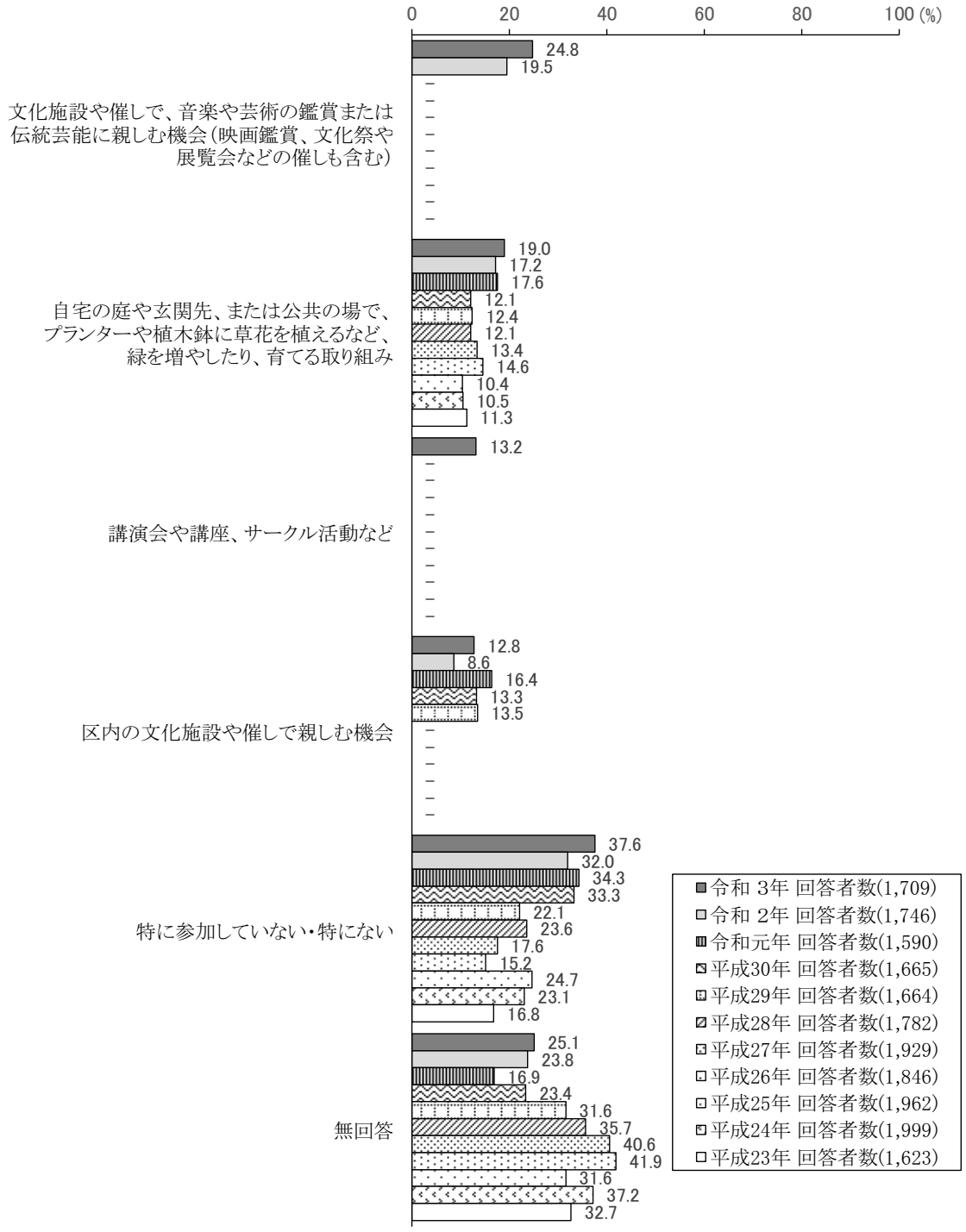
※「自宅や店舗の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は、平成26年度から平成30年度まで「自宅や店舗の庭や玄関先、ベランダ、公共の場などでの草花や木、緑のカーテンの育成」で、平成25年度以前は「自宅や公共の場での花壇づくり、緑のカーテンの設置など緑化活動」。
※「地域学習センターや地域で行われる講演会や講座、サークル活動など」は、平成29年度から新設したが、今回の令和３年度より割愛。
※「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会」は、平成29年度から新設したが、今回の令和３年度より割愛。
※　令和元年度に「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む)」は、令和２年度の同項目の補足項目「区内の文化施設や催しで親しむ機会」の新設に伴い、項目文巻頭の「区内の」の表記を割愛した。
※「講演会や講座、サークル活動など」は、今回の令和３年度の新設項目。

この１年間の参加状況は、「特に参加していない・特にない」が51.0％となっている。参加した活動としては、「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」が17.3％で最も高く、次いで、「文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む)」(9.9％)となっている。

経年でみると、新型コロナ感染症の拡大によるイベント中止の影響を受けてか、「特に参加していない・特にない」が2.9ポイント増加しており、自宅での活動が可能な「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」も3.8ポイント増加している。

＜引き続き、または今後参加したいと思う活動＞

図８－６－２　経年比較／引き続き、または今後参加したいと思う活動



※「自宅や店舗の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は、平成26年度から平成30年度まで「自宅や店舗の庭や玄関先、ベランダ、公共の場などでの草花や木、緑のカーテンの育成」で、平成25年度以前は「自宅や公共の場での花壇づくり、緑のカーテンの設置など緑化活動」。
※「地域学習センターや地域で行われる講演会や講座、サークル活動など」は、平成29年度から新設したが、今回の令和３年度より割愛。
※「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会」は、平成29年度から新設したが、今回の令和３年度より割愛。
※　令和元年度に「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む)」は、令和２年度の同項目の補足項目「区内の文化施設や催しで親しむ機会」の新設に伴い、項目文巻頭の「区内の」の表記を割愛した。
※「講演会や講座、サークル活動など」は、今回の令和３年度の新設項目。

引き続き、または今後参加したい活動は、「特に参加していない・特にない」が37.6％で最も高く、「無回答」も25.1％となっている。具体的な活動としては、「文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む)」が24.8％で最も高く、以下「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」（19.0％)、「講演会や講座、サークル活動など」（13.2％)、「区内の文化施設や催しで親しむ機会」（12.8％）の順となっている。

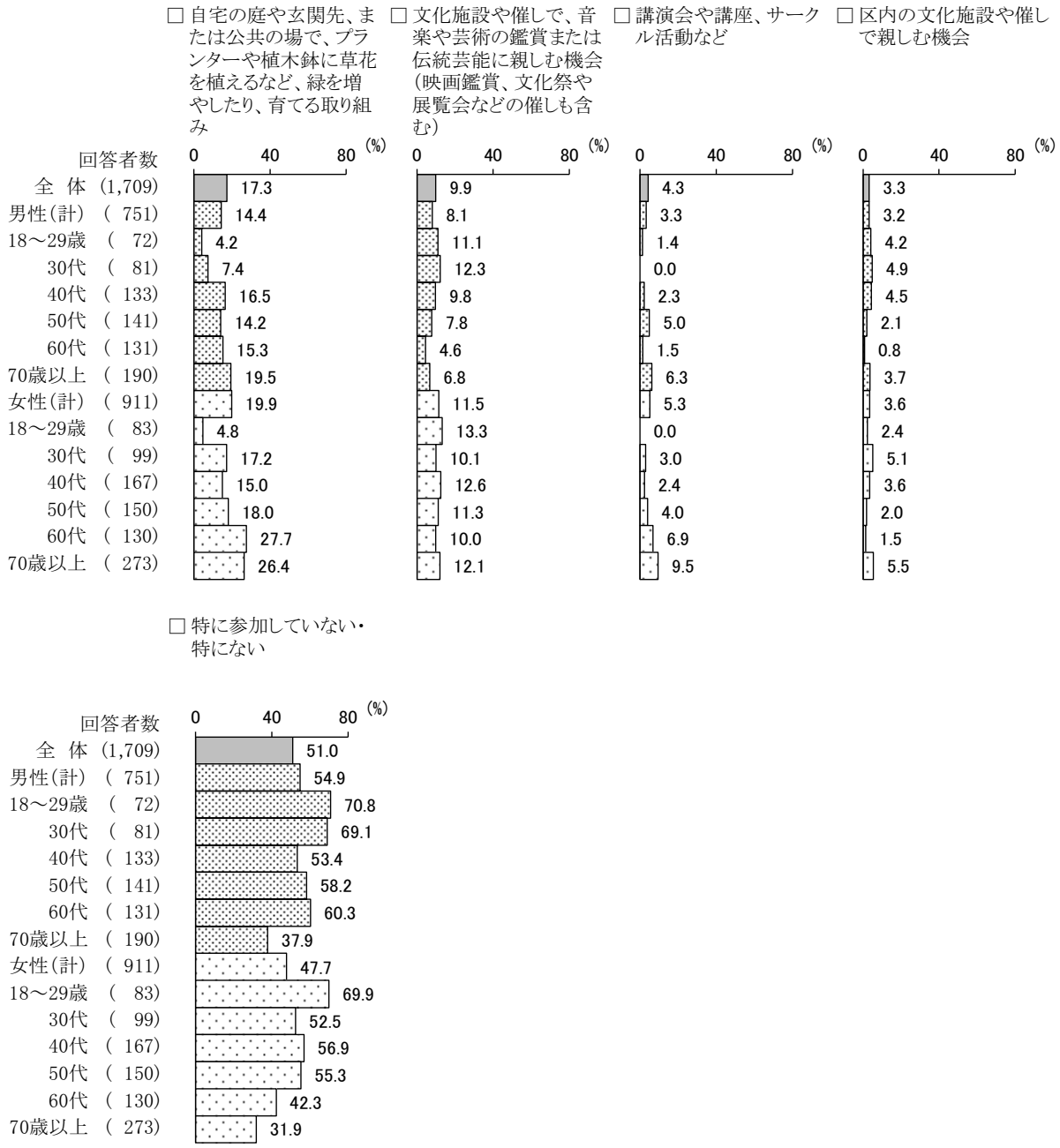
経年でみると、新型コロナ感染症の拡大によるイベント中止の影響を受けてか、「特に参加していない・特にない」が 5.6 ポイント増加している。一方で、参加したい活動も割合が増加しており、「文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む)」が 5.3 ポイント増加し、「区内の文化施設や催しで親しむ機会」も 4.2 ポイント増加している。

＜この１年間に参加した活動＞

性別でみると、「特に参加していない・特にない」は男性（54.9%）の方が女性（47.7%）より7.2ポイント高くなっている。〈参加した活動〉は全て女性の方が高くなっており、「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は女性（19.9%）の方が男性（14.4%）より5.5ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「特に参加していない・特にない」は男性の18～29歳で70.8%と最も高く、女性の18～29歳（69.9%）と男性の30代（69.1%）が約７割で続いており、男女とも70歳以上で３割台と低くなっている。「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は女性の60代と70歳以上が２割台半ばと高くなっている。

図８－６－３　性別、性・年代別／この１年間に参加した活動／上位４項目

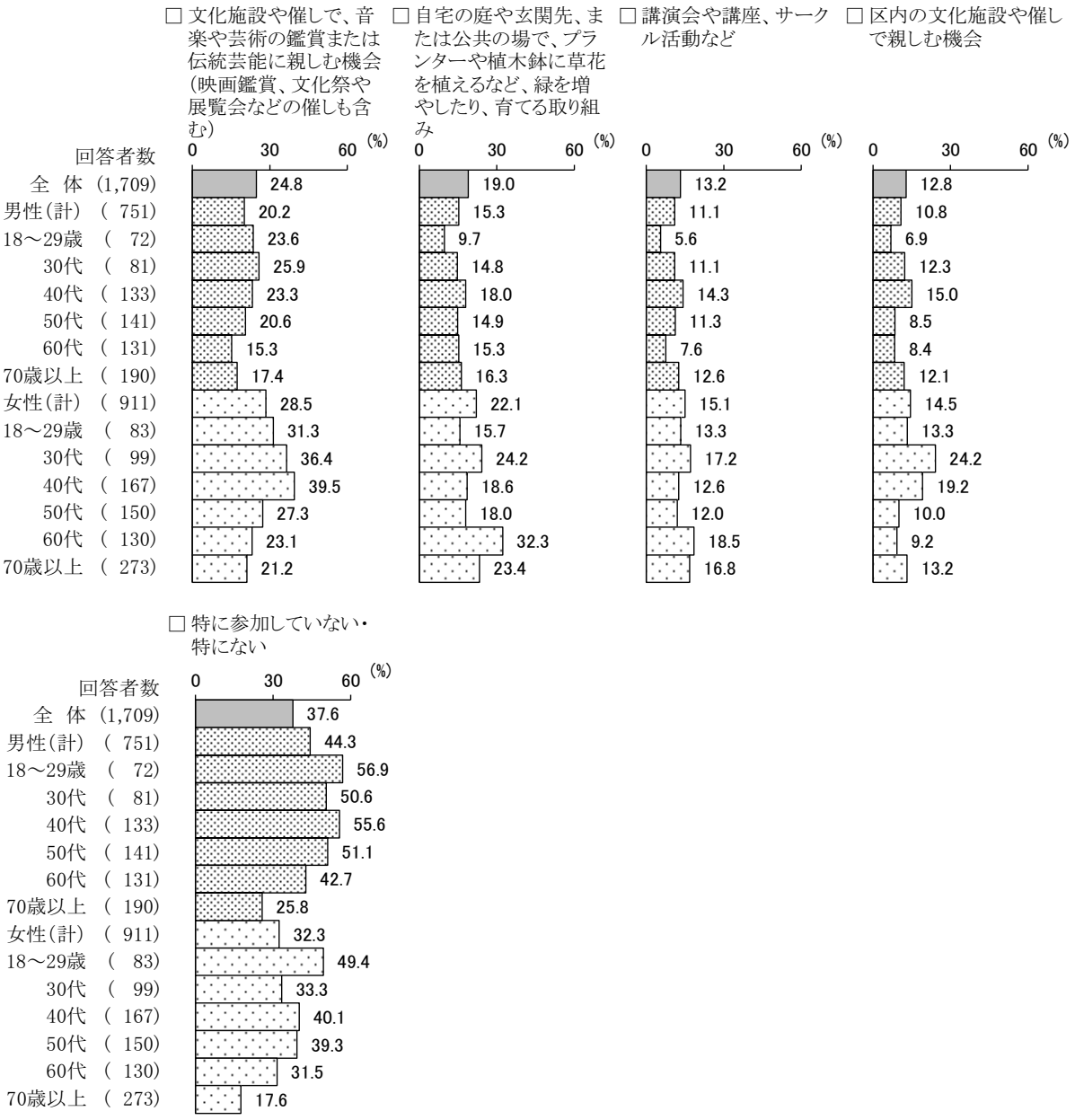


＜引き続き、または今後参加したいと思う活動＞

性別でみると、「特に参加していない・特にない」は男性（44.3%）の方が女性（32.3%）より12.0ポイント高くなっている。〈引き続き、または今後参加したい活動〉としては、すべての項目で女性の方が男性より高く、「文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む)」は女性（28.5%）の方が男性（20.2%）より8.3ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「特に参加していない・特にない」は男性の18～29歳（56.9%）と40代（55.6%）で５割台半ばと高く、男女とも70歳以上（男性25.8%・女性17.6%）で最も低くなっている。活動としては、「文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む)」は女性の40代以下で３割台と高く、男性の60代以上で１割台と低くなっている。また、「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は女性の60代で32.3%と最も高く、男性の18～29歳で9.7%と低くなっている。

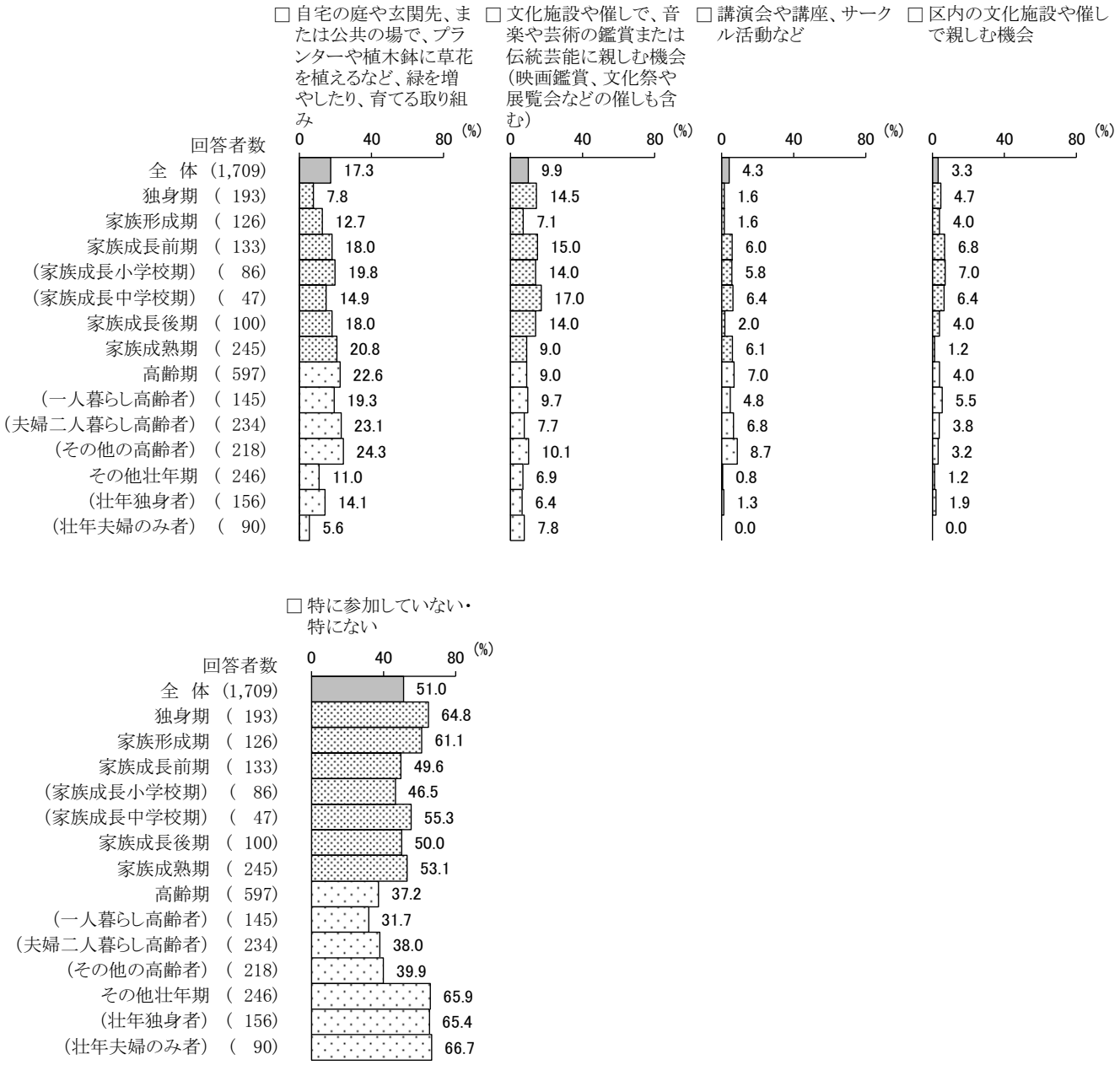
図８－６－４　性別、性・年代別／今後の参加意向／上位４項目



＜この１年間に参加した活動＞

ライフステージ別にみると、「特に参加していない・特にない」は〈その他壮年期〉（65.9%）と〈独身期〉（64.8%）で６割台半ばと高く、〈高齢期〉で37.2%と低くなっている。『参加した活動』では、「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は〈高齢期〉で22.6%と高く、〈独身期〉（7.8%）で最も低くなっている。また、「文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は〈家族成長前期〉（15.0%）と〈独身期〉（14.5%）で高く、〈その他壮年期〉（6.9%）と〈家族形成期〉（7.1%）で低くなっている。

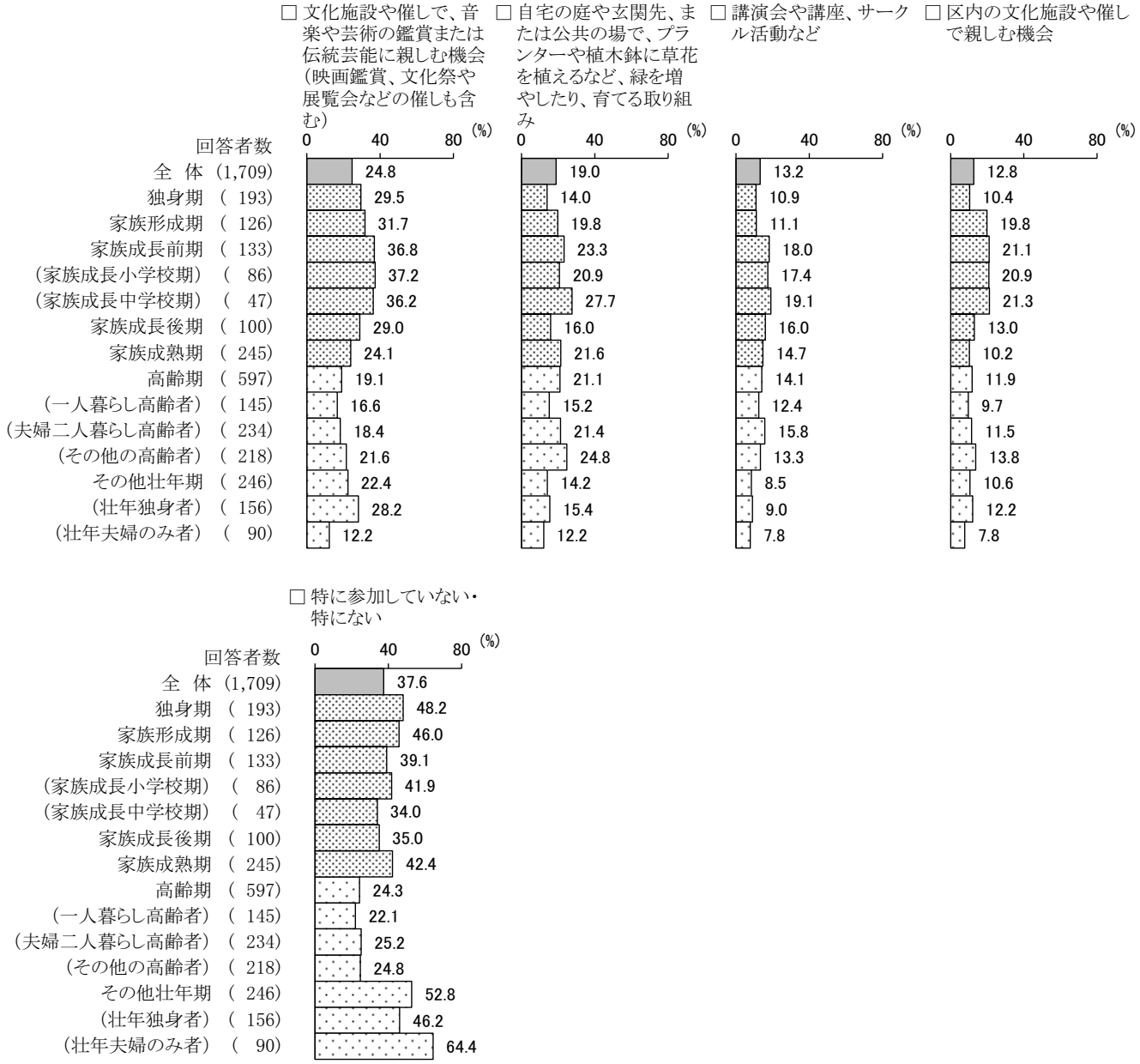
図８－６－５　ライフステージ別／この１年間に参加した活動／上位４項目



＜引き続き、または今後参加したいと思う活動＞

ライフステージ別にみると、「特に参加していない・特にない」は〈その他壮年期〉（52.8%）と〈独身期〉（48.2%）で５割前後と高く、〈高齢期〉で24.3%と低くなっている。『引き続き、または参加したい活動』では、「文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む)」は〈家族成長前期〉で36.8%と最も高く、〈高齢期〉で19.1%と最も低くなっている。また、「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は〈家族成長前期〉（23.3%）で最も高く、〈独身期〉（14.0%）で最も低くなっている。

図８－６－６　ライフステージ別／今後の参加意向／上位４項目



９　「孤立ゼロプロジェクト」など

（１）「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況
（２）「地域包括支援センター」の認知状況
（３）高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向
（４）協力意向がある活動内容
（５）「フレイル」にならないための活動の認知と実践状況
（６）「たんぱく質を多く含む食品」の毎食の摂食状況
（７）仕事と仕事以外の生活の調和
（８）「成年後見制度」「身体的暴力以外のＤＶ」「ＬＧＢＴ」の認知状況

９　「孤立ゼロプロジェクト」など

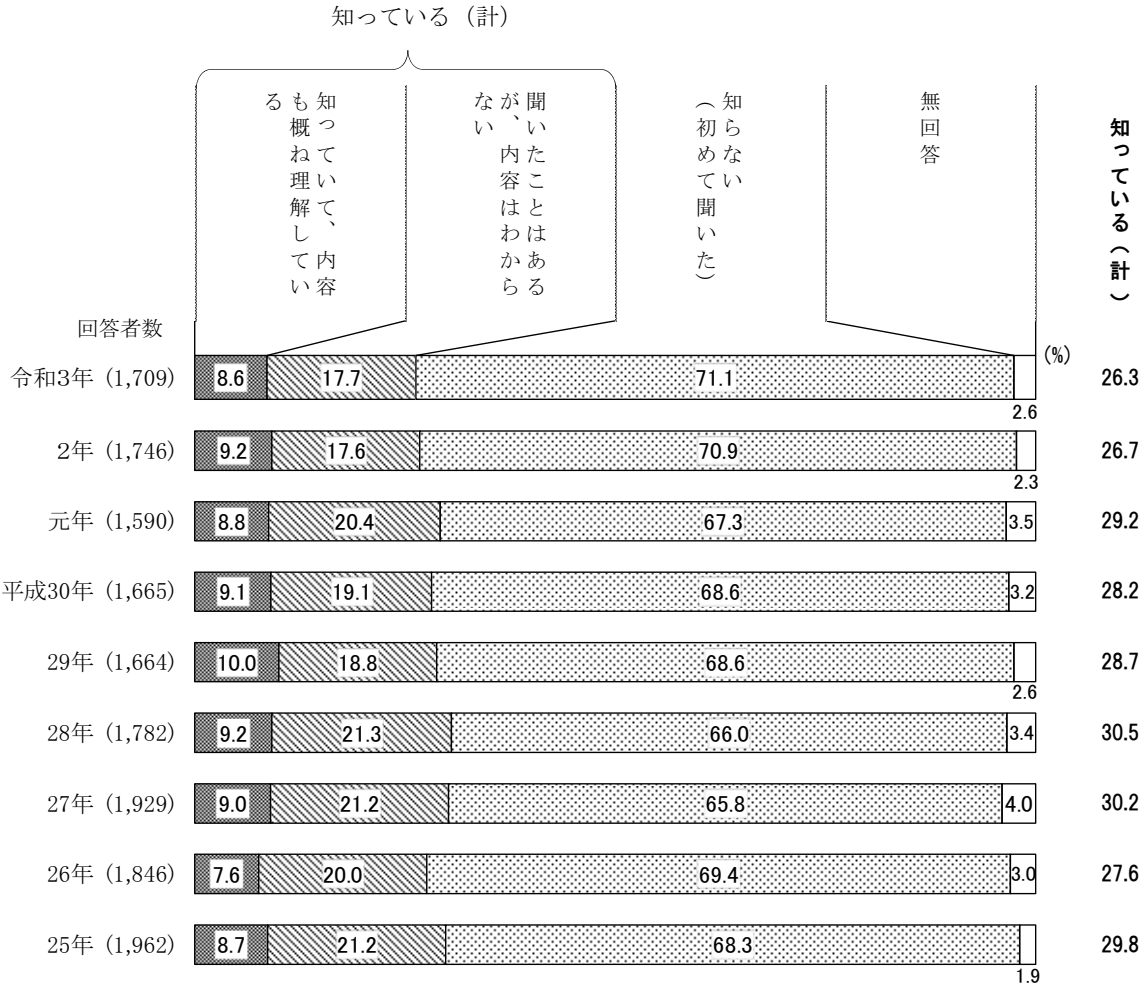
（１）「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況

■【知っている】は２割台半ばで、「知らない（初めて聞いた)」が７割強

問44　あなたは、足立区の「孤立ゼロプロジェクト（※)」という取り組みを知っていますか
（○は１つだけ)。

※「孤立ゼロプロジェクト」とは、地域における見守り活動を支援するとともに、日常的な寄り添い支援活動を通じて、支援を必要とする方を早期に発見し、必要なサービスにつなぎ、地域活動などへの社会参加を促す一連の活動をいいます。

図９－１－１　経年比較／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況

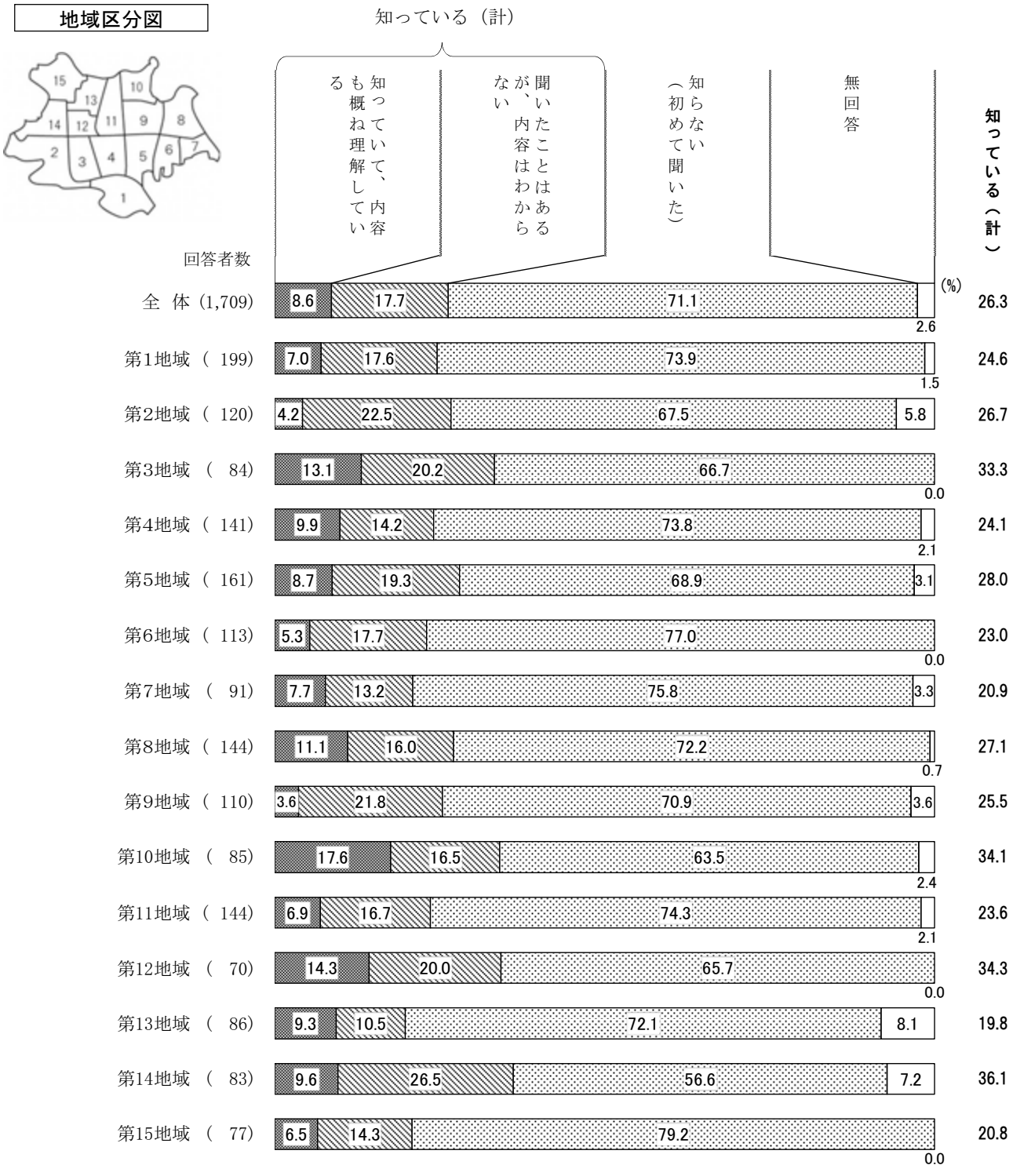


「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況は、「知っていて、内容も概ね理解している」が8.6%で、これに「聞いたことはあるが、内容はわからない」の17.7%を合わせた【知っている】は26.3%となっている。一方、「知らない（初めて聞いた)」は71.1%を占めている。

経年でみると、認知状況の回答割合に大きな変動はみられない。

地域別でみると、【知っている】は第14地域で36.1％と最も高く、次いで第12地域（34.3％）、第10地域（34.1％）、第３地域（33.3％）が３割台前半と高くなっている。一方、「知らない（初めて聞いた)」は第15地域で79.2％と最も高くなっている。

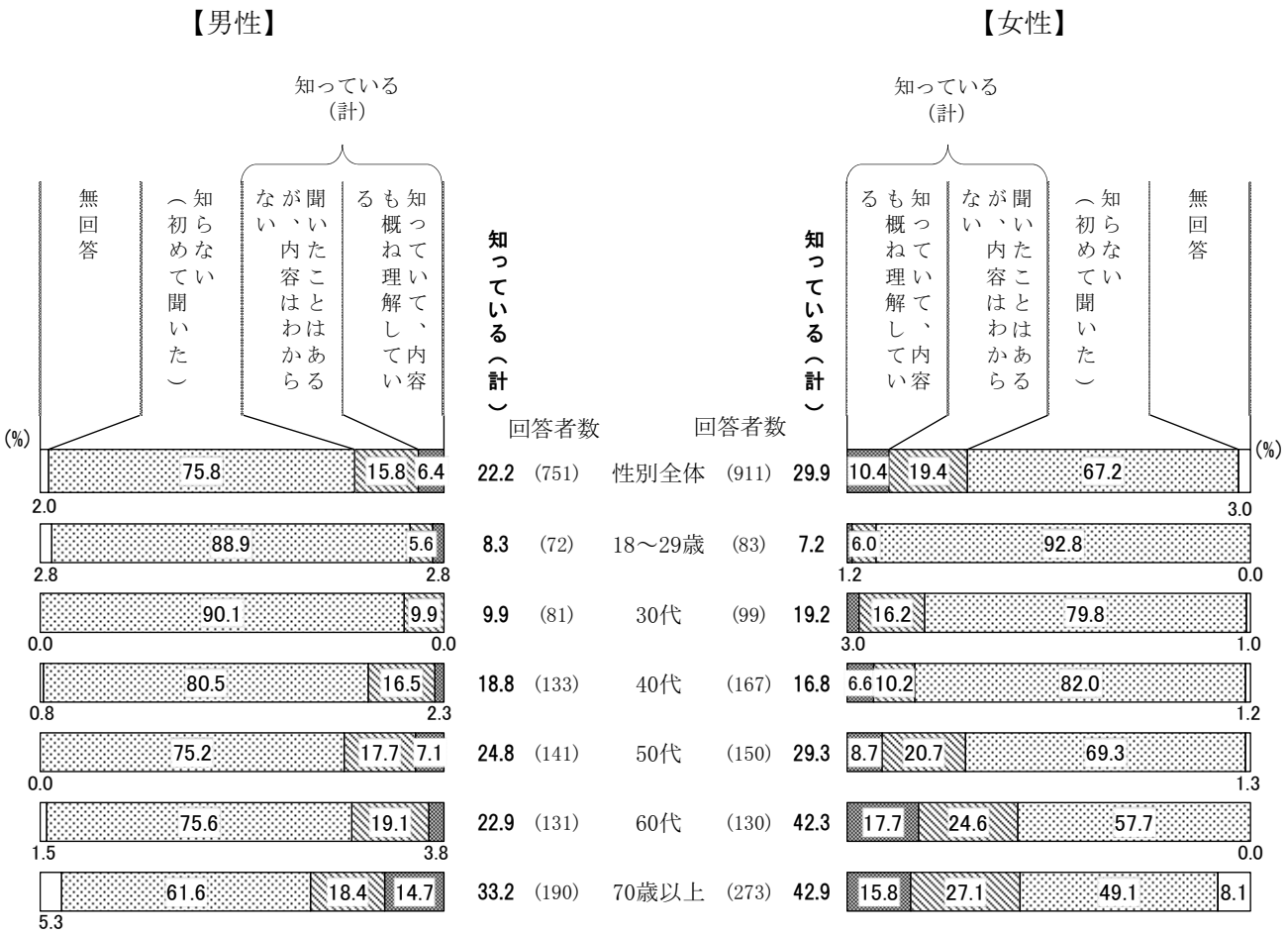
図９－１－２　地域別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況



性別でみると、【知っている】は女性（29.9％）の方が男性（22.2％）より7.7ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【知っている】は女性の60代（42.3％）と70歳以上（42.9％）で４割強と高く、次いで男性の70歳以上で33.2％と高くなっている。一方、男女の18～29歳と男性の30代で１割未満と低く、男女ともにおおむね年代が高くなるほど認知率も高くなる傾向がみられる。

図９－１－３　性別、性・年代別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況



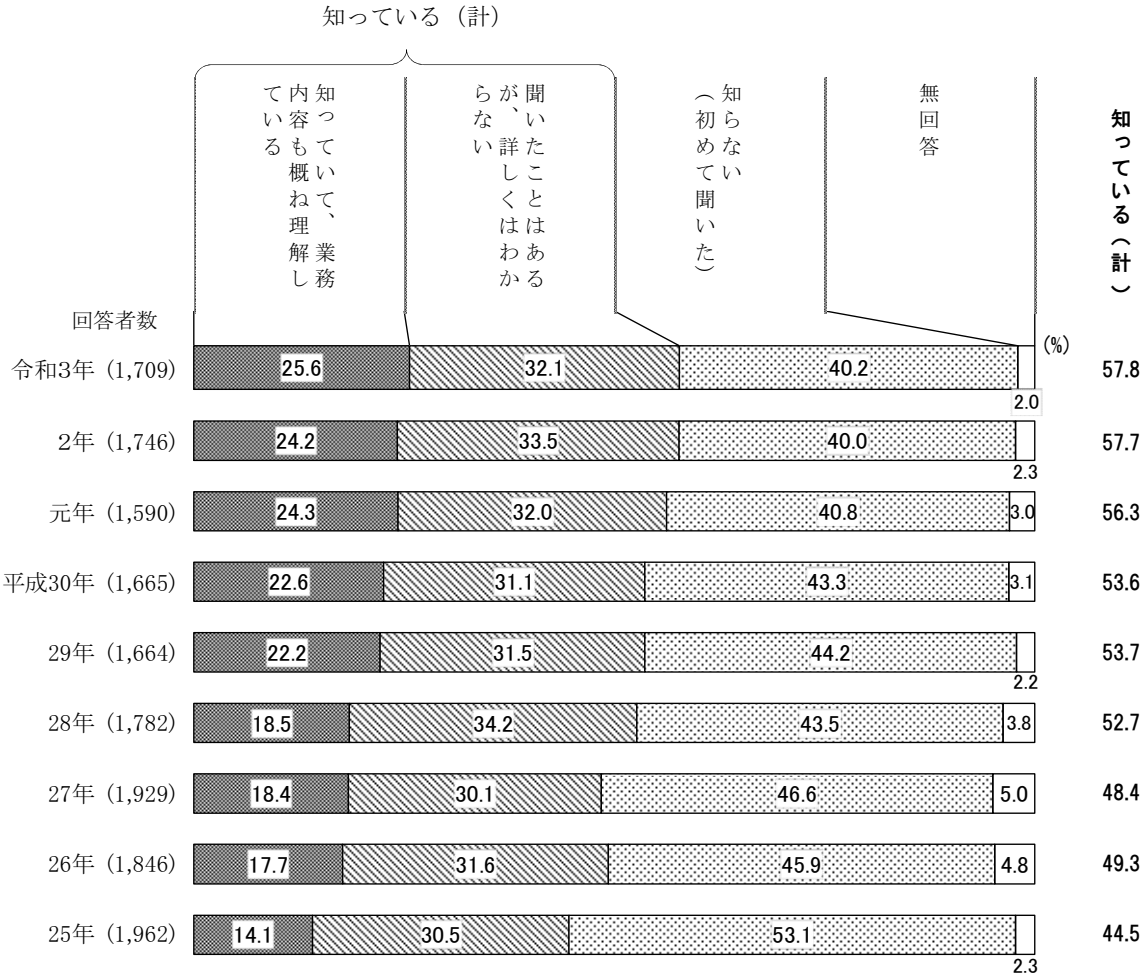
（２）「地域包括支援センター」の認知状況

■【知っている】は前回同様で５割台半ば超

問45　あなたは、「地域包括支援センター（※）」を知っていますか（○は１つだけ）。

※「地域包括支援センター」は、足立区から委託を受けた公的な「高齢者の総合相談窓口」です。高齢者やご家族の方の健康や介護に関する様々なご相談に応じています。

図９－２－１　経年比較／「地域包括支援センター」の認知状況

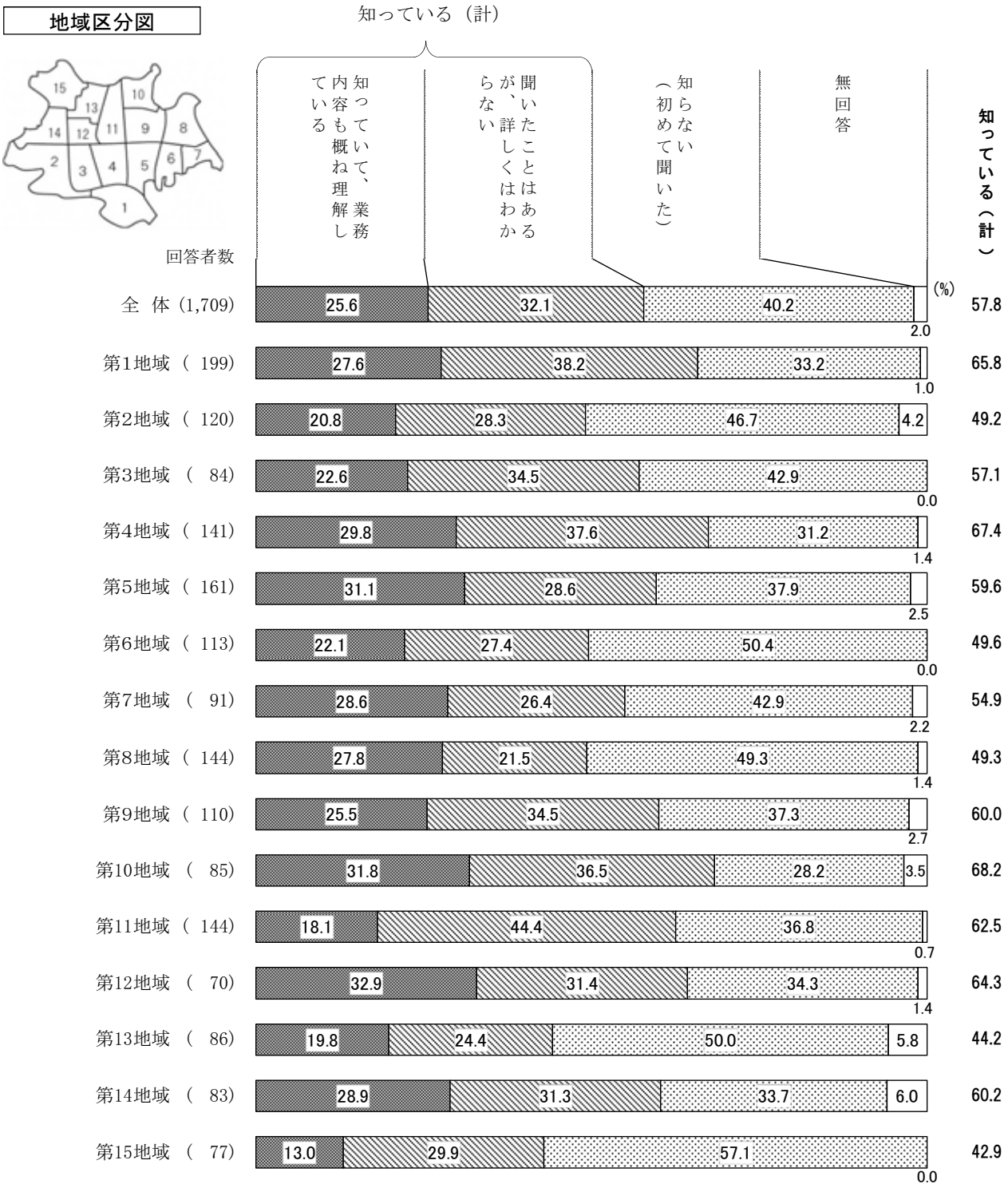


「地域包括支援センター」について、「知っていて、業務内容も概ね理解している」が25.6％で、これに「聞いたことはあるが、詳しくはわからない」（32.1％）を合わせた【知っている】は57.8％となっている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は40.2％であった。

経年でみると、回答割合に大きな変動はみられないものの、【知っている】は漸増傾向となっている。

地域別でみると、【知っている】は、第10地域で68.2％と最も高く、次いで、第４地域（67.4％）と第１地域（65.8％）が６割台半ばで続いている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は第15地域で57.1％と高く、第13地域（50.0％）と第６地域（50.4％）で５割以上となっている。

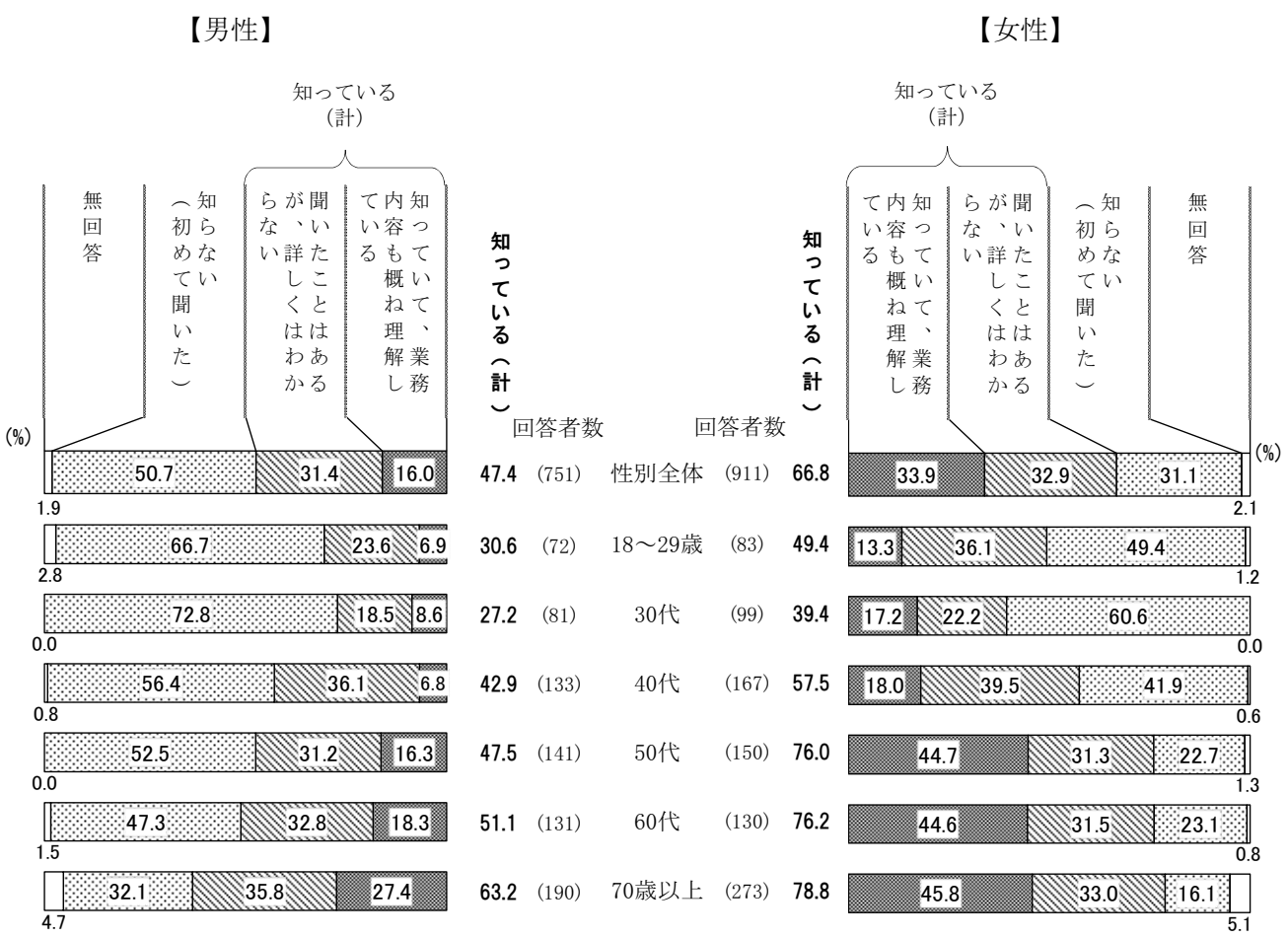
図９－２－２　地域別／「地域包括支援センター」の認知状況



性別でみると、【知っている】は女性（66.8%）の方が男性（47.4%）より19.4ポイント高く、男女差が大きくなっている。

性・年代別でみると、【知っている】は、女性の70歳以上で78.8%と最も高く、男女とも70歳以上で最も高く、30代で最も低くなっている。

図９－２－３　性別、性・年代別／「地域包括支援センター」の認知状況

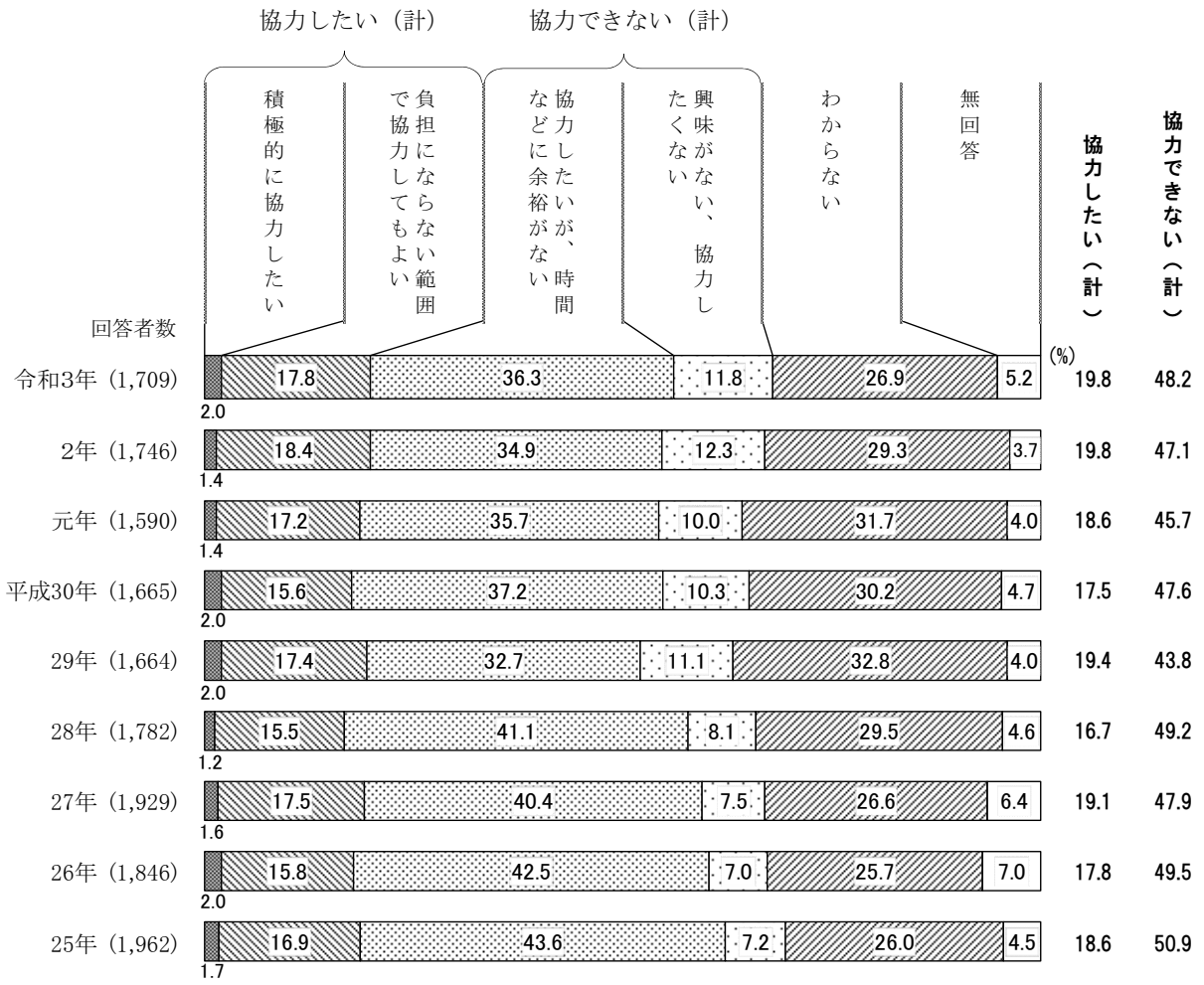


（３）高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

■【協力したい】は約２割で、前回から変化なし

問46　あなたは、高齢者の孤立防止や見守り活動に協力してみたいですか（○は１つだけ）。

図９－３－１　経年比較／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

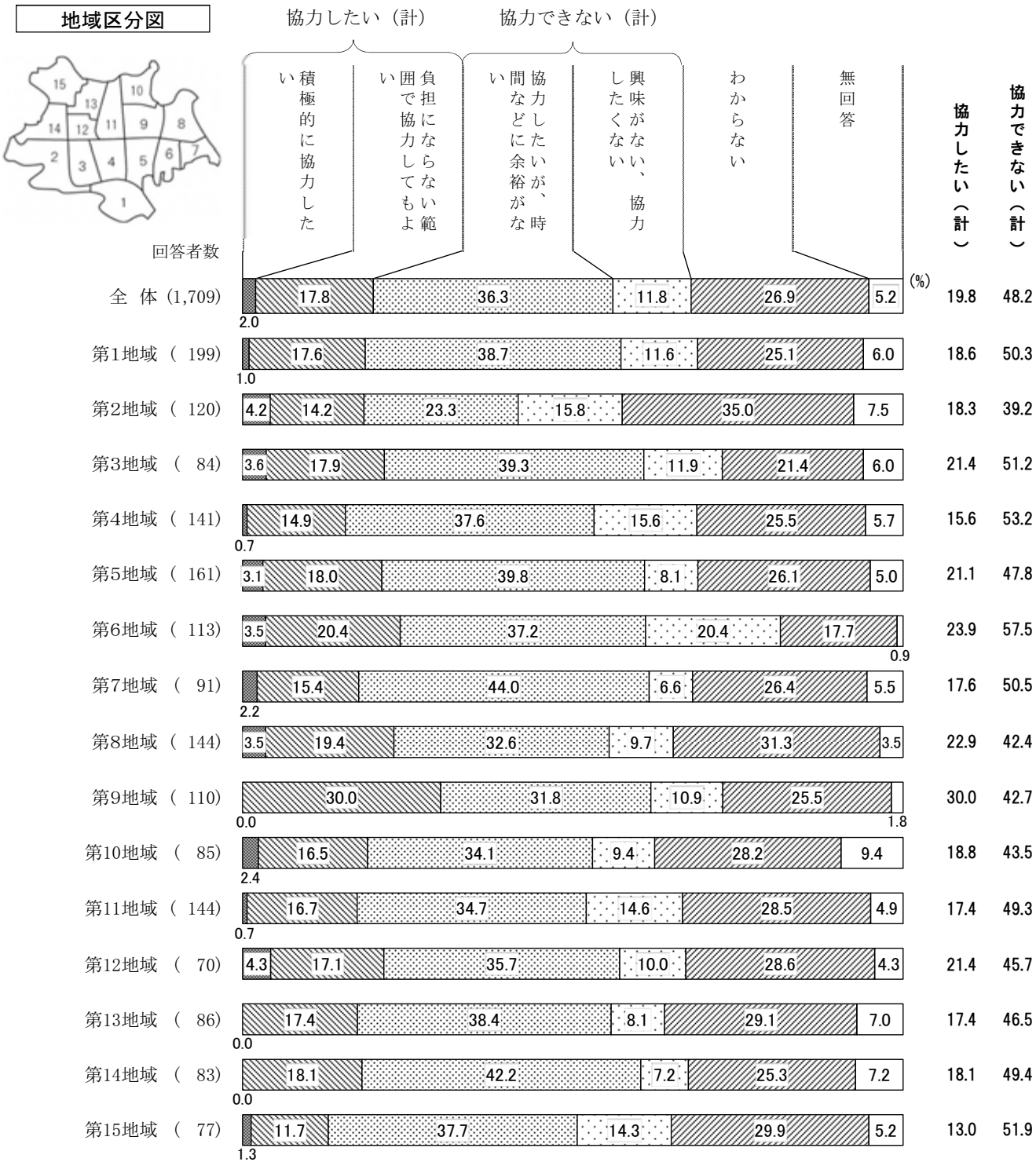


高齢者の孤立防止や見守り活動に「積極的に協力したい」は2.0％で、これに「負担にならない範囲で協力してもよい」（17.8％）を合わせた【協力したい】は19.8％となっている。一方、「協力したいが、時間などに余裕がない」は36.3％で最も高く、これに「興味がない、協力したくない」（11.8％）を合わせた【協力できない】は48.2％となっている。

経年でみると、前回調査から特に大きな違いはみられない。

地域別でみると、【協力したい】は第９地域が30.0％で最も高く、次いで、第６地域（23.9％）と第８地域（22.9％）が２割強から２割台半ば近くで続いている。一方、【協力できない】は第６地域が57.5％と最も高くなっている。

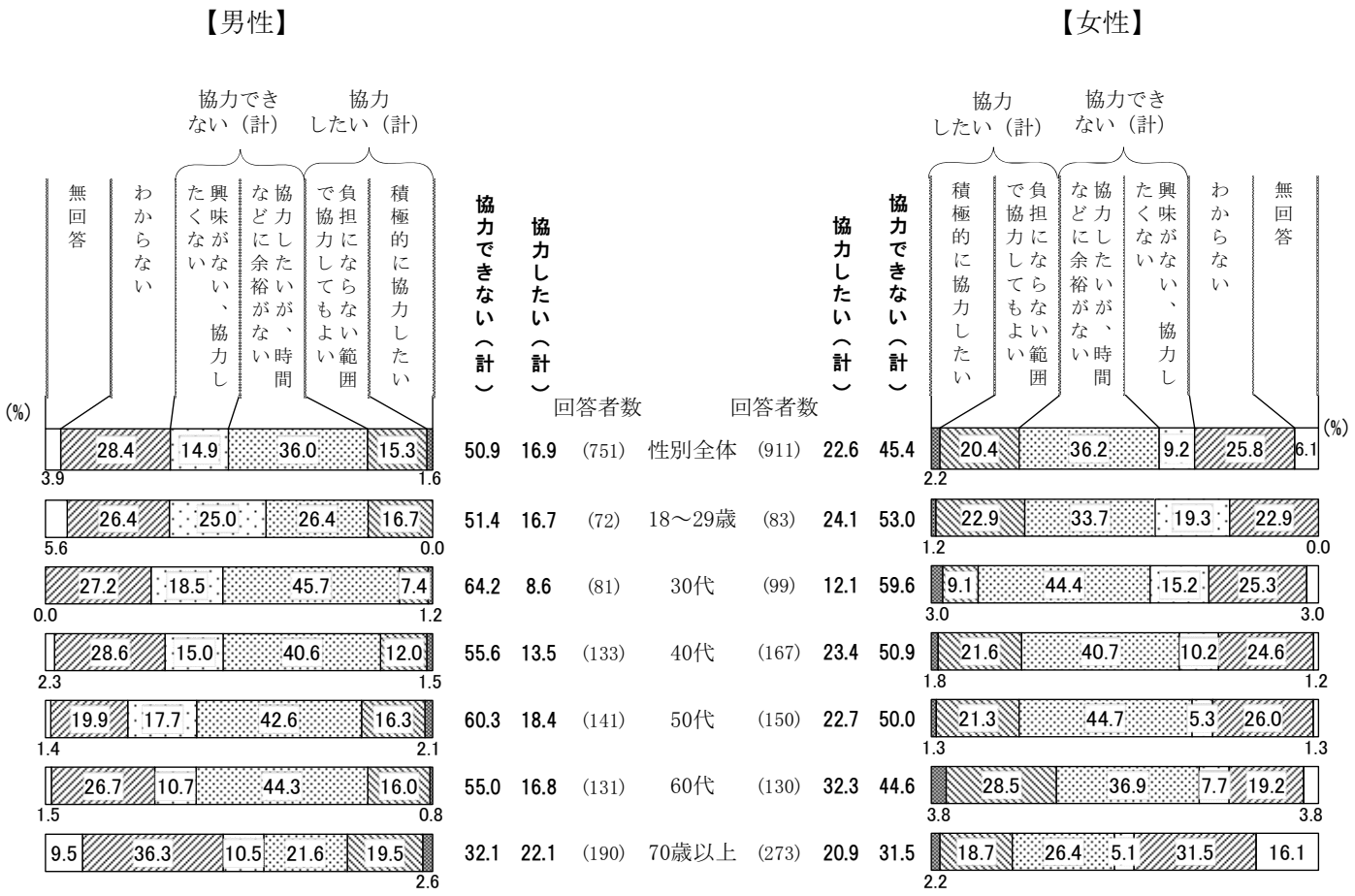
図９－３－２　地域別／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向



性別でみると、【協力したい】は女性（22.6％）の方が男性（16.9％）より5.7ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【協力したい】は女性の60代で32.3％と最も高く、次いで女性の18～29歳で24.1％となっている。一方、【協力できない】は、男性の30代で64.2％と最も高く、次いで男性の50代（60.3％）、女性の30代（59.6％）が６割前後で続いている。

図９－３－３　性別、性・年代別／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向



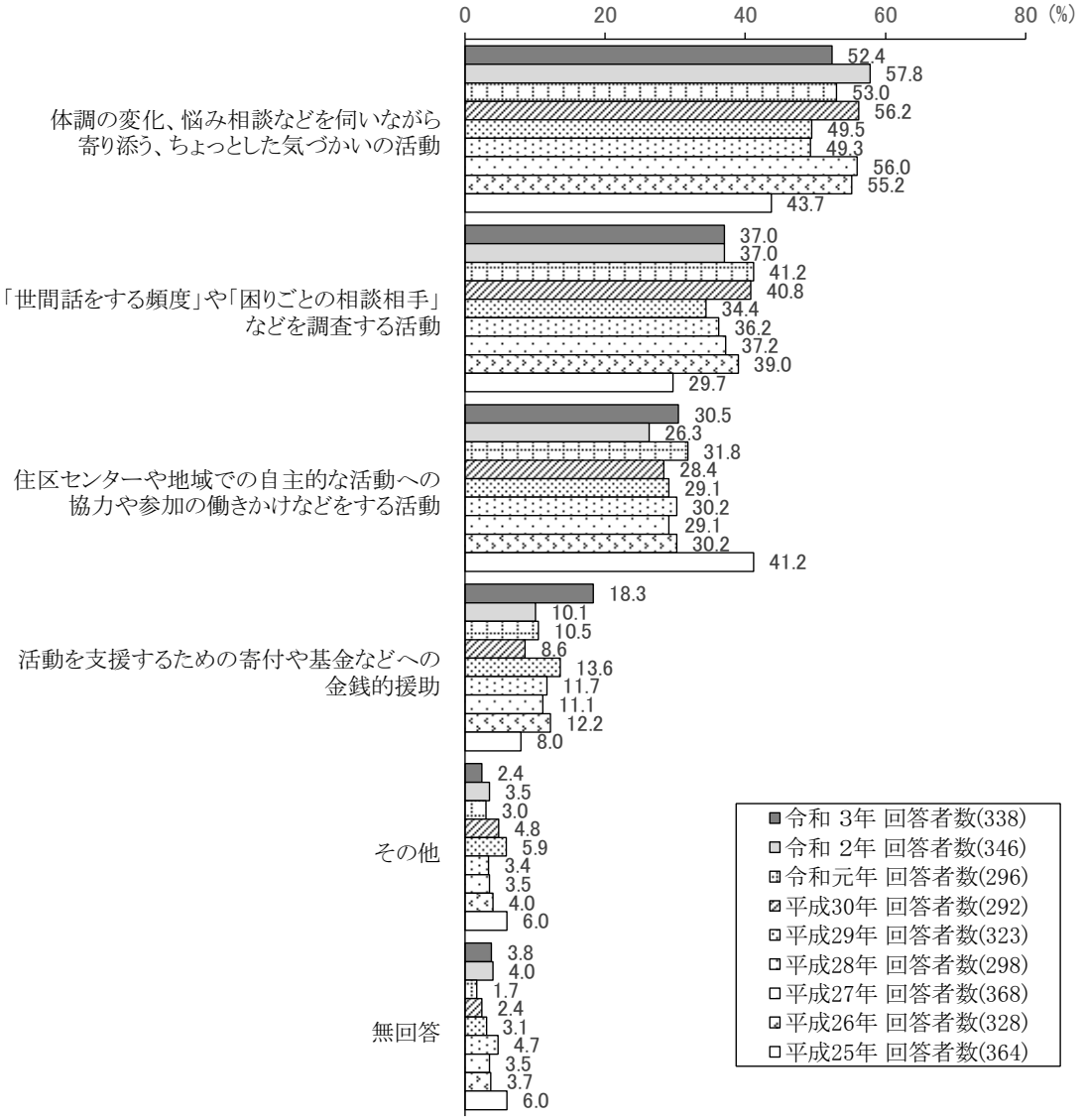
（４）協力意向がある活動内容

■“ちょっとした気づかいの活動”が５割強、“調査する活動”が３割半ば超

問46で「１　積極的に協力～」または「２　負担にならない範囲で協力～」とお答えの方に

問46－１　どのような活動に協力したいですか（○はあてはまるものすべて）。

図９－４－１　経年比較／協力意向がある活動内容



平成25年度調査の選択肢について

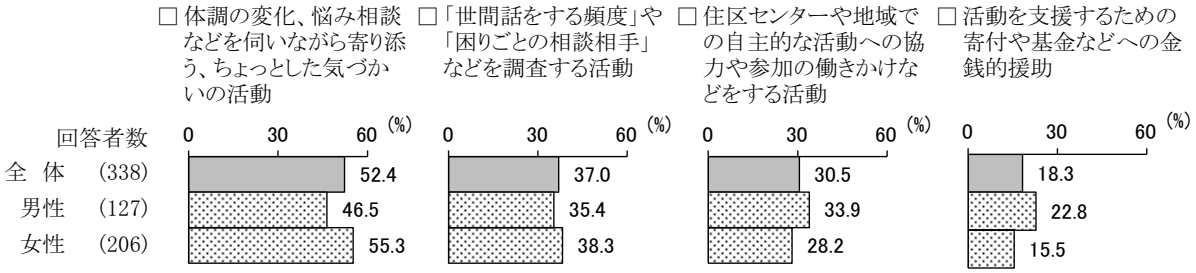
- 体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかいの活動＝平成25年度調査：寄り添い支援活動
- 「世間話をする頻度」や「困りごとの相談相手」などを調査する活動＝平成25年度調査：調査活動
- 住区センターや地域での自主的な活動への協力や参加の働きかけなどをする活動＝平成25年度調査：居場所づくりや活動の場での協力
- 活動を支援するための寄付や基金等への金銭的援助＝平成25年度調査：財政的協力

【協力したい】という人に、その活動内容を聴くと、「体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかいの活動」が52.4％で最も高く、以下「『世間話をする頻度』や『困りごとの相談相手』などを調査する活動」（37.0％）、「住区センターや地域での自主的な活動への協力や参加の働きかけなどをする活動」（30.5％）、「活動を支援するための寄付や基金などへの金銭的援助」（18.3％）の順となっている。

経年でみると、上位項目の順位に変動はみられないものの、「活動を支援するための寄付や基金などへの金銭的援助」は8.2ポイント、「住区センターや地域での自主的な活動への協力や参加の働きかけなどをする活動」は4.2ポイント前回調査よりそれぞれ増加する一方で、「体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかいの活動」は前回調査より5.4ポイント減少している。

性別でみると、「体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかいの活動」は女性（55.3％）の方が男性（46.5％）より8.8ポイント高く、「活動を支援するための寄付や基金などへの金銭的援助」では、男性（22.8％）の方が女性（15.5％）より7.3ポイント、「住区センターや地域での自主的な活動への協力や参加の働きかけなどをする活動」でも、男性（33.9％）の方が女性（28.2％）より5.7ポイント高くなっている。

図９－４－２　性別／協力意向がある活動内容

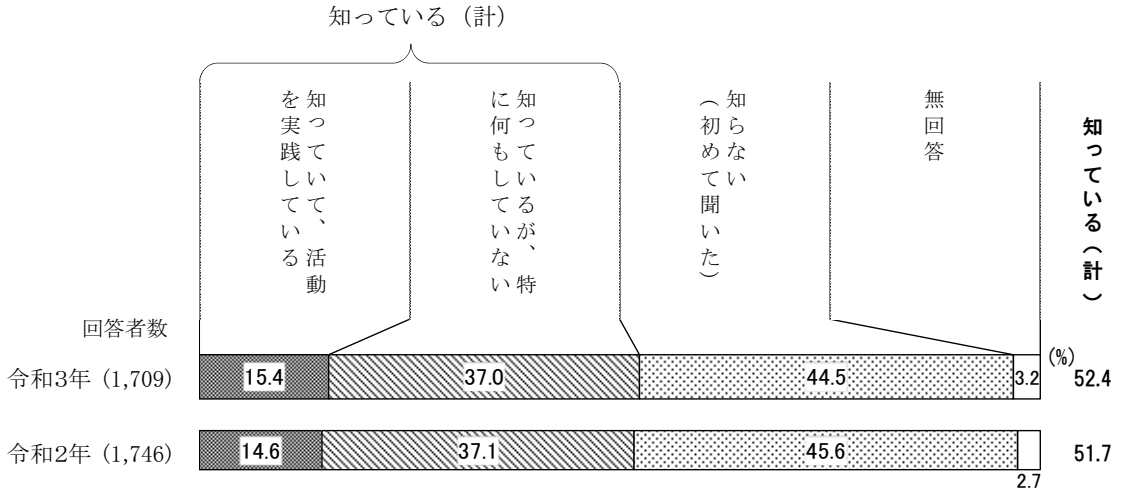


（５）「フレイル」にならないための活動の認知と実践状況

■【知っている】は５割強で、そのうち“活動を実践”は全体の１割台半ば

問47　あなたは、高齢期におこりやすい、筋力や心身の機能などが低下し、衰弱した状態「フレイル」にならないために、「運動」「口の健康・栄養」「社会参加」のそれぞれが大切なことを知っていますか（○は１つだけ）。

図９－５－１　前回調査との比較／「フレイル」にならないための活動の認知と実践状況

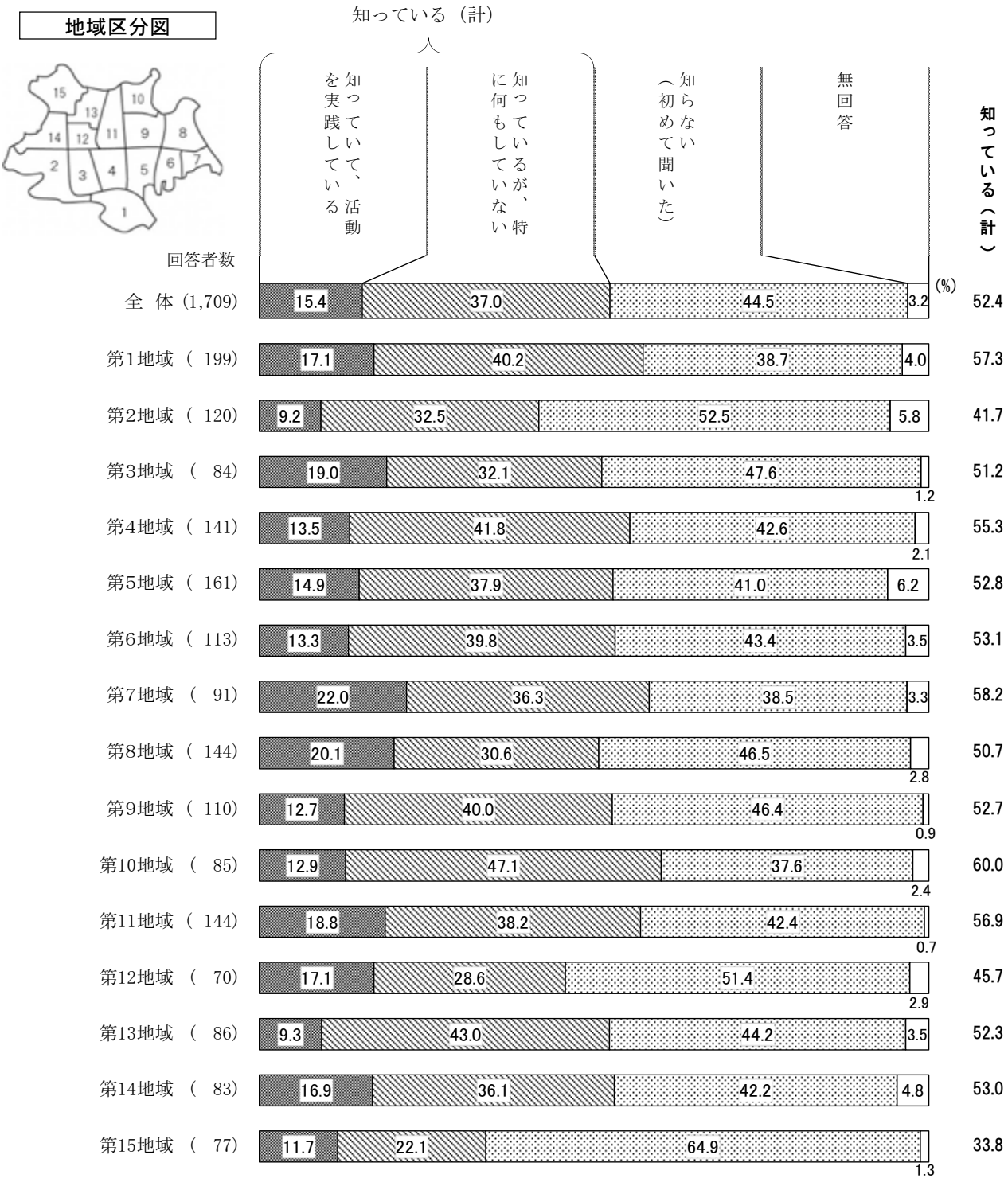


「フレイル」にならないために「運動」「口の健康・栄養」「社会参加」が大切なことの認知とその実践状況は、「知っていて、活動を実践している」は15.4％となっており、これに「知っているが、特に何もしていない」（37.0％）を合わせた【知っている】は52.4％となっている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は44.5％となっている。

本設問が新設された前回の令和２年調査との比較では、回答割合に大きな違いはみられない。

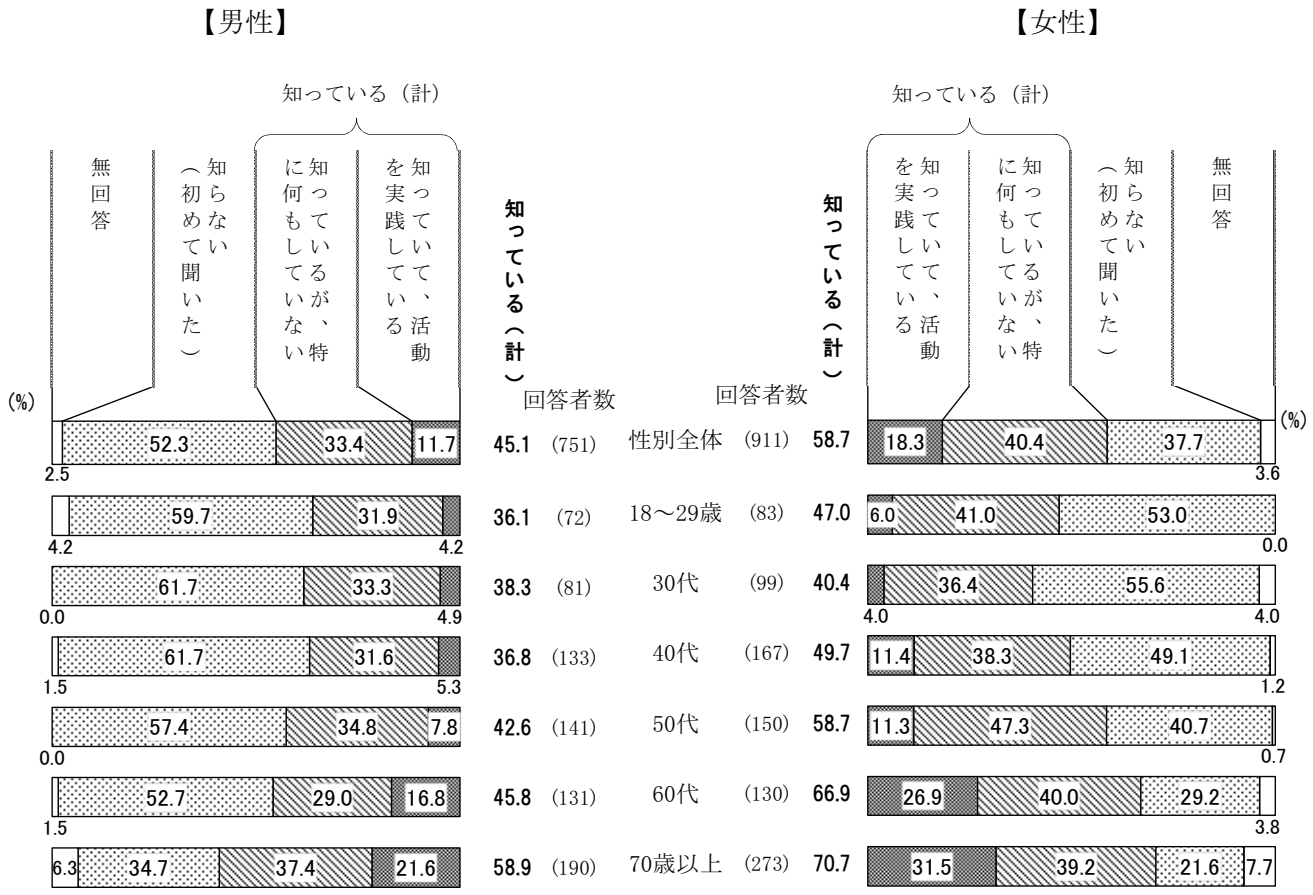
地域別でみると、「知っていて、活動を実践している」は第７地域が22.0％で最も高く、これに第８地域が20.1％で続いている。【知っている】でみると、第10地域が60.0％で最も高く、次いで第７地域が58.2％となっている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は第15地域で64.9％と他の地域に比べて特に高くなっている。

図９－５－２　地域別／「フレイル」にならないための活動の認知と実践状況



性・年代別でみると、【知っている】は、女性の70歳以上で70.7％と最も高く、次いで女性の60代が66.9％で高くなっている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は男性の40代以下が６割前後と他の性・年代層に比べて高くなっている。

図９－５－３　性別、性・年代別／「フレイル」にならないための活動の認知と実践状況

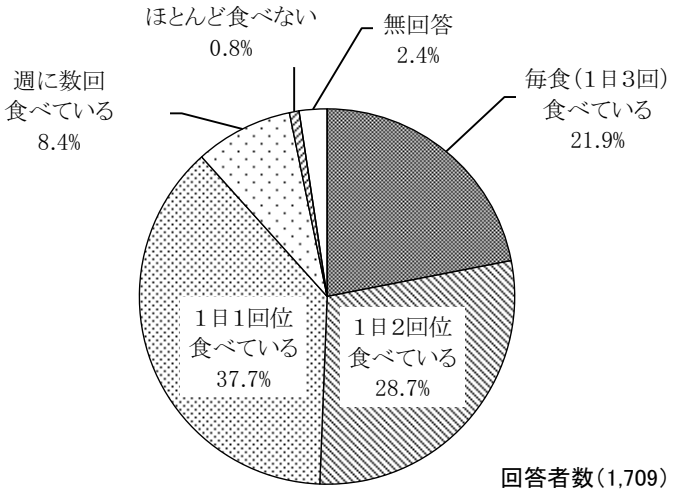


（６）「たんぱく質を多く含む食品」の毎食の摂食状況

■「毎食（１日３回）食べている」が２割強、「１日２回位食べている」が３割弱

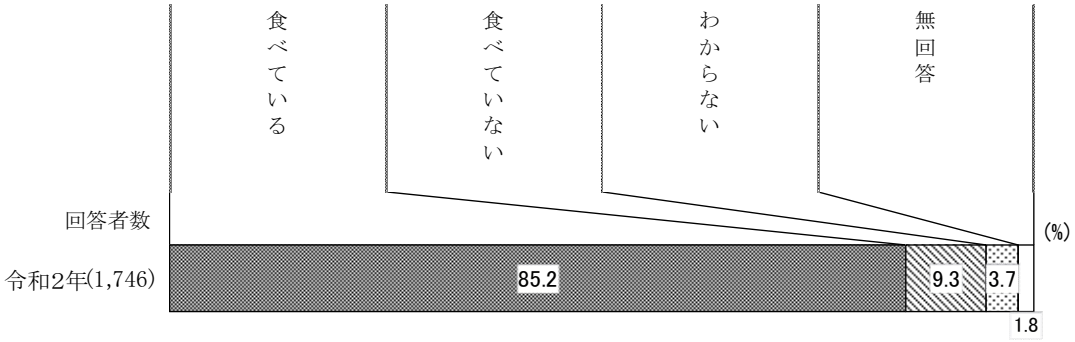
問48　あなたは毎食、たんぱく質を多く含む食品（肉、魚、卵、大豆製品の１種類以上）をどれくらいの頻度で食べていますか（○は１つだけ）。
※「フレイル」になる要因の一つとして、たんぱく質の不足があげられます。

図９－６－１　「たんぱく質を多く含む食品」の毎食の摂食状況



参考／（令和２年調査）「たんぱく質を多く含む食品」の毎食の摂食状況

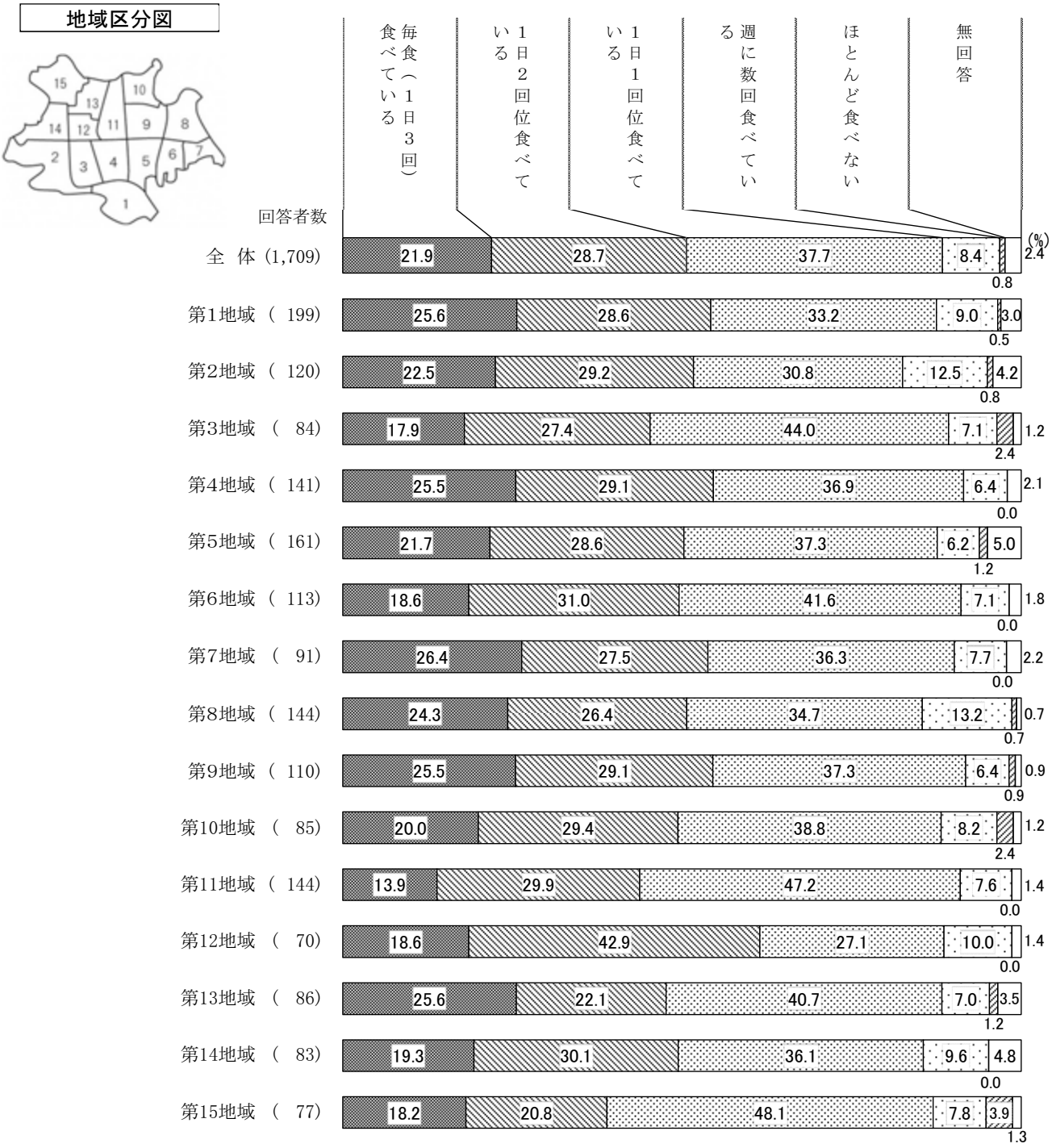
問　　あなたは毎食、たんぱく質を多く含む食品（肉、魚、卵、大豆製品）１種類以上食べていますか（○は１つだけ）。



新設となった令和２年調査では、「たんぱく質を多く含む食品」の毎食での摂食状況を聴いたが、今回は摂食の頻度を聴いた。「１日１回位食べている」が37.7%と最も高く、次いで「１日２回位食べている」（28.7%）、「毎食（１日３回）食べている」（21.9%）、「週に数回食べている」（8.4%）、「ほとんど食べない」（0.8%）となっている。

地域別でみると、「毎食（１日３回）食べている」は第７地域が26.4％で最も高く、僅差で第１地域と第13地域（各25.6％）、第４地域と第９地域（各25.5％）が続いている。逆に第11地域が13.9％で他の地域に比べて特に低くなっている。

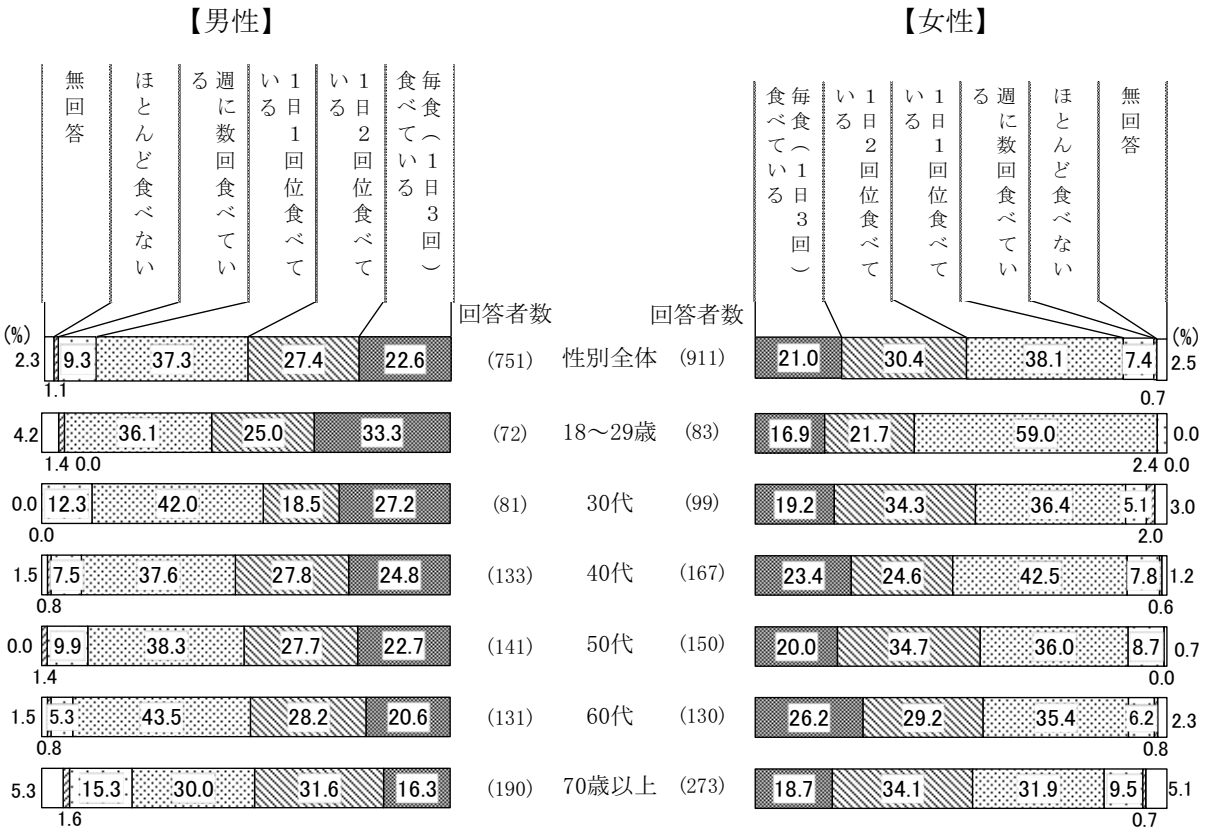
図９－６－２　地域別／「たんぱく質を多く含む食品」の毎食の摂食状況



性別でみると、「毎食（１日３回）食べている」は男性（22.6%）の方が女性（21.0%）より僅かに高いものの、特に大きな違いはみられない。

性・年代別でみると、「毎食（１日３回）食べている」は、男性の18～29歳で33.3%と最も高く、次いで、男性の30代（27.2%）、女性の60代（26.2%）と続いている。逆に男性の70歳以上（16.3%）と女性の18～29歳（16.9%）で１割台半ばと低くなっている。

図９－６－３　性別、性・年代別／「たんぱく質を多く含む食品」の毎食の摂食状況

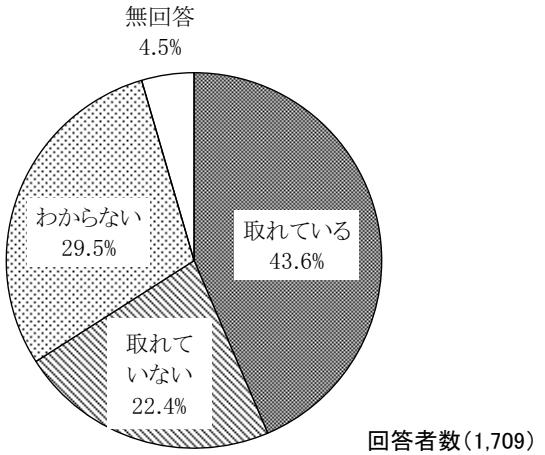


（７）仕事と仕事以外の生活の調和

■「取れている」が４割台半ば近くで、「取れていない」が２割強

問49　あなたは、仕事と仕事以外の生活の調和が取れていると思いますか（○は１つだけ）。

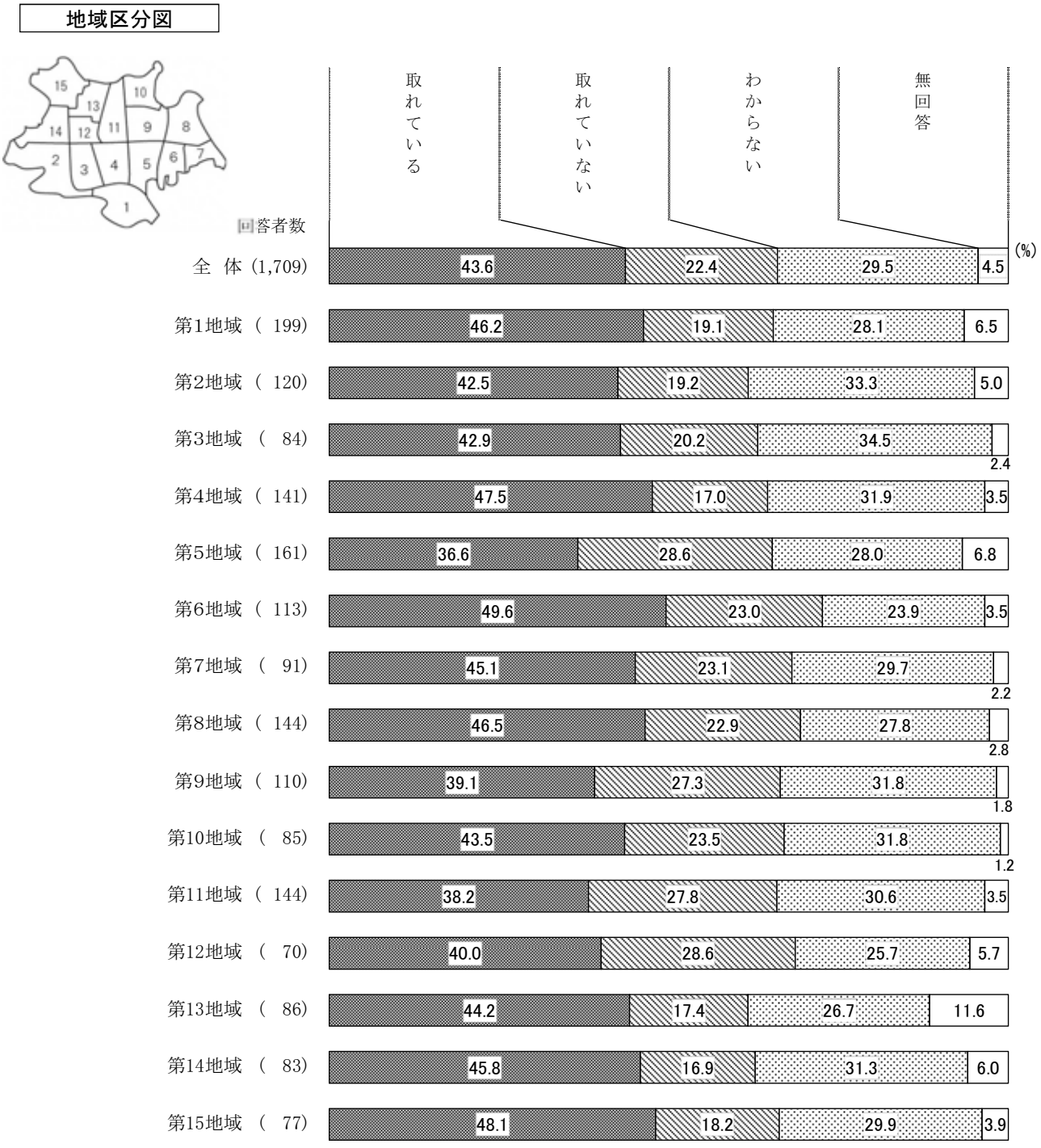
図９－７－１　仕事と仕事以外の生活の調和



仕事と仕事以外の生活の調和について、「取れている」が43.6％で、「取れていない」（22.4％）を上回っている。一方、「わからない」は29.5％であった。

地域別でみると、「取れている」は第６地域が49.6％で最も高く、次いで、第15地域（48.1％）、第４地域（47.5％）が続いている。一方、「取れていない」は第５地域と第12地域が各28.6％で最も高くなっている。

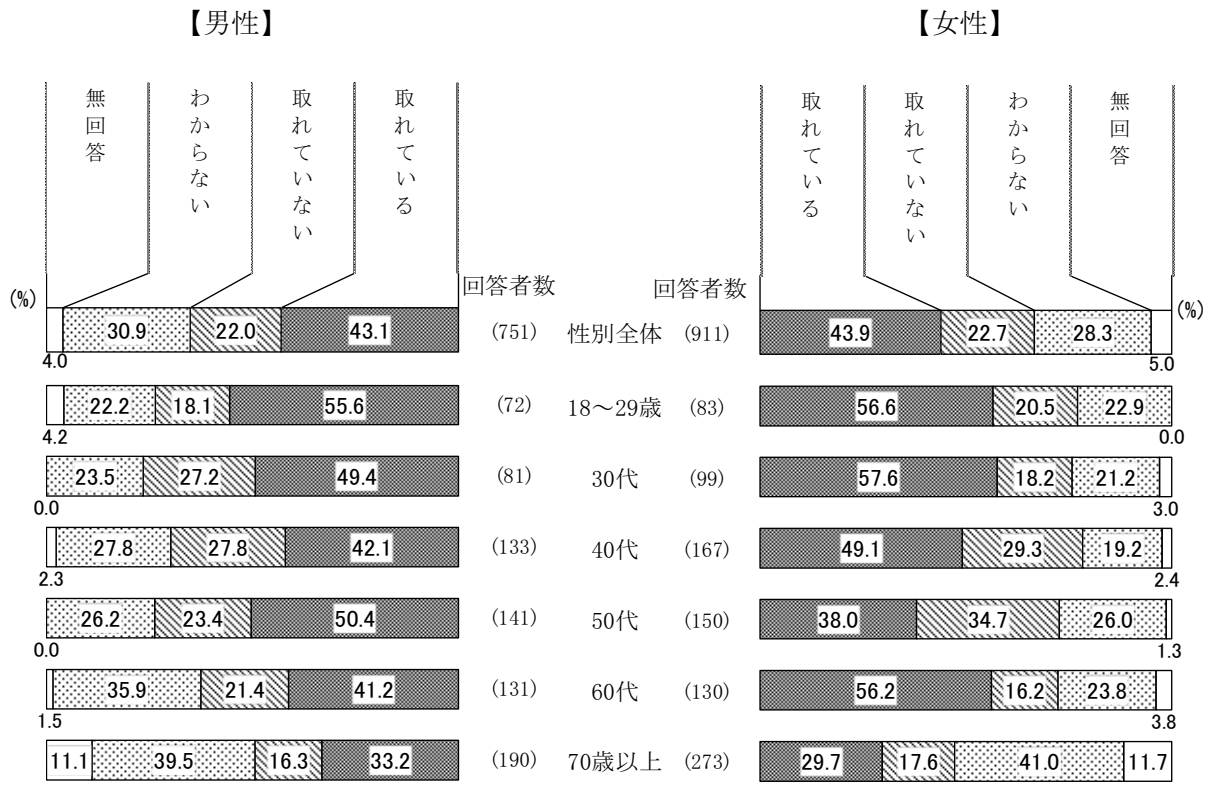
図９－７－２　地域別／仕事と仕事以外の生活の調和



性別でみると、「わからない」は男性（30.9%）の方が女性（28.3%）より僅かに高いものの、特に大きな違いはみられない。

性・年代別でみると、「取れている」は女性の30代が57.6%で最も高く、次いで、女性の18～29歳（56.6%）、60代（56.2%）、男性の18～29歳（55.6%）が５割台半ばで続いている。「取れていない」は女性の50代（34.7%）、「わからない」は女性の70歳以上（41.0%）で最も高くなっている。

図９－７－３　性別、性・年代別／仕事と仕事以外の生活の調和

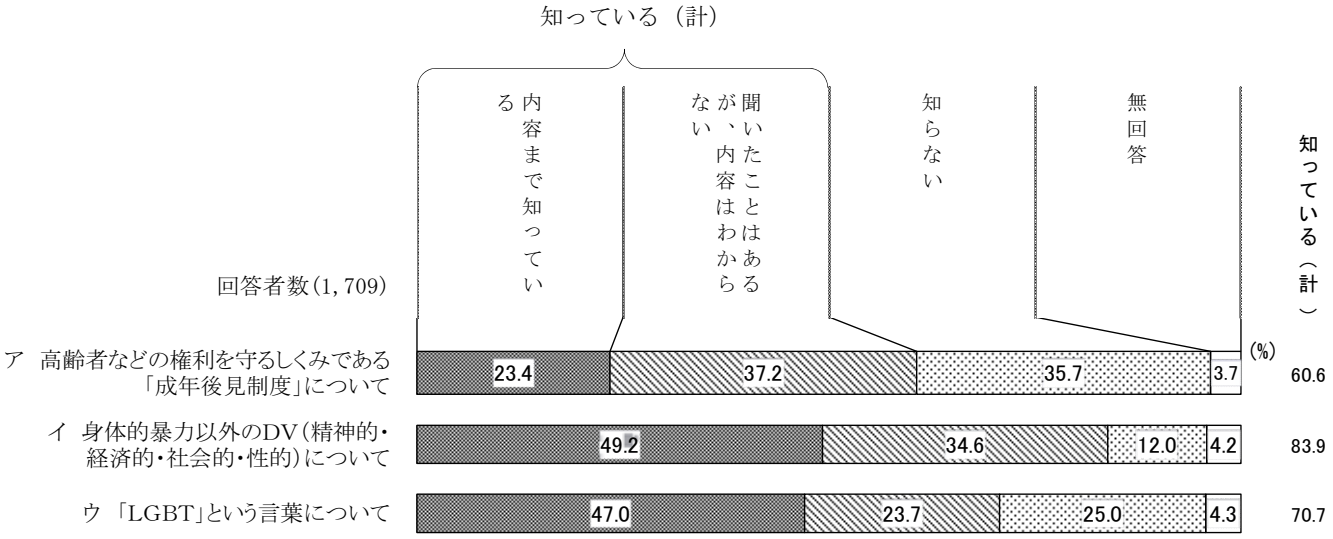


（８）「成年後見制度」「身体的暴力以外のＤＶ」「ＬＧＢＴ」の認知状況

■「身体的暴力以外のＤＶ」が約５割、「ＬＧＢＴ」が４割台半ば超

問50　あなたは、下記のア～ウについて知っていますか（○はそれぞれ１つずつ）。

図９－８－１　言葉の認知状況



〈成年後見制度〉は、「内容まで知っている」が23.4％で、「聞いたことはあるが、内容はわからない」（37.2％）を合わせた【知っている】は６割となっている。一方、「知らない」は35.7％となっている。

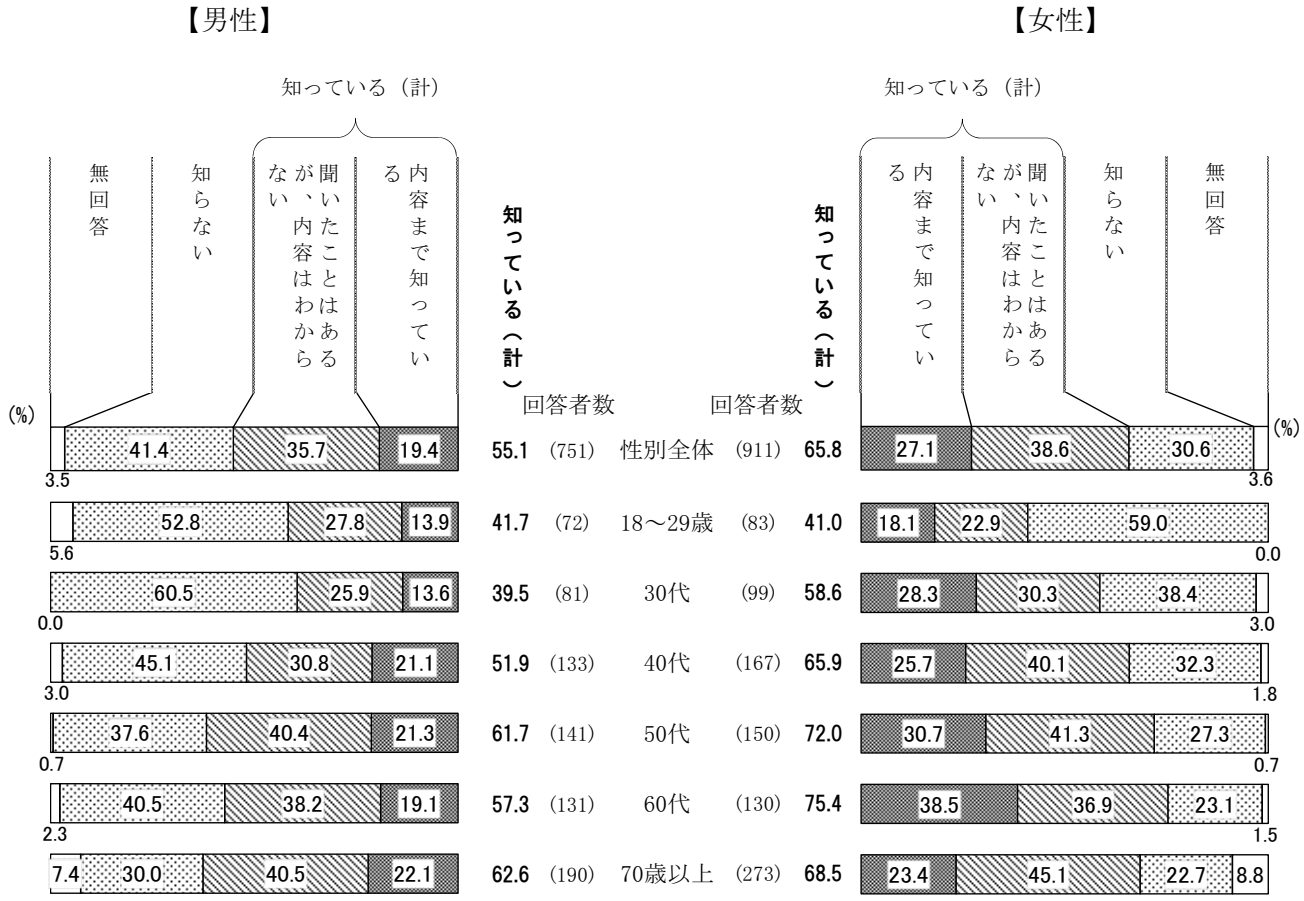
〈身体的暴力以外のＤＶ〉は、「内容まで知っている」が49.2％で最も高く、これに「聞いたことはあるが、内容はわからない」（34.6％）を合わせた【知っている】は８割台半ば近くとなっている。一方、「知らない」は12.0％となっている。

〈ＬＧＢＴ〉は、「内容まで知っている」が47.0％と最も高く、これに「聞いたことはあるが、内容はわからない」（23.7％）を合わせた【知っている】は７割となっている。一方、「知らない」は25.0％となっている。

〈成年後見制度〉の認知状況を性別でみると、【知っている】は女性（65.8％）の方が男性（55.1％）より10.7ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【知っている】は女性の60代が75.4％で最も高く、次いで、女性の50代が72.0％で続いている。一方で、「知らない」は男性の30代が60.5％で最も高く、次いで女性の18～29歳（59.0％）となっている。

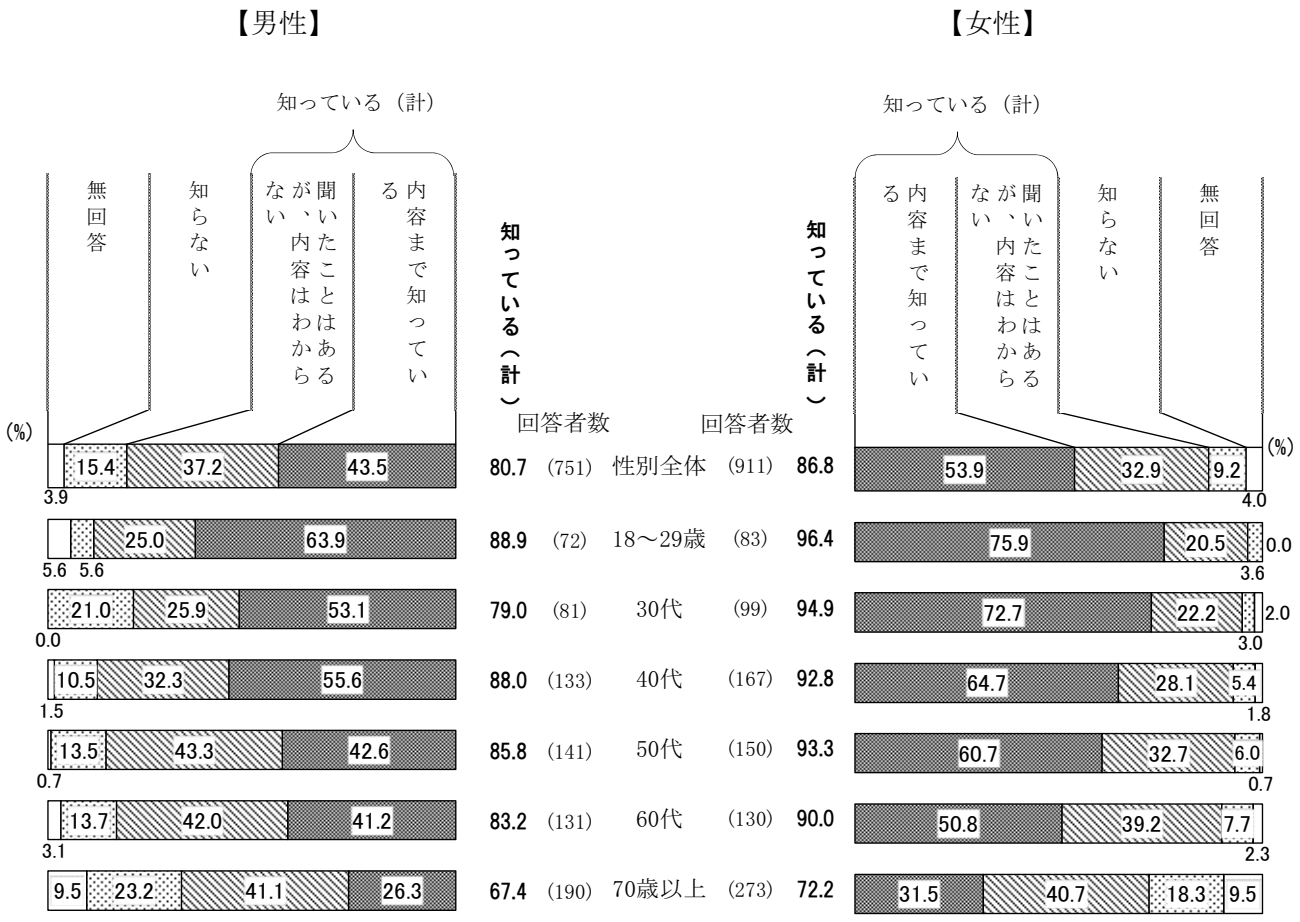
図９－８－２－①　性別、性・年代別
／高齢者などの権利を守るしくみである「成年後見制度」について



〈身体的暴力以外のＤＶ〉の認知状況を性別でみると、【知っている】は女性（86.8％）の方が男性（80.7％）より6.1ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【知っている】は女性の18～29歳が96.4％で最も高く、女性の30代～60代でも９割台と高くなっている。一方で、「知らない」は男性の70歳以上が23.2％で最も高く、次いで男性の30代（21.0％）となっている。

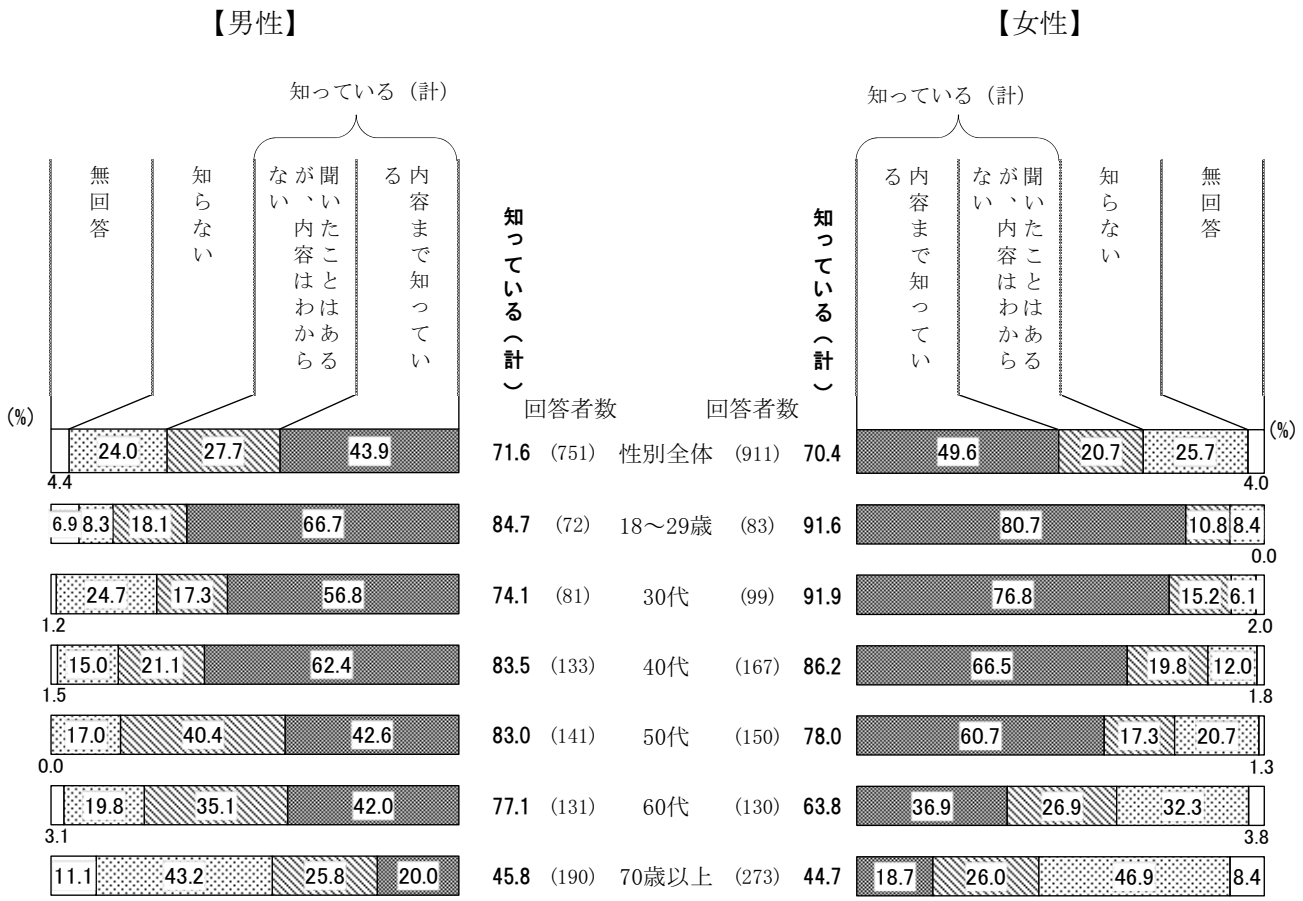
図９－８－２－②　性別、性・年代別
／身体的暴力以外のＤＶ（精神的・経済的・社会的・性的）について



〈ＬＧＢＴ〉の認知状況を性別でみると、【知っている】では違いはないが、「内容まで知っている」では女性（49.6%）の方が男性（43.9%）より5.7ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【知っている】は女性の30代（91.9%）と18～29歳（91.6%）が９割強で高くなっている。一方で、「知らない」は女性の70歳以上が46.9%で最も高く、次いで男性の70歳以上（43.2%）となっている。

図９－８－２－③　性別、性・年代別／「ＬＧＢＴ」という言葉について



10　協 働・協 創

（１）「協創」の認知

（２）協働・協創の実践

（３）区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価

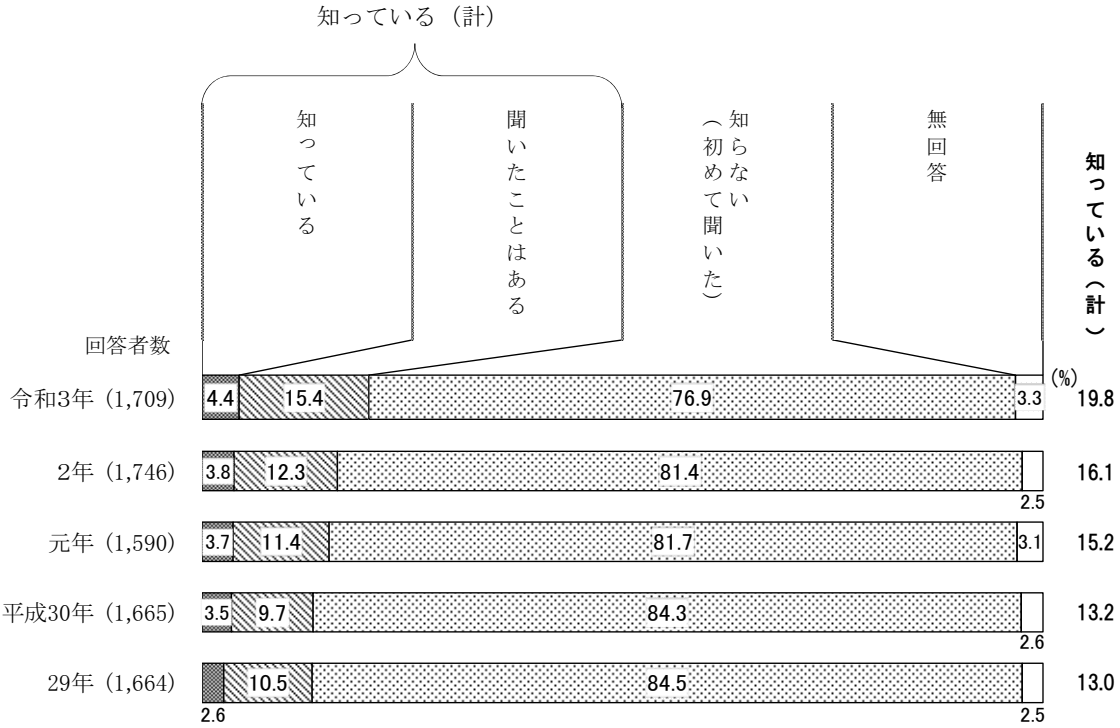
10　協働・協創

（１）「協創」の認知

■【知っている】は、平成29年から漸増傾向にあり約２割に

問51「協創」とは、平成28年10月策定の足立区基本構想により打ち出した「区民・団体・企業・ＮＰＯ・大学など多様な主体がつながり支えあい、自ら行動する」新たな仕組みです。
あなたは、この「協創」を知っていますか（○は１つだけ）。

図10－１－１　経年比較／「協創」の認知



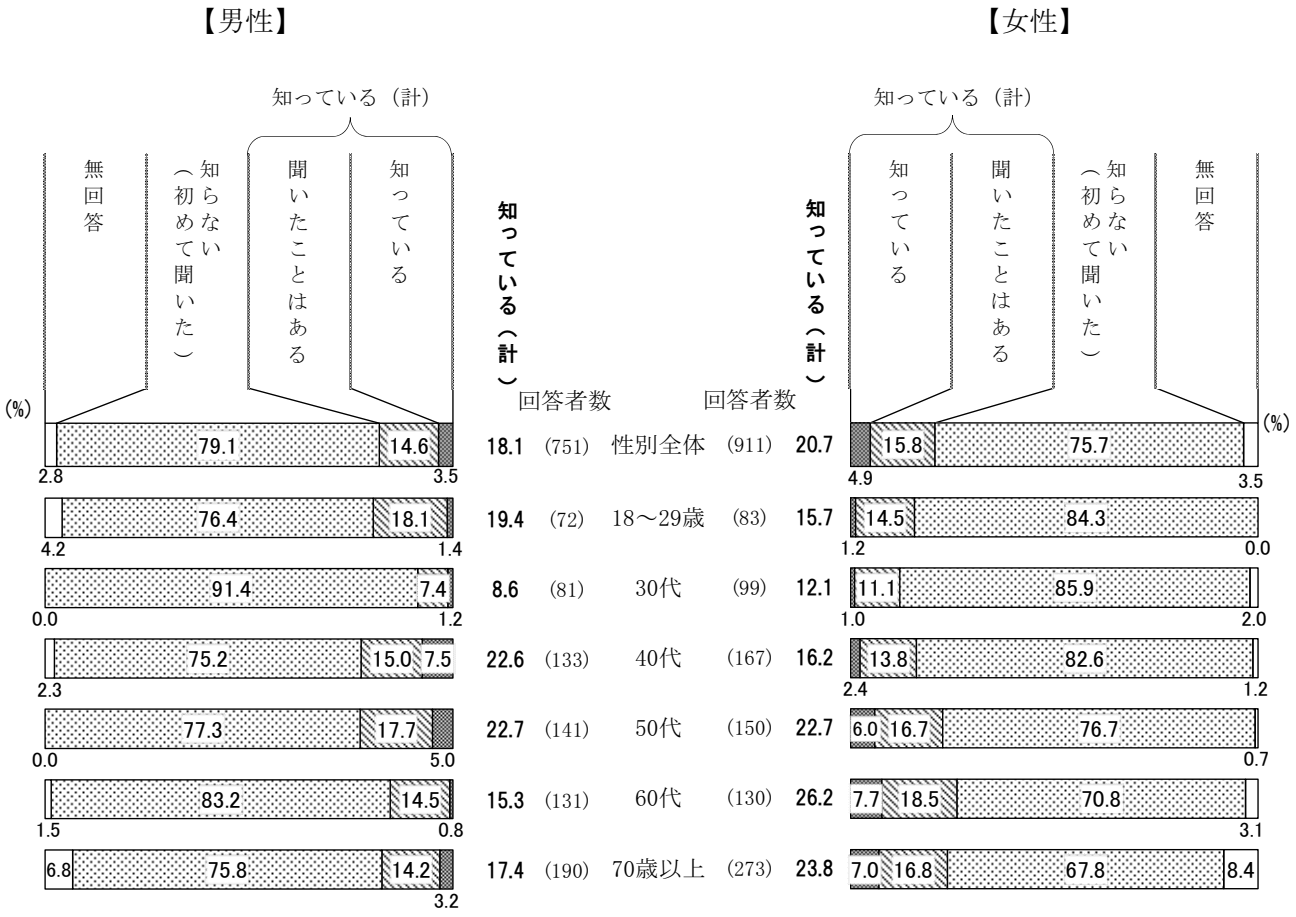
「協創」について「知っている」が4.4％で、これに「聞いたことはある」（15.4％）を合わせた【知っている】（19.8％）は約２割となっている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は76.9％を占めている。

経年でみると、【知っている】は平成29年の13.0％から漸増傾向にあり、前回調査（16.1％）から3.7ポイント増加している。

性別でみると、【知っている】は女性（20.7％）の方が男性（18.1％）より2.6ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【知っている】は、女性の60代で26.2％と最も高く、次いで女性の70歳以上（23.8％）となっている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は男性の30代で91.4％と最も高くなっている。

図10－１－２　性別、性・年代別／「協創」の認知



（２）協働・協創の実践

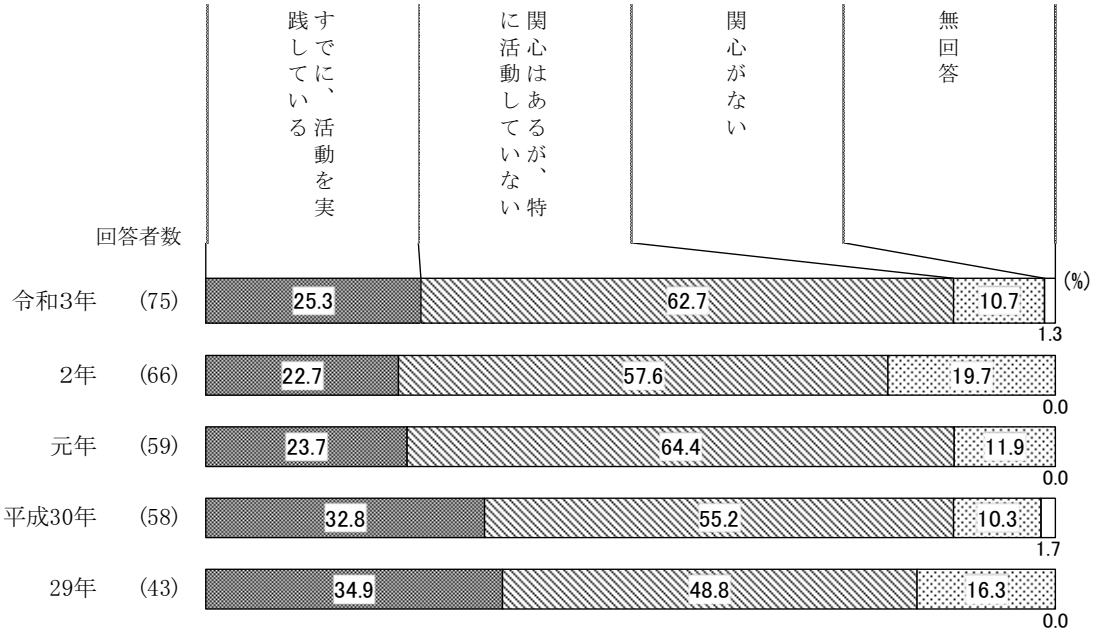
■「関心はあるが、特に活動していない」が６割強と増加、「関心がない」が約１割に減少

問51で「１　知っている」とお答えの方に

問51－１　あなたは、区役所・区民・団体との協力・連携（協働）や自主的な取り組み・活動（協創）を実践していますか（例　ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクト、野菜から食べるベジタベライフ、子どもの貧困対策など）

（○は１つだけ）。

図10－２－１　経年比較／協働・協創の実践

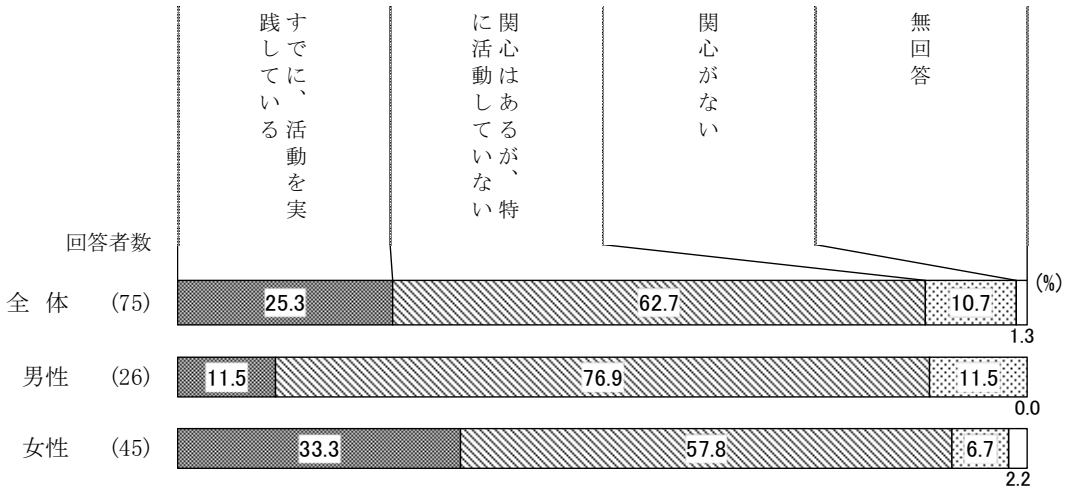


「協創」を「知っている」という人の実践状況をみると、「すでに、活動を実践している」が25.3％で、「関心はあるが、特に活動していない」が62.7％で最も高くなっている。一方、「関心がない」は10.7％となっている。

経年でみると、前回調査に比べて、「すでに、活動を実践している」は2.6ポイント増加、「関心はあるが、特に活動していない」も5.1ポイントの増加となり、一方で、「関心がない」は9.0ポイントの減少となった。

性別でみると、「すでに、活動を実践している」は女性（33.3%）の方が男性（11.5%）より21.8ポイント高く、「関心はあるが、特に活動していない」は男性（76.9%）の方が女性（57.8%）より19.1ポイント高くなっている。また「関心がない」も男性（11.5%）の方が女性（6.7%）より4.8ポイント高くなっている。

図10－２－２　性別／協働・協創の実践



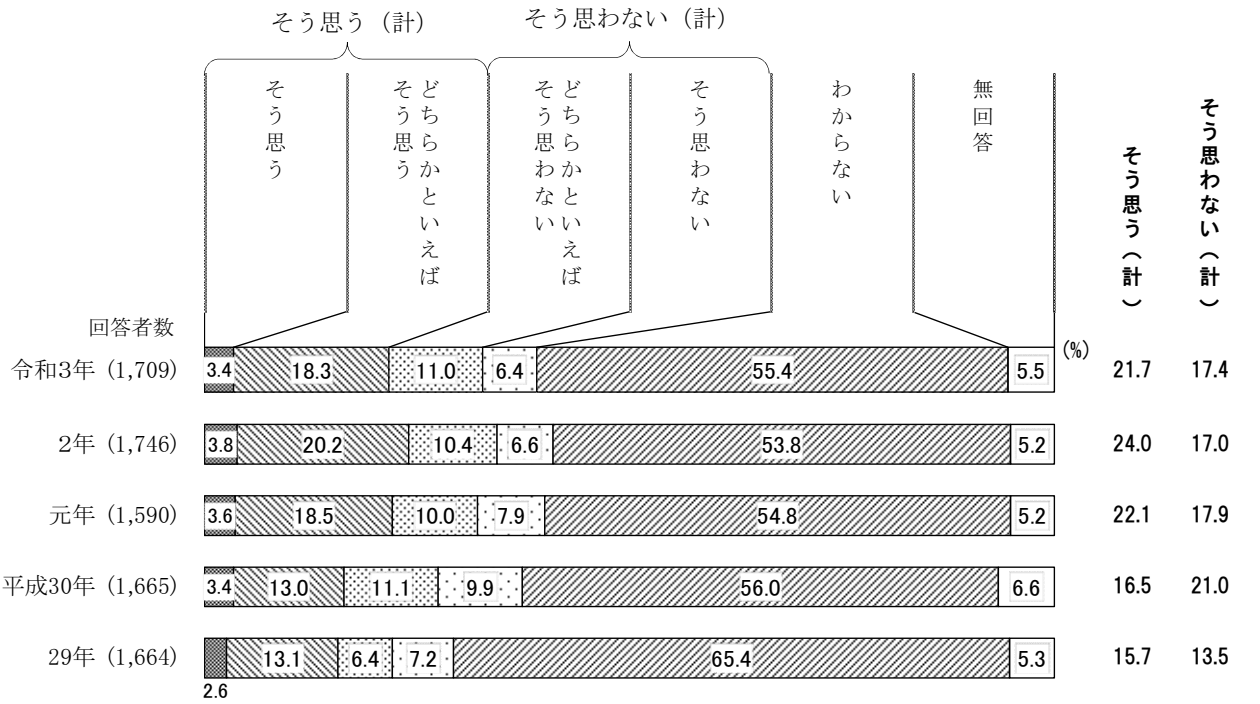
（３）区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価

■【そう思う】（２割強）が【そう思わない】を上回っているが「わからない」が５割台で最多

問52　あなたは、区役所・区民・団体の協力・連携（協働）や自主的な取り組み・活動（協創）が進んでいると感じていますか（例　ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクト、野菜から食べるベジタベライフ、子どもの貧困対策など）

（○は１つだけ）。

図10－３－１　経年比較／区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価



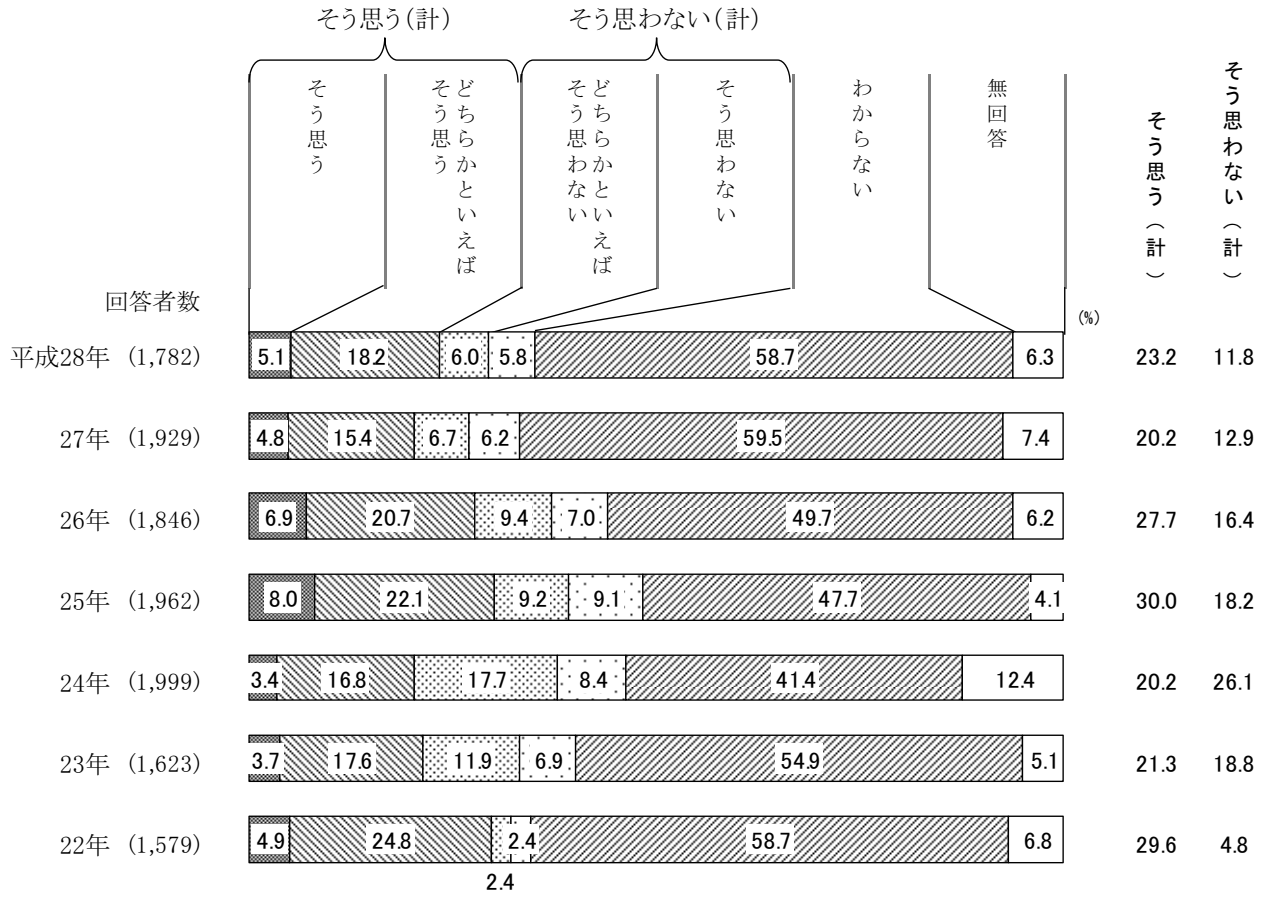
※　平成30年度の設問文は「あなたは、ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクト、野菜から食べるベジタベライフなど、区役所・区民・団体の協力・連携（協働）や自主的な取り組み・活動（協創）による事業が進んでいると感じていますか。」で、令和元年度には設問文の一部の表現が変わった上に、「子どもの貧困対策」が追加挿入されたが、令和２年度では、更に設問文の一部が、上記設問のように変更された。

協働や協創による事業が進んでいると感じるかについては、「そう思う」が3.4％で、これに「どちらかといえばそう思う」（18.3％）を合わせた【そう思う】は２割強となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」（11.0％）と「そう思わない」（6.4％）を合わせた【そう思わない】は１割台半ばを超えている。一方、「わからない」は55.4％と過半数を占めている。

設問文が同一の前回の令和２年調査と比較すると、【そう思う】は僅かに 2.3 ポイント減少したものの、回答割合に大きな違いはみられない。

参考／（平成28年以前）区役所・区民・団体との協力・連携（協働）した事業推進の評価

問　あなたは、区役所が孤立ゼロプロジェクトやビューティフル・ウィンドウズ運動など区民・団体と協力・連携（協働）して事業を進めていると感じていますか（○は１つだけ）。

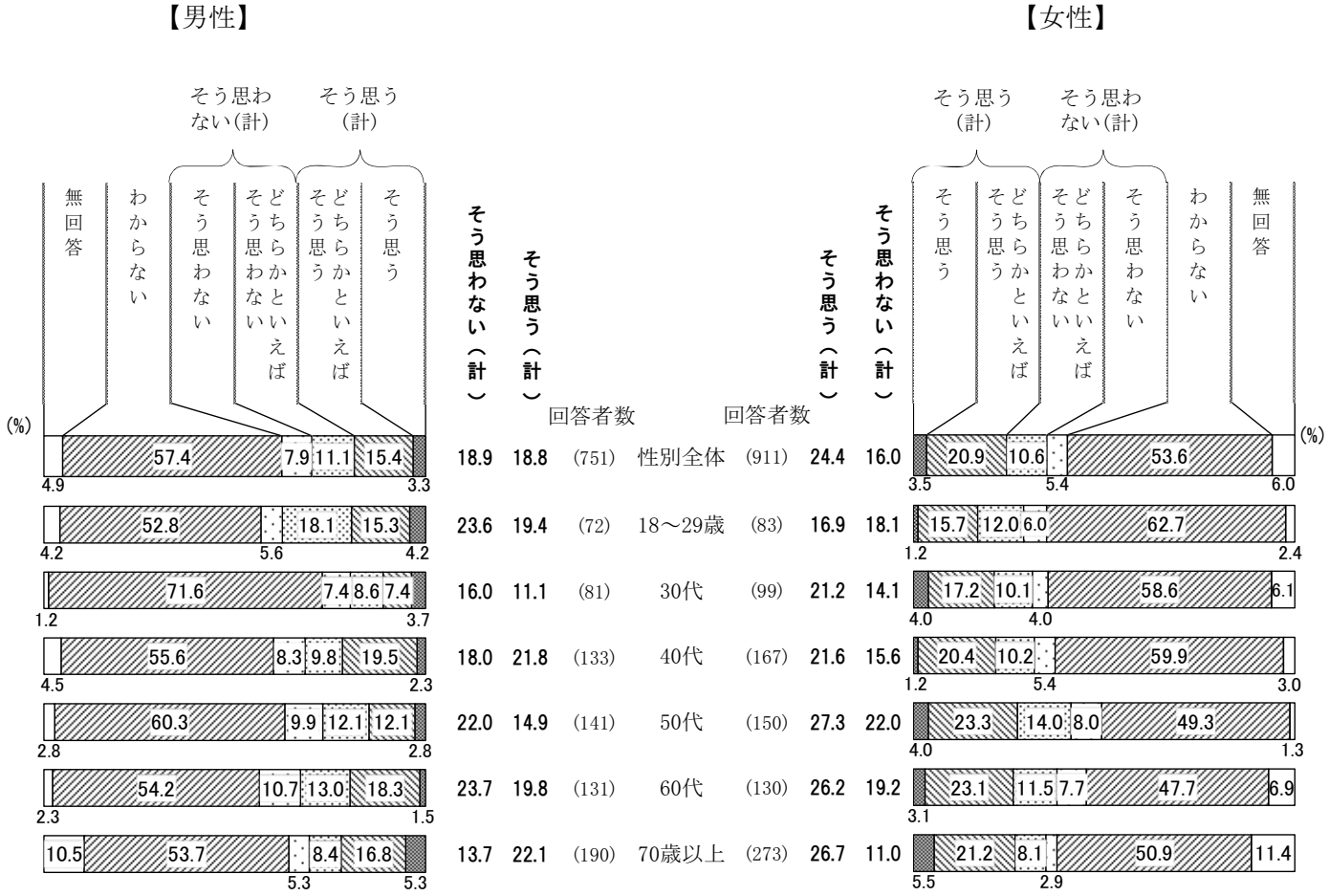


※　平成28年度までは、「協創」の部分にふれておらず、設問文も違うため、結果を単純に比較することはできない。

協働や協創による事業が進んでいると感じるかについて性別でみると、【そう思う】は女性（24.4%）の方が男性（18.8%）より5.6ポイント高くなっている。一方、「わからない」は男性（57.4%）の方が女性（53.6%）より3.8ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【そう思う】は女性の50代以上で２割台半ばと高く、男性の30代（11.1%）と50代（14.9%）で１割台前半と低くなっている。一方、「わからない」は全ての性・年代層で高くなっており、特に男性の30代で71.6%と最も高く、女性の60代（47.7%）と50代（49.3%）で５割未満と低くなっている。

図10－３－２　性別、性・年代別／区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価



11　区の取り組み

（１）満足度と重要度
（２）区政への区民意見の反映度
（３）区に対する気持ち
（４）区に対する気持ち（愛着、誇り、人に勧める）の具体的な内容（自由回答）
（５）区を良いまちにするための行動
（６）区政についてのご意見、ご要望（自由回答）
（７）本調査内容の区民ニーズ・意識把握に対する有効度

11　区の取り組み

（１）満足度と重要度

■ 満足度は「職員の接客態度」が最上位、重要度は「治安対策」が最上位

問53　足立区の取り組みについて、あなたの現状評価（満足度）と今後の取り組みの重要度について、ア～ニの項目ごとに、最も近いものを選んでください
（○はいずれも、それぞれ１つずつ）。

選択肢（区の取り組み）	内　容
ア　情報提供	広報やホームページなどによる区政情報の提供など
イ　職員の接客態度	窓口や仕事での区民対応における接客態度など
ウ　ＩＣＴ活用	ＩＣＴを活用した業務の効率化や区民サービスの向上など
エ　防災対策	防災活動の充実、都市の不燃化など
オ　自然・緑化対策	公園や緑地、河川の整備など
カ　資源環境対策	省エネルギー、ごみ処理、リサイクルなど
キ　治安対策	防犯パトロールやビューティフル・ウィンドウズ運動、警察との連携など
ク　地域活動支援	町会・自治会活動の支援、青少年の健全育成など
ケ　社会参加支援	ＮＰＯやボランティアの育成や支援など
コ　男女共同参画推進	男女が平等に社会参加できるしくみづくりなど
サ　生涯学習振興	文化・芸術・スポーツ活動の支援、施設の充実など
シ　学校教育対策	教育内容の充実、施設の改修など
ス　子育て支援	保育サービス、子ども医療費助成や子育て相談の充実など
セ　高齢者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、生きがい対策など
ソ　障がい者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、就労支援など
タ　保健衛生対策	健康づくり、健康診査、生活衛生など
チ　低所得者対策	生活の援助や自立支援など
ツ　産業振興	商工業の支援、企業起こしの支援、消費者対策など
テ　都市開発	開発・再開発、美しい街並みや景観づくりなど
ト　住環境対策	多様で良好な住宅供給、中古住宅市場の活性化、空き家利活用、公共住宅の再生など
ナ　交通対策	道路や交通網の整備、交通安全対策など
ニ　区政全体として	

＜足立区の取り組みについての現状評価（満足度）＞

図11－１－１－①　経年比較／現状評価（満足度）

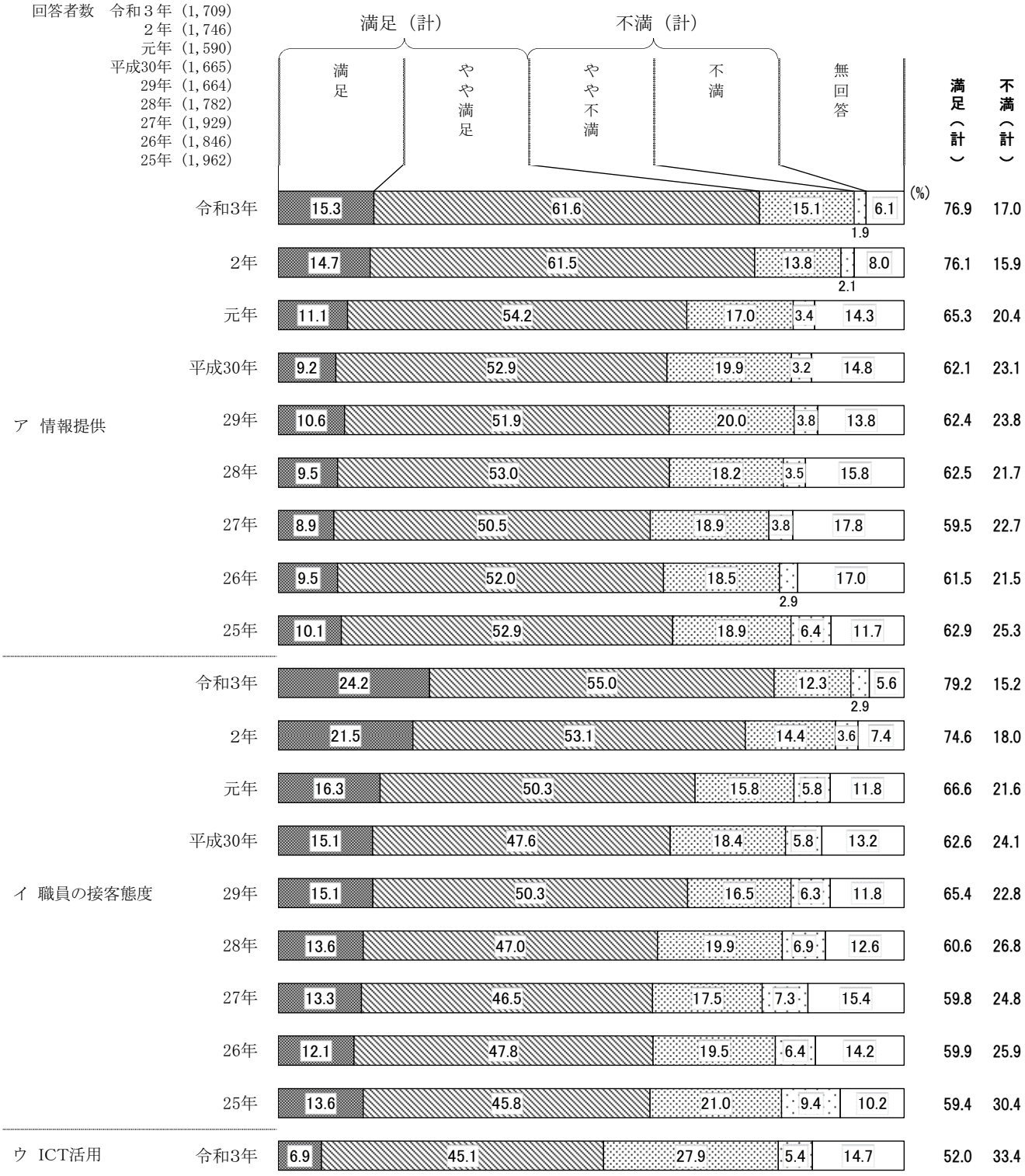


図11－１－１－②　経年比較／現状評価（満足度）

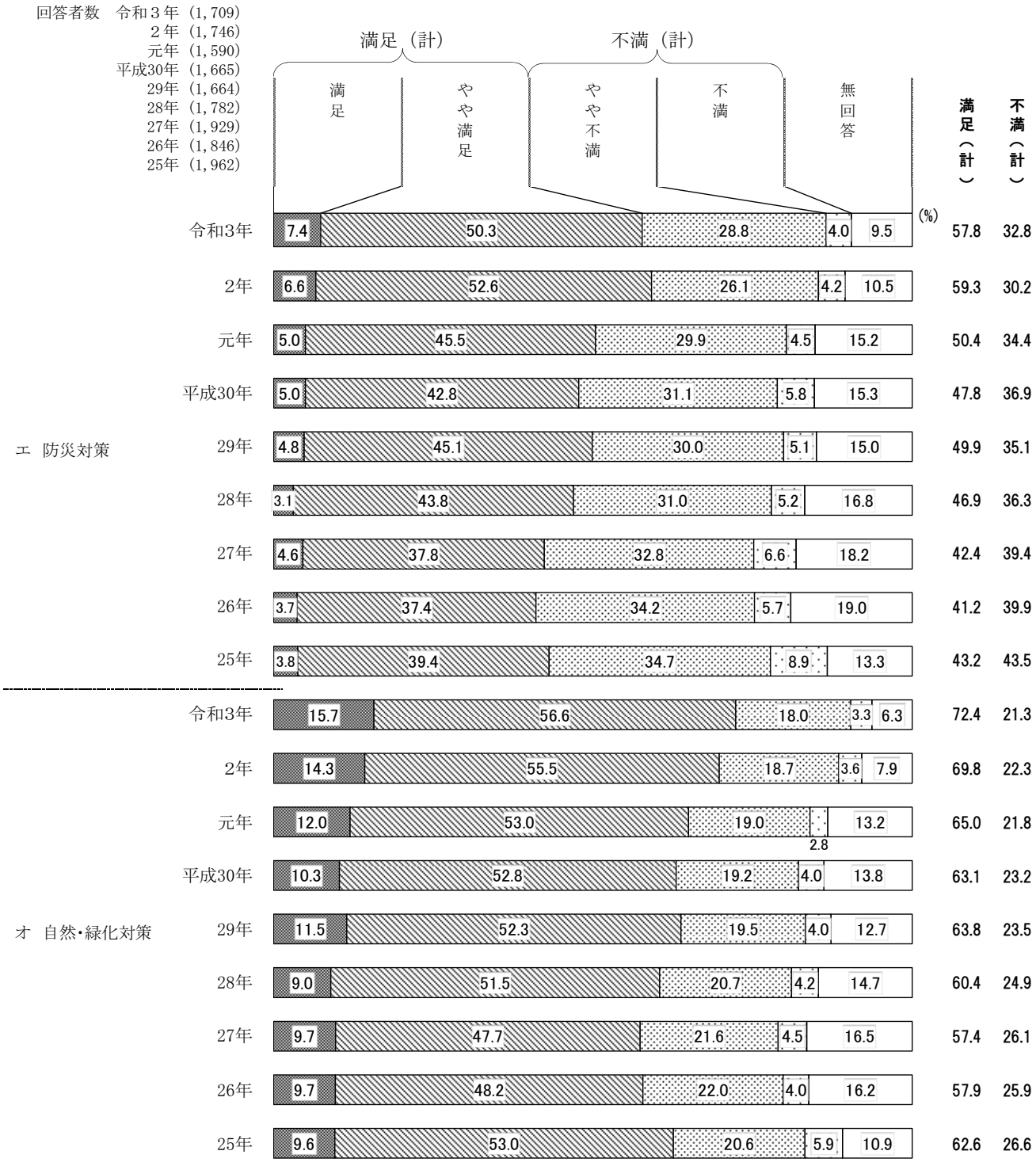


図11－１－１－③　経年比較／現状評価（満足度）

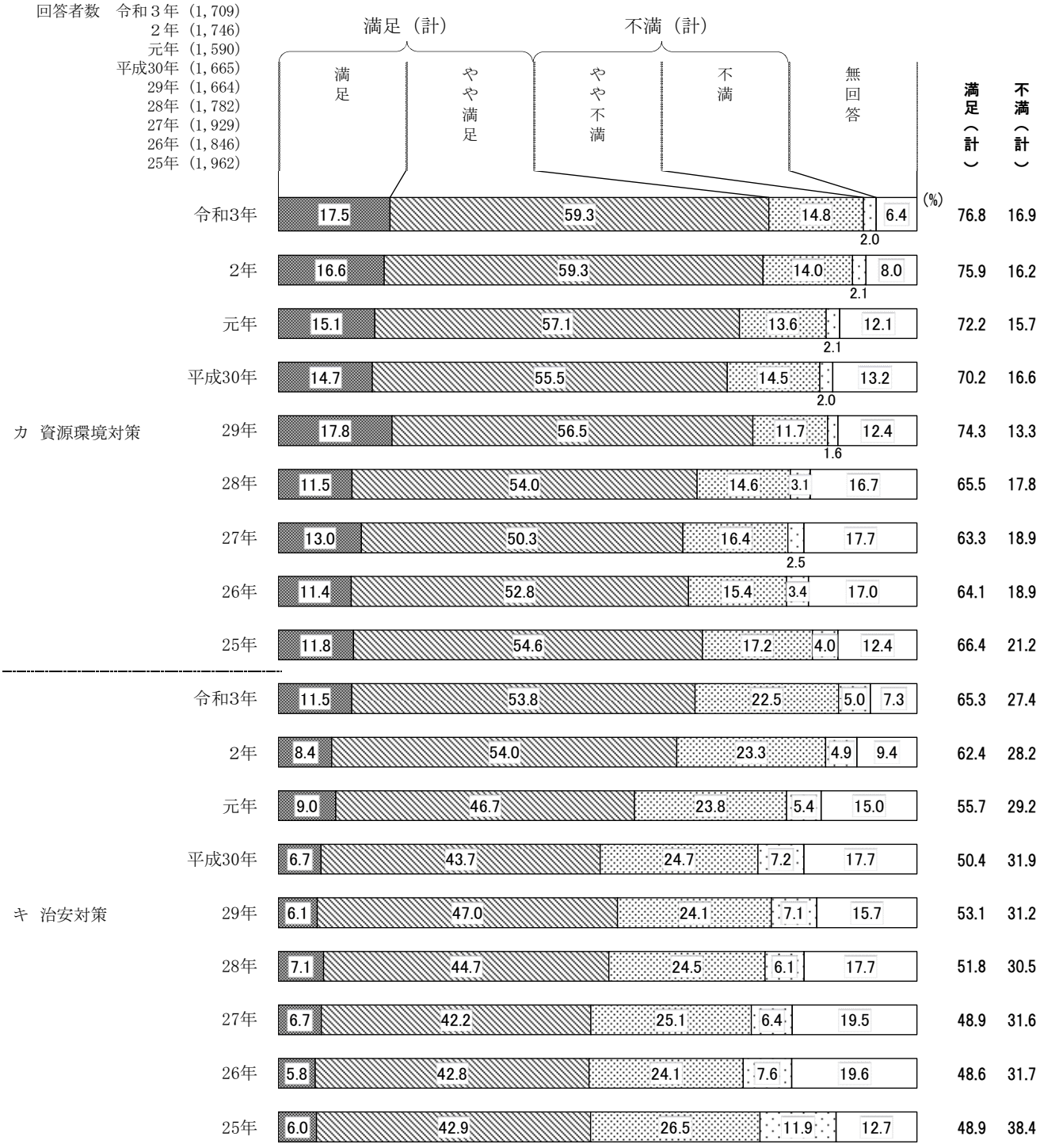


図11－１－１－④　経年比較／現状評価（満足度）

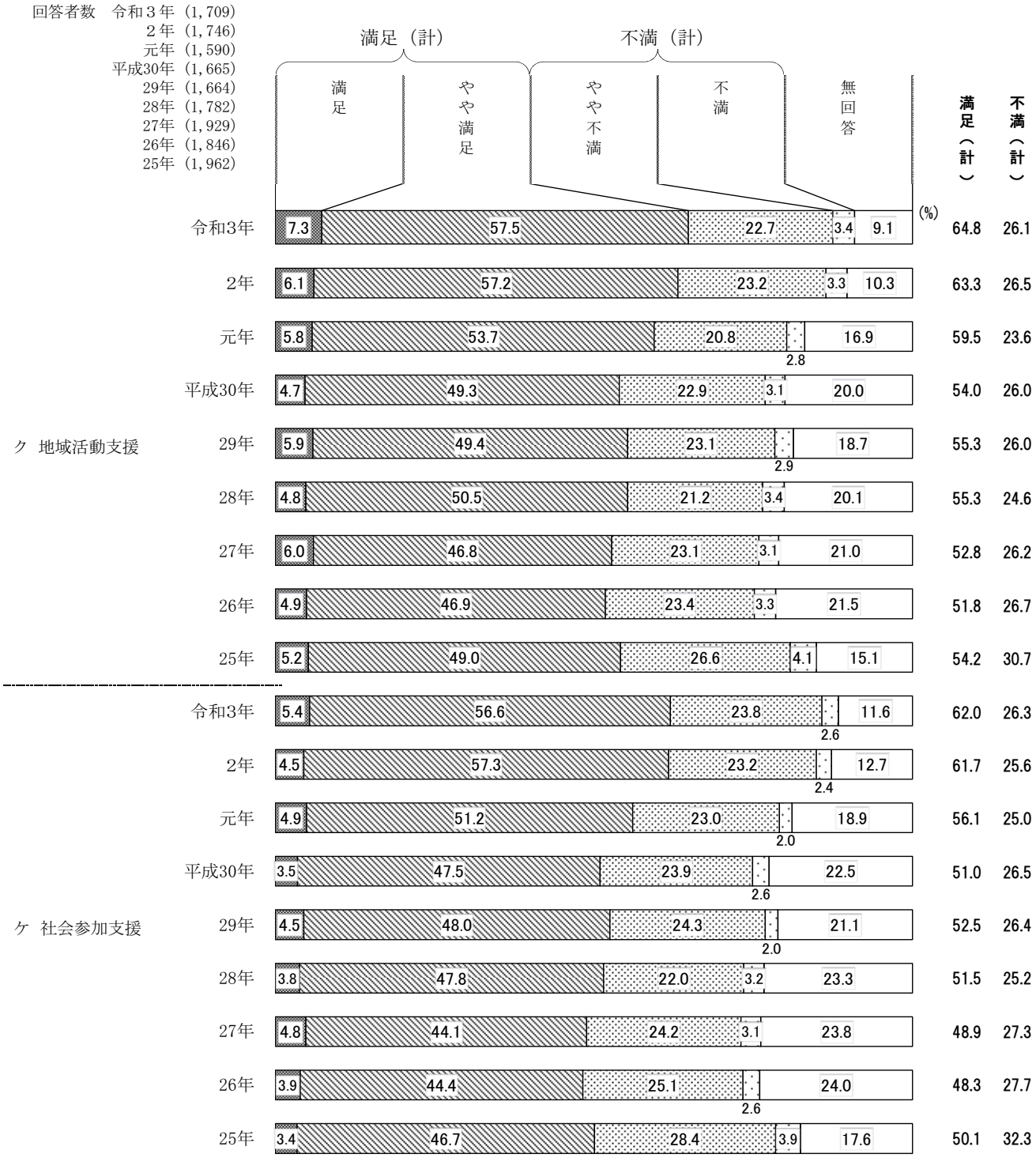


図11－１－１－⑤　経年比較／現状評価（満足度）

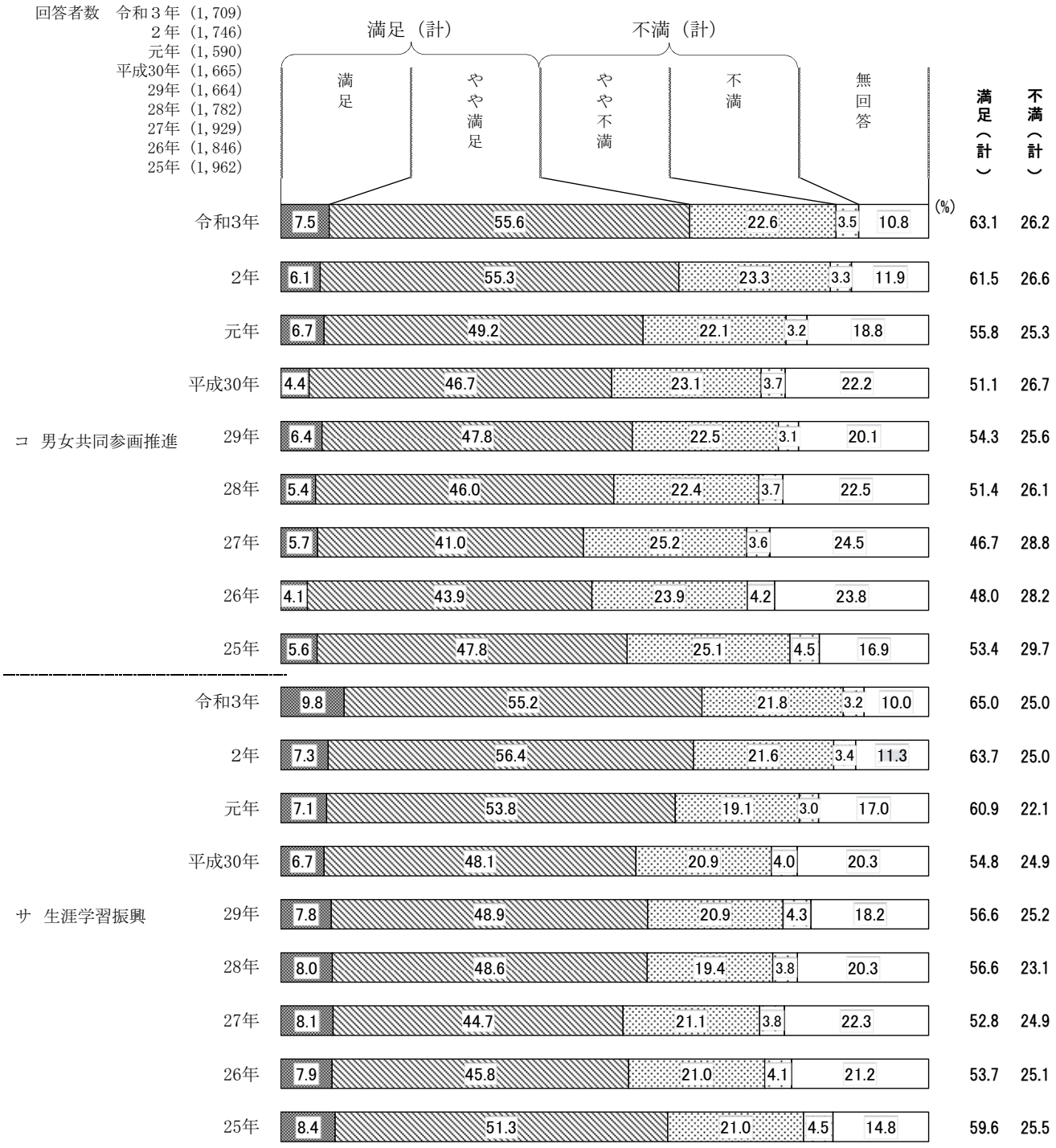


図11－１－１－⑥　経年比較／現状評価（満足度）

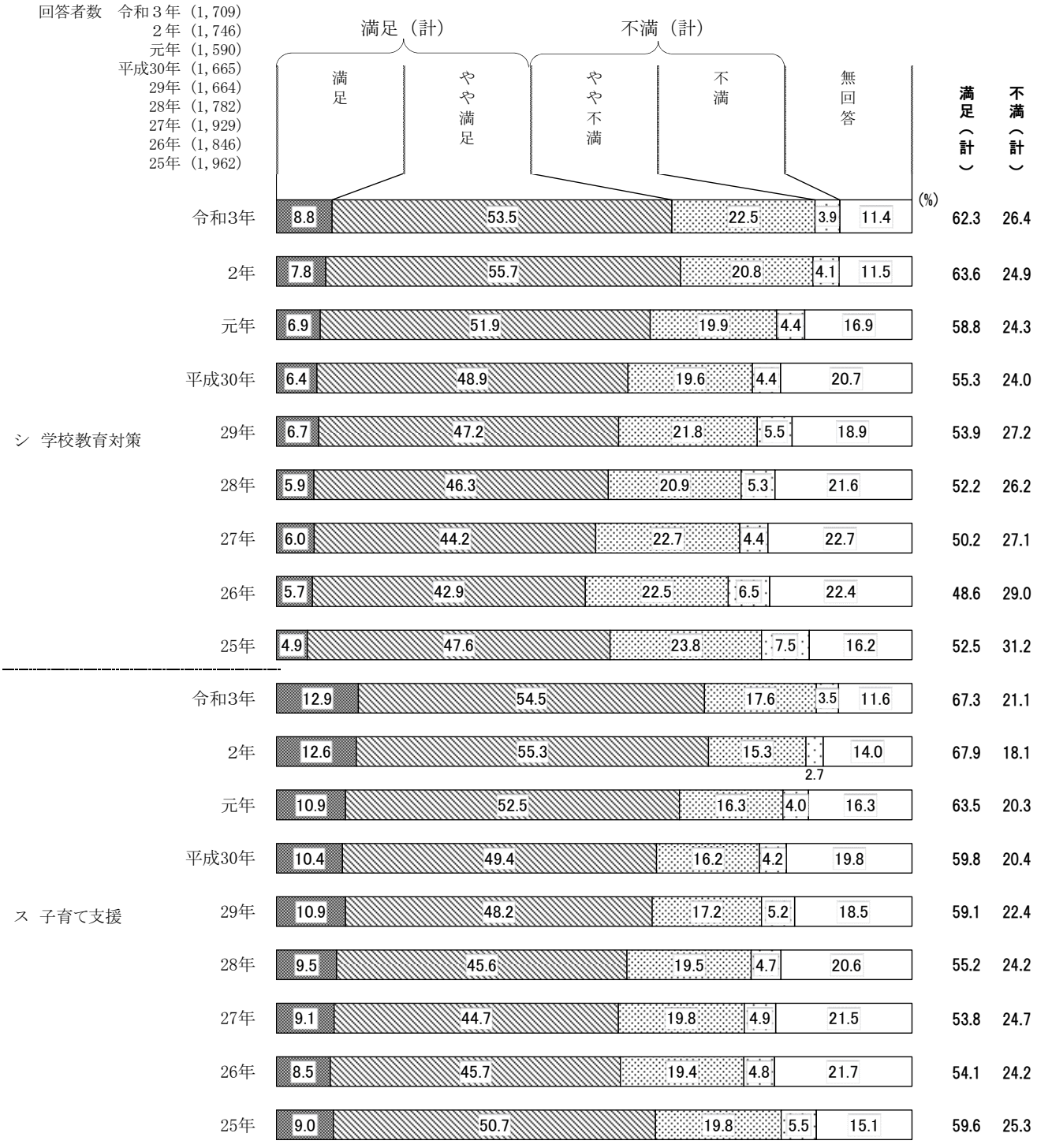


図11－１－１－⑦　経年比較／現状評価（満足度）

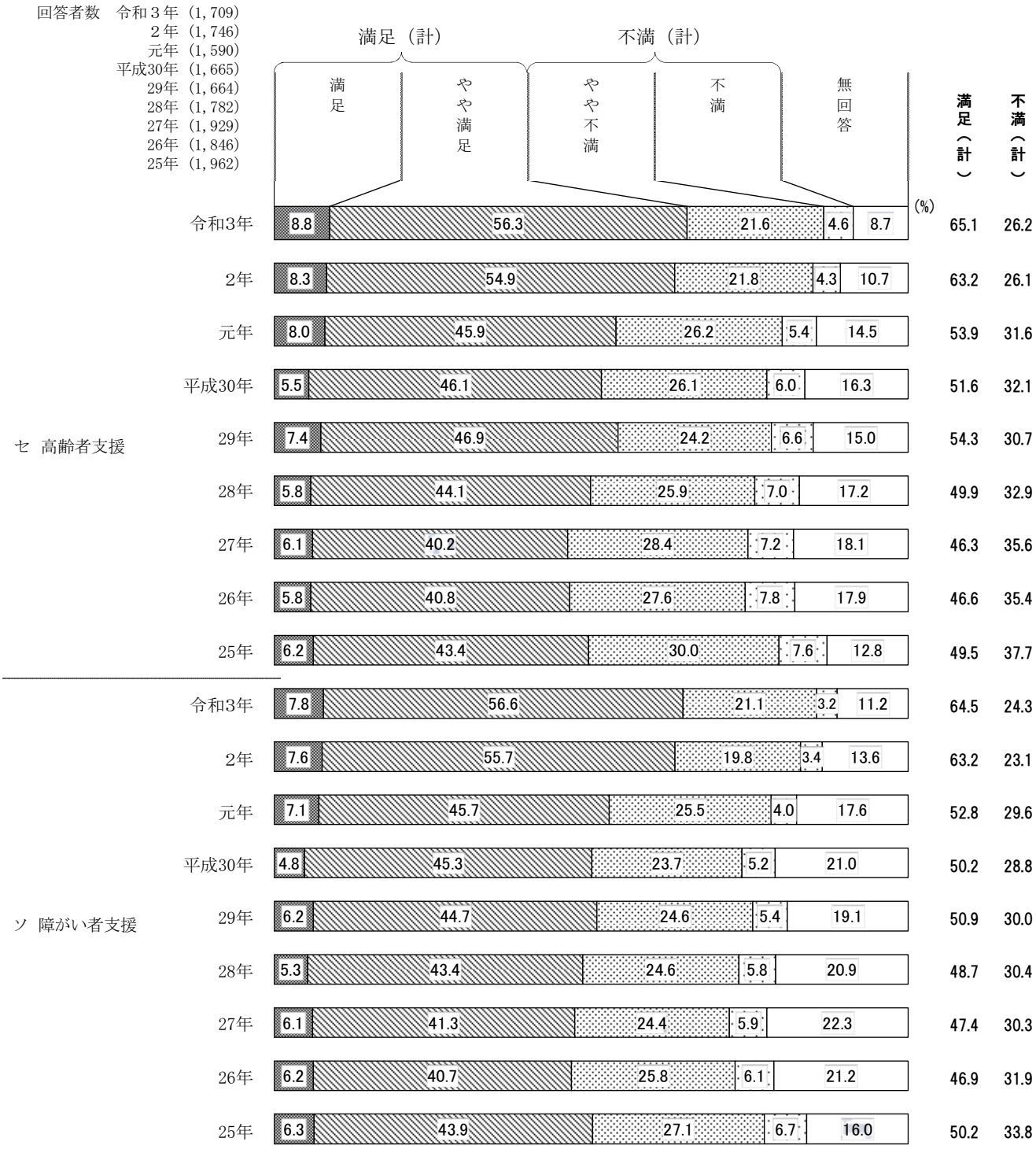


図11－１－１－⑧　経年比較／現状評価（満足度）

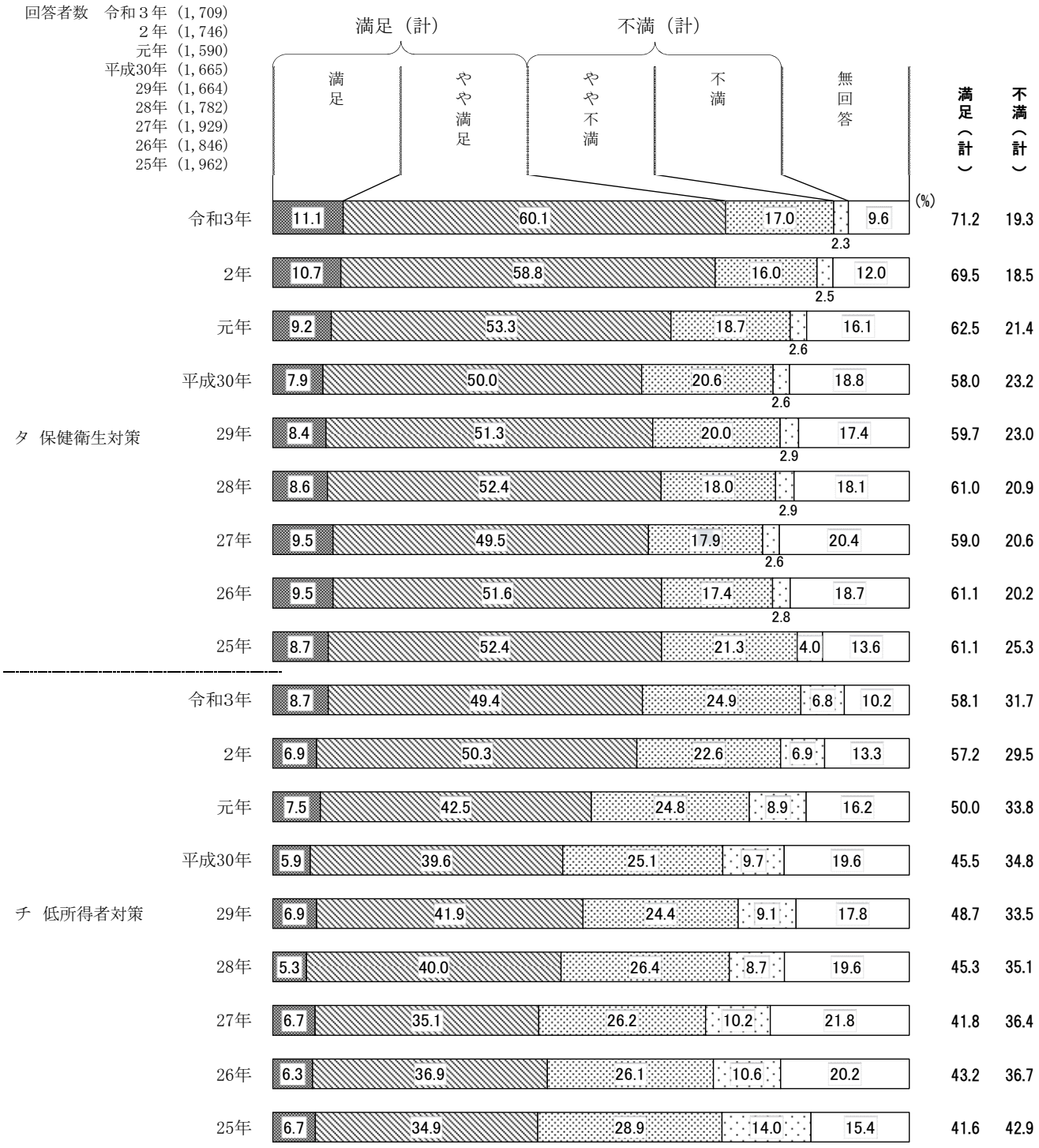


図11－１－１－⑨　経年比較／現状評価（満足度）

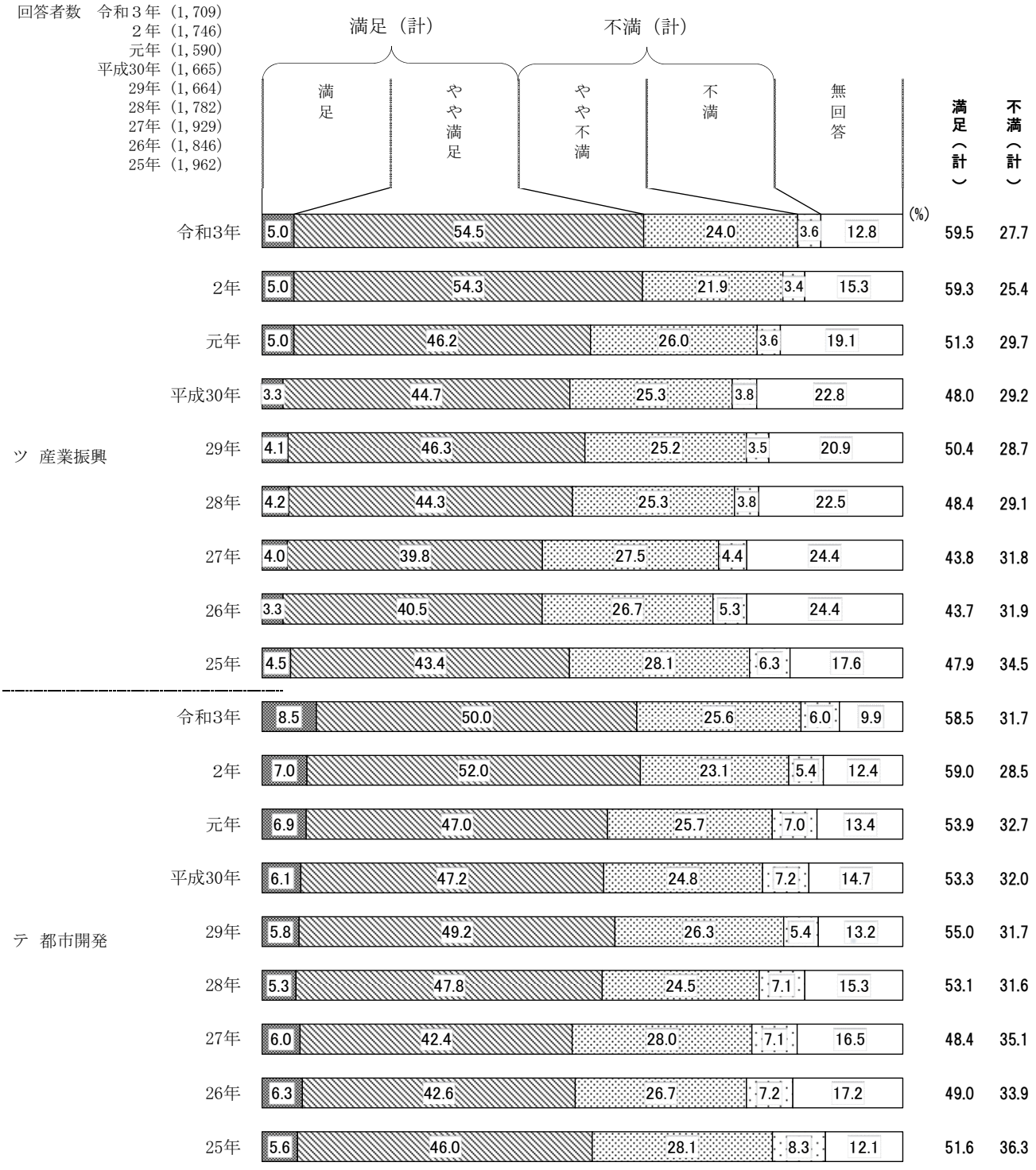


図11－１－１－⑩　経年比較／現状評価（満足度）

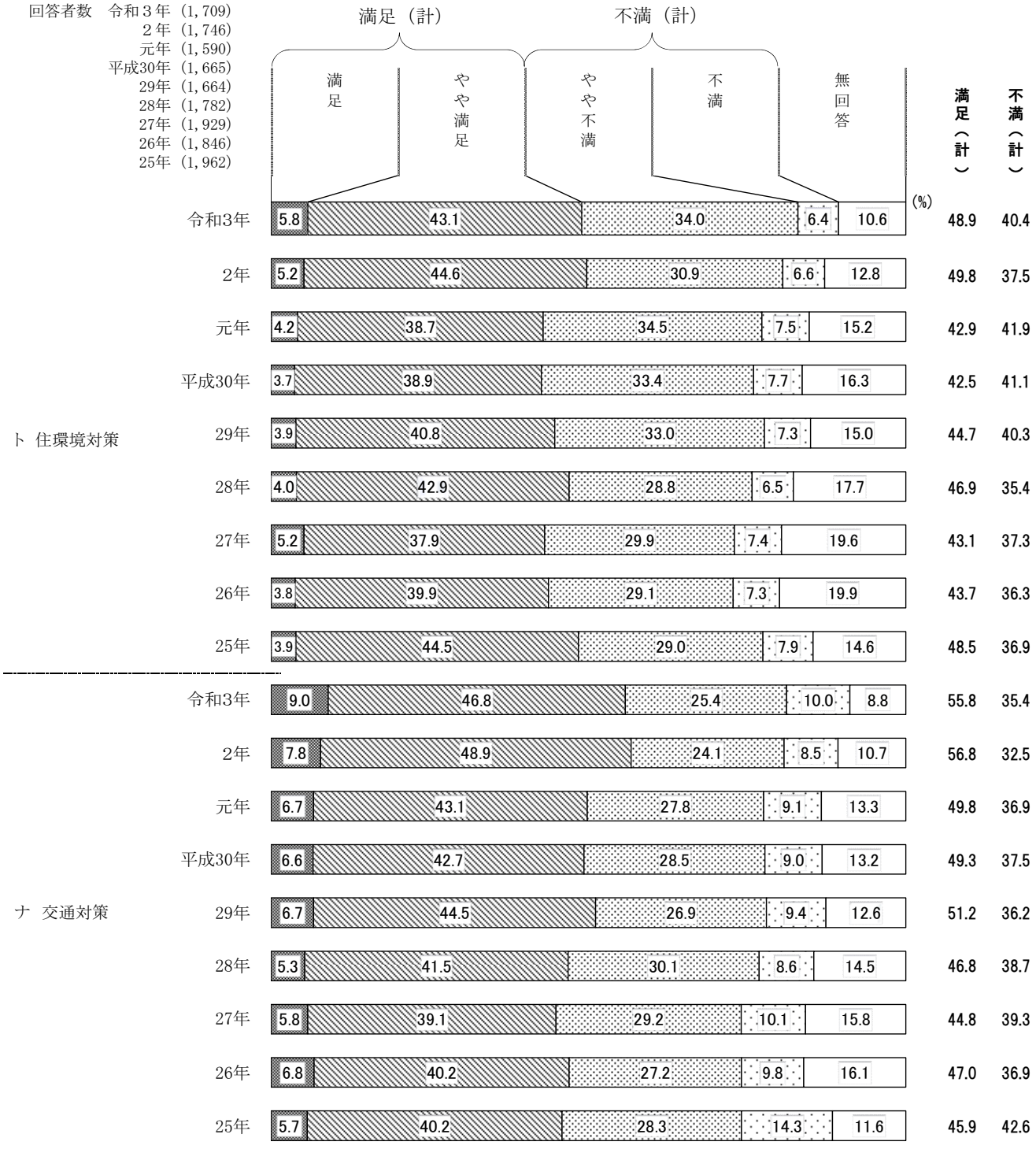
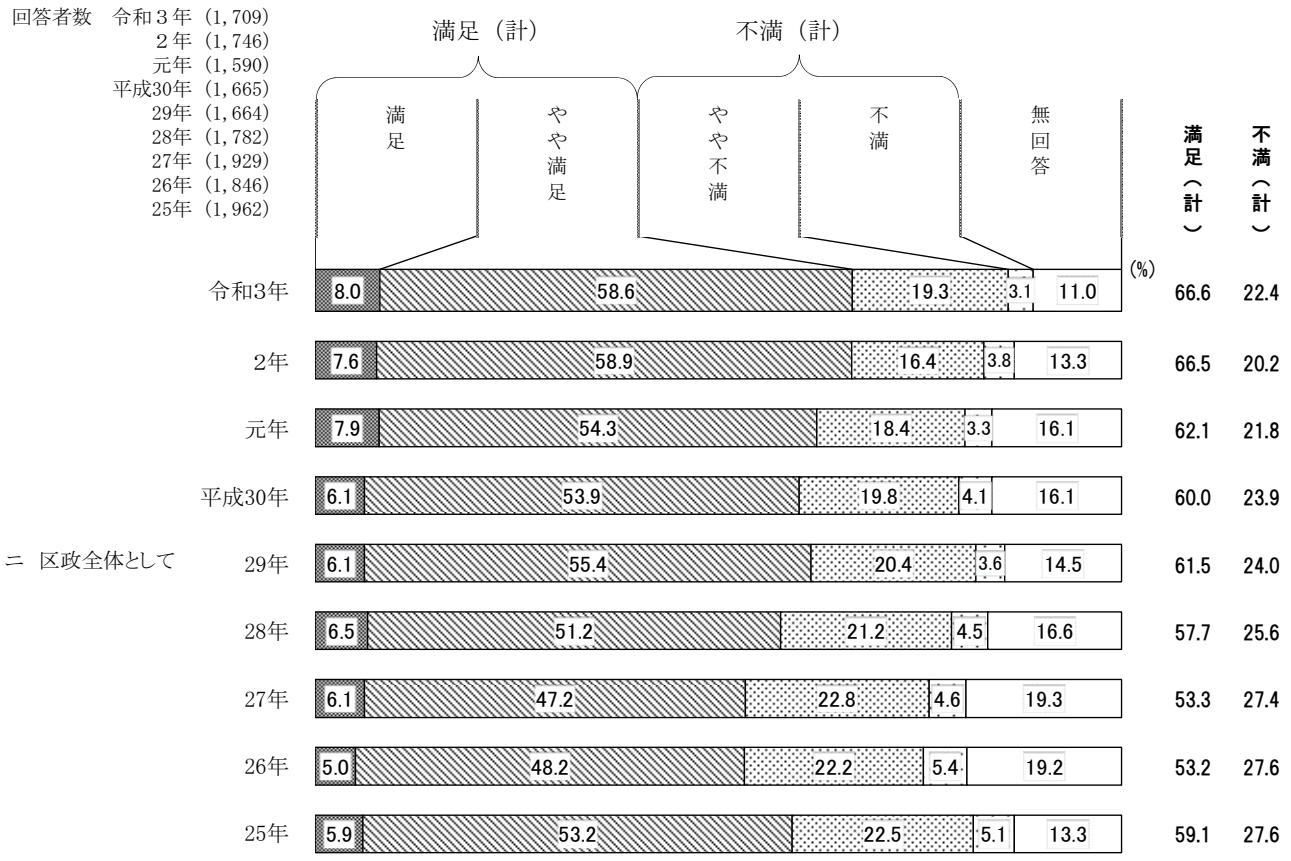


図11－１－１－⑪　経年比較／現状評価（満足度）



※「ウ　ＩＣＴ活用」は、令和３年度新設。
※「ト　住環境対策」は、平成28年度までは「住宅対策」。

区の取り組みについて、各分野に対する現状評価（満足度）を聴いた。【満足】（「満足」＋「やや満足」）の高い順でみると、「職員の接客態度」が79.2％で最も高く、以下「情報提供」（76.9％）、「資源環境対策」（76.8％）、「自然・緑化対策」（72.4％）、「保健衛生対策」（71.2％）の順で続いている。

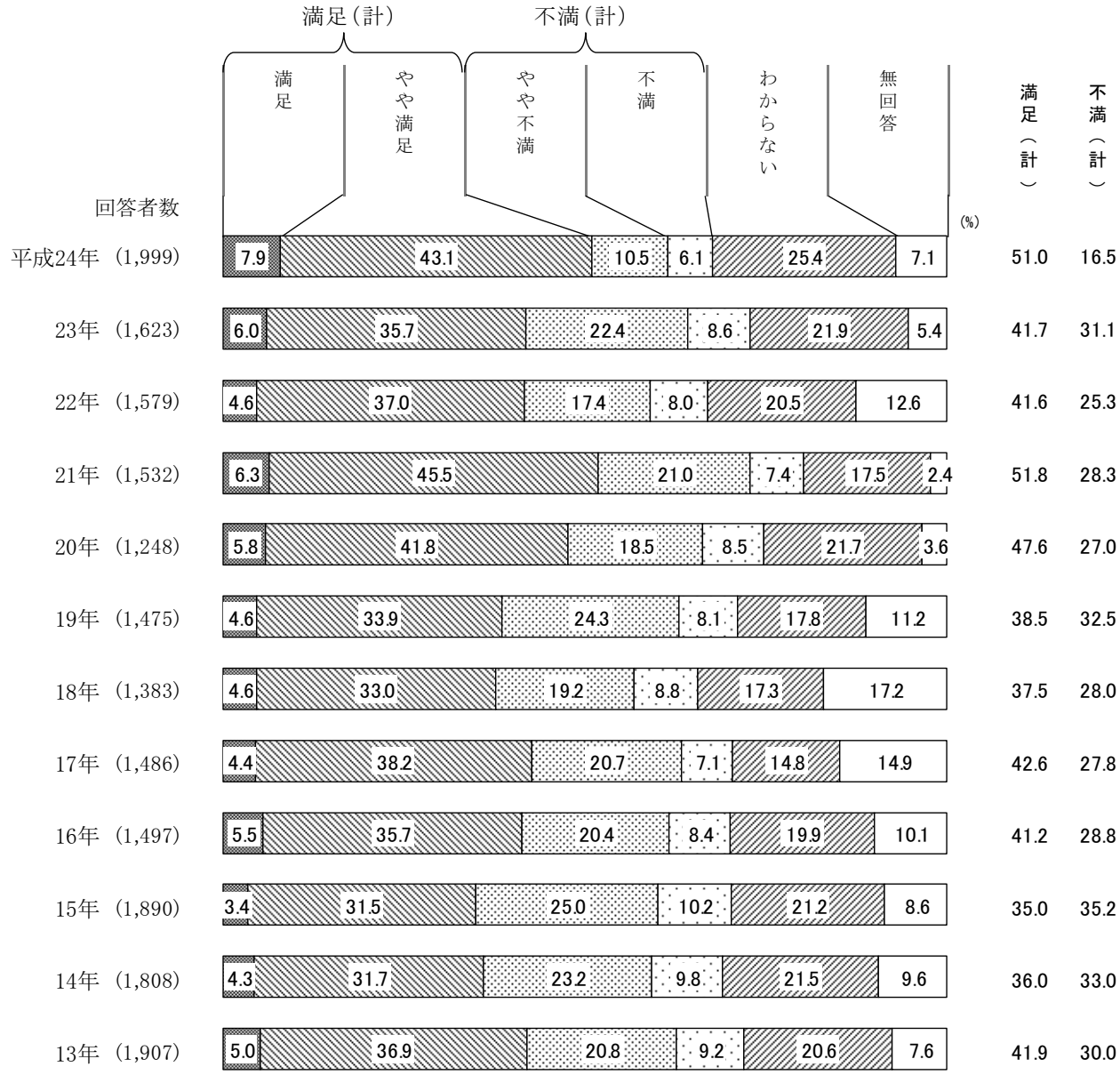
一方、【不満】（「やや不満」＋「不満」）の高いものとしては、「住環境対策」（40.4％）、「交通対策」（35.4％）、「ＩＣＴ活用」（33.4％）、「防災対策」（32.8％）などとなっている。

経年でみると、前回令和２年との比較では、【満足】が増加した項目は、新設の「ＩＣＴ活用」を除いた21項目中15項目になるものの、3.0ポイント以上増加した項目は、「職員の接客態度」（＋4.6ポイント）のみとなっている。逆に3.0ポイント以上減少した項目は一つもみられなかった。一方で、【不満足】が減少した項目は21項目中５項目あったが、3.0ポイント以上減少した項目は一つもみられなかった。逆に3.0ポイント以上増加した項目は、「都市開発」（＋3.2ポイント）と「子育て支援」（＋3.0ポイント）の２項目となっている。

また、平成25年と今回の結果を比較すると、【満足】はすべての項目で増加しており、10.0ポイント以上増加している項目は「職員の接客態度」（＋19.8ポイント）、「低所得者対策」（＋16.5ポイント）、「治安対策」（＋16.4ポイント）など12項目となっている。一方、【不満】は21項目中20項目で減少しており、10.0ポイント以上減少している項目は「職員の接客態度」（－15.2ポイント）、「高齢者支援」（－11.5ポイント）、「低所得者対策」（－11.2ポイント）、「治安対策」（－11.0ポイント）、「防災対策」（－10.7ポイント）の５項目となっている。なお、【不満】が増加している項目は「住環境対策」（＋3.5ポイント）となっている。

参考／（平成24年以前）区政に対する満足度

問　あなたは、現在の足立区政に満足していますか（○は１つだけ）。



※　平成24年度までは「わからない」という選択肢があるため、結果を単純に比較することはできない。

＜足立区の今後の取り組みの重要度＞

図11－１－２－①　経年比較／重要度

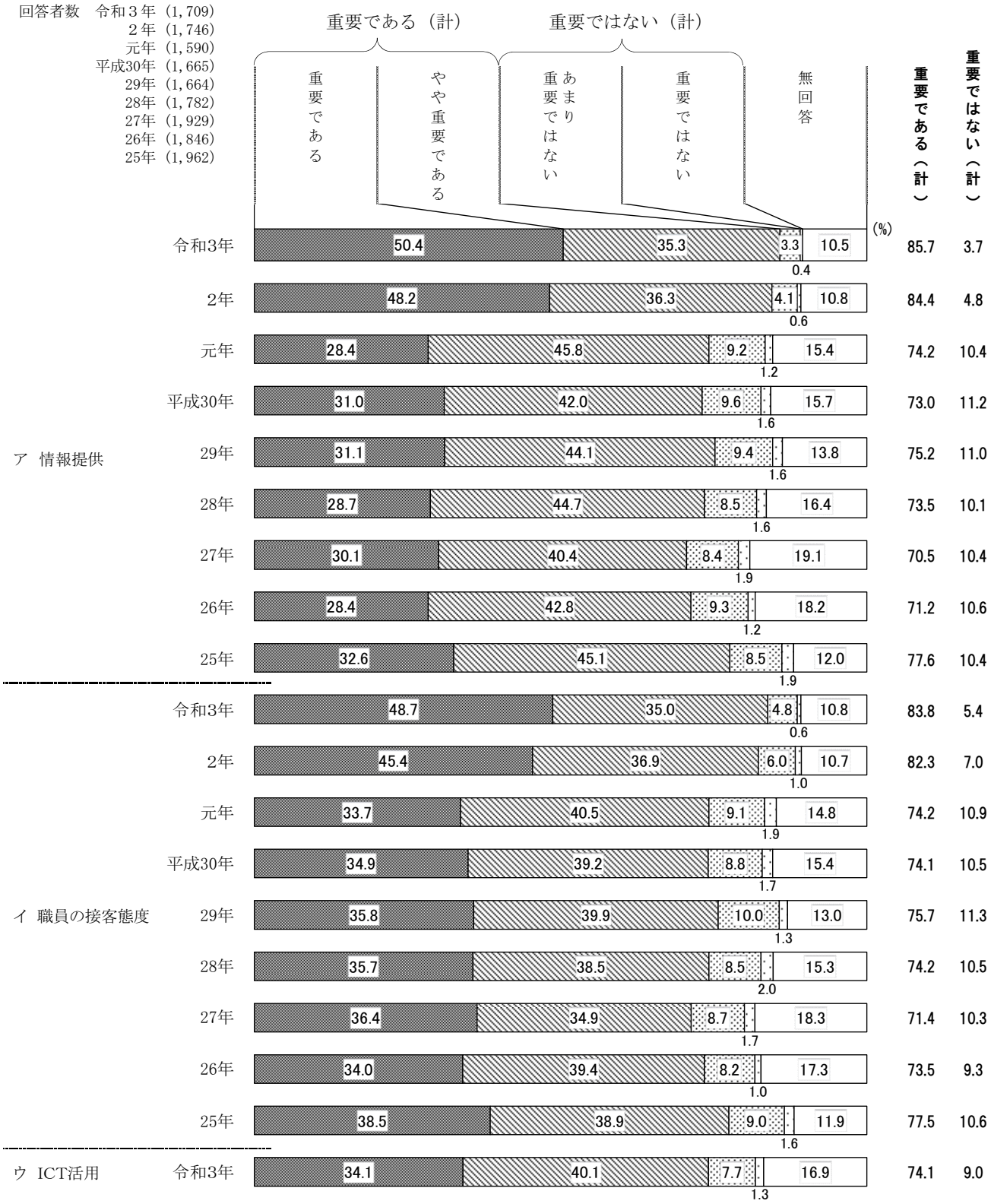


図11－１－２－②　経年比較／重要度

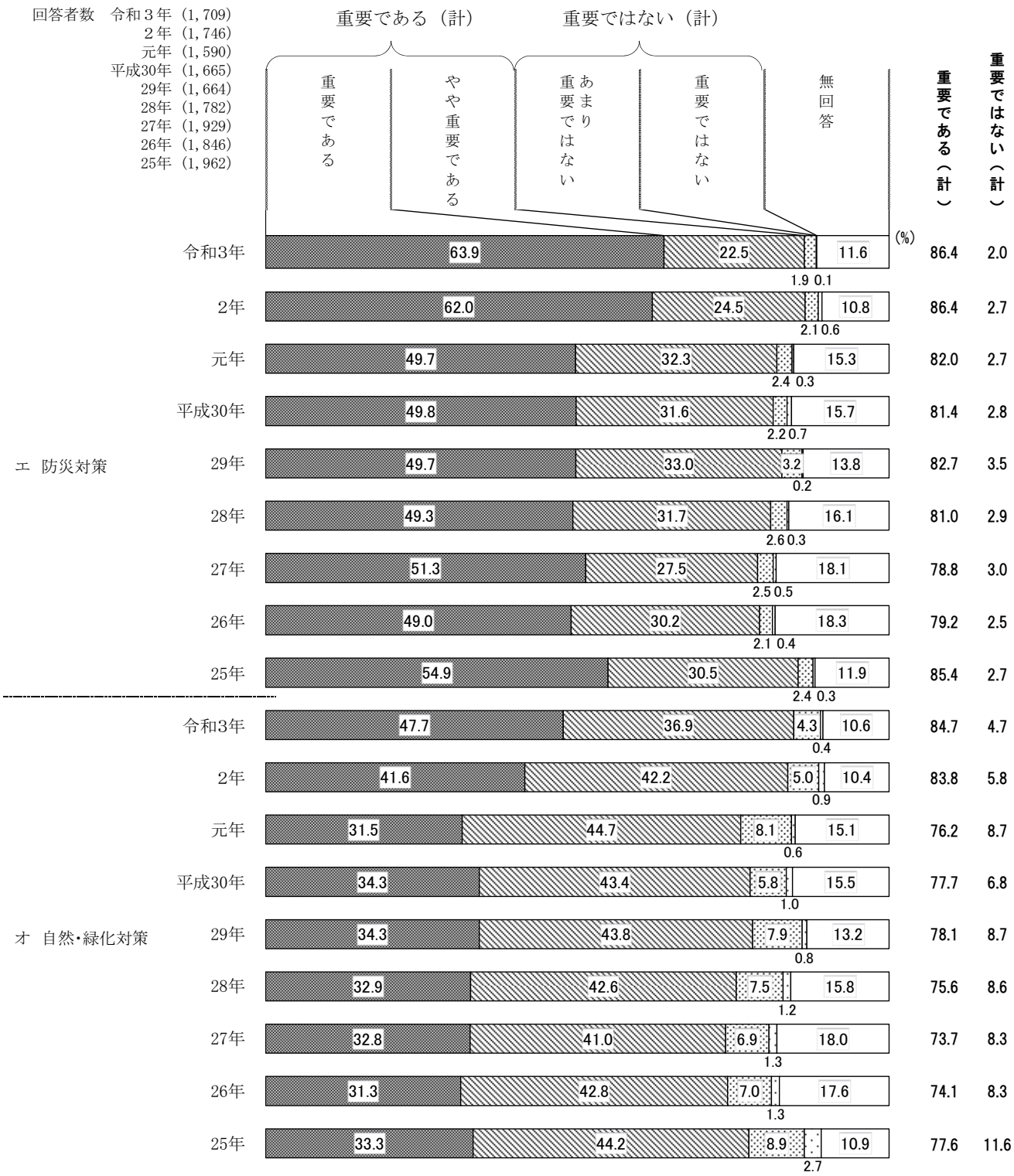


図11－１－２－③　経年比較／重要度

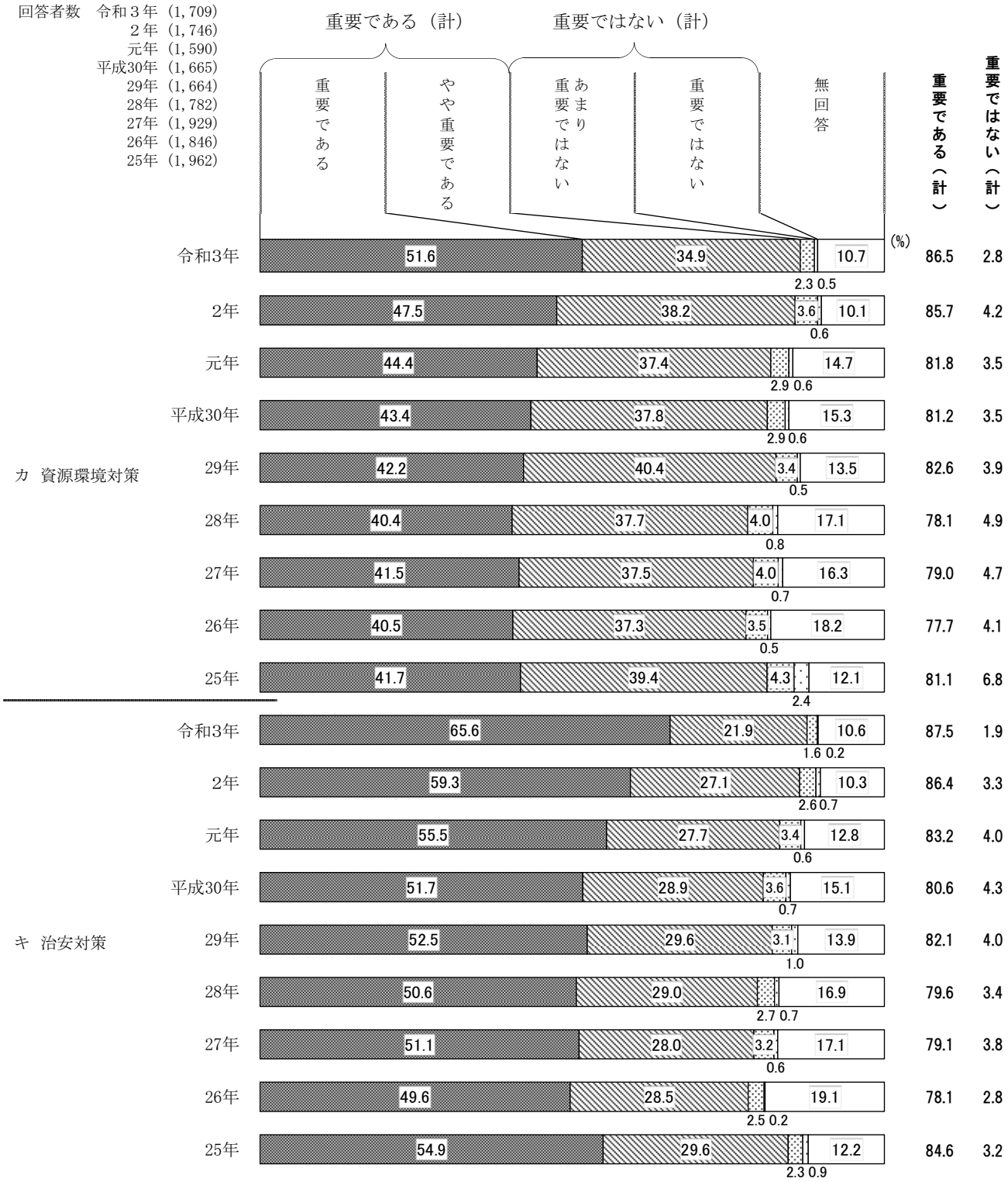


図11－１－２－④　経年比較／重要度

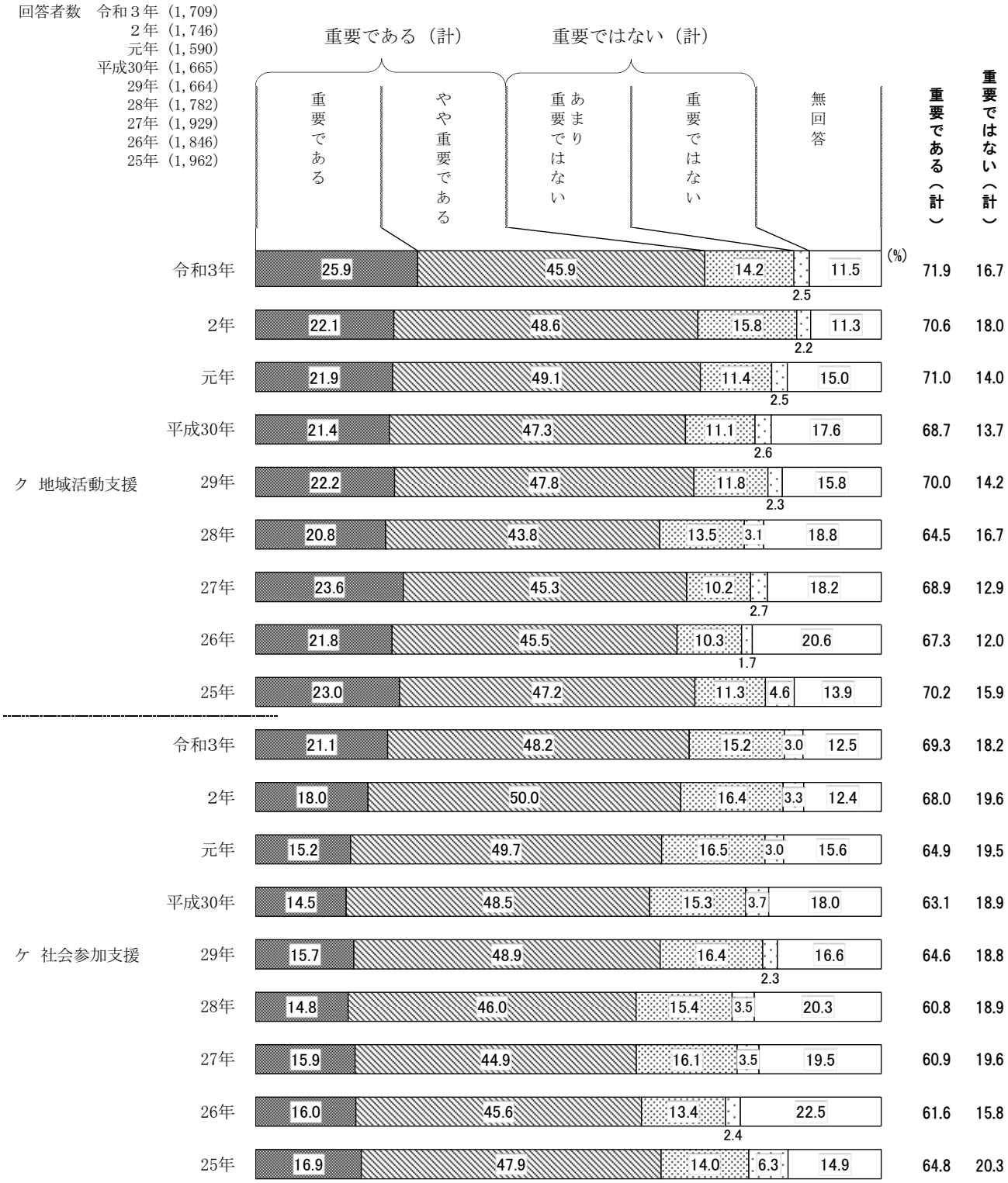


図11－１－２－⑤　経年比較／重要度

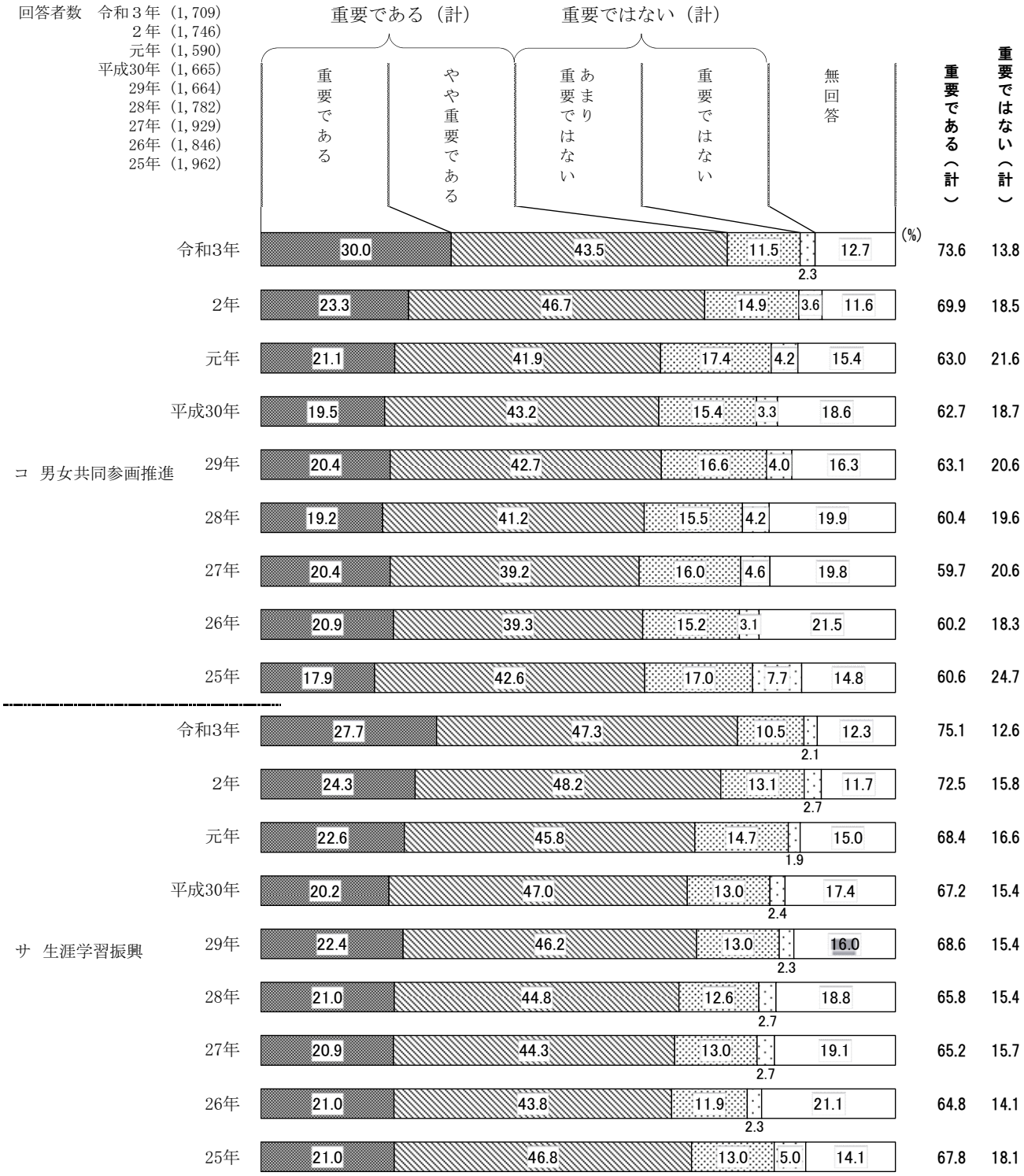


図11－１－２－⑥　経年比較／重要度

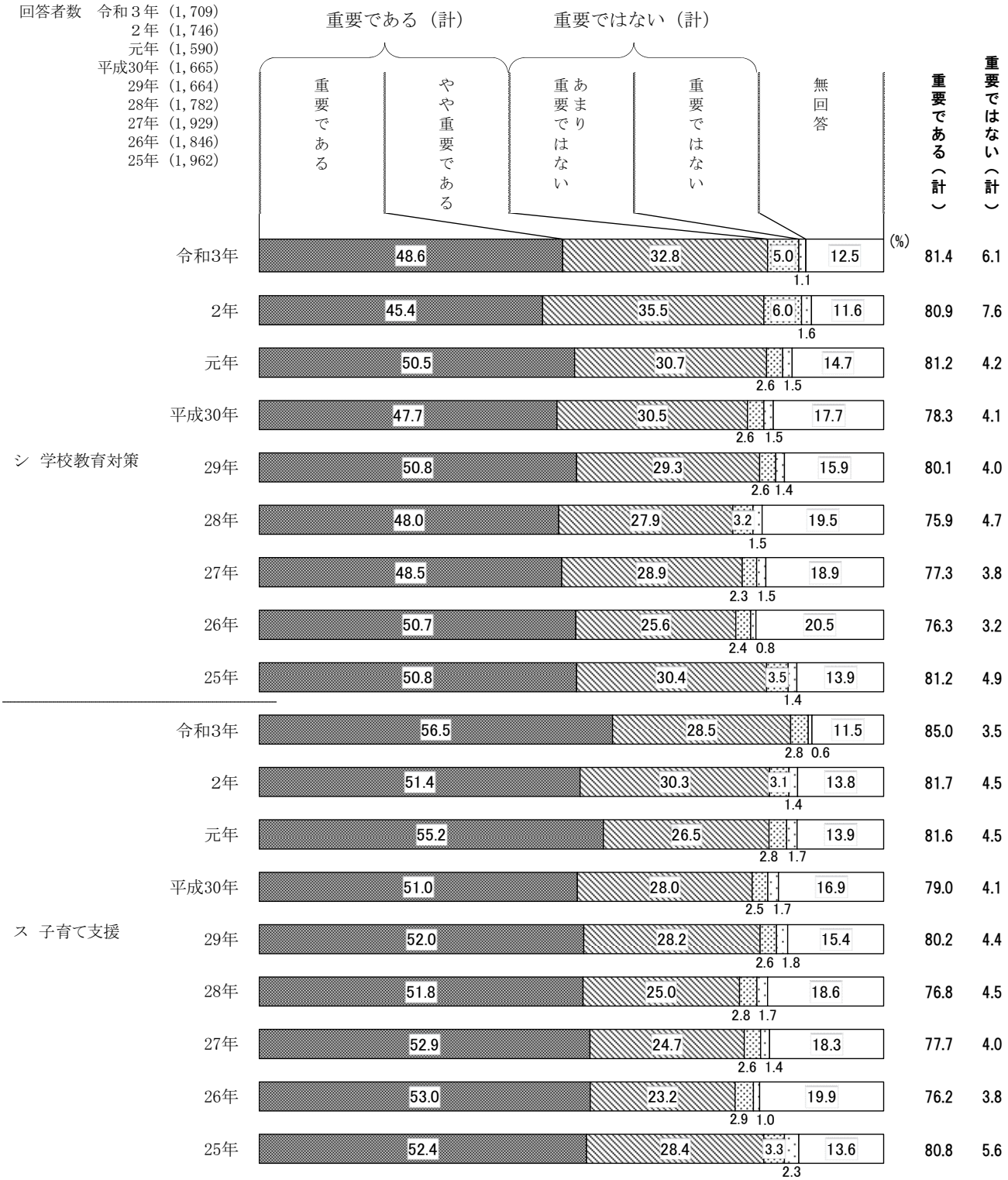


図11－１－２－⑦　経年比較／重要度

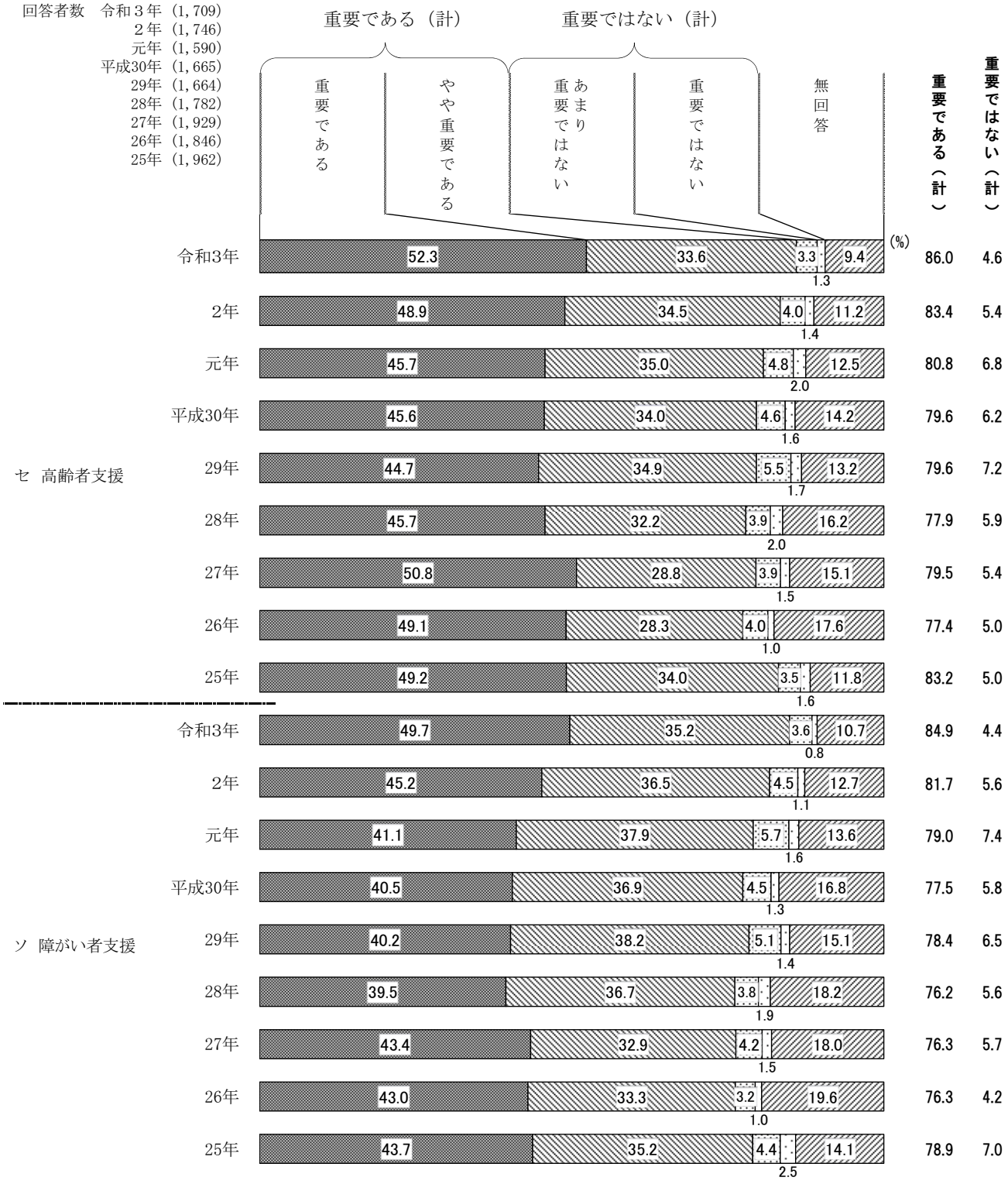


図11－１－２－⑧　経年比較／重要度

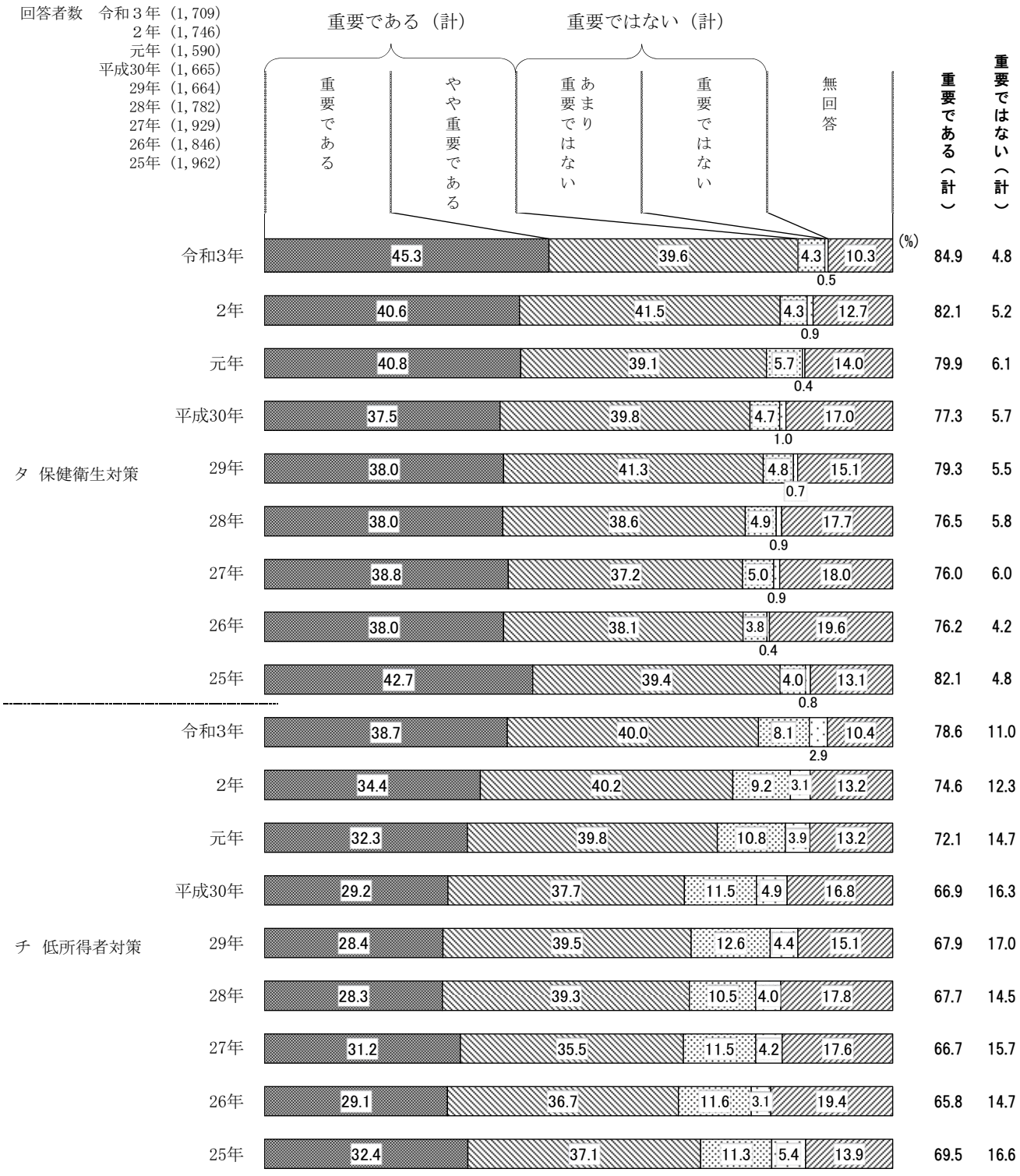


図11－１－２－⑨　経年比較／重要度

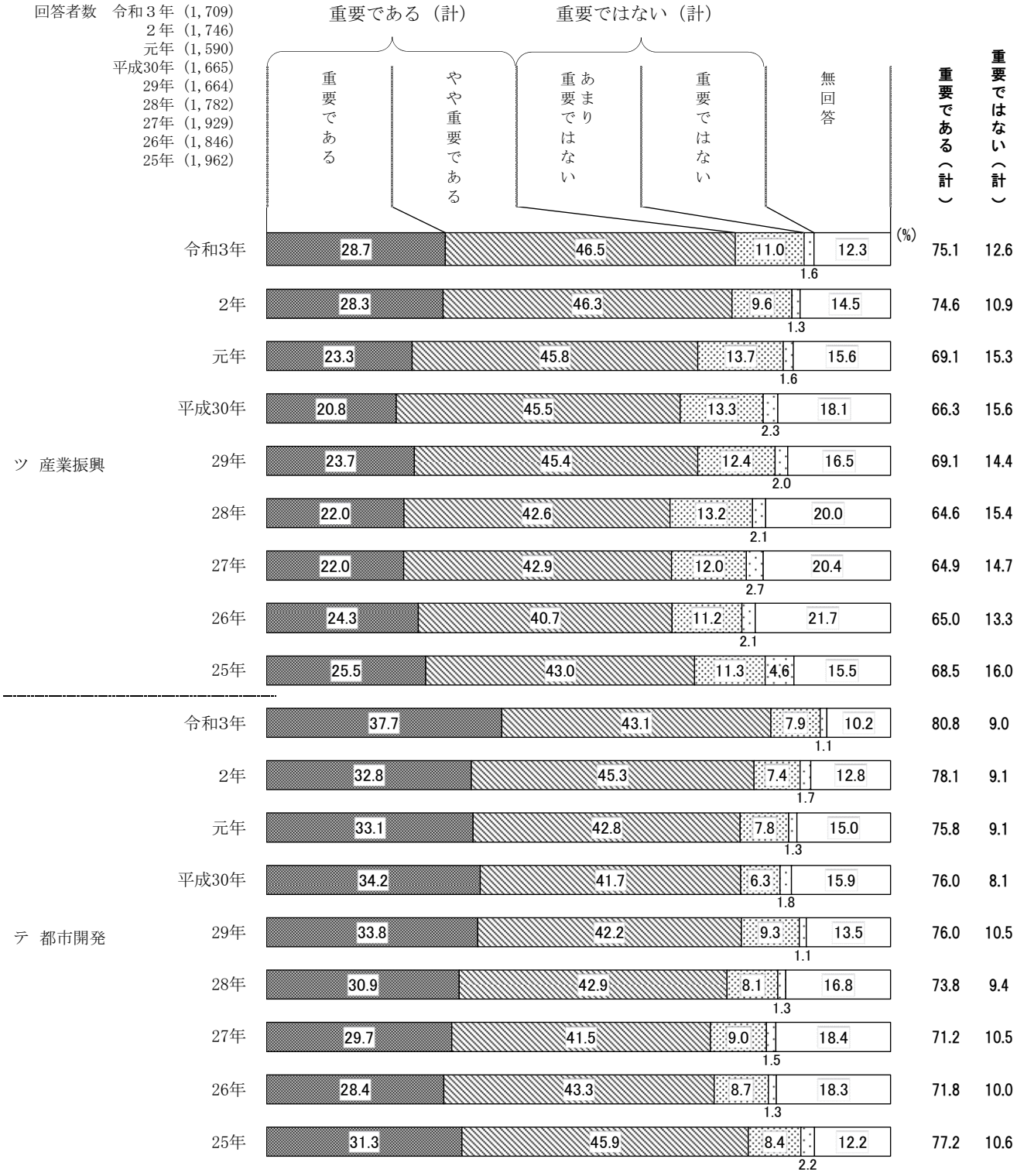
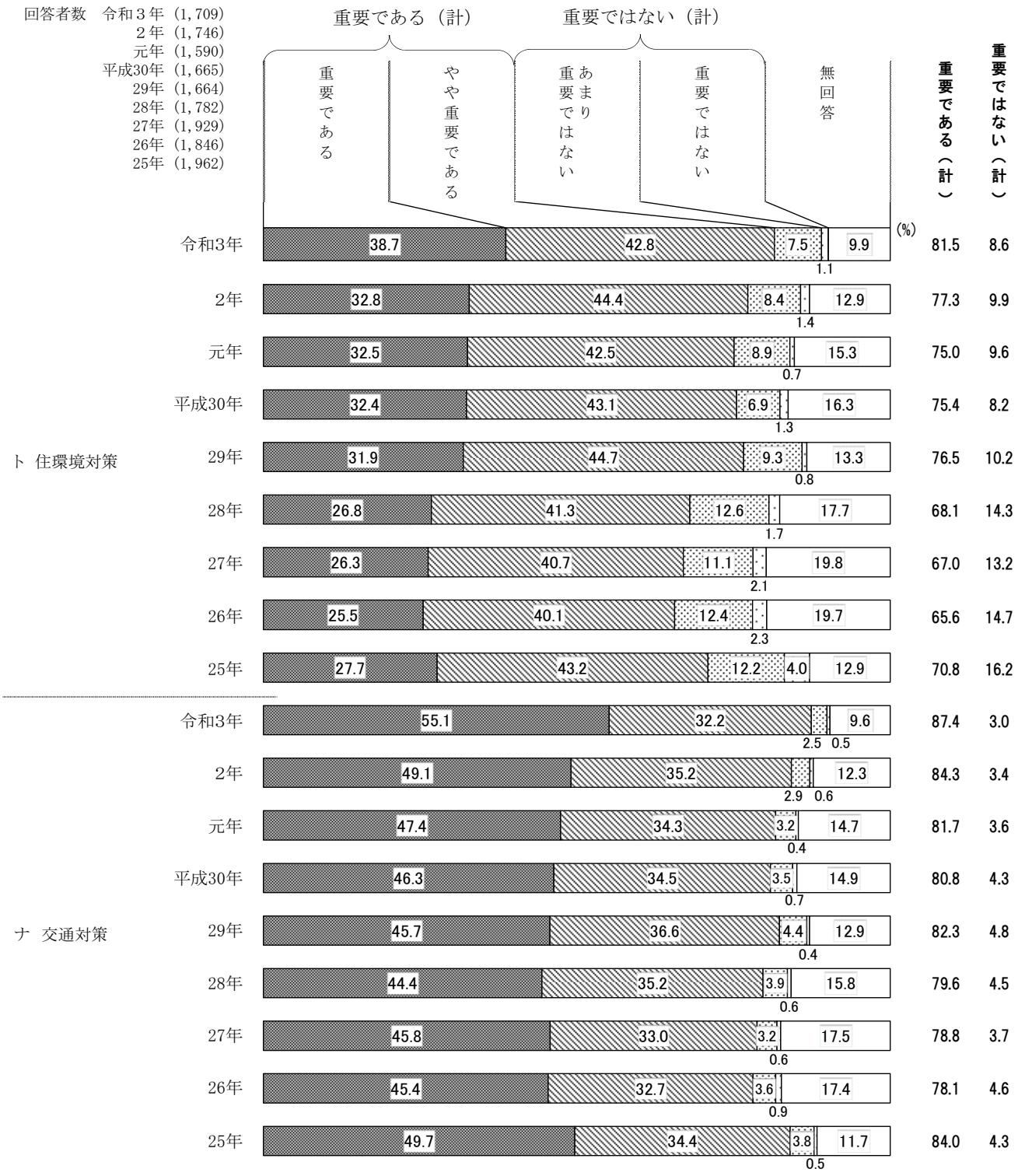


図11－１－２－⑩　経年比較／重要度



※「イ　ＩＣＴ活用」は、令和３年度新設。
※「ト　住環境対策」は、平成28年度までは「住宅対策」。

区の取り組みについて、各分野に対する重要度を聴いた。【重要である】（「重要である」＋「やや重要である」）の高い順でみると、「治安対策」が87.5％で最も高く、以下「交通対策」（87.4％）、「資源環境対策」（86.5％）、「防災対策」（86.4％）、「高齢者支援」（86.0％）の順で続いている。

一方、【重要でない】（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」）の高いものとしては、「社会参加支援」（18.2％）、「地域活動支援」（16.7％）、「男女共同参画推進」（13.8％）などとなっている。

経年でみると、前回令和２年との比較では、【重要である】が増加した項目は、新設の「ＩＣＴ活用」と「防災対策」を除いた19項目となっており、4.0ポイント以上増加した項目は、「住環境対策」（＋4.2ポイント）、「低所得者対策」（＋4.0ポイント）の２項目となっている。一方、【重要ではない】が減少した項目は20項目中19項目に及び、3.0ポイント以上減少した項目は「男女共同参画推進」（－4.7ポイント）と「生涯学習振興」（－3.2ポイント）となっており、唯一増加した項目は、「産業振興」（＋1.7ポイント）となっている。

また、平成25年と今回の結果を比較すると、【重要である】は20項目すべてで増加しており、8.0ポイント以上増加している項目は「男女共同参画推進」（＋13.0ポイント）、「住環境対策」（＋10.7ポイント）、「低所得者対策」（＋9.1ポイント）、「情報提供」（＋8.1ポイント）の４項目となっている。一方、【重要ではない】は20項目中17項目で減少しており、減少幅が最も大きい項目は「男女共同参画推進」（－10.9ポイント）で、次いで「住環境対策」（－7.6ポイント）となっている。なお、【重要でない】が増加している２項目は「学校教育対策」（＋1.2ポイント）と、「地域活動支援」（＋0.8ポイント）となっている。

表11－１　満足度・重要度の上位５項目

満足度				重要度			
1	↑	職員の接客態度	79.2%	1	↑	治安対策	87.5%
2	↓	情報提供	76.9	2	↑	交通対策	87.4
3	↓	資源環境対策	76.8	3	－	資源環境対策	86.5
4	－	自然・緑化対策	72.4	4	↓	防災対策	86.4
5	－	保健衛生対策	71.2	5	↑	高齢者支援	86.0

※　矢印は前回順位との比較

《 現状評価（満足度）、重要度について 》

（１）現状評価（満足度）、重要度の評価点について

各分野の取り組みへの現状評価（満足度）と重要度意識の各選択肢に得点をつけ、現状評価（満足度）、重要度の評価点を算出した。これによって、区民の現状評価（満足度）や重要度意識を明確に捉え、分析することができる。

なお、各選択肢への点数の配分は下記の表のとおりである。

〔 得点配分 〕

現状評価（満足度）	重要度	得点
満足	重要である	４
やや満足	やや重要である	２
やや不満	あまり重要ではない	－２
不満	重要ではない	－４

※「無回答」は、母数から除くためポイントをつけない。

〔 計 算 式 〕

$$\text{現状評価} = \frac{\text{「満足」}\times 4 + \text{「やや満足」}\times 2 + \text{「やや不満」}\times(-2) + \text{「不満」}\times(-4)}{\text{「無回答」を除く有効回答者数}}$$

$$\text{重 要 度} = \frac{\text{「重要である」}\times 4 + \text{「やや重要である」}\times 2 + \text{「あまり重要ではない」}\times(-2) + \text{「重要ではない」}\times(-4)}{\text{「無回答」を除く有効回答者数}}$$

（２）現状評価（満足度）について

21施策の現状評価（満足度）は、最も高い〈職員の接客態度〉の1.81から、最も低い〈住環境対策〉の0.18の間に分布している。

分野別でみると、前回までと同様に、〈職員の接客態度〉、〈資源環境対策〉、〈情報提供〉、〈自然・緑化対策〉、〈保健衛生対策〉、〈子育て支援〉で評価が高く、〈住環境対策〉、〈交通対策〉、〈低所得者対策〉、〈防災対策〉、〈都市開発〉、〈産業振興〉で低くなっている。また、新設の〈ＩＣＴ活用〉でも評価が低くなっている。

（３）重要度について

21施策の重要度は、最も高い〈治安対策〉の3.38から、最も低い〈社会参加支援〉の1.58の間に分布している。

分野別でみると、〈治安対策〉、〈防災対策〉、〈子育て支援〉、〈交通対策〉、〈資源環境対策〉で重要度が高く、〈社会参加支援〉、〈地域活動支援〉、〈生涯学習振興〉、〈男女共同参画推進〉、〈産業振興〉で低くなっている。

（４）現状評価（満足度）、重要度のプロット図

現状評価（満足度）を横軸に、重要度を縦軸にとって21項目を相対的に評価するため、平均値（満足度平均値0.97、重要度平均値2.62）を境として、４つの領域に分類した。

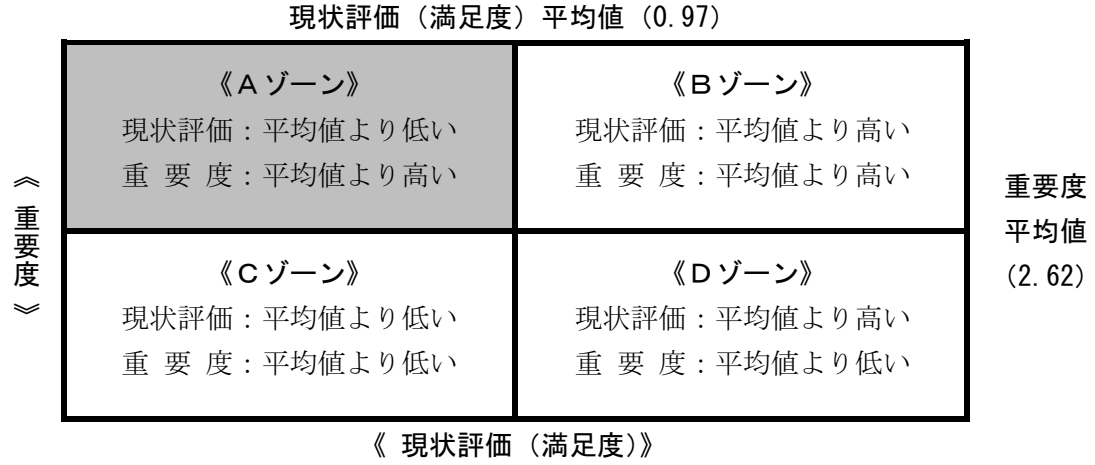
４つの領域の特性は、以下のとおりである。

Ａ　現状評価（満足度）が平均値より低く、重要度が平均値より高い項目

グラフ左上のＡゾーンに位置する項目は、施策の重要性が広く区民に認識され、とくに施策の推進や改善に対する区民のニーズが高い項目と考えられる。従来の取り組みの方向について検討を加え、改善していくことが求められる。

Ｂ　現状評価（満足度）、重要度ともに平均値より高い項目

グラフ右上のＢゾーンに位置する項目は、施策の重要性が十分認識されているとともに、現在の取り組みにも満足している区民が多い項目と考えられる。今後も現在の水準を維持し、着実に取り組んでいくことが求められる。



Ｃ　現状評価（満足度）、重要度ともに平均値より低い項目

グラフ左下のＣゾーンに位置する項目は、取り組みの推進に対する期待は高いものの、他の施策と比較してその重要性の認識が低い項目と考えられる。施策の重要性に対する認知を高めるとともに、従来の取り組みの方向の改善を検討することが求められる。

Ｄ　現状評価（満足度）が平均値より高く、重要度が平均値より低い項目

グラフ右下のＤゾーンに位置する項目は、他の施策と比較してその重要性の認識は低いものの、現状の取り組みには満足している項目と考えられる。今後も着実に取り組みの推進を図るとともに、施策の重要性についての認知を高めていくことが求められる。

表11－１－１－①　地域別／現状評価（満足度）

	区全体	第１	第２	第３	第４	第５	第６	第７	第８
ア 情報提供	1.56	1.68	1.28	1.72	1.72	1.35	1.59	1.72	1.71
イ 職員の接客態度	1.81	1.98	1.35	1.85	2.03	1.72	1.95	1.44	1.88
ウ ＩＣＴ活用	0.47	0.62	0.34	0.69	0.32	0.34	0.33	0.56	0.67
エ 防災対策	0.63	0.93	0.79	0.58	0.48	0.47	0.87	0.36	0.66
オ 自然・緑化対策	1.36	1.30	1.21	1.22	1.26	1.15	1.71	1.26	1.42
カ 資源環境対策	1.61	1.84	1.57	1.67	1.48	1.37	1.65	1.58	2.00
キ 治安対策	0.96	1.50	0.79	0.95	0.92	0.78	0.63	0.80	1.22
ク 地域活動支援	0.94	1.24	0.78	0.48	1.14	0.91	1.06	1.13	1.28
ケ 社会参加支援	0.87	1.10	0.77	0.68	1.14	0.96	0.88	1.20	1.13
コ 男女共同参画推進	0.92	1.05	1.02	0.43	1.16	0.85	1.07	1.04	1.13
サ 生涯学習振興	1.04	1.26	1.02	0.93	1.38	1.01	0.54	0.63	1.33
シ 学校教育対策	0.92	1.27	0.61	0.82	1.00	0.79	0.98	0.49	1.10
ス 子育て支援	1.26	1.19	1.14	1.11	1.47	1.25	1.19	1.24	1.41
セ 高齢者支援	0.95	1.19	0.54	0.93	1.38	1.05	0.87	0.65	1.01
ソ 障がい者支援	1.01	1.03	0.72	0.96	1.50	1.14	1.21	0.61	0.94
タ 保健衛生対策	1.34	1.47	1.13	1.12	1.60	1.37	1.34	1.25	1.41
チ 低所得者対策	0.63	0.88	0.23	0.16	1.05	0.62	0.80	0.68	0.44
ツ 産業振興	0.76	0.84	0.70	0.49	0.92	0.71	0.75	0.98	0.82
テ 都市開発	0.65	0.93	0.32	0.62	0.60	0.34	0.46	0.75	0.63
ト 住環境対策	0.18	0.48	0.04	0.08	0.30	-0.11	0.09	0.47	0.59
ナ 交通対策	0.43	0.96	-0.06	-0.13	0.45	0.01	0.79	0.41	0.62
二 区政全体として	1.10	1.20	0.77	0.77	1.37	0.74	1.13	1.13	1.13

※　地域ごとに、最も評価点の高いものを「文字白抜き」、低いものを「網掛け」で表示しています。

表11－１－１－②　地域別／現状評価（満足度）

	区全体	第９	第10	第11	第12	第13	第14	第15
ア 情報提供	1.56	1.46	1.47	1.72	1.42	1.28	1.49	1.73
イ 職員の接客態度	1.81	1.52	1.85	2.06	1.74	1.54	1.92	2.00
ウ ＩＣＴ活用	0.47	0.62	0.06	0.39	0.26	0.73	0.46	0.67
エ 防災対策	0.63	0.62	0.84	0.52	0.24	0.61	0.47	0.76
オ 自然・緑化対策	1.36	1.37	1.78	1.35	1.09	1.31	1.28	1.92
カ 資源環境対策	1.61	1.80	1.23	1.58	1.00	1.58	1.60	1.86
キ 治安対策	0.96	0.89	1.14	0.86	0.33	0.46	1.05	1.59
ク 地域活動支援	0.94	0.58	0.43	0.98	0.66	0.88	0.84	0.99
ケ 社会参加支援	0.87	0.60	0.51	0.81	0.39	0.58	0.61	1.09
コ 男女共同参画推進	0.92	0.96	0.51	1.00	0.71	0.56	0.54	1.13
サ 生涯学習振興	1.04	0.93	1.00	1.14	0.71	0.88	1.03	1.30
シ 学校教育対策	0.92	0.79	0.81	1.08	1.02	0.53	0.94	1.21
ス 子育て支援	1.26	1.08	1.42	1.46	1.28	1.03	1.03	1.52
セ 高齢者支援	0.95	0.78	0.99	0.93	0.56	0.83	0.88	1.17
ソ 障がい者支援	1.01	0.89	1.04	1.29	0.72	0.92	0.62	1.01
タ 保健衛生対策	1.34	1.15	1.55	1.34	1.19	1.40	1.03	1.54
チ 低所得者対策	0.63	0.29	0.78	0.55	0.51	0.53	0.47	1.23
ツ 産業振興	0.76	0.95	0.33	0.78	0.54	0.78	0.57	1.01
テ 都市開発	0.65	0.64	0.77	0.67	0.48	0.61	0.86	1.26
ト 住環境対策	0.18	0.18	-0.16	-0.06	-0.23	-0.05	0.00	0.74
ナ 交通対策	0.43	0.20	0.21	0.39	0.18	0.36	0.52	1.18
二 区政全体として	1.10	1.04	1.22	1.22	1.02	1.32	1.24	1.29

※　地域ごとに、最も評価点の高いものを「文字白抜き」、低いものを「網掛け」で表示しています。

表11－１－２－①　地域別／重要度

	区全体	第１	第２	第３	第４	第５	第６	第７	第８
ア 情報提供	2.95	2.97	2.86	3.12	3.01	2.85	2.92	3.20	2.81
イ 職員の接客態度	2.83	2.91	2.79	3.04	2.79	2.83	2.70	3.12	2.79
ウ ＩＣＴ活用	2.35	2.29	2.16	2.25	2.68	2.49	2.37	2.64	2.26
エ 防災対策	3.35	3.39	3.18	3.25	3.41	3.39	3.24	3.49	3.34
オ 自然・緑化対策	2.85	2.78	2.71	2.79	2.70	2.85	2.68	3.11	2.96
カ 資源環境対策	3.02	2.99	2.82	3.09	2.89	3.07	3.07	3.13	3.04
キ 治安対策	3.38	3.18	3.31	3.19	3.40	3.51	3.42	3.71	3.34
ク 地域活動支援	1.78	1.39	1.85	2.03	1.61	1.79	1.81	1.79	1.83
ケ 社会参加支援	1.58	1.32	1.64	1.87	1.29	1.80	1.40	1.59	1.69
コ 男女共同参画推進	2.01	1.89	1.81	1.95	1.69	2.11	1.96	2.17	2.22
サ 生涯学習振興	2.01	1.91	1.81	2.11	1.80	2.10	2.02	2.05	2.05
シ 学校教育対策	2.81	2.58	2.74	2.99	2.85	2.82	2.79	3.05	2.90
ス 子育て支援	3.11	2.91	2.93	3.13	3.03	3.23	3.03	3.29	3.15
セ 高齢者支援	2.92	2.75	2.80	3.01	2.84	2.93	2.87	3.14	2.85
ソ 障がい者支援	2.90	2.75	2.79	3.03	2.84	2.95	2.99	3.02	2.96
タ 保健衛生対策	2.78	2.83	2.58	2.78	2.78	2.70	2.95	2.79	2.78
チ 低所得者対策	2.31	2.15	2.48	2.52	2.20	2.23	2.06	2.33	2.43
ツ 産業振興	2.04	1.91	2.08	1.81	2.03	1.86	2.13	2.19	2.21
テ 都市開発	2.42	2.27	2.31	2.42	2.27	2.22	2.60	2.93	2.33
ト 住環境対策	2.45	2.51	2.30	2.70	2.23	2.45	2.52	2.76	2.50
ナ 交通対策	3.07	2.92	2.92	3.22	3.02	2.94	3.04	3.38	3.24

※　地域ごとに、最も評価点の高いものを「文字白抜き」、低いものを「網掛け」で表示しています。

表11－１－２－②　地域別／重要度

	区全体	第９	第10	第11	第12	第13	第14	第15
ア 情報提供	2.95	3.23	2.71	2.90	3.00	2.81	2.80	3.18
イ 職員の接客態度	2.83	3.12	2.37	3.04	2.71	2.56	2.61	2.86
ウ ＩＣＴ活用	2.35	2.58	2.03	2.28	2.27	2.17	2.12	2.52
エ 防災対策	3.35	3.51	3.31	3.46	3.38	3.16	3.23	3.39
オ 自然・緑化対策	2.85	3.11	2.79	2.88	2.72	3.08	2.79	2.86
カ 資源環境対策	3.02	3.29	2.78	3.16	2.91	2.86	3.00	3.10
キ 治安対策	3.38	3.59	3.26	3.44	3.38	3.27	3.21	3.51
ク 地域活動支援	1.78	2.04	1.62	1.89	1.94	1.71	2.03	1.71
ケ 社会参加支援	1.58	1.75	1.58	1.63	1.55	1.52	1.66	1.70
コ 男女共同参画推進	2.01	2.22	1.89	2.07	1.90	1.74	2.23	2.43
サ 生涯学習振興	2.01	2.35	1.71	2.10	2.10	1.68	2.06	2.45
シ 学校教育対策	2.81	3.13	2.42	2.87	2.87	2.39	2.57	3.32
ス 子育て支援	3.11	3.28	3.01	3.16	2.98	2.92	3.33	3.36
セ 高齢者支援	2.92	3.08	2.73	2.95	3.06	2.97	3.13	3.03
ソ 障がい者支援	2.90	2.96	2.74	3.02	2.71	2.71	3.04	2.96
タ 保健衛生対策	2.78	3.05	2.49	2.89	2.66	2.69	2.84	2.80
チ 低所得者対策	2.31	2.54	2.27	2.50	1.84	2.29	2.36	2.39
ツ 産業振興	2.04	2.28	1.86	1.97	2.10	1.92	2.20	2.26
テ 都市開発	2.42	3.03	2.05	2.52	2.48	2.19	2.33	2.50
ト 住環境対策	2.45	2.54	2.08	2.81	2.26	2.26	2.36	2.20
ナ 交通対策	3.07	3.29	2.82	3.19	3.11	2.79	3.07	3.33

※　地域ごとに、最も評価点の高いものを「文字白抜き」、低いものを「網掛け」で表示しています。

全21施策の現状評価（満足度）と重要度の関係をみた。《区全体》では、

Ａ：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「治安対策」と「防災対策」は重要度が高く、計５項目が該当している。

Ｂ：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「職員の接客態度」「資源環境対策」「情報提供」の満足度が高く、計７項目が該当している。

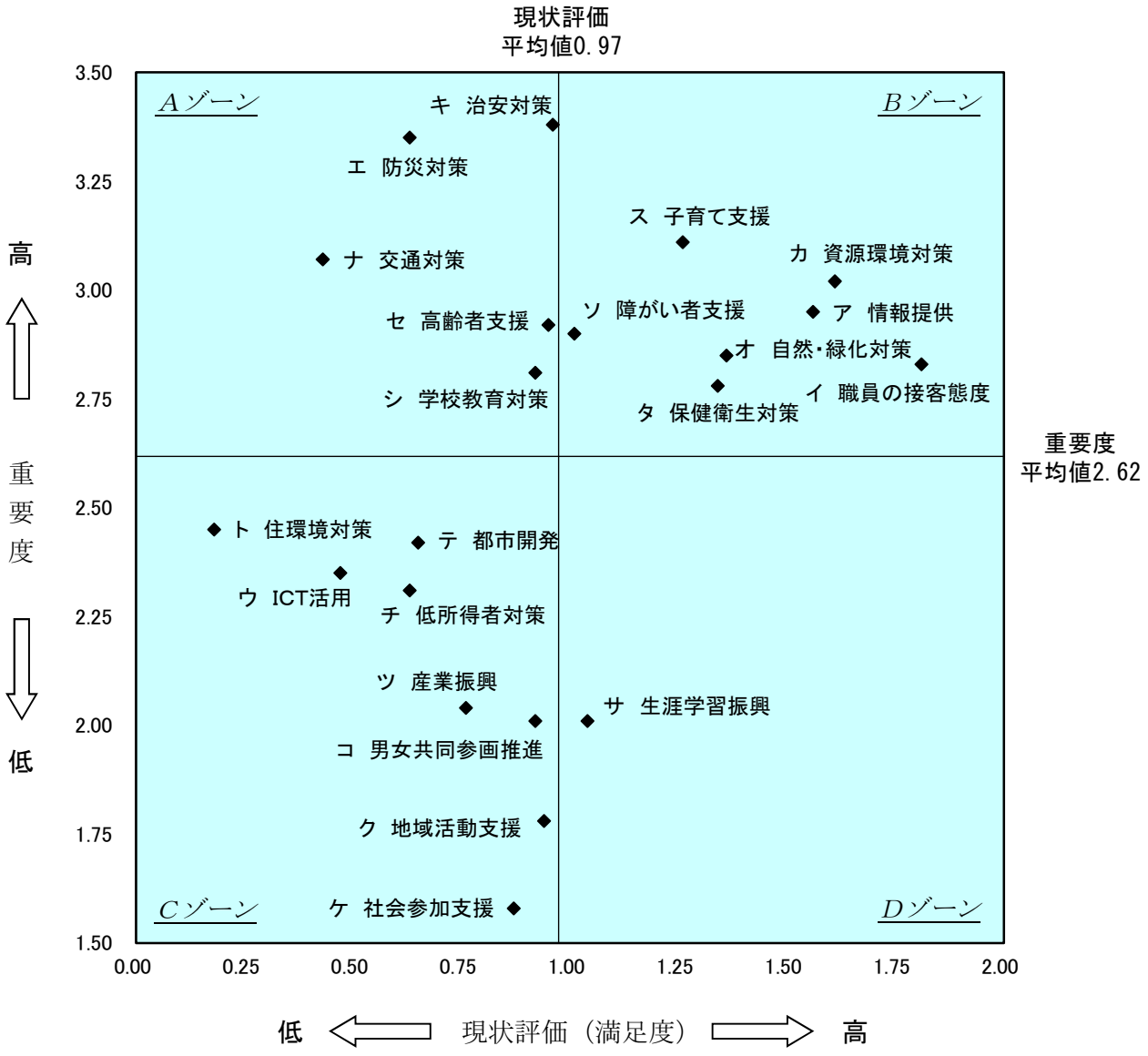
Ｃ：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」の満足度が低く、「社会参加支援」の重要度が特に低くなっている。最多の８項目が該当している。

Ｄ：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「生涯学習振興」の１項目のみが該当している。

表11－１－３　現状評価（満足度）と重要度の関係



各地域の現状評価（満足度）と重要度の関係をみた。《第１地域》では、

Ａ：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」の重要度が特に高く、「住環境対策」の満足度が低くなっている。計４項目が該当している。

Ｂ：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「職員の接客態度」の満足度が特に高く、「資源環境対策」の満足度も高くなっている。「治安対策」は重要度が高くなっており、最多の９項目が該当している。

Ｃ：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

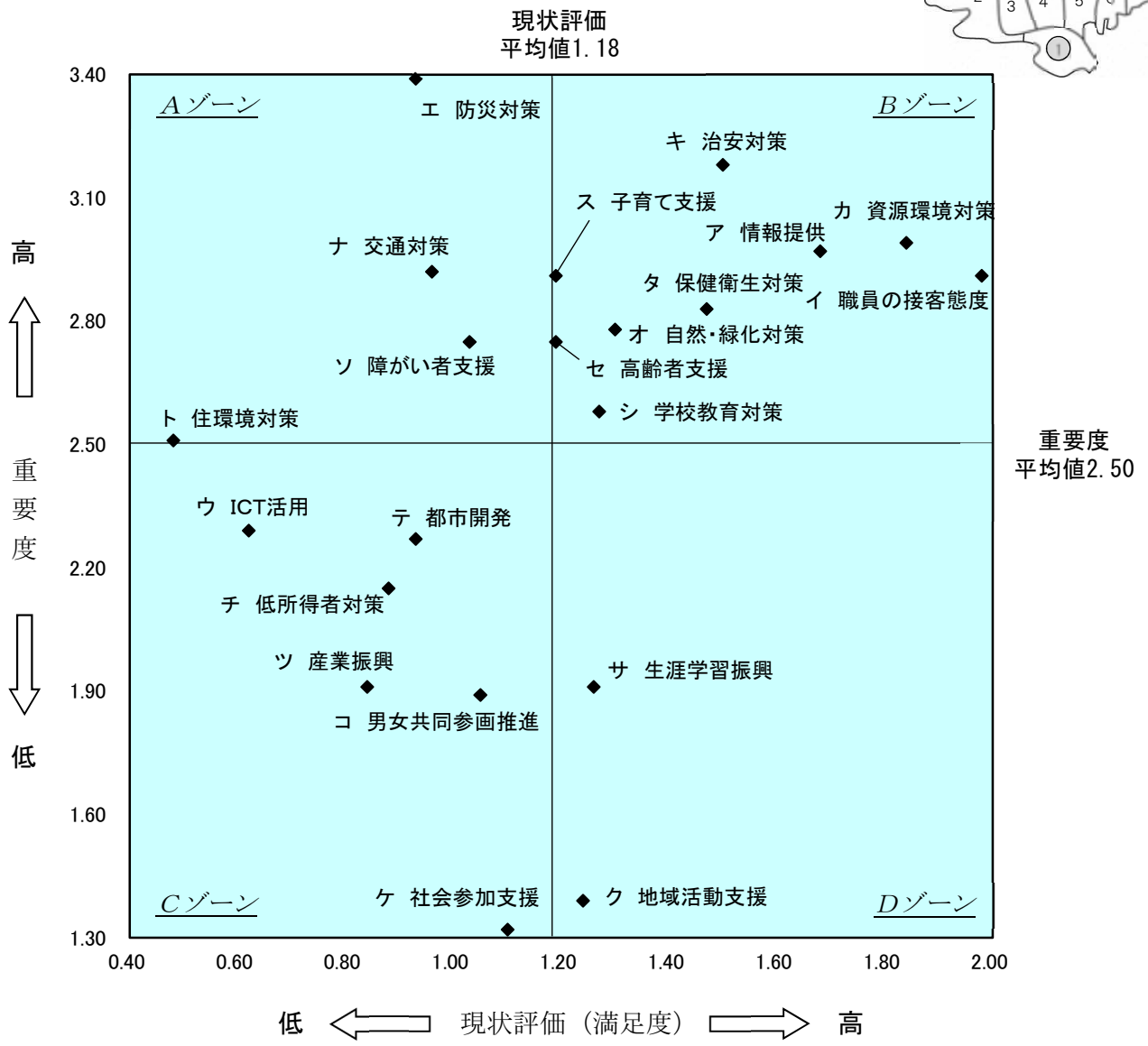
「地域活動支援」の重要度が特に低く、「ＩＣＴ活用」の満足度が低くなっている。計６項目が該当している。

Ｄ：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「社会参加支援」の重要度が特に低く、「生涯学習振興」との２項目が該当している。

地域区分図

表11－１－４－①　地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第１地域



《第２地域》

Ａ：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「交通対策」の満足度が特に低く、計４項目が該当している。

Ｂ：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」の満足度が高く、「治安対策」と「防災対策」は重要度が高いものの満足度ではＡゾーンの境目にある。最多の８項目が該当している。

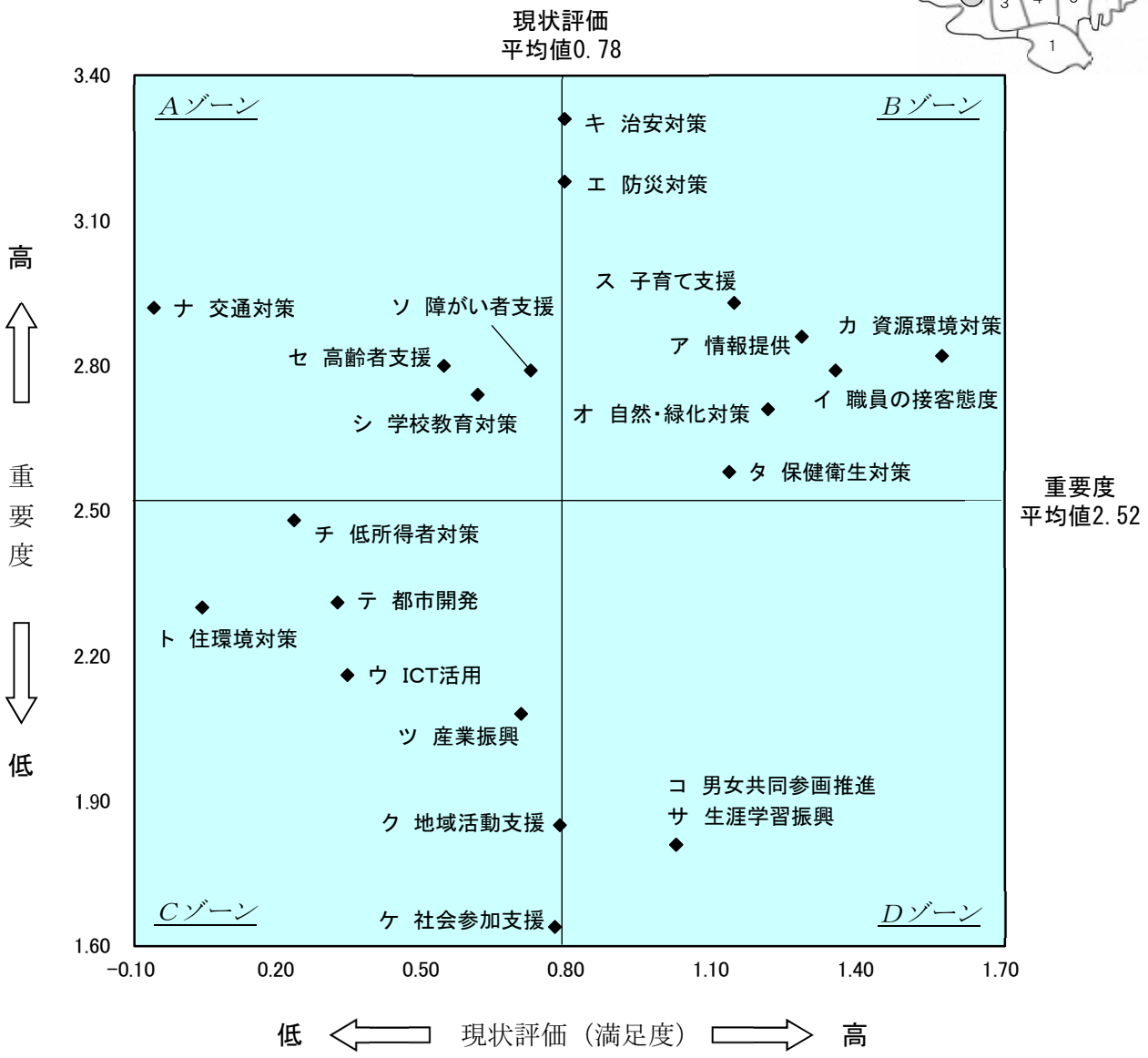
Ｃ：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」の満足度が低く、「社会参加支援」の重要度が特に低くなっている。計７項目が該当している。

Ｄ：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「男女共同参画推進」と「生涯学習振興」の２項目が該当している。

表11－１－４－②　地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第２地域



《第３地域》

Ａ：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」は重要度が特に高くなっている。「交通対策」も重要度は高いが満足度は低くなっている。計４項目が該当している。

Ｂ：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「職員の接客態度」の満足度が特に高く、「情報提供」と「資源環境対策」は満足度と重要度の両方で高くなっている。また「治安対策」と「子育て支援」の重要度が高くなっている。最多の９項目が該当している。

Ｃ：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「産業振興」の重要度が特に低く、「社会参加支援」と「男女共同参画推進」も重要度が低くなっている。計７項目が該当している。

Ｄ：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「生涯学習振興」の１項目のみが該当している。

地域区分図

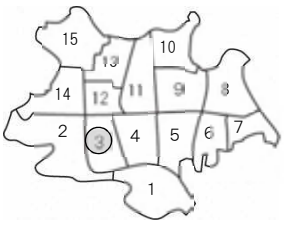
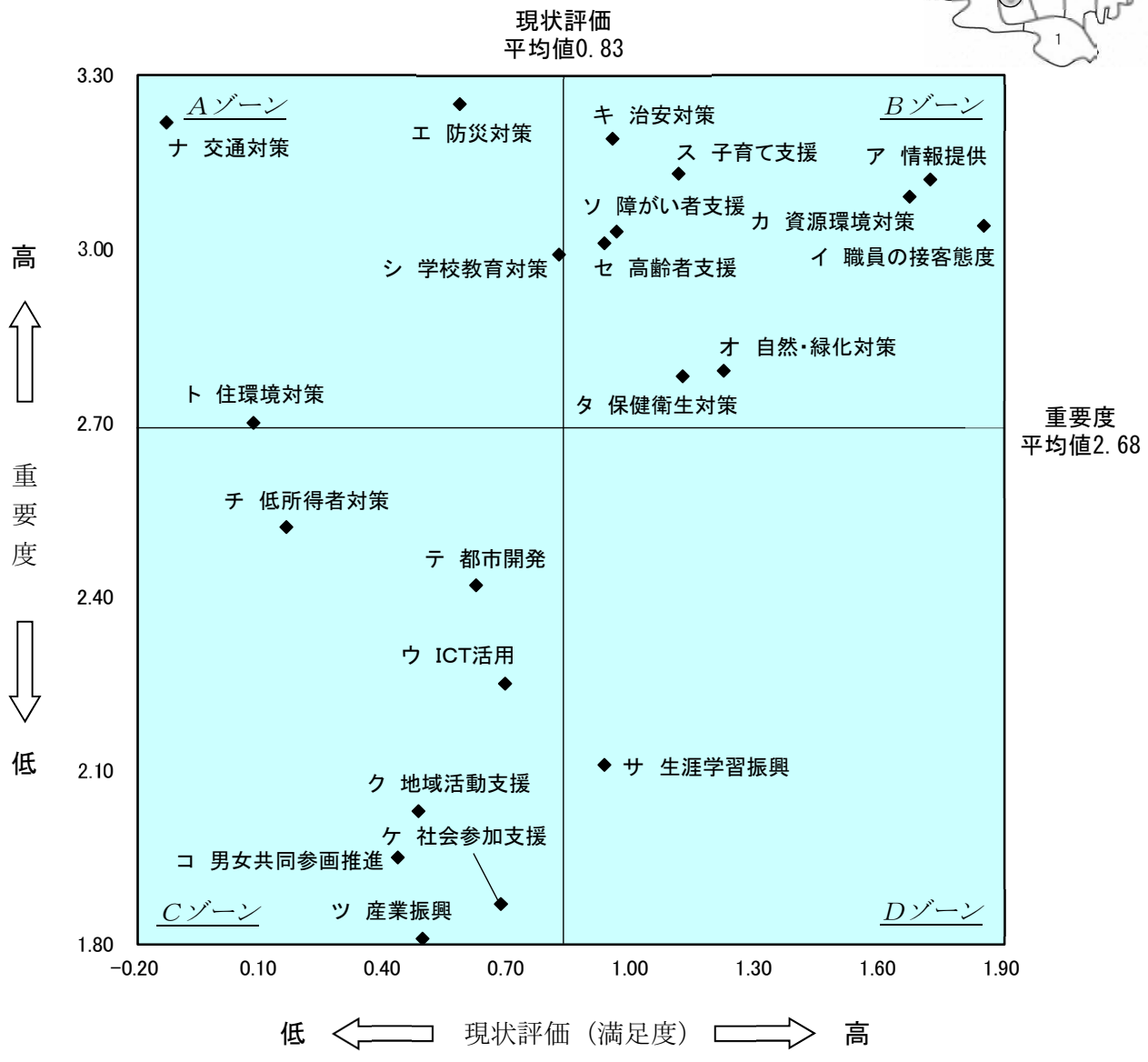


表11－１－４－③　地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第３地域



《第４地域》

Ａ：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「治安対策」と「防災対策」は重要度が高いが、「防災対策」は満足度が低くなっている。

「ＩＣＴ活用」は満足度が特に低く、「交通対策」も満足度が低くなっている。計５項目が該当している。

Ｂ：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「職員の接客態度」の満足度が特に高くなっており、最多の８項目が該当している。

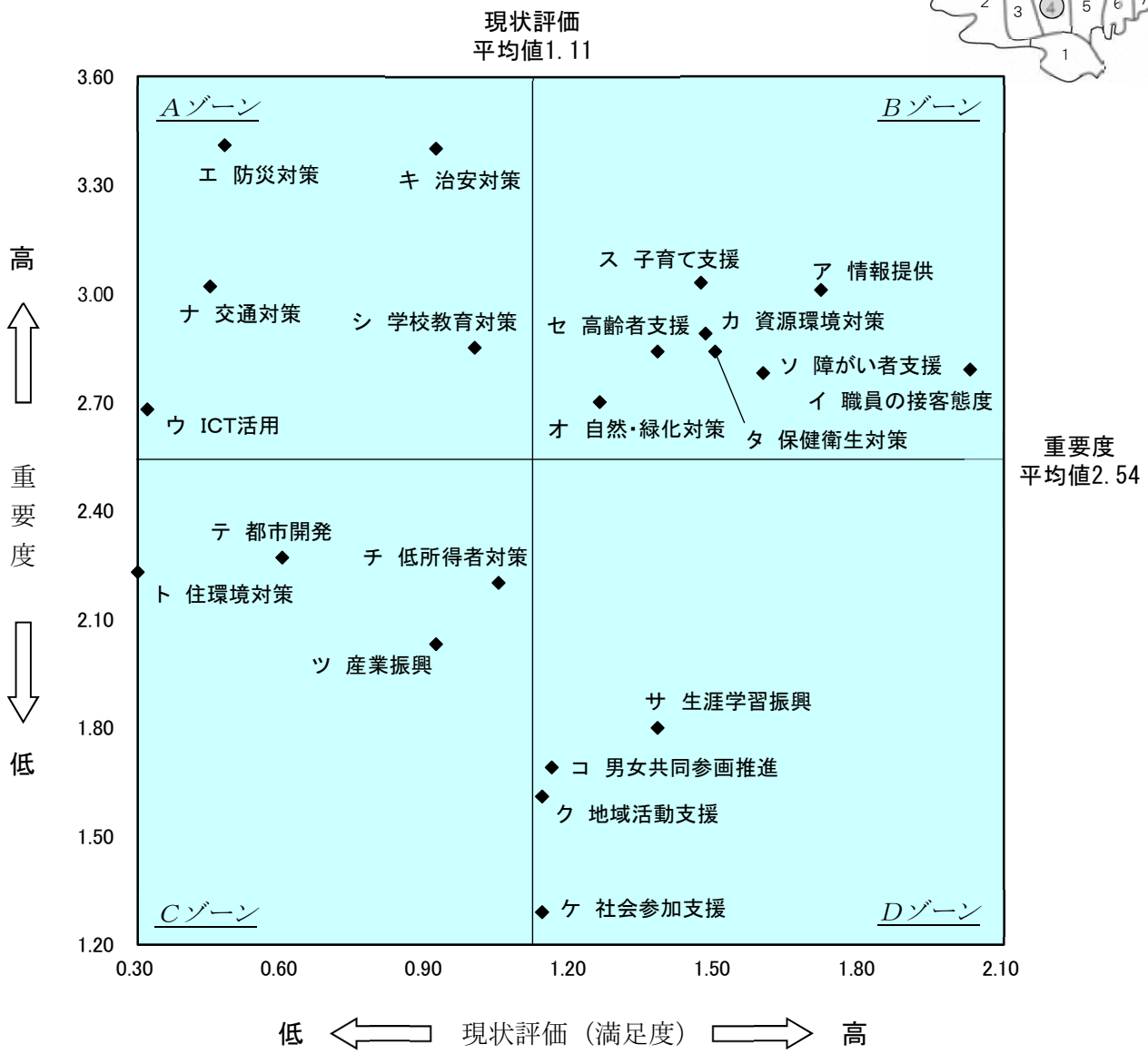
Ｃ：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」の満足度が特に低くなっており、計４項目が該当している。

Ｄ：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「社会参加支援」の重要度が特に低くなっており、計４項目が該当している。

表11－１－４－④　地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第４地域



《第５地域》

Ａ：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「治安対策」の重要度が特に高く、「防災対策」も重要度が高くなっている。「交通対策」の満足度が低く、４項目が該当している。

Ｂ：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「職員の接客態度」の満足度が特に高くなっており、最多の８項目が該当している。

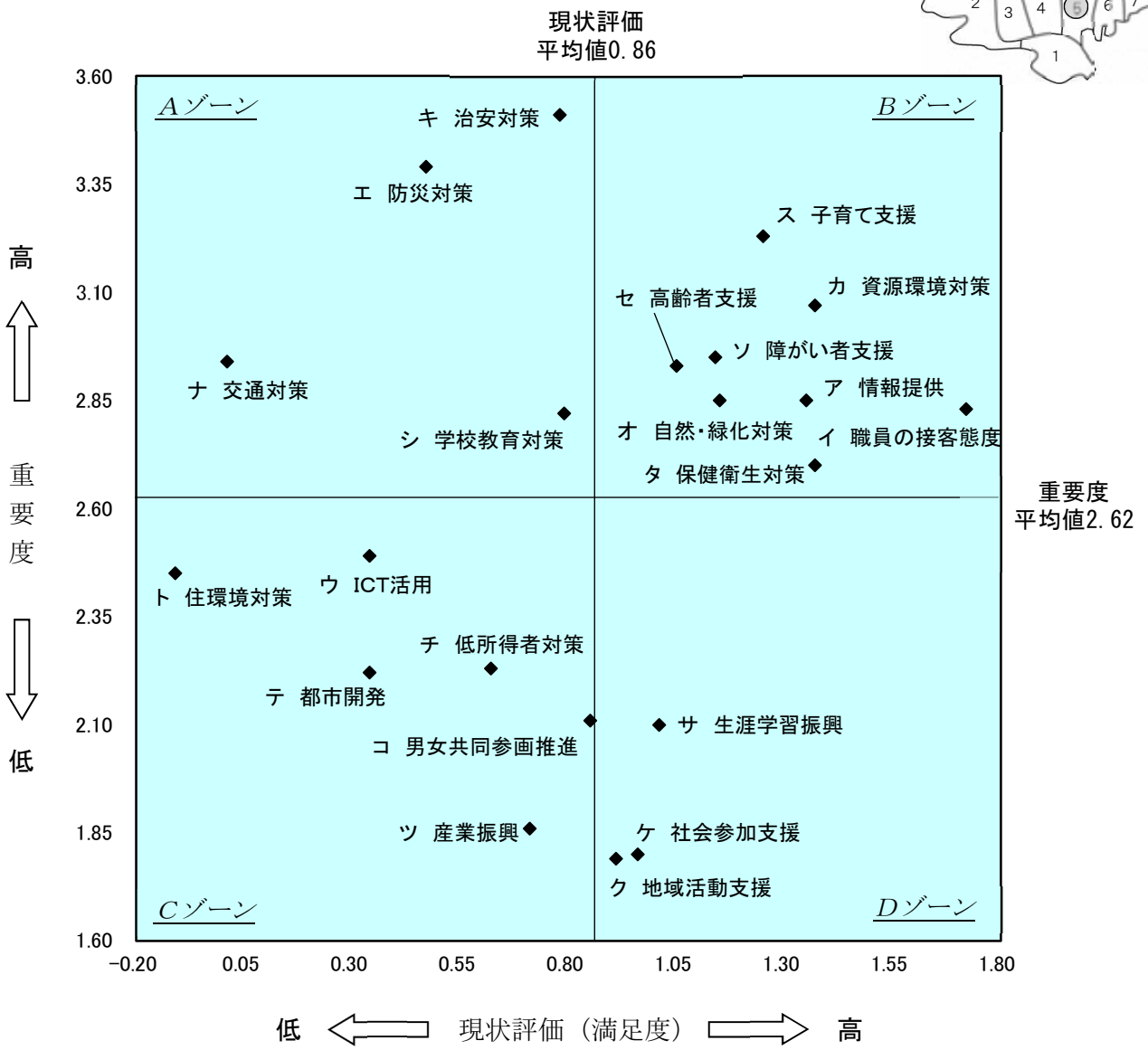
Ｃ：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」は満足度が低く、「産業振興」は重要度が低くなっている。計６項目が該当している。

Ｄ：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「地域活動支援」と「社会参加支援」の重要度が低くなっており、計３項目が該当している。

表11－１－４－⑤　地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第５地域



《第６地域》

Ａ：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「治安対策」の重要度が特に高く、「学校教育対策」は満足度でＢゾーンの境目にある。計６項目が該当している。

Ｂ：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「職員の接客態度」は満足度が特に高く、「自然・緑化対策」と「資源環境対策」の環境面でも満足度が高くなっている。計７項目が該当している。

Ｃ：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

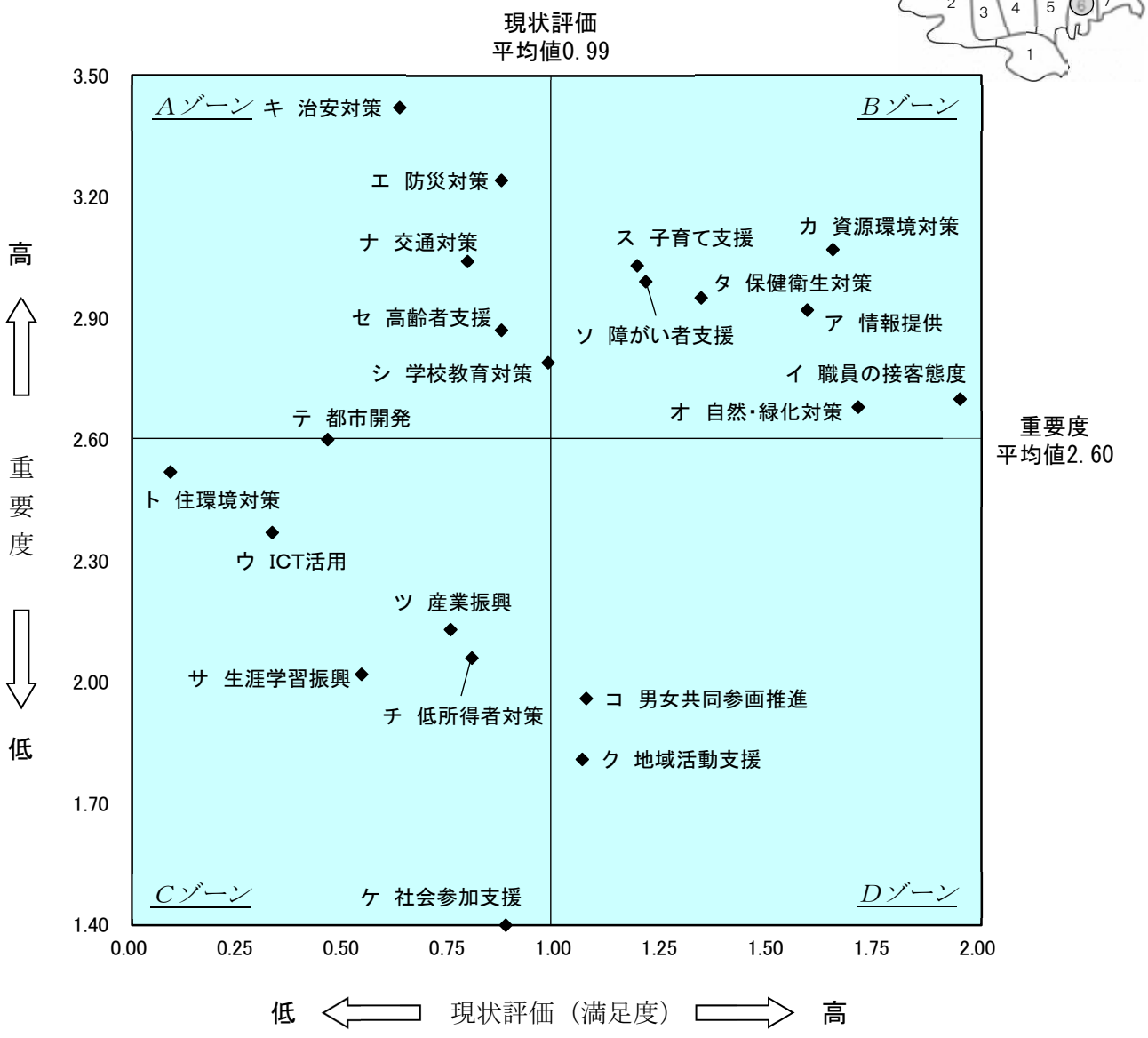
「都市開発」は満足度が低いが重要度ではＡゾーンの境目近くにある。「社会参加支援」は重要度で特に低くなっており、計６項目が該当している。

Ｄ：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「男女共同参画推進」と「地域活動支援」の２項目が該当している。

地域区分図

表11－１－４－⑥　地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第６地域



《第７地域》

Ａ：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「治安対策」は重要度が特に高くなっている。「防災対策」と「交通対策」も重要度が高いが満足度が低くなっており、最多の７項目が該当している。

Ｂ：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「情報提供」は満足度が特に高く、「資源環境対策」も満足度が高くなっており、計５項目が該当している。

Ｃ：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」は満足度が低いものの重要度はＡゾーンとの境目近くにある。計４項目が該当している。

Ｄ：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「社会参加支援」は重要度が特に低く、「保健衛生対策」は重要度ではＢゾーンとの境目にあり、計５項目が該当している。

地域区分図

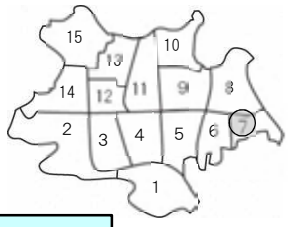
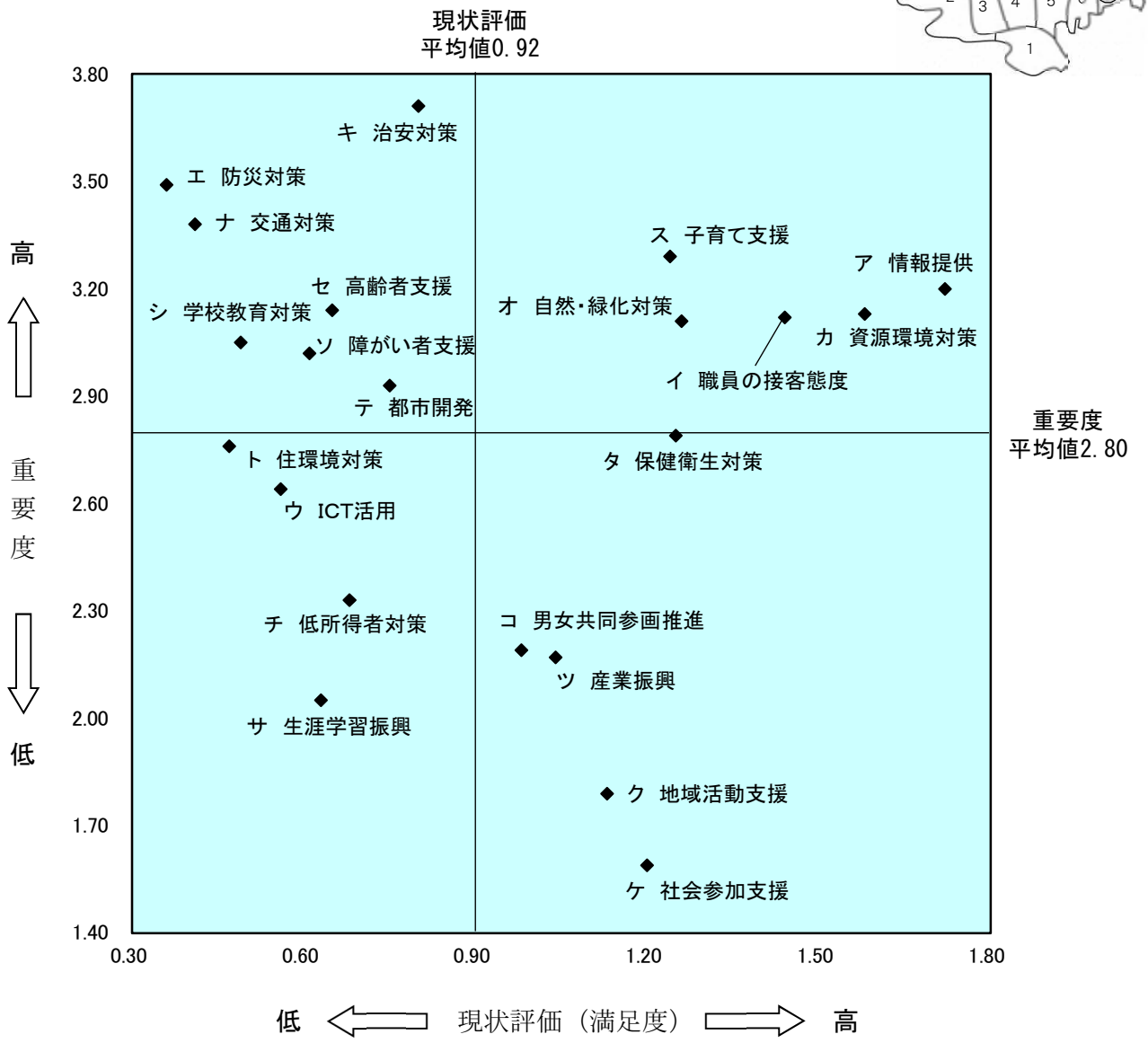


表11－１－４－⑦　地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第７地域



《第８地域》

Ａ：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」と「交通対策」は重要度が特に高いが満足度は低くなっている。計５項目が該当している。

Ｂ：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」は満足度が特に高く、「職員の接客態度」も満足度が高くなっている。「治安対策」は重要度が特に高いが満足度ではＡゾーンに近くなっている。計７項目が該当している。

Ｃ：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「低所得者対策」は満足度が特に低くなっている。「社会参加支援」は重要度が低いが満足度ではＤゾーンとの境目にある。計７項目が該当している。

Ｄ：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「生涯学習振興」と「地域活動支援」の２項目が該当している。

地域区分図

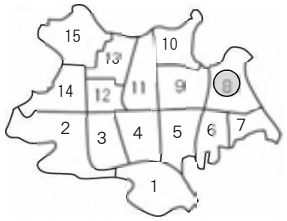
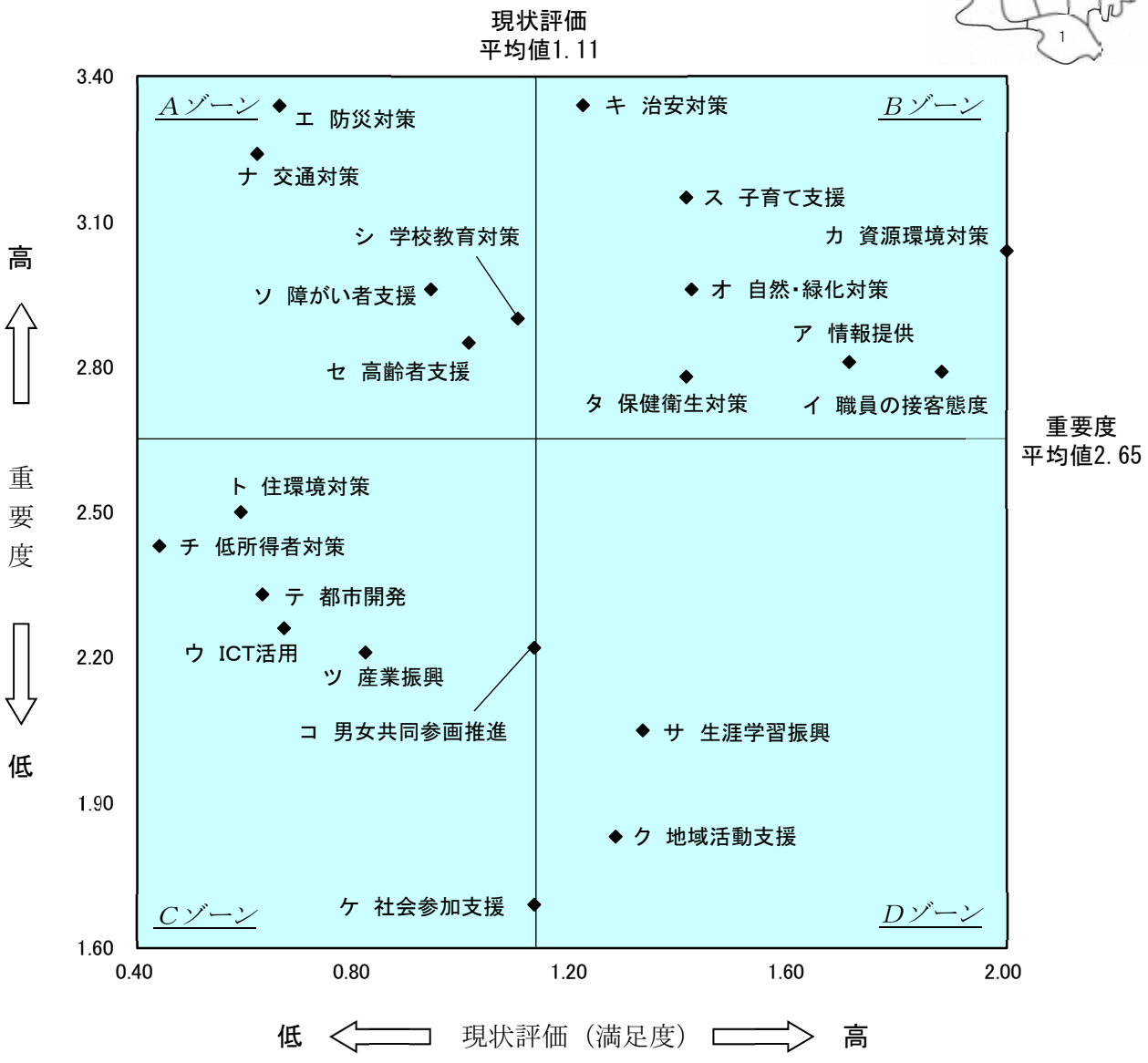


表11－１－４－⑧　地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第８地域



《第９地域》

Ａ：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」は重要度が高く、「交通対策」は満足度が低くなっている。計５項目が該当している。

Ｂ：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」の満足度が特に高く、「治安対策」は重要度が特に高いが満足度はＡゾーンとの境目にある。最多の８項目が該当している。

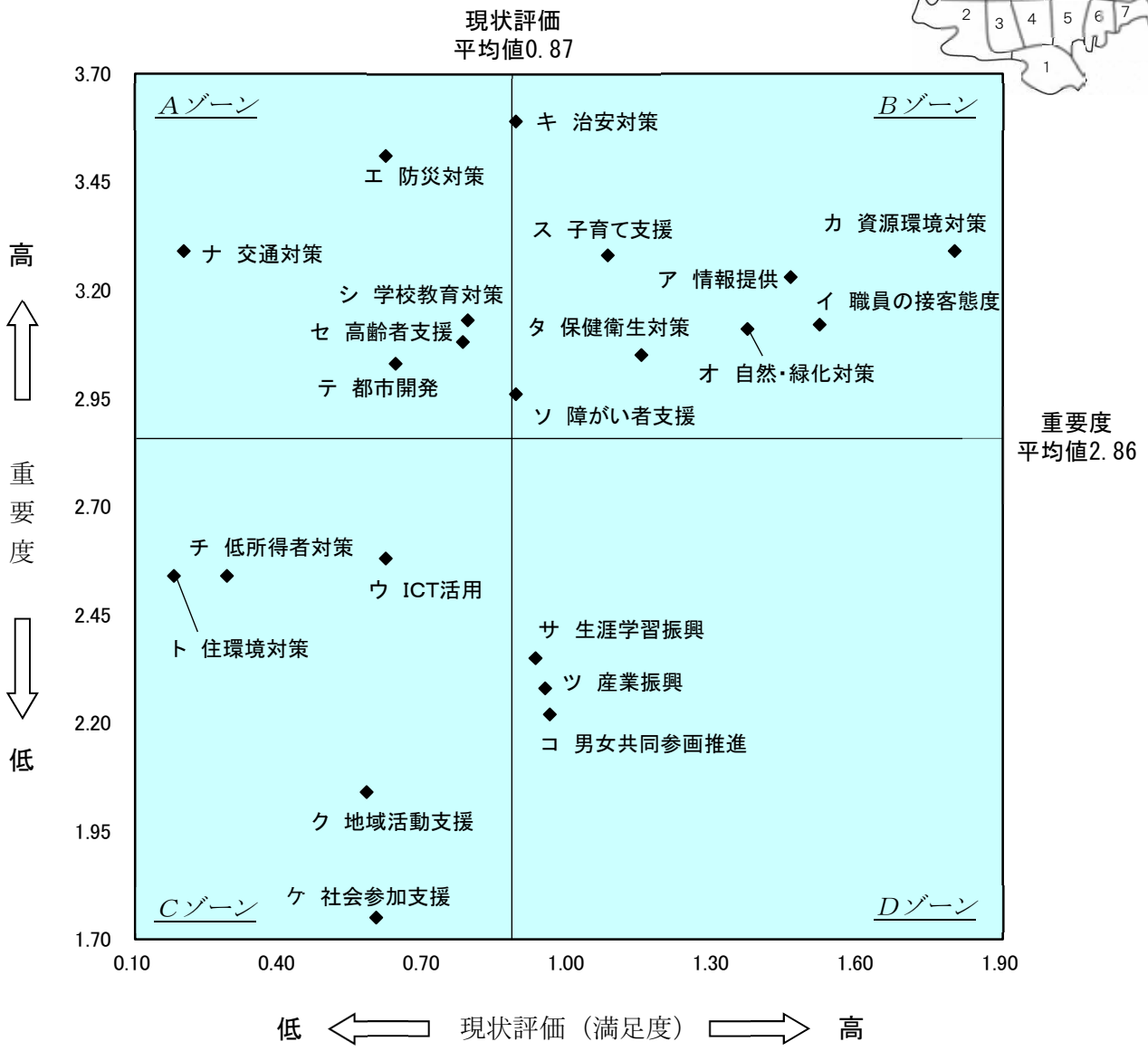
Ｃ：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」と「低所得者対策」の満足度が低くなっており、「社会参加支援」の重要度が特に低くなっている。計５項目が該当している。

Ｄ：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「生涯学習振興」「産業振興」「男女共同参画推進」の３項目が該当している。

表11－１－４－⑨　地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第９地域



《第10地域》

Ａ：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」は重要度が特に高く、満足度もＢゾーンとの境目近くになっている。計３項目が該当している。

Ｂ：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「自然・緑化対策」の満足度が特に高く、「治安対策」の重要度が特に高くなっている。その他に「子育て支援」「高齢者支援」「障がい者支援」の福祉系など計８項目が該当している。

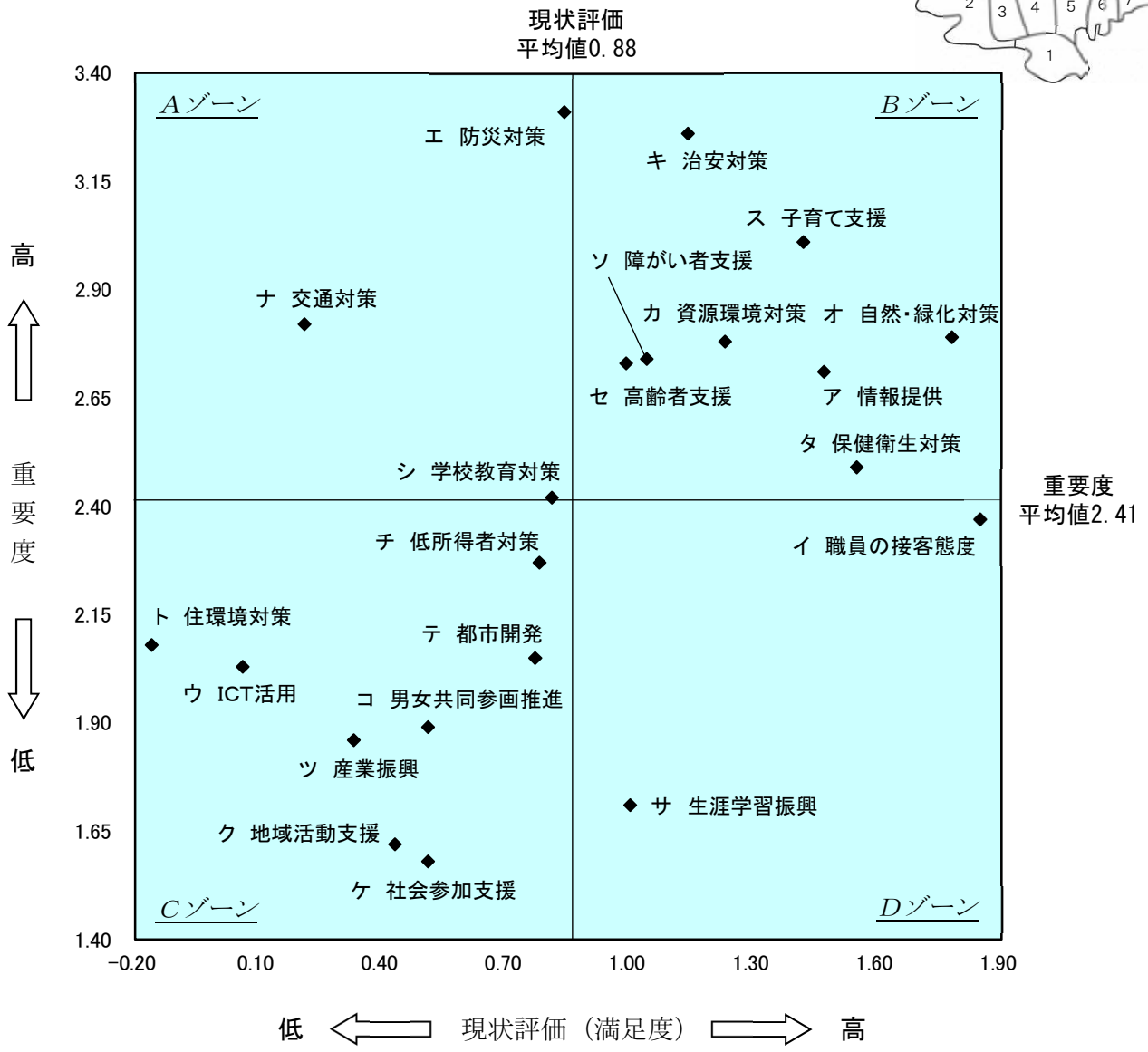
Ｃ：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」の満足度が特に低く、「ＩＣＴ活用」も満足度が低くなっており、「社会参加支援」「地域活動支援」の重要度が低くなっている。計８項目が該当している。

Ｄ：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「職員の接客態度」の満足度が特に高く、「生涯学習振興」との２項目が該当している。

表11－１－４－⑩　地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第10地域



《第11地域》

Ａ：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」と「治安対策」の重要度が特に高くなっている。「住環境対策」は満足度が特に低くなっており、計５項目が該当している。

Ｂ：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「職員の接客態度」の満足度が特に高く、最多の８項目が該当している。

Ｃ：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

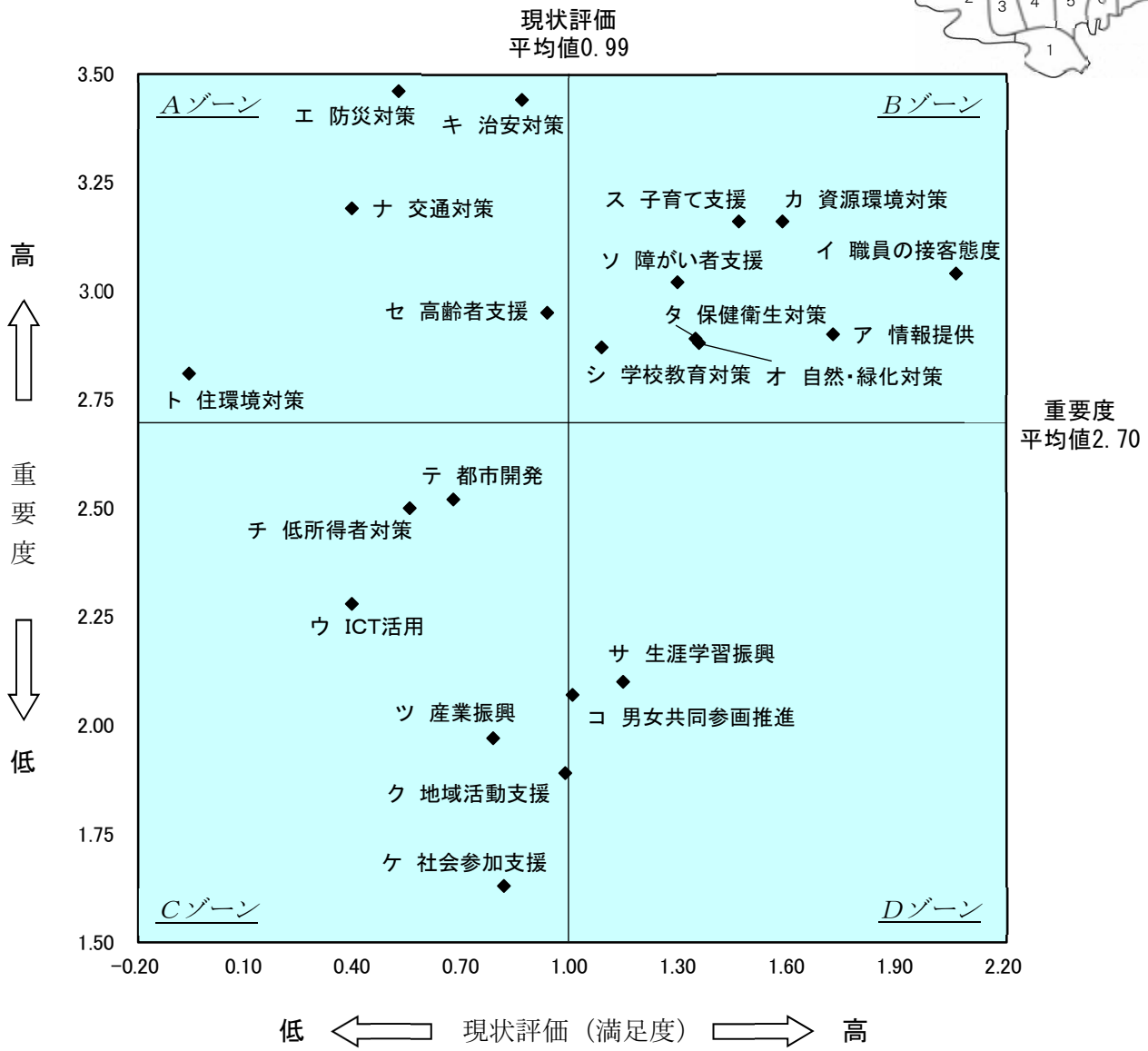
「社会参加支援」は重要度が特に低くなっており、「地域活動支援」は満足度ではＤゾーンとの境目にある。計６項目が該当している。

Ｄ：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「男女共同参画推進」と「生涯学習振興」の２項目が該当している。

地域区分図

表11－１－４－⑪　地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第11地域



《第12地域》

Ａ：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「治安対策」と「防災対策」の重要度が特に高くなっており、計４項目が該当している。

Ｂ：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「職員の接客態度」の満足度が特に高くなっており、最多の８項目が該当している。

Ｃ：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」の満足度が特に低く、「社会参加支援」の重要度が特に低くなっている。計７項目が該当している。

Ｄ：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「生涯学習振興」と「男女共同参画推進」の２項目が該当しており、満足度では２項目ともＣゾーンの境目にある。

地域区分図

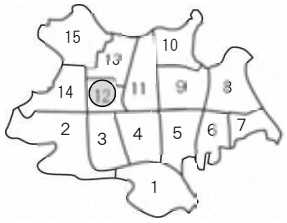
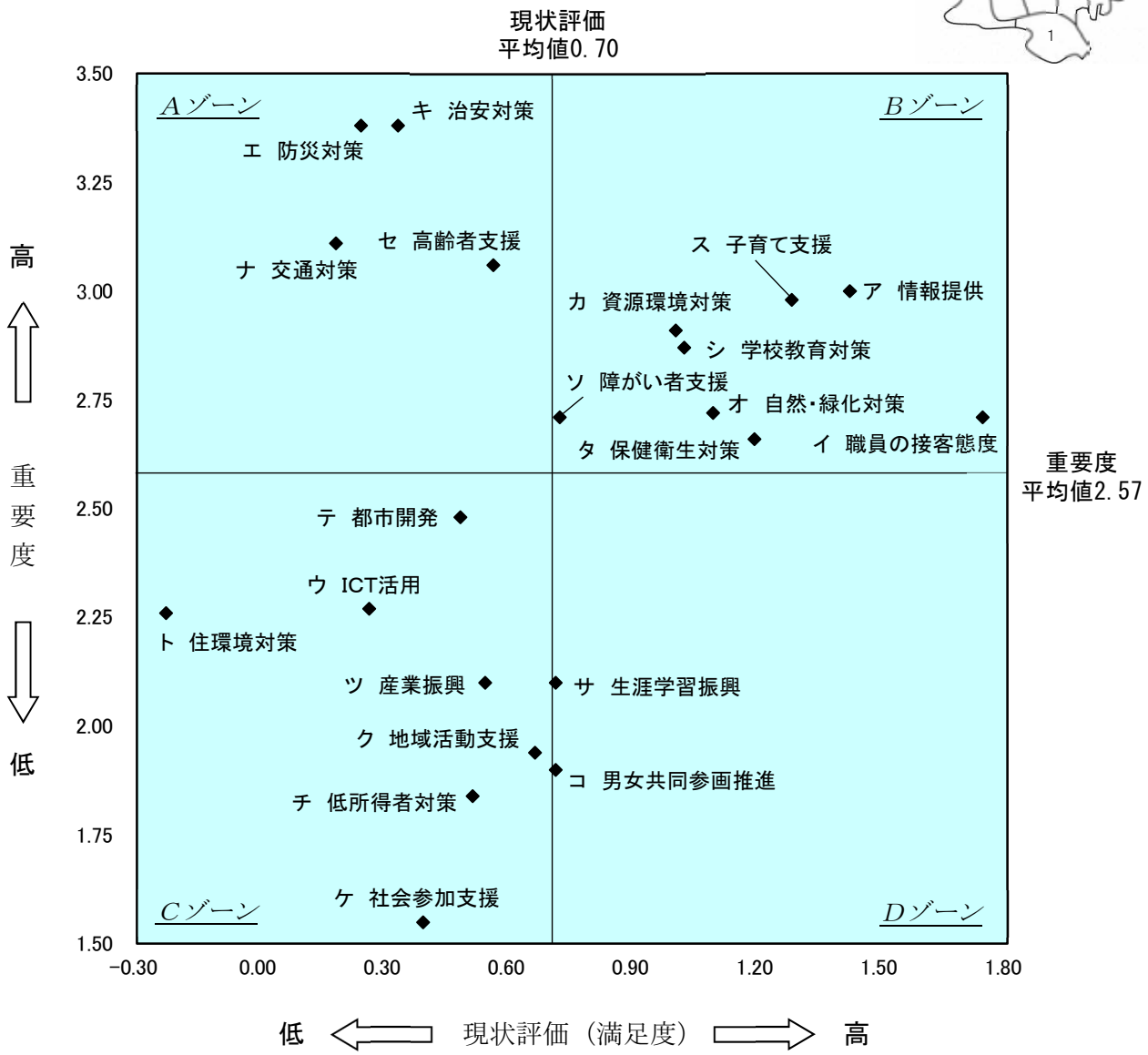


表11－１－４－⑫　地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第12地域



《第13地域》

Ａ：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「治安対策」の重要度が特に高く、「防災対策」の重要度も高くなっている。「高齢者支援」の満足度は平均値と同じとなっている。計４項目が該当している。

Ｂ：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」の満足度が特に高く、「職員の接客態度」の満足度も高くなっている。「自然・緑化対策」の重要度が高くなっており、計７項目が該当している。

Ｃ：現状評価（満足度）も重要度も低い項

「住環境対策」の満足度が特に低く、「社会参加支援」の重要度が特に低くなっている。最多の８項目が該当している。

Ｄ：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「地域活動支援」と「生涯学習振興」の２項目が該当しており、２項目とも重要度が低くなっている。

地域区分図

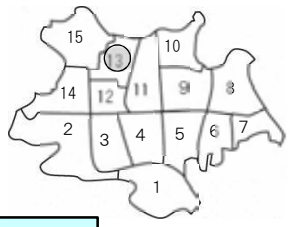
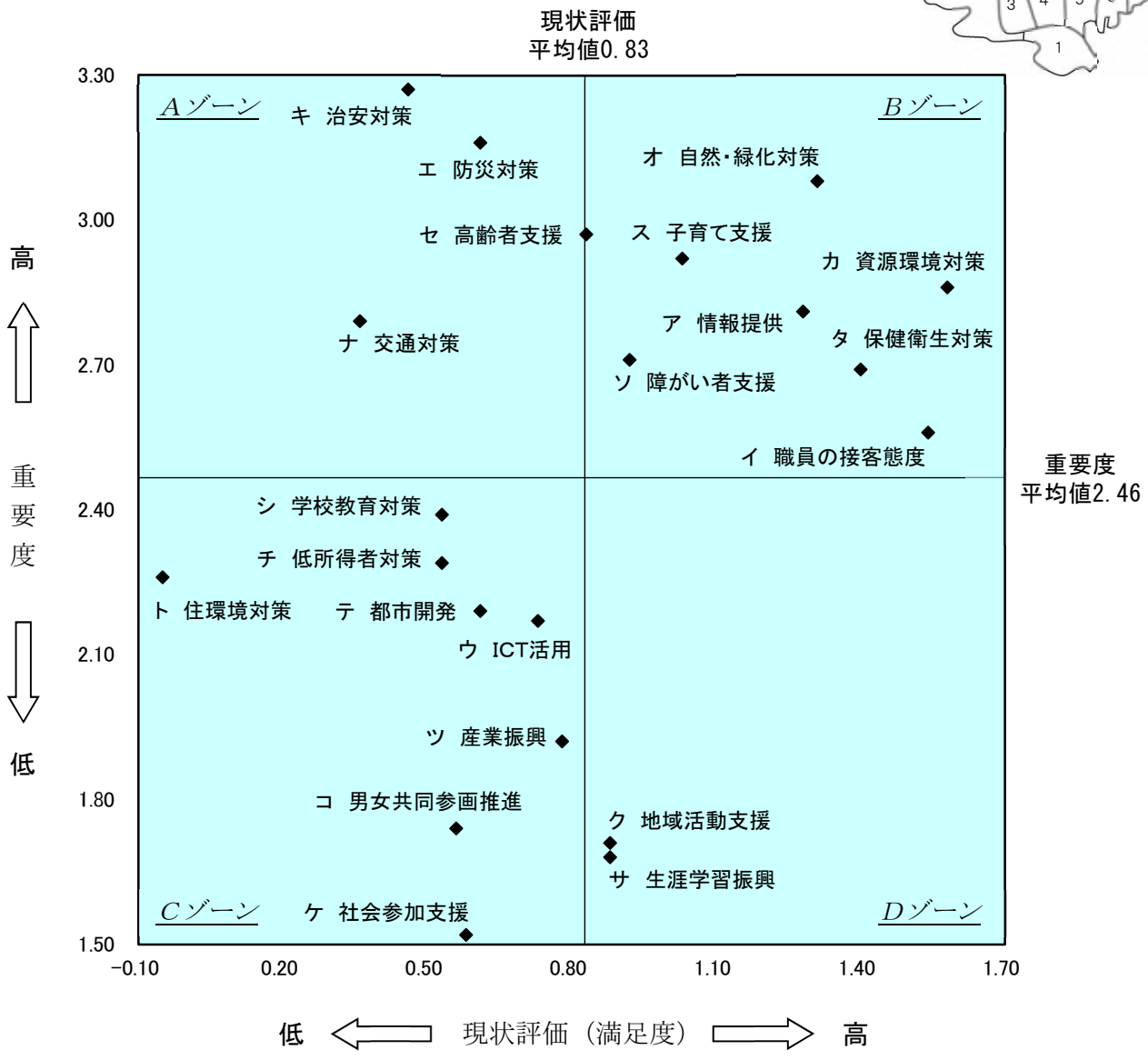


表11－１－４－⑬　地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第13地域



《第14地域》

Ａ：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」の重要度が高く、「交通対策」と「障がい者支援」の計３項目が該当している。

Ｂ：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「子育て支援」の重要度が特に高く、「治安対策」の重要度も高くなっており、計７項目が該当している。

Ｃ：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」の満足度が特に低く、「社会参加支援」の重要度が特に低くなっている。最多の８項目が該当している。

Ｄ：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「生涯学習振興」など３項目が該当しているが、「職員の接客態度」は満足度が特に高く、重要度はＢゾーンとの境目にある。

地域区分図

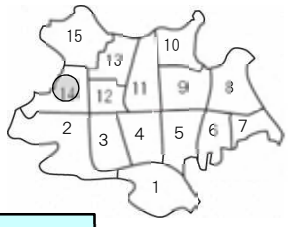
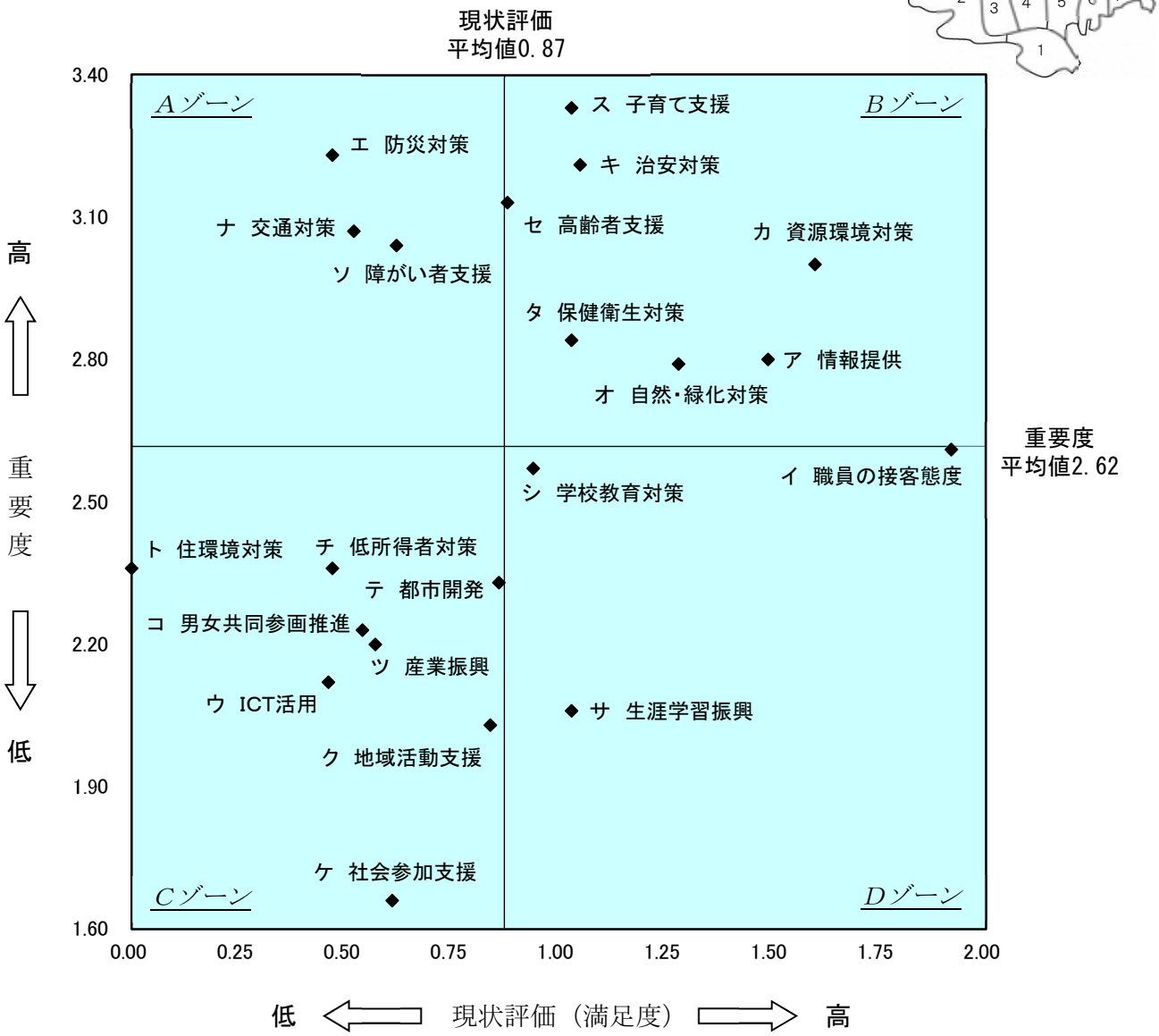


表11－１－４－⑭　地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第14地域



《第15地域》

Ａ：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」は重要度が高いが満足度が低くなっている。「交通対策」「学校教育対策」などの計５項目が該当している。

Ｂ：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「治安対策」の重要度が特に高くなっている。「職員の接客態度」の満足度は特に高く、「自然・緑化対策」の満足度も高くなっている。計７項目が該当している。

Ｃ：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

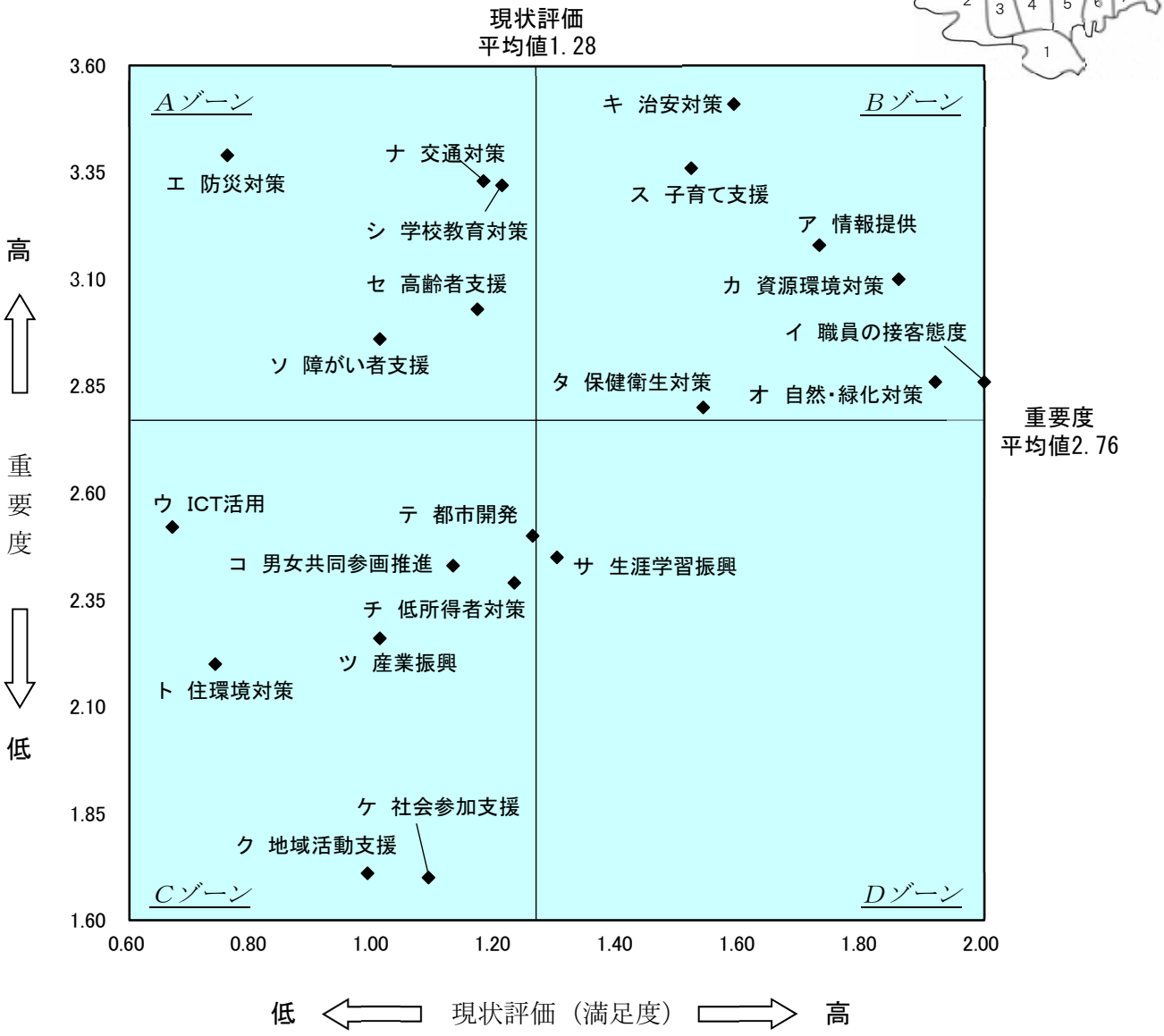
「ＩＣＴ活用」と「住環境対策」の満足度が低く、「社会参加支援」と「地域活動支援」の重要度が特に低くなっている。最多の８項目が該当している。

Ｄ：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「生涯学習振興」の１項目のみが該当しているが、満足度ではＣゾーンとの境目近くにある。

地域区分図

表11－１－４－⑮　地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第15地域

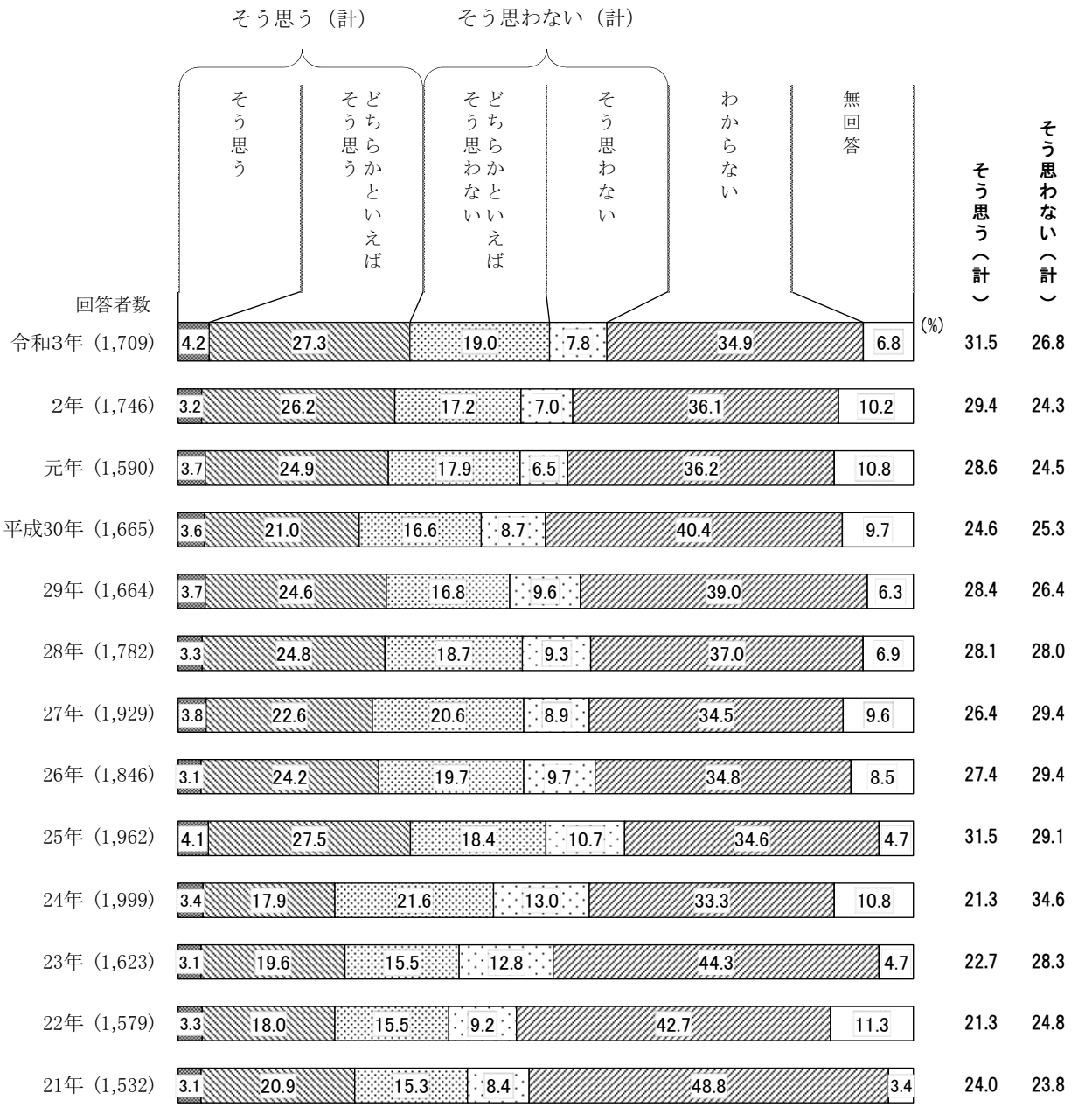


（２）区政への区民意見の反映度

■【そう思う】は、前年より微増し３割強で、【そう思わない】を上回っている

問54　あなたは、区政に区民の意見が反映されていると感じていますか（○は１つだけ）。

図11－２－１　経年比較／区政への区民意見の反映度



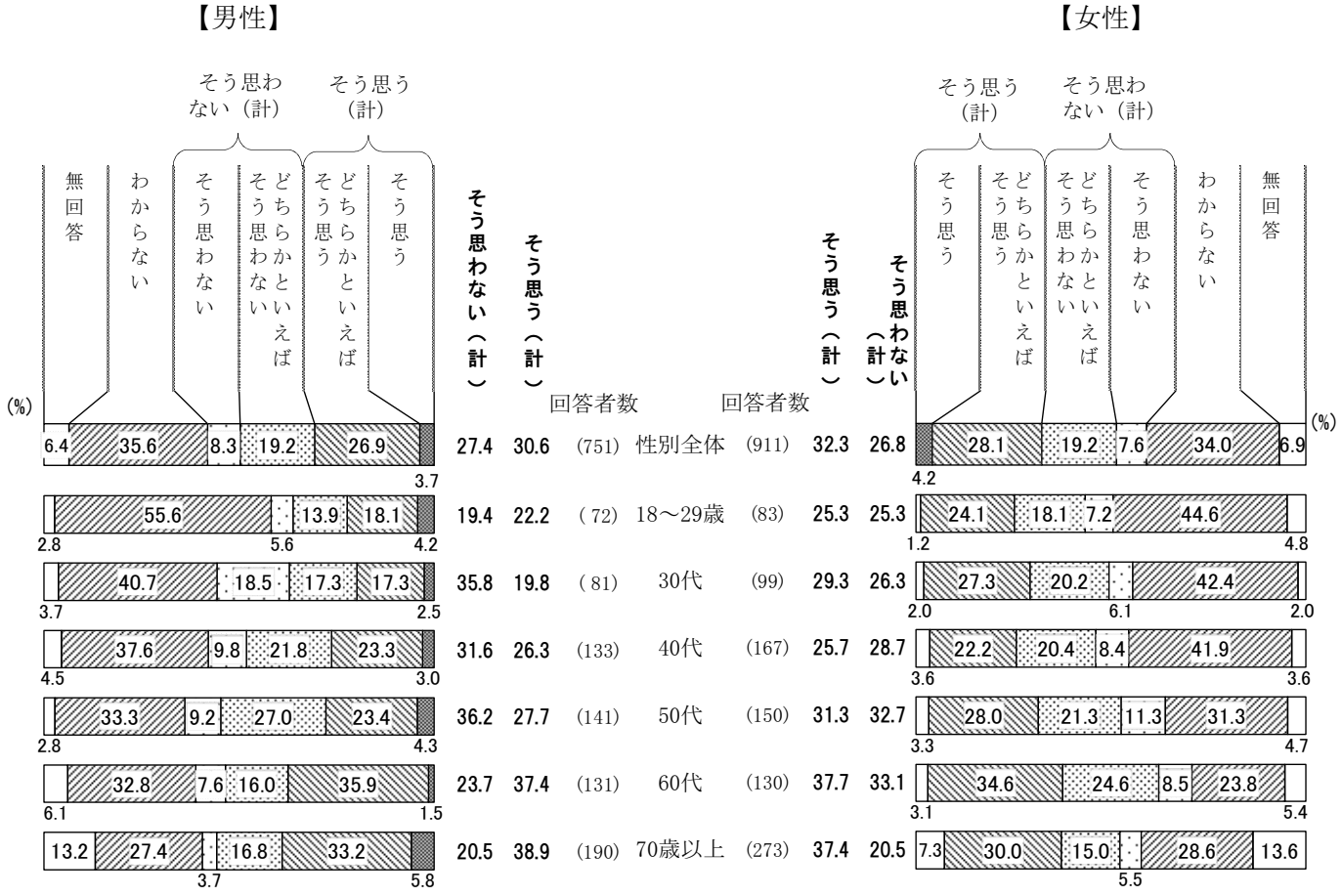
区政に区民の意見が反映されていると感じているか聴いたところ、「そう思う」（4.2%）と「どちらかといえばそう思う」（27.3%）を合わせた【そう思う】は31.5%となり、「どちらかといえばそう思わない」（19.0%）と「そう思わない」（7.8%）を合わせた【そう思わない】（26.8%）を4.7ポイント上回っている。

経年でみると、【そう思う】は前回調査（29.4%）から2.1ポイント増加している。

性別でみると、【そう思う】は女性（32.3%）の方が男性（30.6%）より僅かに高くなっている。

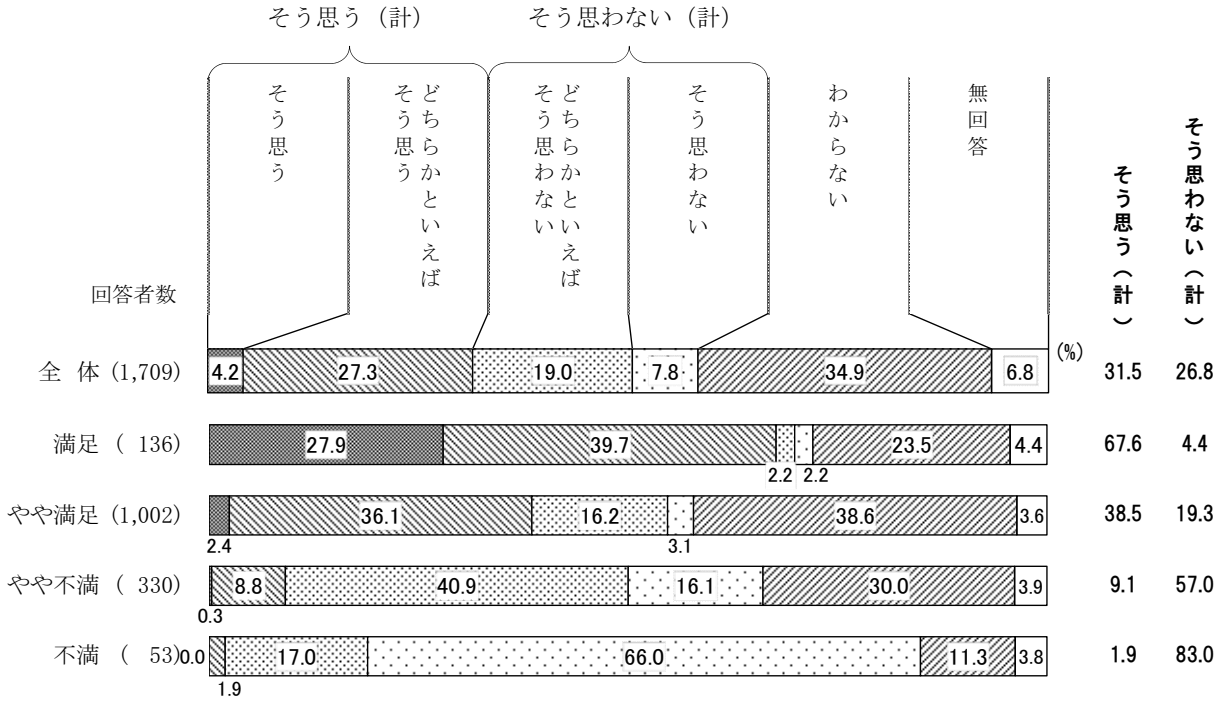
性・年代別でみると、【そう思う】は、男女とも60代以上で３割台後半と高くなっている。一方、【そう思わない】は男性の30代～50代、女性の50代～60代で３割台と高くなっている。

図11－２－２　性別、性・年代別／区政への区民意見の反映度



区政満足度別でみると、【そう思う】は、区政への満足度が増すほど割合が高くなり、区政に満足している層で６割台半ばを超えて高くなっている。

図11－２－３　区政満足度別／区政への区民意見の反映度



（３）区に対する気持ち

■“足立区に愛着”と“足立区を良いまちにする活動をする人に共感”がともに７割台半ば

問55　あなたの足立区に対する気持ちとして、以下の項目にそれぞれどの程度あてはまりますか（○はそれぞれ１つずつ）。

図11－３－１－①　経年比較／区に対する気持ち

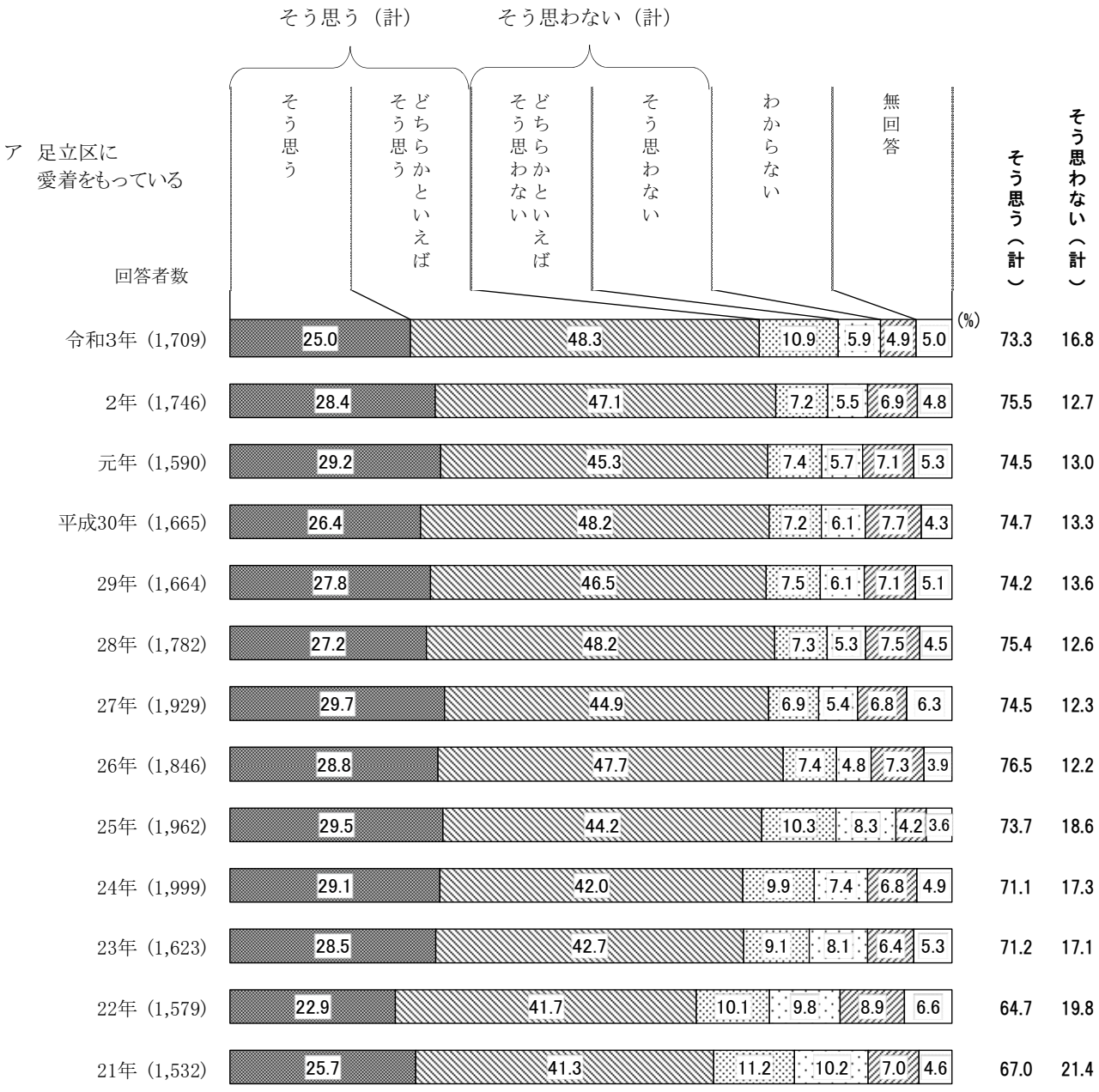


図11－３－１－②　経年比較／区に対する気持ち

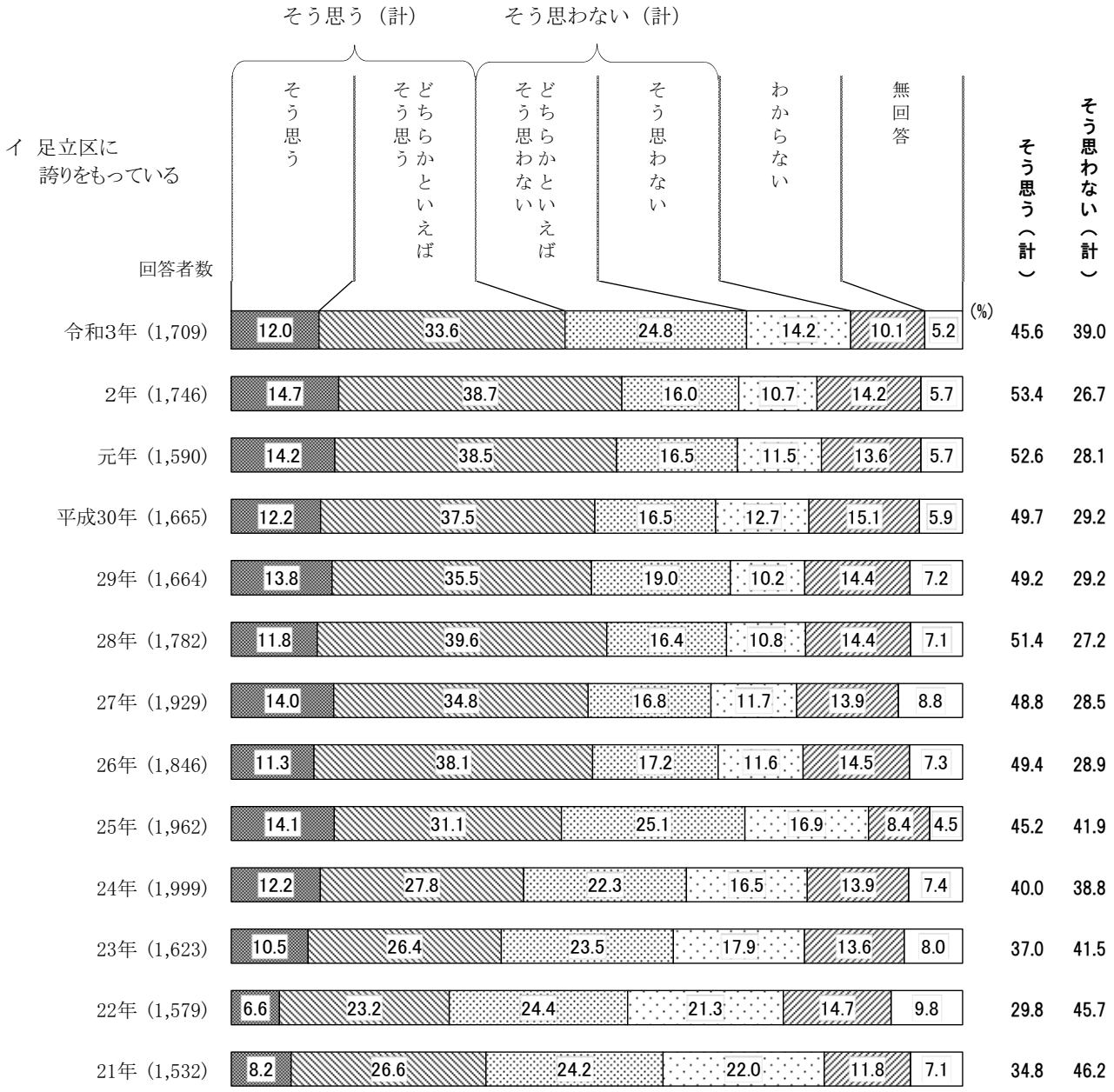


図11－３－１－③　経年比較／区に対する気持ち

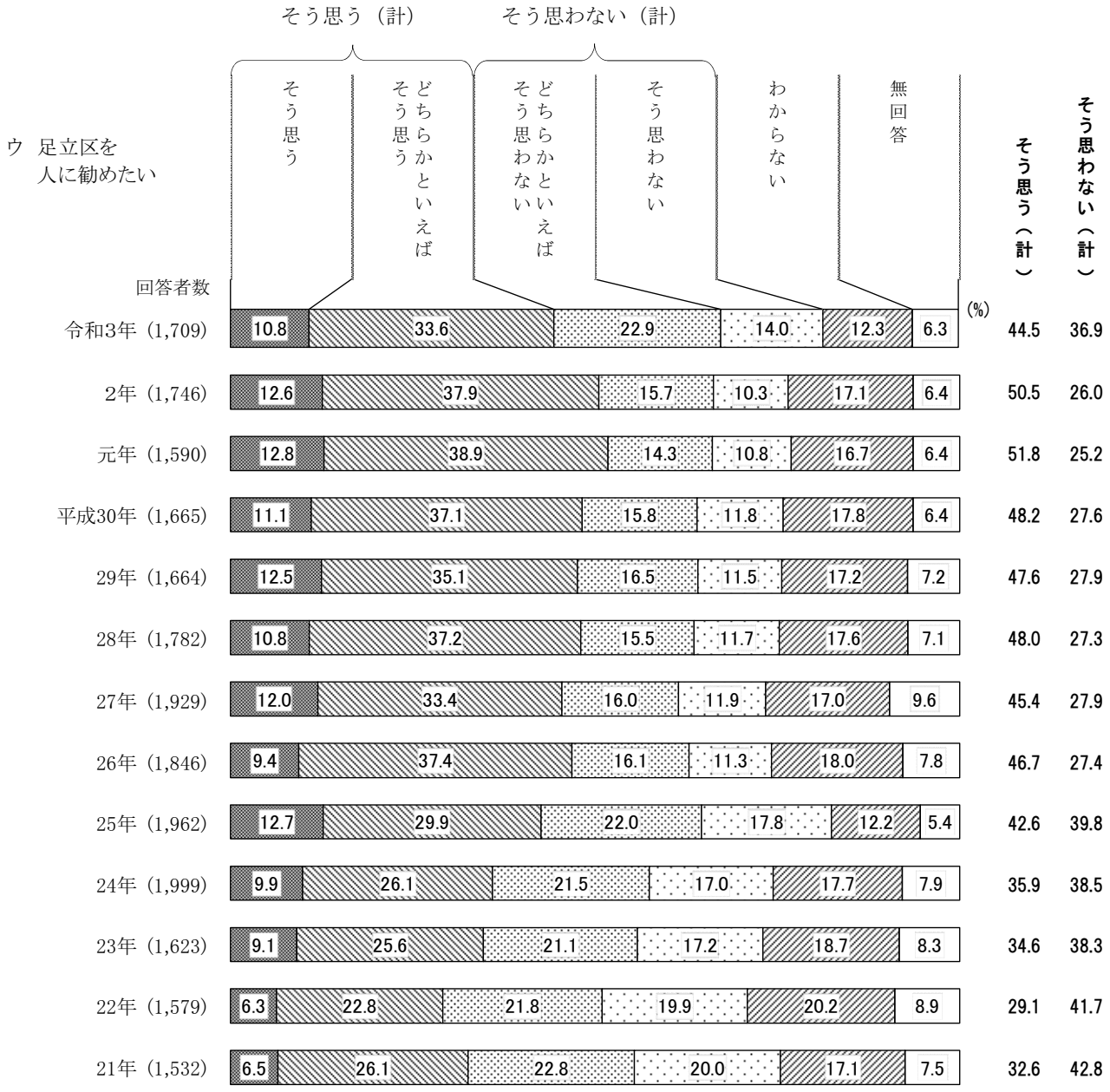
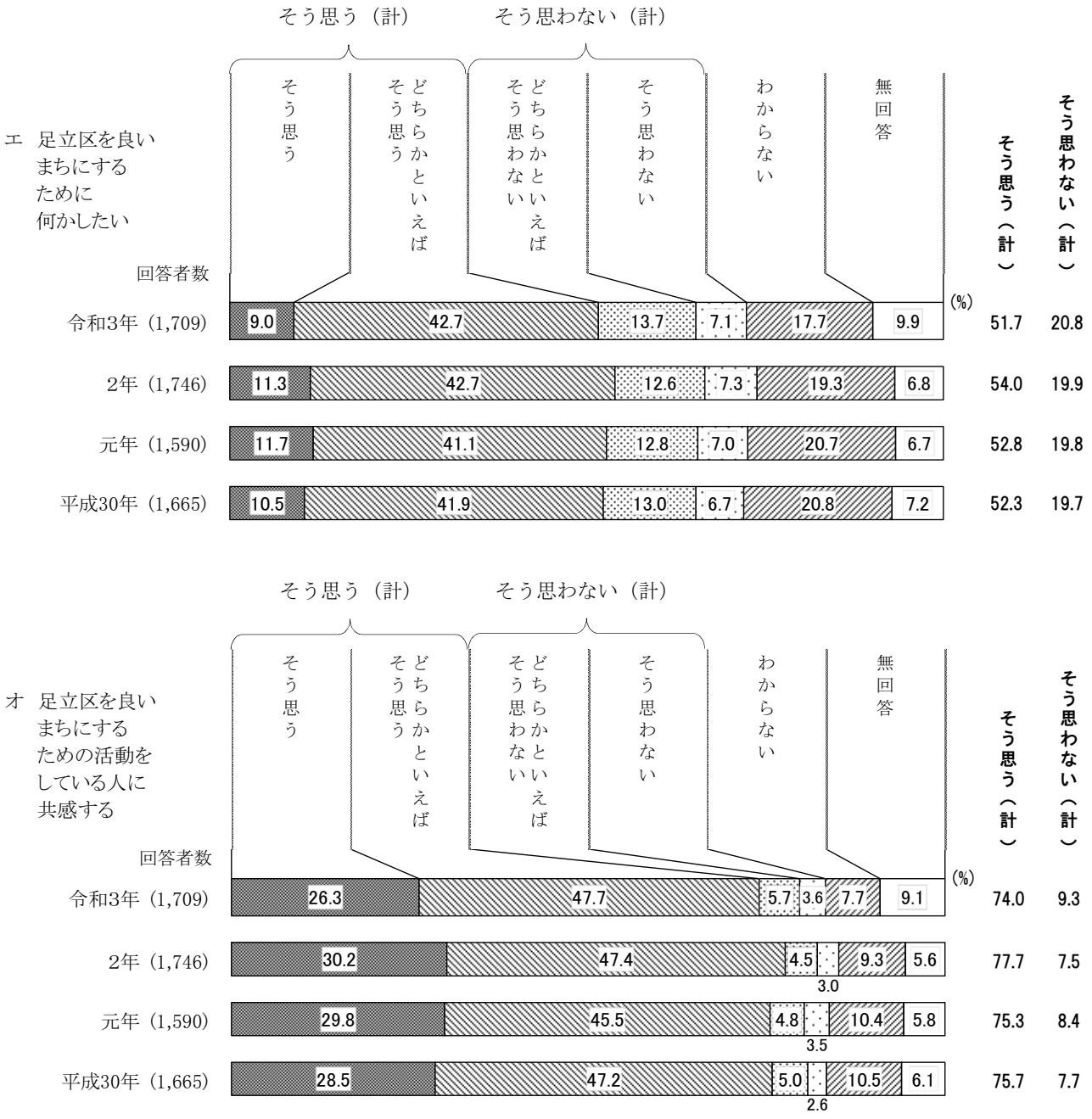


図11－３－１－④　経年比較／区に対する気持ち

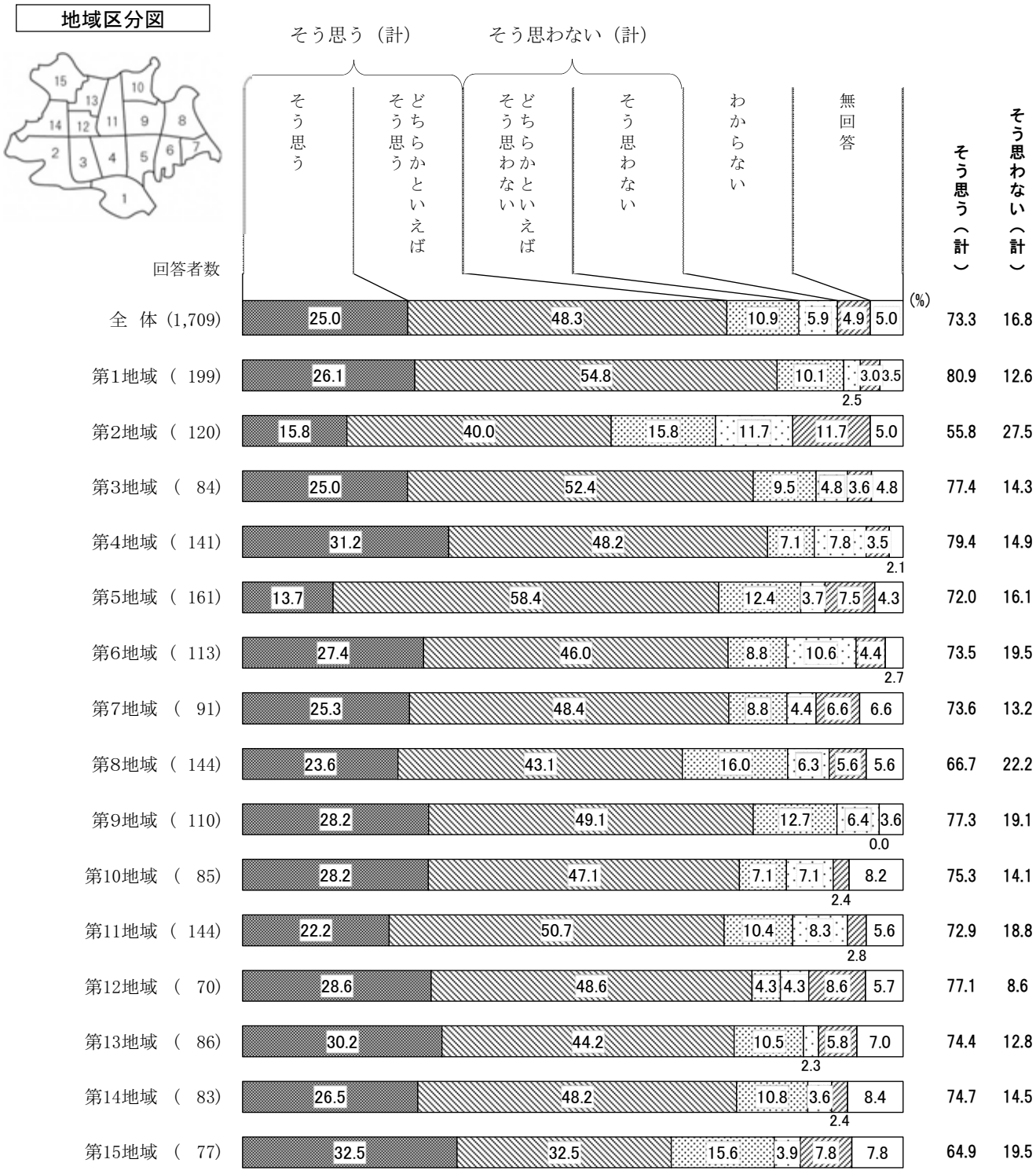


区に対する気持ちについて計５項目にわたって聴いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【そう思う】は、〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉（74.0%）と〈足立区に愛着をもっている〉（73.3%）の２項目が７割台半ばで高く、〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉が51.7%、〈足立区に誇りをもっている〉（45.6%）と〈足立区を人に勧めたい〉（44.5%）が４割台半ばで続く結果となっている。

前回調査と比較すると、【そう思う】は〈足立区に愛着をもっている〉は前回より2.2ポイント減少ながら、７割台半ば近くの高い割合を維持している。一方、〈足立区に誇りをもっている〉（－7.8ポイント）と〈足立区を人に勧めたい〉（－6.0ポイント）は６～８ポイント減少して５割を切り、【そう思わない】はともに10ポイント以上の増加となった。〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉と〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉は【そう思う】が２～４ポイントの減少となった。

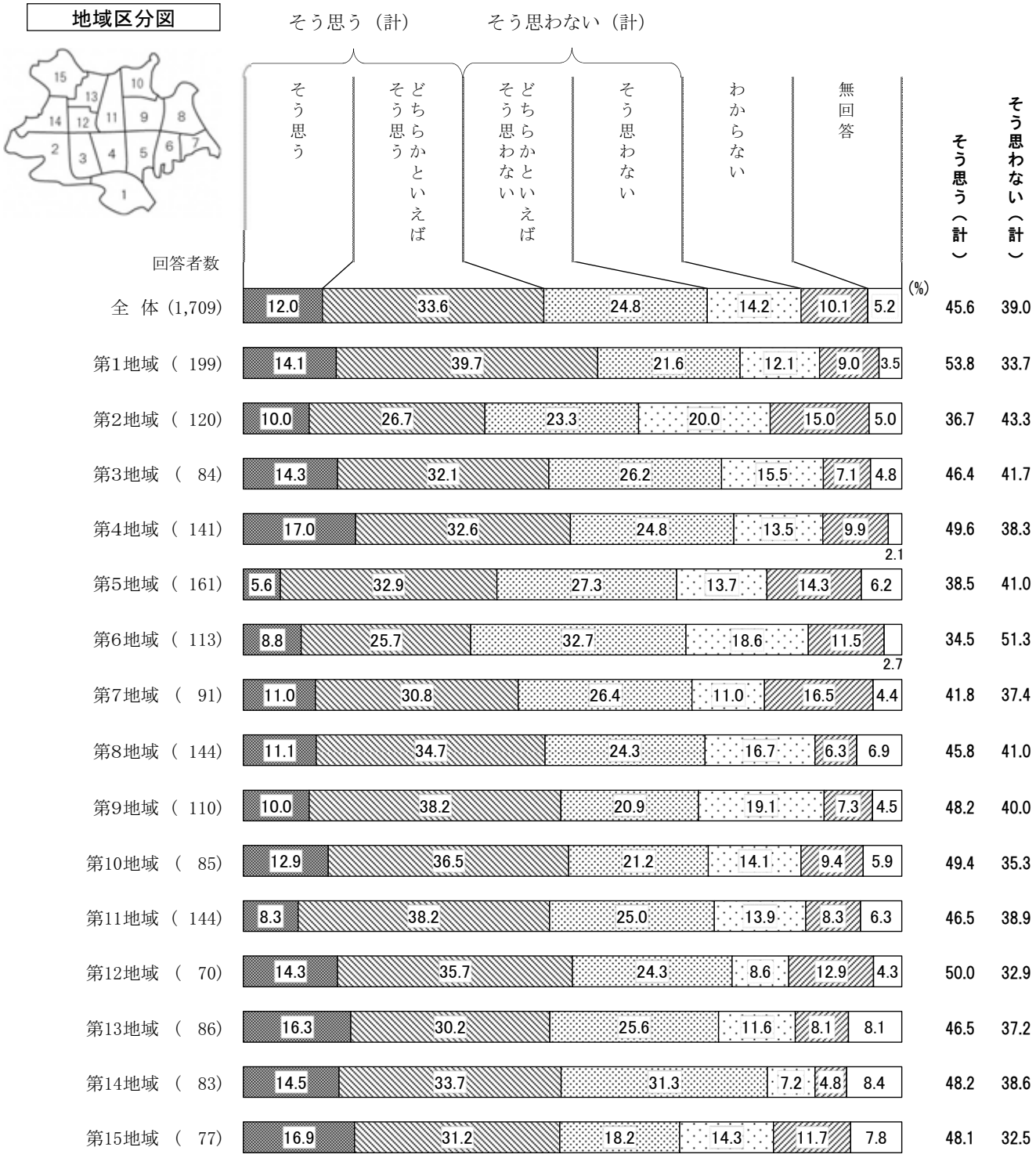
〈足立区に愛着をもっている〉を地域別でみると、【そう思う】は第１地域が80.9％と最も高く、次いで第４地域、第３地域、第９地域、第12地域が７割台後半と高くなっている。一方、【そう思わない】は第２地域が27.5％で最も高く、次いで第８地域が２割強となっている。

図11－３－２－①　地域別／区に対する気持ち／足立区に愛着をもっている



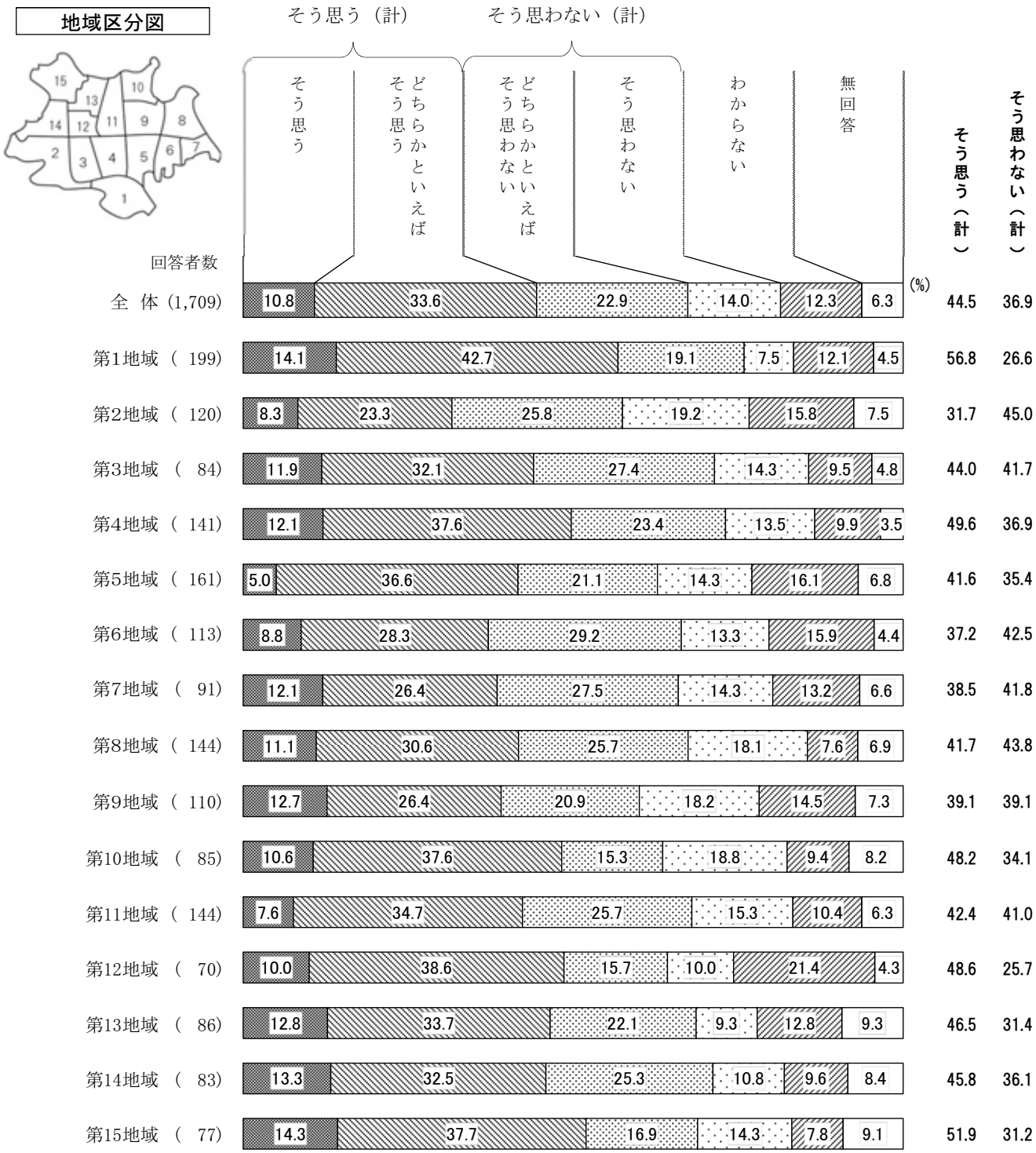
〈足立区に誇りをもっている〉を地域別でみると、【そう思う】は第１地域が53.8％で最も高く、次いで第12地域が５割、第４地域、第10地域が５割弱となっている。一方、【そう思わない】は第６地域が51.3％で最も高く、次いで第２地域が４割台半ば近くとなっている。

図11－３－２－②　地域別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている



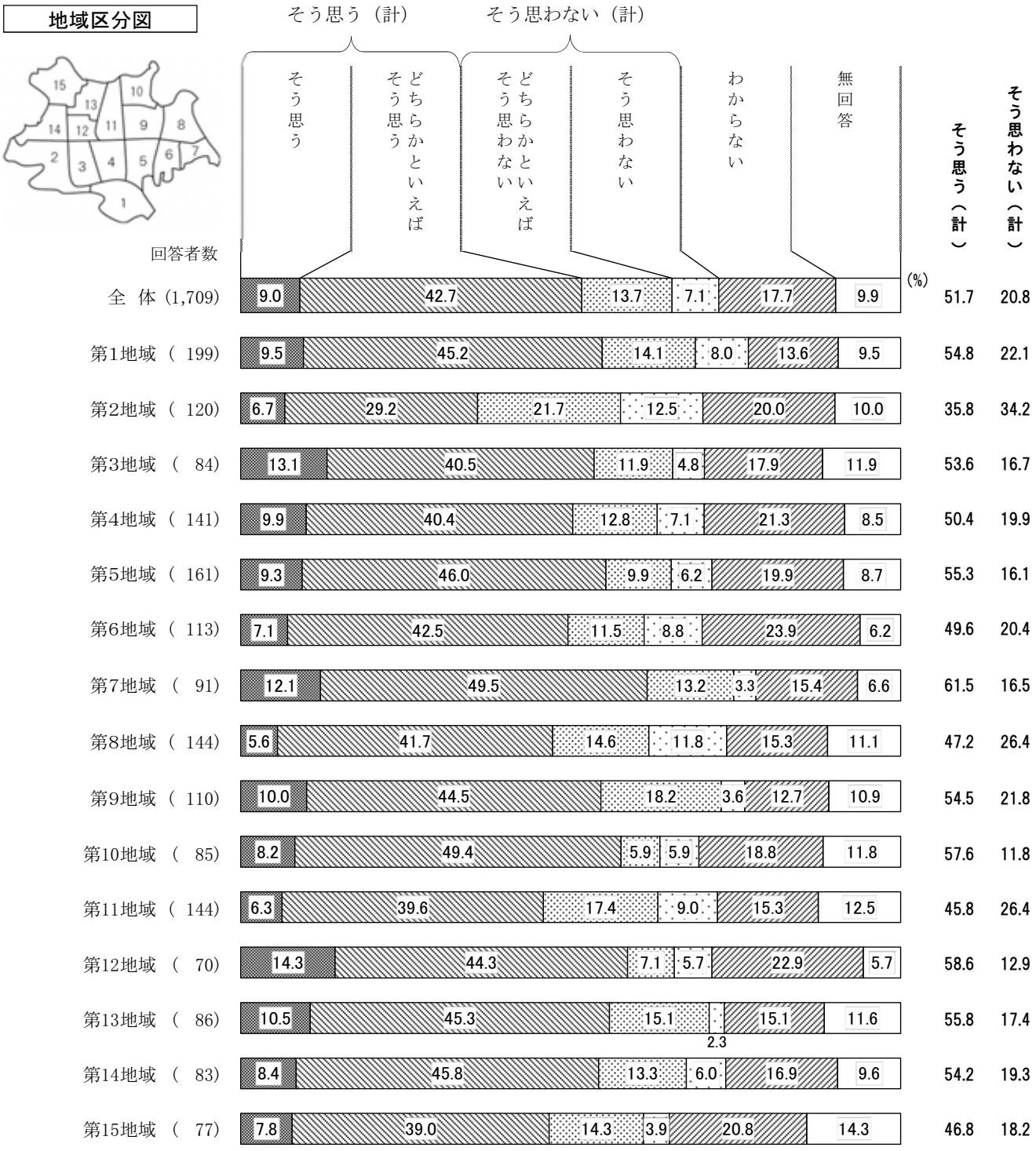
〈足立区を人に勧めたい〉を地域別でみると、【そう思う】は第１地域が56.8％で最も高く、次いで第15地域が５割強、第４地域、第12地域、第10地域が５割弱となっている。一方、【そう思わない】は第２地域が45.0％で最も高く、次いで第８地域が４割台半ば近くとなっている。

図11－３－２－③　地域別／区に対する気持ち／足立区を人に勧めたい



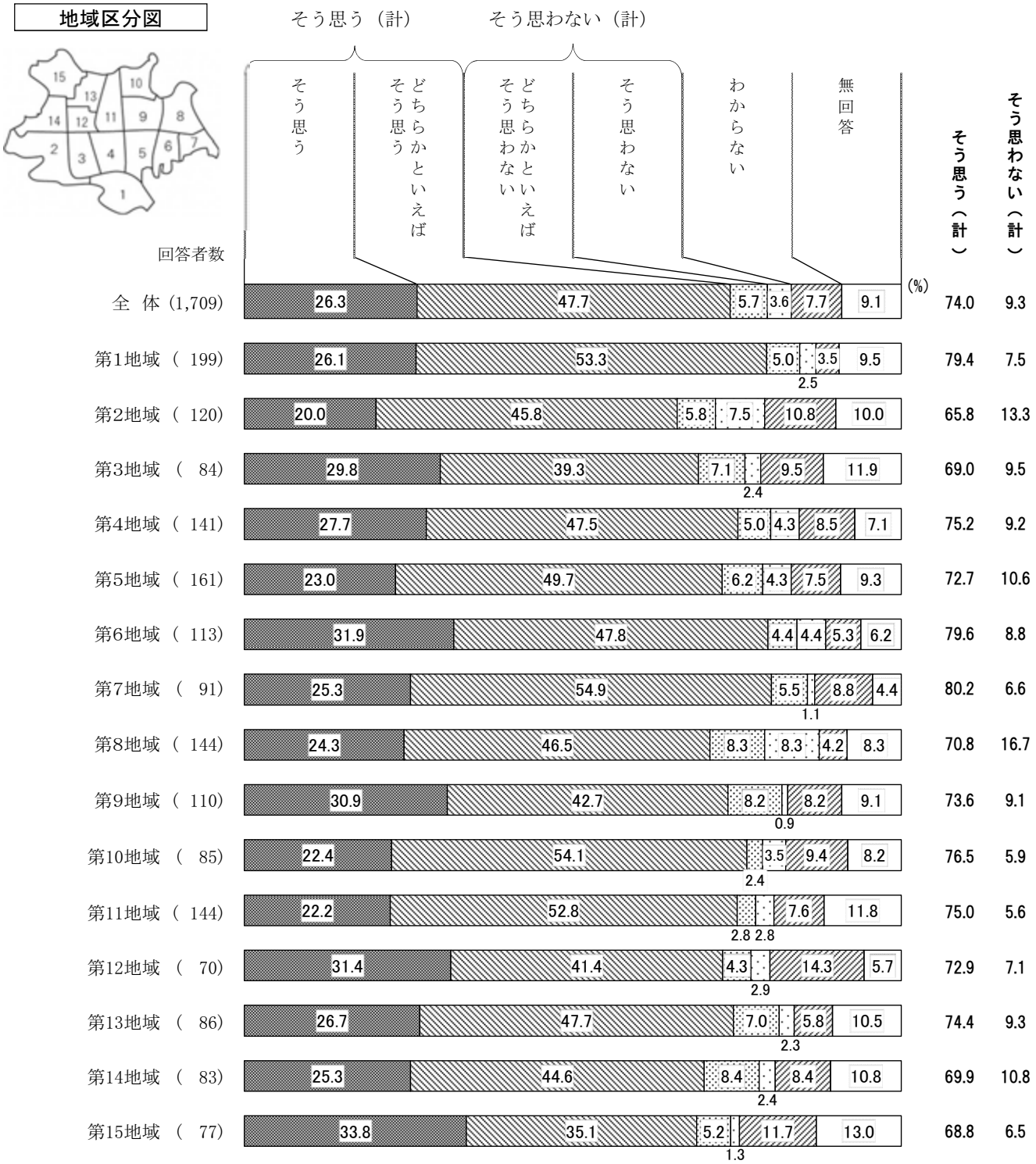
〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉を地域別でみると、【そう思う】は第７地域が61.5％で最も高く、次いで第12地域が58.6％、第10地域、第13地域、第５地域が５割台後半となっている。一方、【そう思わない】は第２地域が34.2％で最も高く、次いで第８地域と第11地域が２割台半ばとなっている。

図11－３－２－④　地域別／区に対する気持ち／足立区を良いまちにするために何かしたい



〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉を地域別でみると、【そう思う】は第７地域が80.2％で最も高く、次いで第６地域と第１地域が約８割となっている。一方、【そう思わない】は第８地域が16.7％で最も高く、次いで第２地域、第14地域、第５地域が１割台となっている。

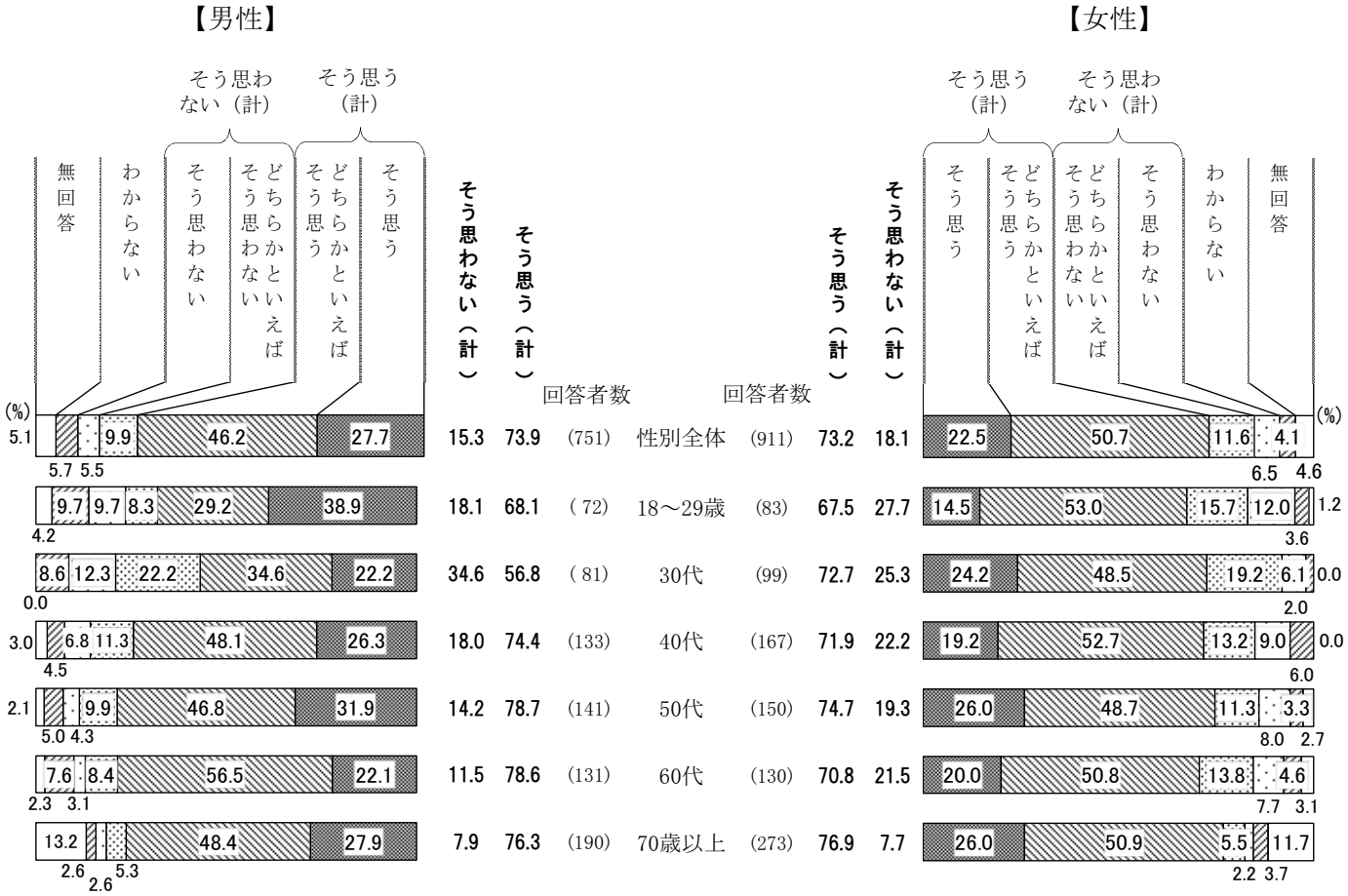
図11－３－２－⑤　地域別／区に対する気持ち
／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する



〈足立区に愛着を持っている〉を性別でみると、【そう思う】では違いはないものの、【そう思わない】では女性（18.1%）の方が男性(15.3%)より2.8ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【そう思う】は男性の50代（78.7%）と60代（78.6%）で８割弱と高く、次いで男女とも70歳以上が７割台半ばとなっている。【そう思わない】は男性の30代で３割台半ばと最も高く、次いで女性の18～29歳が２割台半ばを超えている。

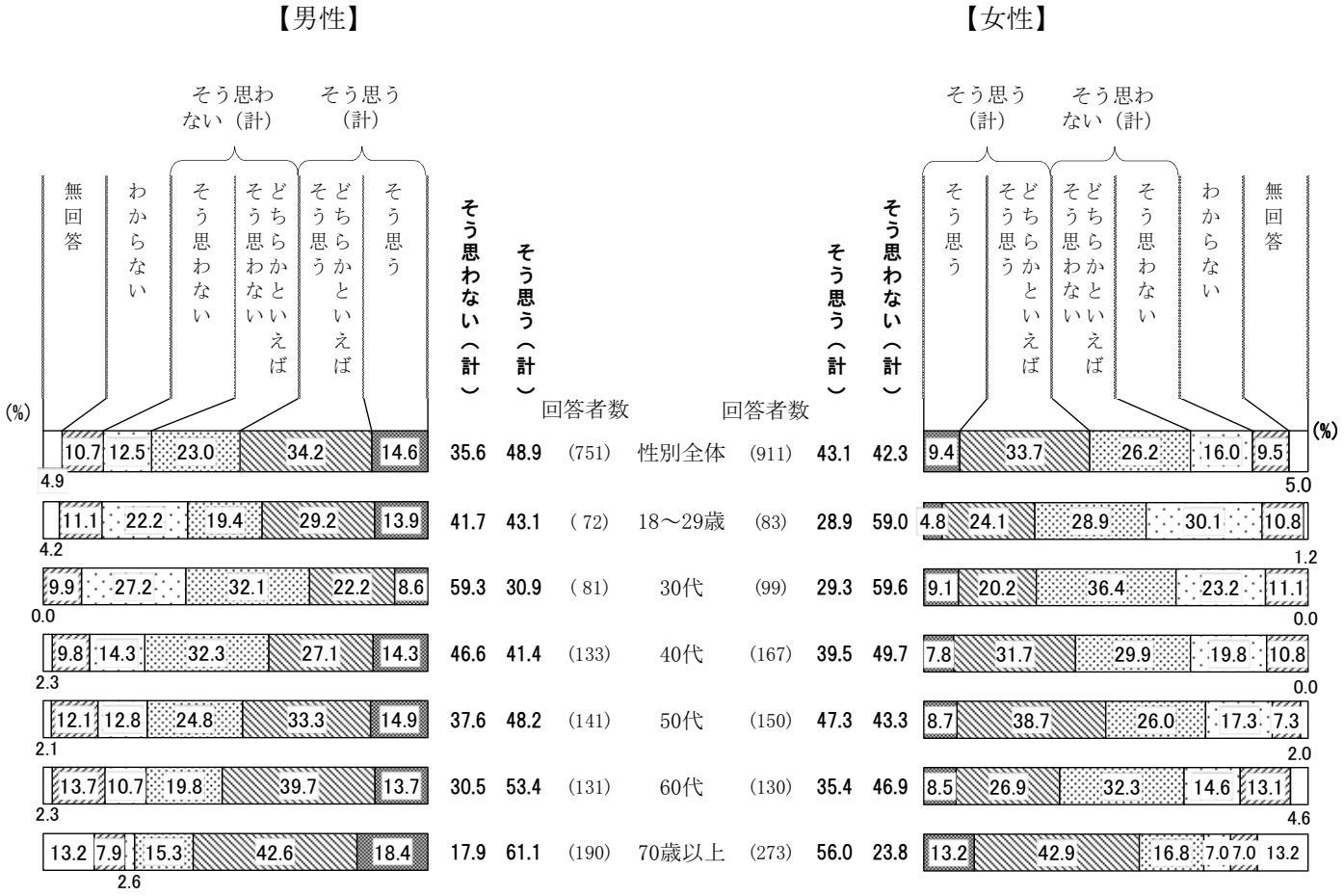
図11－３－３－①　性別、性・年代別／区に対する気持ち／足立区に愛着をもっている



〈足立区に誇りをもっている〉を性別でみると、【そう思う】は男性（48.9％）の方が女性(43.1％)より5.8ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【そう思う】は男性の70歳以上で61.1％と最も高く、次いで女性の70歳以上が５割台半ばとなっている。【そう思わない】は男女の30代、女性の18～29歳で約６割と高くなっている。

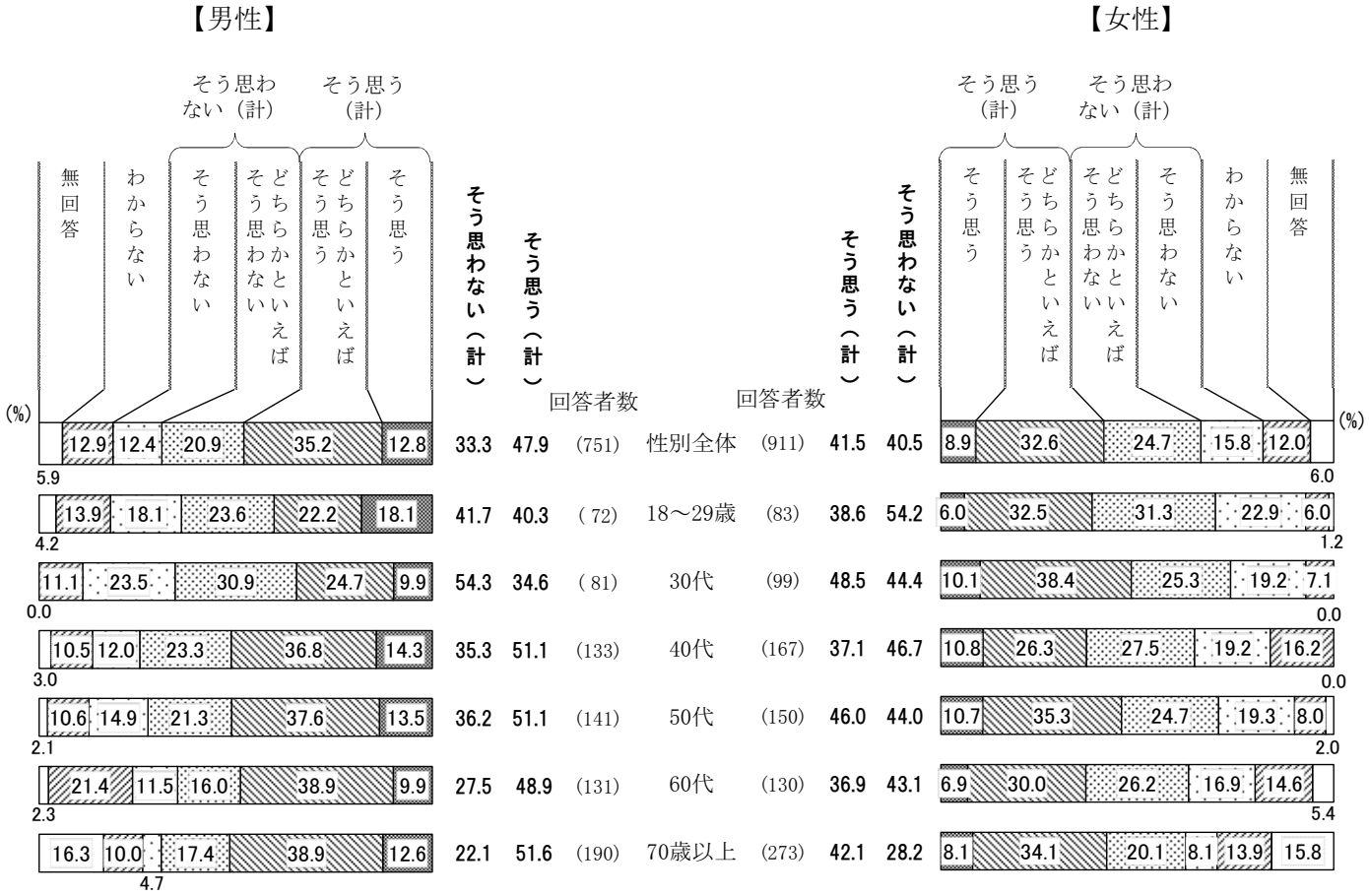
図11－３－３－②　性別、性・年代別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている



〈足立区を人に勧めたい〉を性別でみると、【そう思う】は男性（47.9%）の方が女性(41.5%)より6.4ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【そう思う】は男性の70歳以上で51.6%と最も高く、次いで男性の40代と50代も５割強と僅差となっている。【そう思わない】は男性の30代と女性の18～29歳が５割台半ばで高くなっている。

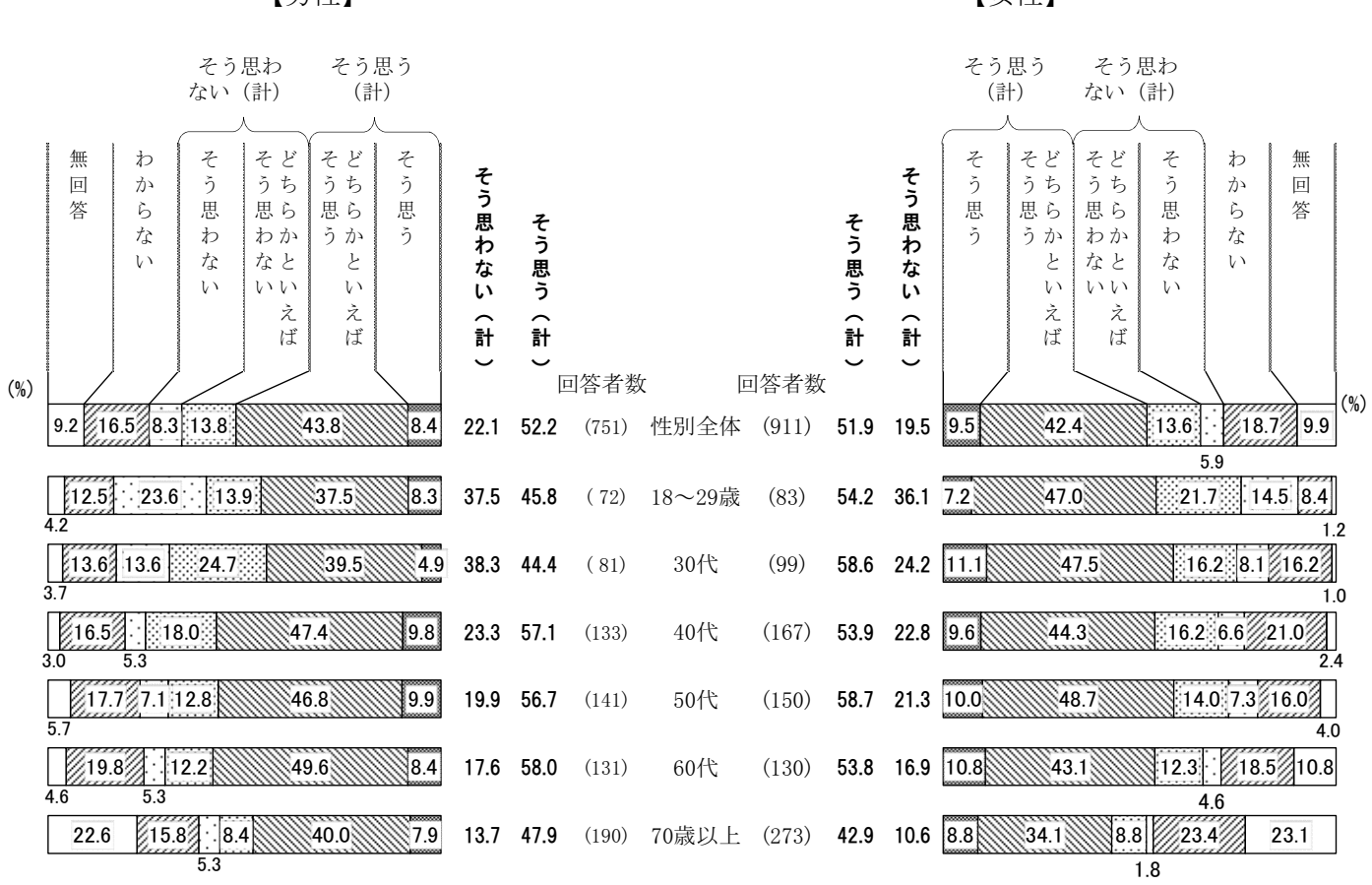
図11－３－３－③　性別、性・年代別／区に対する気持ち／足立区を人に勧めたい



〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉を性別でみると、【そう思う】では違いはないものの、【そう思わない】では男性（22.1%）の方が女性(19.5%)より2.6ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【そう思う】は女性の30代、50代と男性の60代で６割弱と高く、男性の40台、50代でも５割台後半と高くなっている。【そう思わない】は男性の30代が４割弱と最も高く、次いで男女ともに18～29歳が３割台後半となっている。

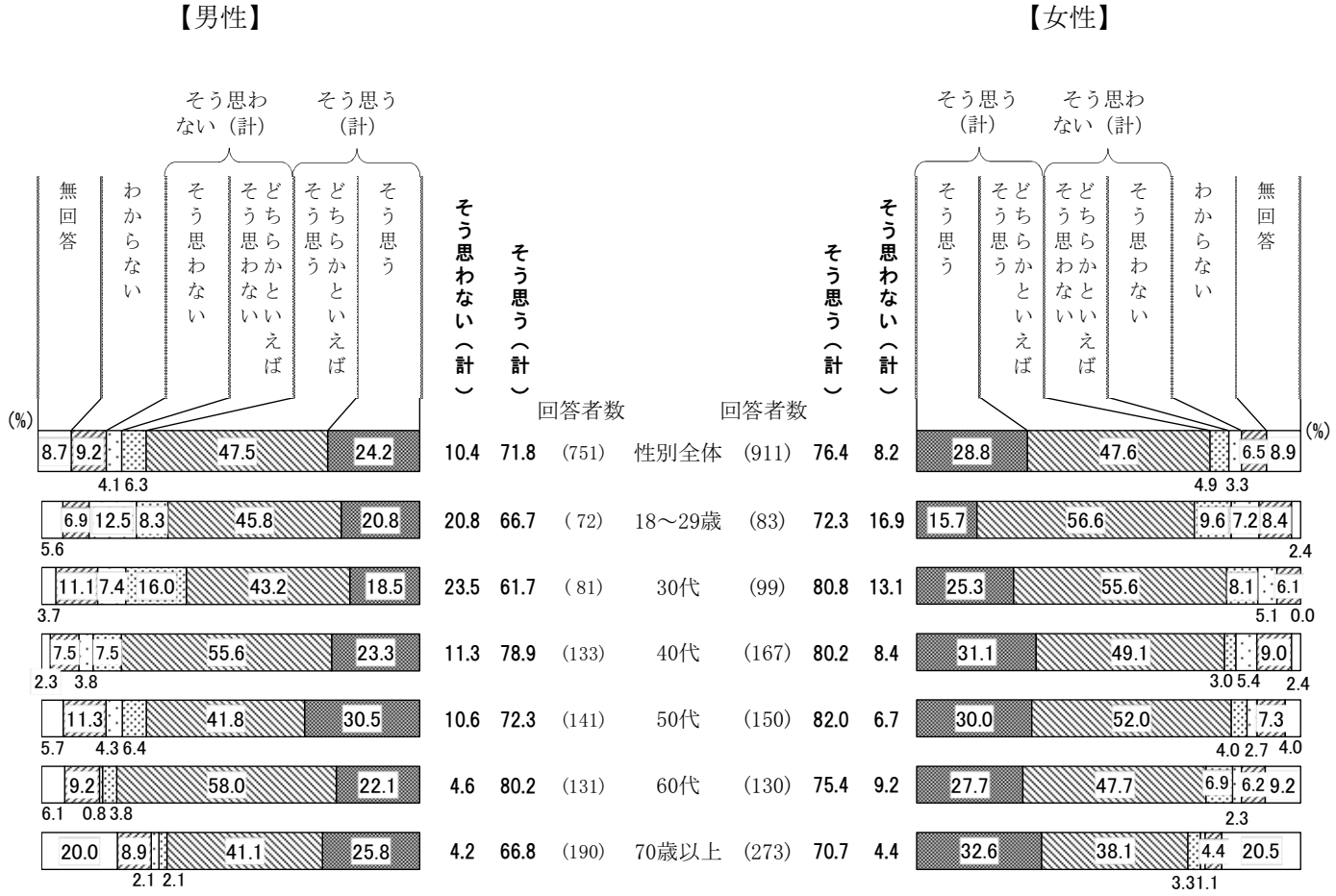
図11－３－３－④　性別、性・年代別／区に対する気持ち
／足立区を良いまちにするために何かしたい



〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉を性別でみると、【そう思う】は女性（76.4%）の方が男性(71.8%)より4.6ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【そう思う】は女性の50代で82.0%と最も高く、次いで女性の30代、40代、男性の60代が８割と高くなっている。【そう思わない】は男性の30代が23.5%で最も高く、次いで男性の18～29歳が２割となっている。

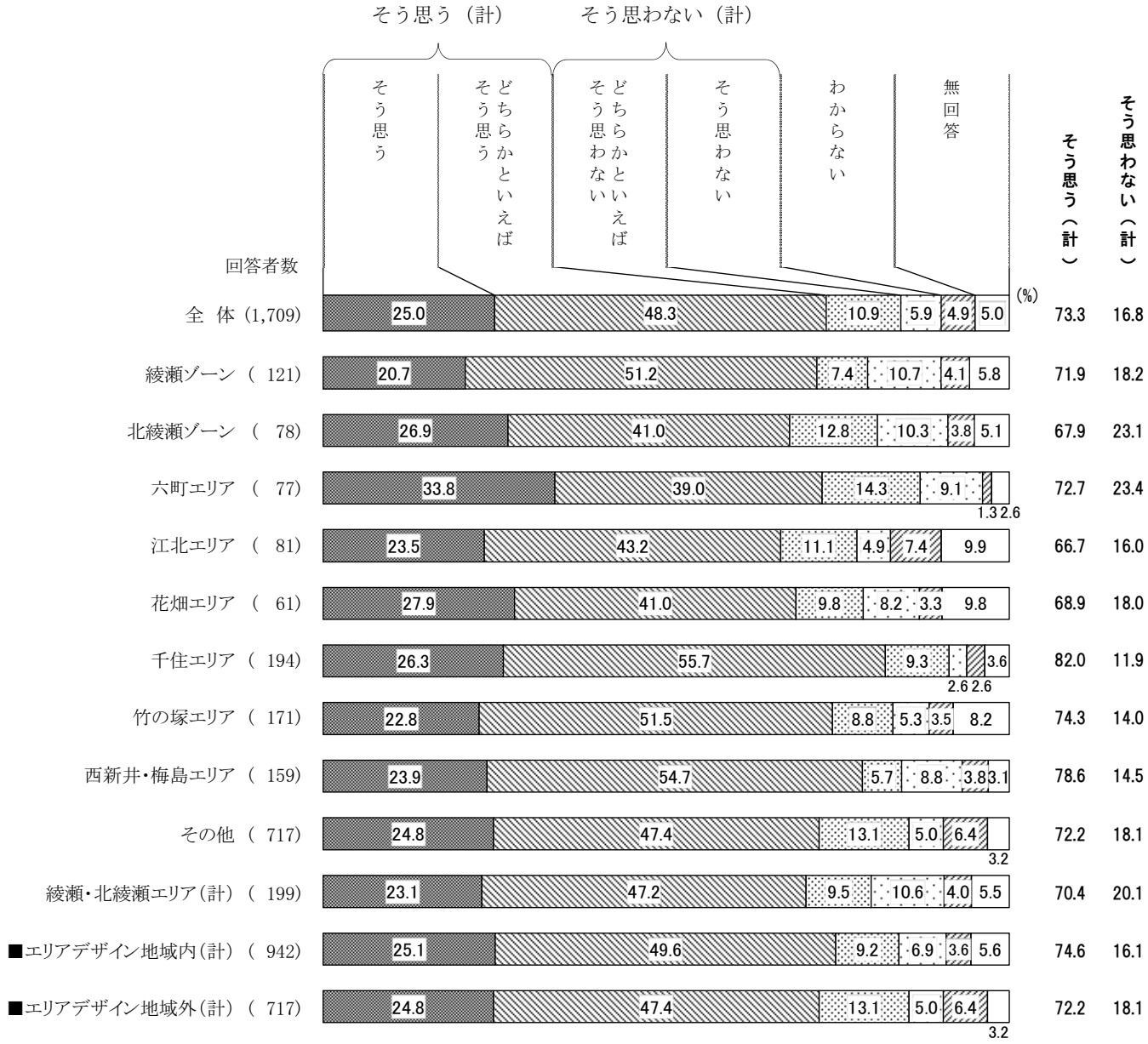
図11－３－３－⑤　性別、性・年代別／区に対する気持ち
／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する



〈足立区に愛着をもっている〉をエリアデザイン別でみると、【そう思う】は、千住エリア（82.0%）で８割強と最も高く、次いで西新井・梅島エリアで８割弱となっている。一方、江北エリア（66.7%）で６割台半ばと最も低くなっている。

また、エリアデザインの地域内外で比較すると、【そう思う】は地域内（74.6%）の方が地域外(72.2%)より2.4ポイント高くなっている。

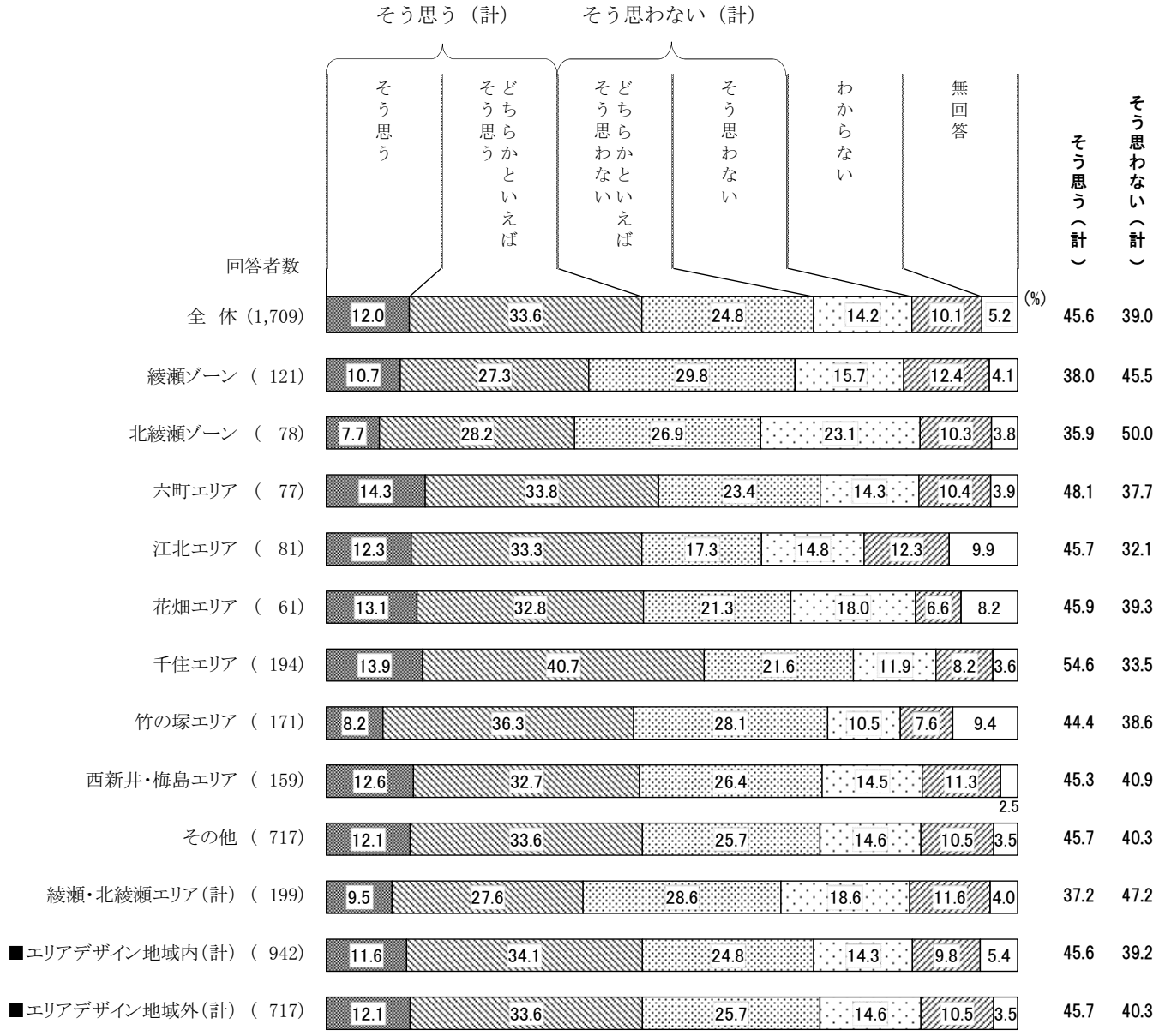
図11－３－４－①　エリアデザイン別／区に対する気持ち／足立区に愛着をもっている



〈足立区に誇りをもっている〉をエリアデザイン別でみると、【そう思う】は、千住エリア（54.6％）で５割台半ばと最も高く、次いで六町エリアで５割弱となっている。一方、北綾瀬ゾーン（35.9％）が３割台半ばで最も低くなっている。

また、エリアデザインの地域内外の比較では、【そう思う】【そう思わない】の回答割合に大きな違いはみられない。

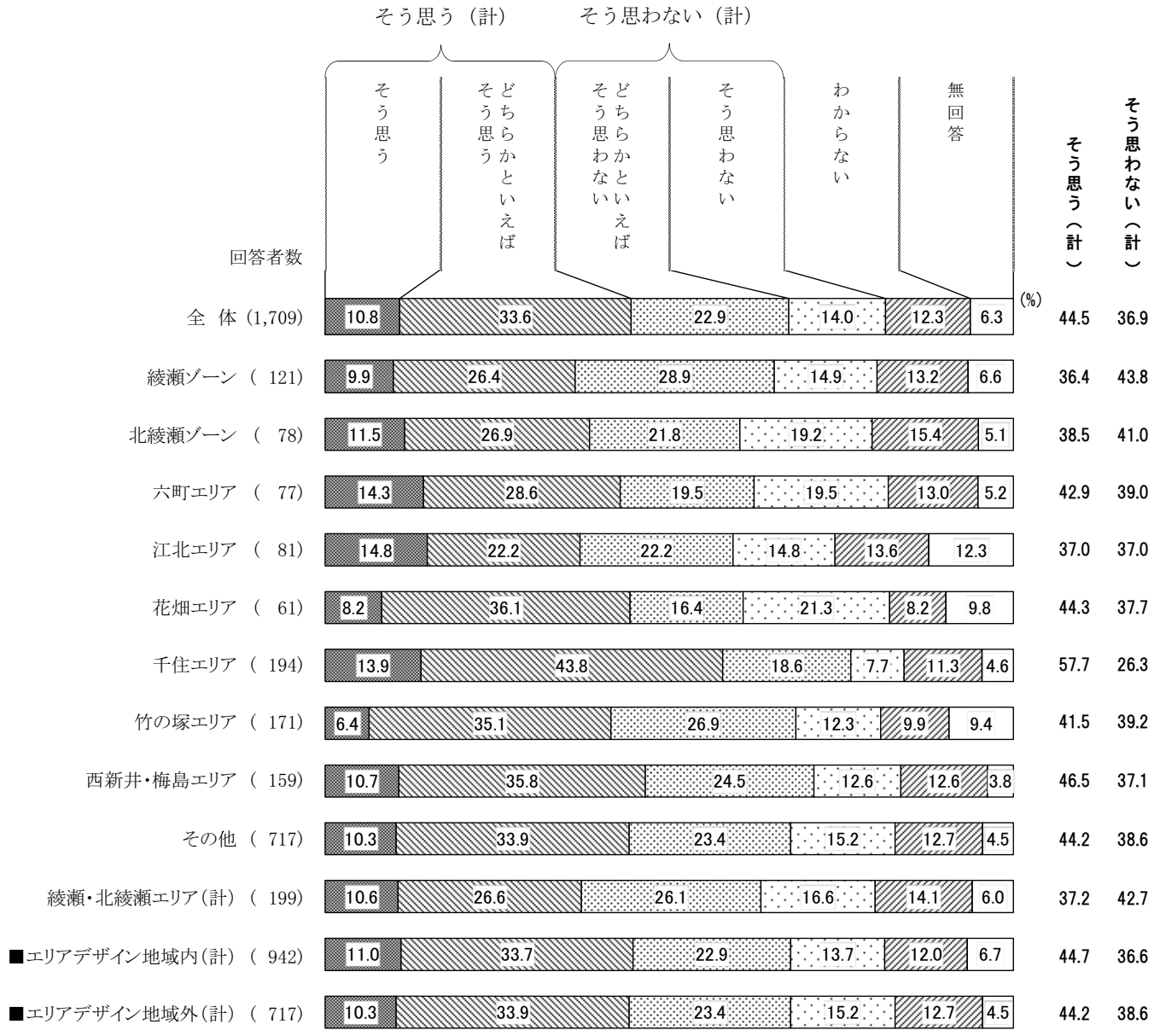
図11－３－４－②　エリアデザイン別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている



〈足立区を人に勧めたい〉をエリアデザイン別でみると、【そう思う】は、千住エリア（57.7%）が唯一５割台で最も高くなっている。一方、綾瀬ゾーン（36.4%）が３割台半ばで最も低くなっている。

また、エリアデザインの地域内外の比較では、【そう思う】【そう思わない】の回答割合に大きな違いはみられない。

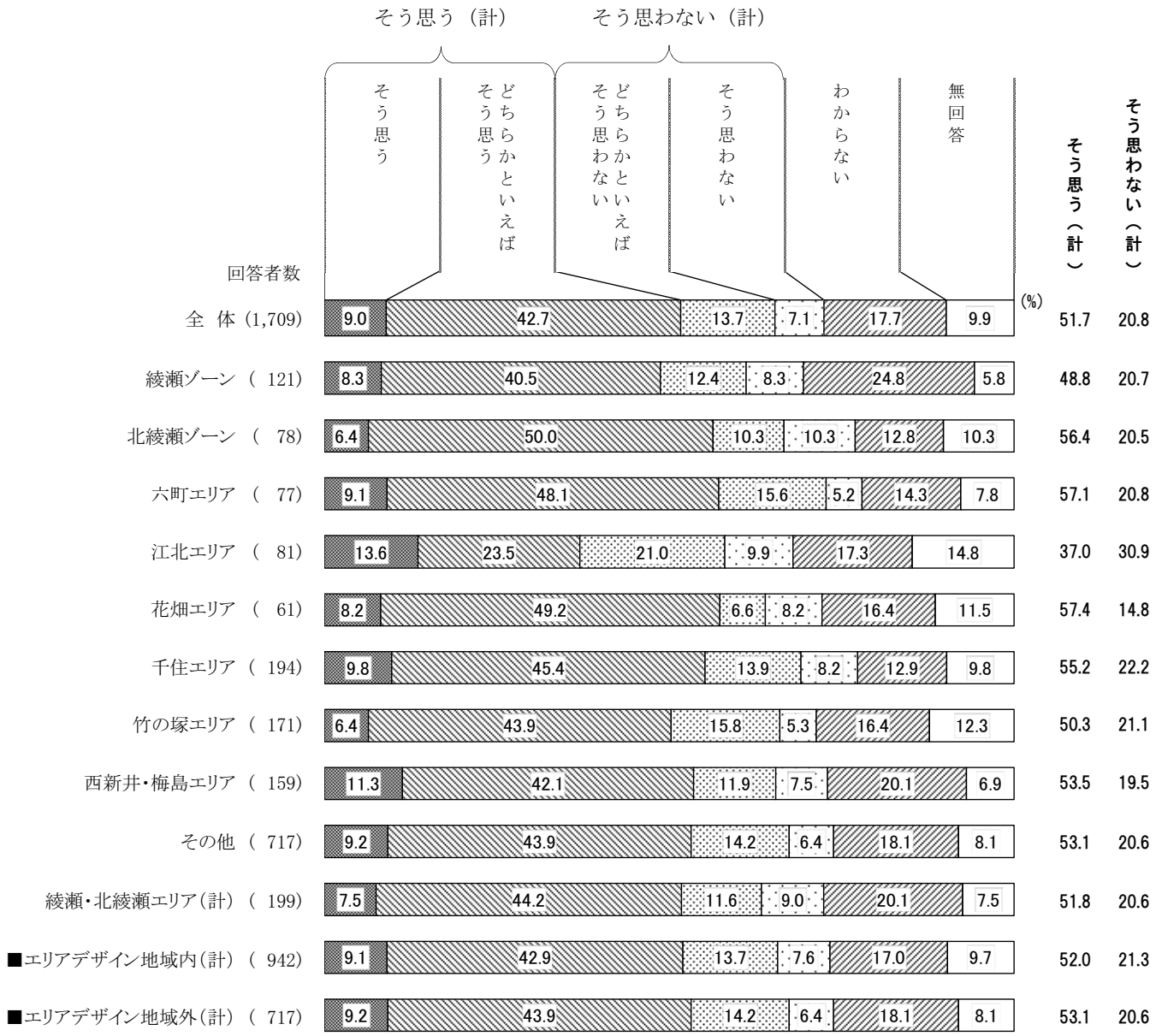
図11－３－４－③　エリアデザイン別／区に対する気持ち／足立区を人に勧めたい



〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉をエリアデザイン別でみると、【そう思う】は、花畑エリア（57.4%）と六町エリア（57.1%）で５割台半ばを超えて高くなっている。一方、江北エリア（37.0%）が３割台で最も低く、綾瀬ゾーン（48.8%）の２エリア・ゾーンが５割未満となっている。

また、エリアデザインの地域内外の比較では、【そう思う】【そう思わない】の回答割合に大きな違いはみられない。

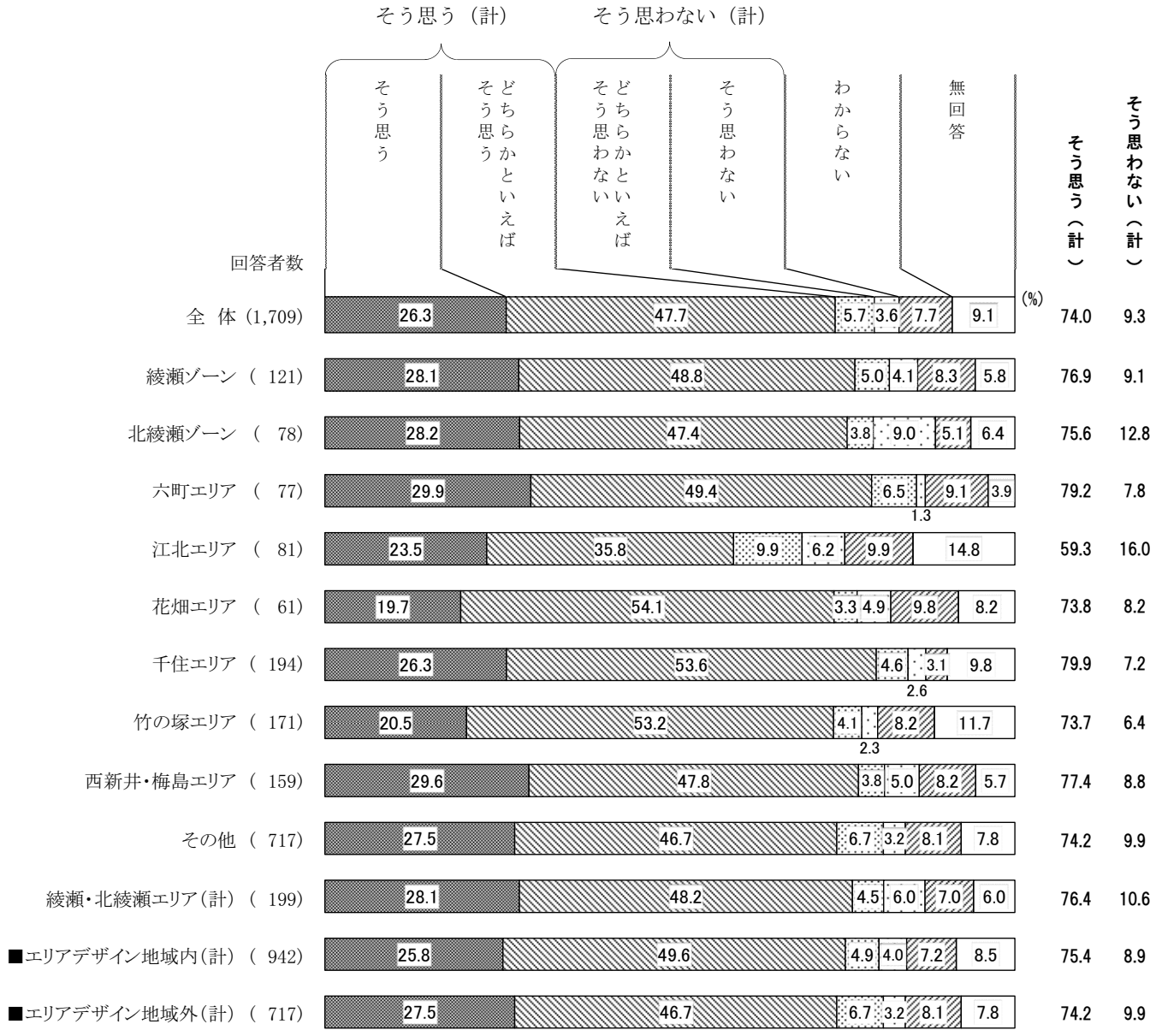
図11－３－４－④　エリアデザイン別／区に対する気持ち／足立区を良いまちにするために何かしたい



〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉をエリアデザイン別でみると、【そう思う】は、千住エリア（79.9%）と六町エリア（79.2%）で約８割と高く、一方、江北エリア（59.3%）で約６割と他のエリア・ゾーンに比べて特に低くなっている。

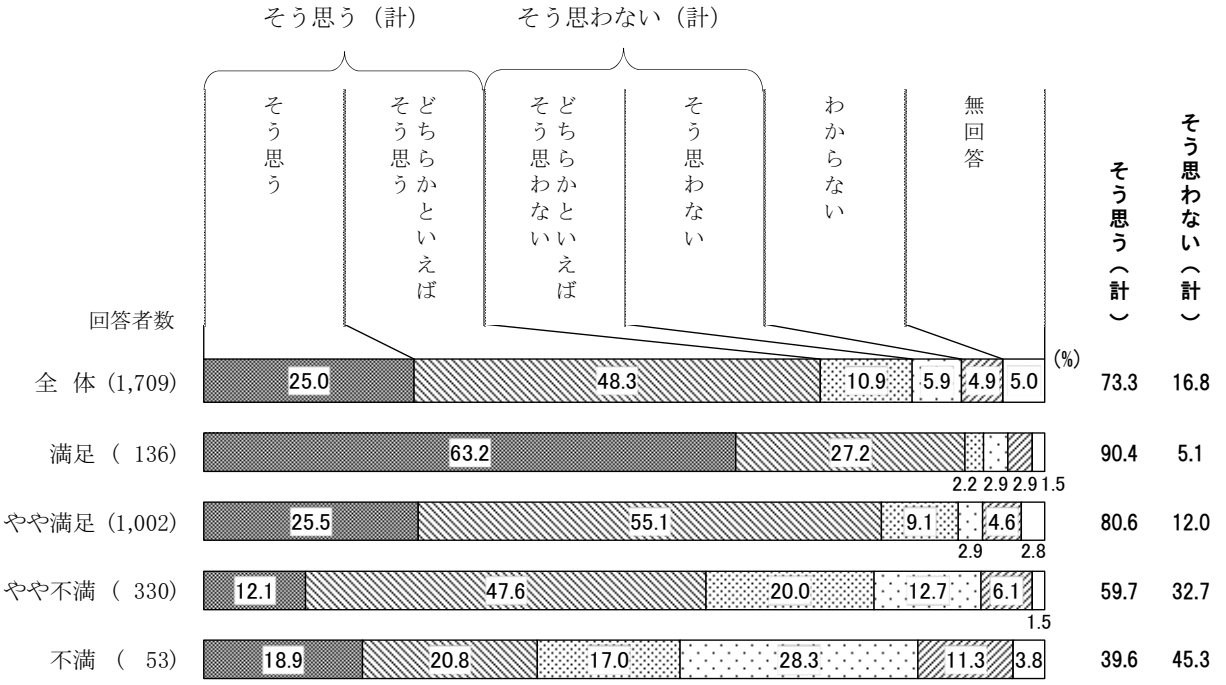
また、エリアデザインの地域内外の比較では、【そう思う】【そう思わない】の回答割合に大きな違いはみられない。

図11－３－４－⑤　エリアデザイン別／区に対する気持ち
／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する



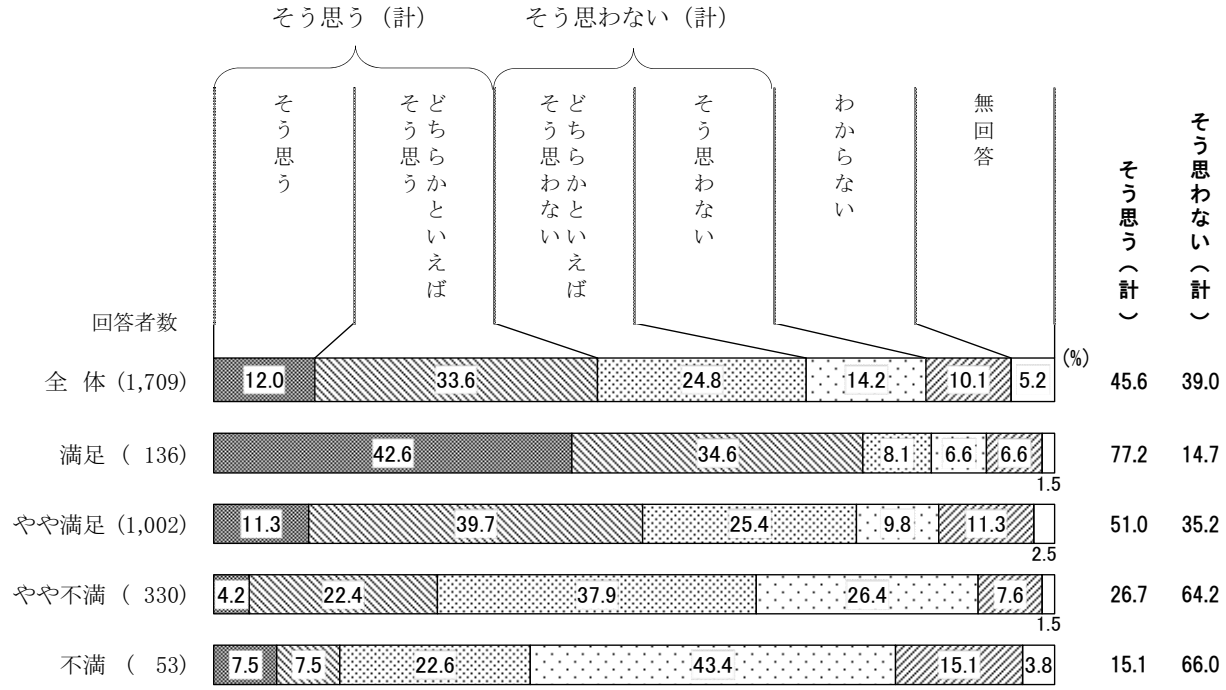
〈足立区に愛着をもっている〉について、区政満足度別でみると、【そう思う】は区政への満足度が増すほど割合が高くなり、区政に満足している層で90.4％と高くなっている。

図11－３－５－①　区政満足度別／区に対する気持ち／足立区に愛着をもっている



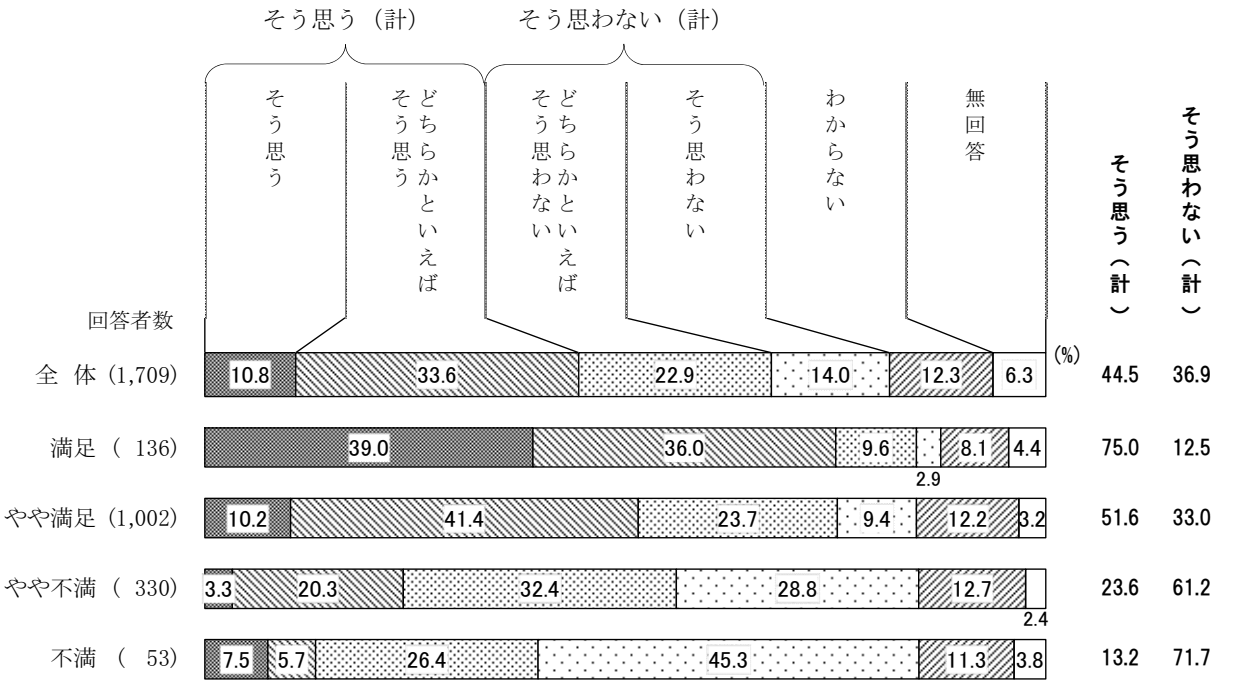
〈足立区に誇りをもっている〉について、区政満足度別でみると、【そう思う】は区政への満足度が増すほど割合が高くなり、区政に満足している層で７割台半ばを超えている。

図11－３－５－②　区政満足度別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている



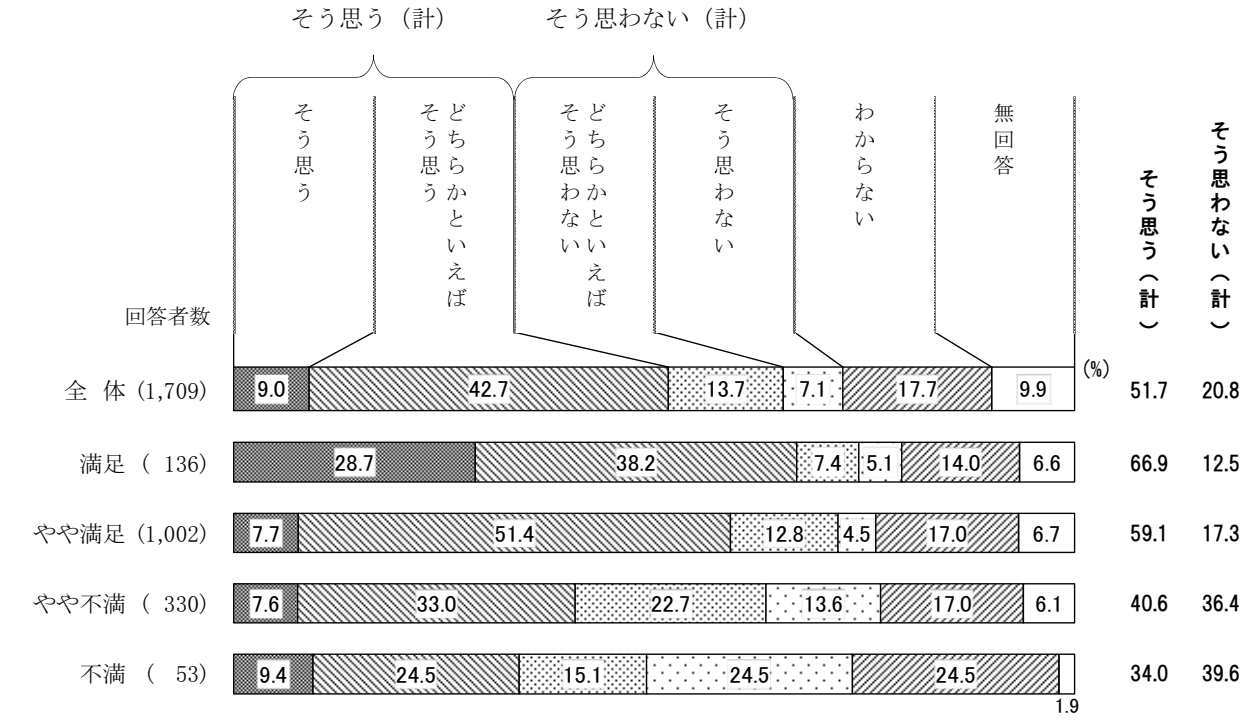
〈足立区を人に勧めたい〉について、区政満足度別でみると、【そう思う】は区政への満足度が増すほど割合が高くなり、区政に満足している層で75.0％となっている。

図11－３－５－③　区政満足度別／区に対する気持ち／足立区を人に勧めたい



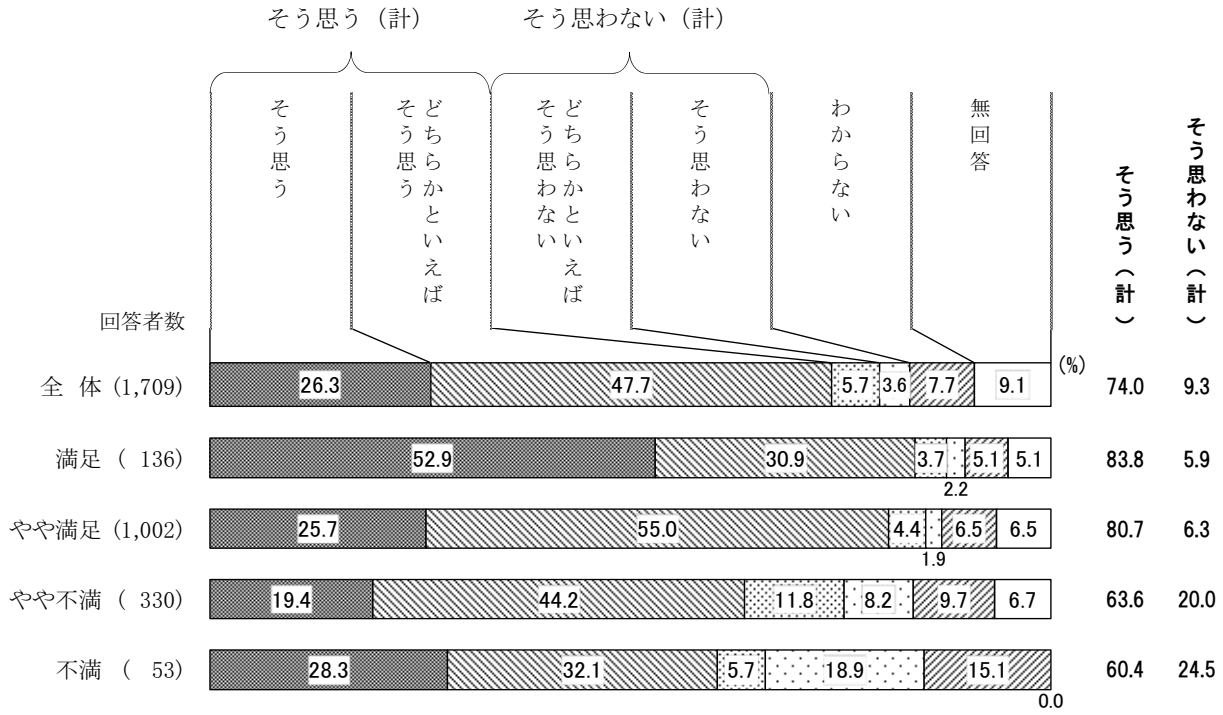
〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉について、区政満足度別でみると、【そう思う】は区政への満足度が増すほど割合が高くなり、区政に満足している層で66.9％となっている。

図11－３－５－④　区政満足度別／区に対する気持ち／足立区を良いまちにするために何かしたい



〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉について、区政満足度別でみると、【そう思う】は区政への満足度が増すほど割合が高くなり、区政に満足している層で83.8％となっている。

図11－３－５－⑤　区政満足度別／区に対する気持ち
／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する



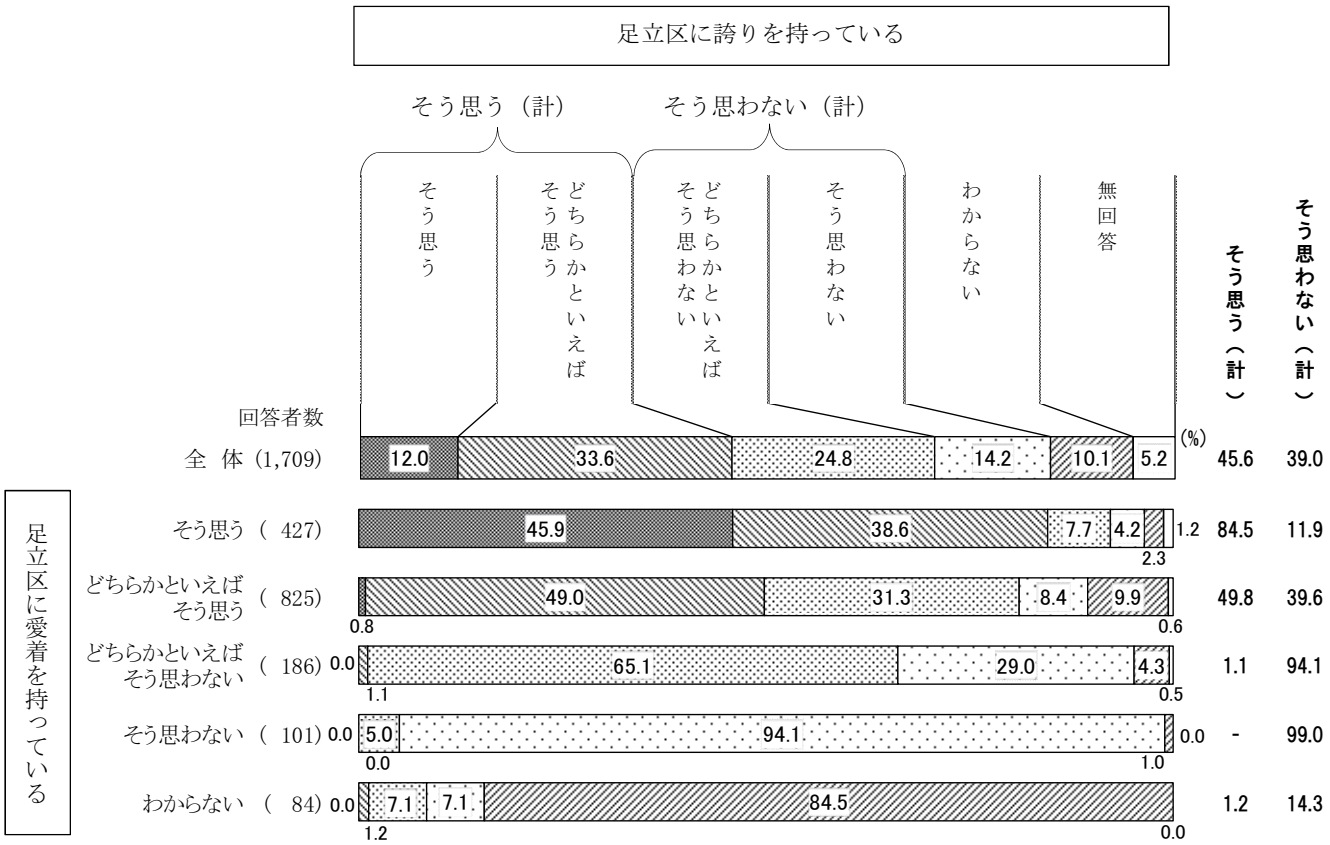
区に対する気持ちの全５項目をそれぞれ区政満足度別にみた結果、全５項目ともに“区政への満足度が高い層ほど、足立区に対する前向きな意識が高まる”という『正の相関関係』があり、各項目における【そう思う】の比率格差（満足層－不満層）を大きい順に挙げると、〈足立区を人に勧めたい〉（32.2ポイント）、〈足立区に誇りをもっている〉（29.0ポイント）、〈足立区に愛着をもっている〉（24.9ポイント）、〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉（20.3ポイント）、〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉（17.9ポイント）となっている。

図11－３－５－⑥　区政満足度別／区に対する気持ち
／【区政「満足層」・「不満層」】と【気持ち「そう思う」・「そう思わない」】の比較

		ア 足立区に愛着をもっている		イ 足立区に誇りをもっている		ウ 足立区を人に勧めたい		エ 足立区を良いまちにするために何かしたい		オ 足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する	
		そう思う（計）	そう思わない（計）	そう思う（計）	そう思わない（計）	そう思う（計）	そう思わない（計）	そう思う（計）	そう思わない（計）	そう思う（計）	そう思わない（計）
区政満足度	全　体	73.3	16.8	45.6	39.0	44.5	36.9	51.7	20.8	74.0	9.3
	満足層(計)	81.8	11.2	54.1	32.8	54.4	30.6	60.0	16.7	81.1	6.2
	不満層(計)	56.9	34.5	25.1	64.5	22.2	62.7	39.7	36.8	63.2	20.6
	満足層(計)－不満層(計)	24.9	−23.3	29.0	−31.7	32.2	−32.1	20.3	−20.1	17.9	−14.4

次に、区への愛着度別に『区に誇りを持っている』をみると、愛着度が強まるにつれて【(『区に誇りを持っている』) そう思う】の割合は増加し、『区に愛着を持っている』で〈そう思う〉と回答した層では84.5%を占めており、【『区に誇りを持っている』) そう思わない】は11.9%に過ぎない。『区に愛着を持っている』で【(『区に誇りを持っている』そう思わない)】と回答した層はみられず、【(『区に誇りを持っている』そう思わない】(99.0%) がほぼすべてとなっており、『区に愛着を持っている』と『区に誇りを持っている』が強い正の相関関係にあることがわかる。

図11－３－６　区への愛着度別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている



（４）区に対する気持ち（愛着、誇り、人に勧める）の具体的な内容（自由回答）

問55-1　問55の項目のア．イ．ウで、そう答えた理由をお書きください。

前問の３項目（「ア　足立区に愛着をもっている」「イ　足立区に誇りを持っている」「ウ　足立区を人に勧めたい」において、〈そう思う〉〈どちらかといえばそう思う〉〈どちらかといえばそう思わない〉〈そう思わない〉〈わからない〉」と回答された理由を自由記述で聴いたところ、下表のとおり1,631名から、それぞれの理由を記述いただいた。

項目 / 気持ち	ア　愛　着		イ　誇　り		ウ　お勧め	
	件数	%	件数	%	件数	%
そう思う	757	78.2	430	51.9	508	54.2
わからない	39	4.0	43	5.2	61	6.5
そう思わない	172	17.8	356	42.9	368	39.3
計	968	100.0	829	100.0	937	100.0

※本設問は上記３項目及びそれぞれに対する気持ちを特定しないで聴いたため、記述いただいた内容がどの項目のどの気持ちに該当するのか特定できないものもあった。その場合は、記述内容と３項目の関係性をみて取捨選択を行った。また、記述いただいた内容が項目を特定している場合は、他の項目の集計には算入していない。

以下に、記述いただいたそれぞれの内容を、項目別・理由別に分類し、それぞれの項目で「そう思う」「そう思わない」の中から一部を抜粋して記載する。

※　○＝「そう思う」　●＝「そう思わない」

愛　着

■ 居住期間（406件）

○交通の便も良く、物価も安く住みやすく、生まれ育った場所で愛着がある。
○20年間住み続けてきた土地であり、学生時代の思い出も残っている。
○20年以上住んでいるので愛着はすごくあります。
○生まれてから18年間足立区に住んでいるため、愛着はある。
●愛着をもつほど長く住んでいない。
●居住年数が浅く、今後も長く住まない為、あまり土地に対する気持ちがない。
●住みはじめてから期間が短く、まだよくわからない。地域の情報も入ってこないため、愛着など全くわかない。
●生まれ育ったわけではなく、通勤事情により住んでいるだけで、永住する気もないため。

■ 人情味・自然・利便性・物価・発展性（339件）

○公園が多く、街並みが落ち着いていて、子育てに向いている。
○穏やかに生活できている。お墓が徒歩15分の場所にあり、引っ越すつもりはない。
○足立区に住んでいる友人が皆んな愛着を持っており、結婚しても居続けている。家族で住んでいてうらやましく思う。将来自分も長く住みたいと思ったので、子どもが家族を増やしてくれたらいいなと期待する。
○地方から出てきて、初めて住んだ所が足立区です。東京らしくない人の横のつながりも強く、愛着はあります。
○穴場。山手線に実は近いのに、物件が安く物価も安い。実際のところは治安が良い。
●交通や買い物等で不便なため。
●子育て、教育環境、自然、緑化対策が整っていないため。

●足立区は交通が不便なところが多く、都心から遠い。治安が悪いイメージがある。オシャレなところがない。
●魅力に感じることがない。

■ 住みやすさ（192件）

○舎人線によって交通の便が良くなり、住みやすくなった。
○安全だと感じるため、住みやすい。
○交通アクセスの利便性が高い。足立区は高齢者に住みやすいし、商業施設（スーパー、コンビニ）が多く、物価が安く、住むのに家賃も手頃である。
○住みやすい町だと思っている。思ったほど治安も悪くなさそうで安心している。
○程よく落ち着いた下町の良さと、買い物のしやすさから住みやすく愛着がある。
●主人の転勤で転入した場所のためと、この辺りの気質が自分に合わないため、あまり愛着を感じない。なかなか居心地良く感じられない。もっと年数が経てば変わるかもしれないが、あまり住み心地の良い区とは思えない。
●住んでいて幸せだと感じる街ではないので。

■ 区のイメージ（36件）

●「足立区に住んでいます」と知り合う人に言う度にいつもすごく嫌な顔をされたり、「治安が悪すぎる所じゃん」と言われる。
●23区内での悪い評判やイメージがまだ払拭されていないため。廃れた印象のある場所が多くあるため。
●足立区というだけで、低所得、治安が悪いイメージがある。公園が古い、汚い。
●足立区は、他区の人からも治安が悪い印象が強い。

■ 治安・防犯（23件）

○親切な人も多いし、住みやすい所だと思った。防犯カメラ等、治安対策が充実してきている。住めば都ですかね。
○今は住めば都であり、治安の悪さを感じたこともなく、むしろ住みやすく愛着はあります。
●やはり治安が悪い。毎日不審者の情報があり、不安でしかない。
●治安がよくない、自転車盗難、不法投棄が多い。
●自宅に空巣が入り、治安が悪い。家の駐車場に置いてある自転車を盗まれた。人に勧められる区ではない。
●犯罪が多く、昼夜問わずパトカーのサイレンの音が聞こえるため、安心して住み続けることができない。

■ 現在住んでいるから（13件）

○住んでいる地域なので愛着はある。
○自分の住んでいる所を悪く思いたくない。
○住んだ場所が好きになるタイプだから。
○住めば都。
○住んでいるので、愛着は当然あります。

■ その他（21件）

○長年、職場でお世話になっている。
●住民登録はしているが、足立区の生まれではないので、特に興味がない
●将来的には、田舎暮らしをしたいと思っているので、特に愛着などはない。

●職場からの距離のみで決めたため。足立区の事をよく知らないため。
●足立区内で人との交流はほとんどなく、自宅と職場の行き来のみで、特に意識したことがない。

誇　り

■ 居住期間（244件）

○足立区で生まれて80年、他に行ったことはない。両親も足立区生まれ、私にとってすばらしいまちだと思います。
○長年住んでいるから、愛着はある。交通の便が良いのは、綾瀬や北千住くらいではあるが、つくばエクスプレスもあるので勧められる。
○長年住んでいる間に住みやすくなったから。全体的に支援・環境が良くなっていると思う。
○約50年足立区で生活しており、環境も整備され、とても住みやすい町だから。
●まだ１年余りしか住んでいないので。
●足立区に住み始めてまだ数年しか経っておらず、慣れていない。あまり魅力を感じない。
●生まれた時から住んでいるから、誇りに思うことがない。

■ 人情味・自然・利便性・物価・発展性（100件）

○大学誘致によって、街に活気が出てきた気がする。インフラ整備も少しずつ進んでいると思う。物価も安くて住みやすいと思う。
○足立区に誇りを持って、良いまちにするため、活動している人に共感を持ちます。
○交通の便がよく、買い物が便利だから。
○足立区は大学も増え、高齢者も多く、緑も多い、いい所です。
●誇りはもっているけれど、勧めたいかと言えば疑問である。新しい店が増えても、自分にとっては必要だった店も遠くへ行ったし、どんどん人口は増えてはいっても、かえって不便になって来ている。
●物価は安いので、住みやすい。その影響もあってか低所得者が集まる構造的問題がある。財政や区民サービスの質も厳しくなる。足立区のイメージが一般的に悪い。

■ 治安・防犯（95件）

●生まれ育ったまちなので愛着はありますが、人に勧められるかと言われると別です。治安が悪い印象はぬぐい去れないように感じます。
●長く住んでいるため愛着はあるが、治安等の点から誇ることはできない。
●愛着はあるが、東京都全体から見たら、治安が悪いので、誇りには思わないし人に勧めるのも、ほどほどにしたい。

■ 区のイメージ（92件）

●足立区の昔のイメージよりは良くなってはいるが、やはり足立区は一部の場所のみ再開発などで住みやすくしていて、置き去りの場所が多い気がします。
●「足立区」というイメージが知人達にいまいちよくない。マスコミ等でおもしろおかしく伝えられているのが、気になります。
●テレビ番組等での取り上げられ方がよくない。足立区に住んでいると話すと、「治安大丈夫？」と必ず言われる。
●区に対するイメージが昔から良くないこと。足立区民以外の人から、特異な目で見られることがある。

■ 住みやすさ（91件）

○足立区の人は（私は北千住）気取りなく、暮らしやすく、店も多い、物価も安い。交通の便も良く楽に暮らせる。
○地域ブランドは23区最低レベルと言われつつも、実質的な住みやすさは23区最高レベルと感じる。特に都市計画事業の進捗は素晴らしい。足立の道路網は、城西地区よりもはるかに優れている。交通アクセスの利便性が高い。足立区は高齢者に住みやすいし、商業施設（スーパー、コンビニ）が多く、物価が安く、住むのに家賃も手頃である。
○物価も安く、緑も多く、福祉など手厚いと思います。とても住みやすい区ですし、これからますます進化していく区だと期待を持たせてくれるところです。
○幼少期から現在まで過ごし、大好きな街。自然が豊かで、住んでいる人の顔がわかる。インフラも整備されている。大変住みやすい街です。
●住みやすいが、まだ他区には昔のイメージが残っている。治安も以前より良くなっていることをもっとアピールしていって頂きたい。
●住みやすいが、足立区居住と言うと、「ああー、足立ね」と未だに言われる。
●住みやすい街だとは思うが、それ以上の事がない。

■ 交通網・道路網・整備（74件）

○60年間住んでいます。住めば都です。鉄道５路線が集中しています。便利な町です。
○交通の便（電車）が良くなり、都心へのアクセスがしやすくなりました。隣県にも行きやすく、大型店への買い物もしやすい。下町気質な人柄も良いと思う。
○交通の便も良く、住みやすい街だと思います。
○交通機関が整っている。街並みが綺麗。
●交通、歩道が狭く事故の危険が高い。交通の便がいまいち。
●足立区は広いので、北千住駅近くは便利だが、私の家は駅から遠いので、バスが必要。
●亀有が不便。千代田線と常磐線の二重支払い及び乗換えが不便。
●区役所、区の施設は、バスを使わないとならず不便。ほとんどの始発電車が北綾瀬発となっている。

■ 環境・衛生・公園（59件）

○自然環境も良く、公園も充実しているので、家族では住みやすい。買い物も便利で、他区からも来ているようです。テレビでもよく特集されているのも評価。
○足立区に住んでまだ長くないですが、道路や駅周辺も整備されていてきれいなので良いと思います。とても住みやすい。
○緑豊かな公園が多く、都心への交通の便が良い。
○緑地が多く、これから発展出来る可能性があると思う。
●駅前はキレイだが、少し外れると荒れている所が多い。
●地方転入者が増加しているせいか、ベッドタウンエリアにしか感じられない。緑は多い区だとは思うが、ムダに公園が多い区だと転入時に思った。それなりに住みやすくはあるが、人に勧められるかと言われれば疑問である。
●37年も足立区に住んでいますが、排気ガスとかあり、あまり愛着や誇りを持てない。
●まだまだ治安もいまいちだし、街並みも汚い。

■ 住民の質や意識（マナー）（43件）

●快適ではあるが、住人のタイプが偏っている気がする。視野の狭い人が多いと思うし、路上でタバコを吸ったり、自転車を歩道上に止めたり、身勝手な人も多い。
●安全性も高まってきたが、昔のイメージが悪すぎて、他に勧めるまでに至らない。まだまだ区民のモラルが低いと感じる場面が多い。

●住みなれた土地ではありますが、まだまだ犯罪も多く、公園や道路にはゴミが散らかっているのを見ると、情けなくなるから。個々のレベルが低すぎると思うことがしばしばあります。
●長年居住しており、愛着は持っているが、ゴミの不法投棄等が目に付く事も多く、玄関先の物が盗難に遭ったりもしているので、マナーや防犯の面でもっと改善していってほしい。
●低所得者が多いイメージ。マナーの悪い人が多い。

■ 区政（33件）

○区のホールの職員は英語を話せないが、いつも我々のニーズに応えようとしてくれる。
○区の古い部分が新しく作り変えられているように見える。
○現在のコロナ対策等について、特にワクチン接種予約が比較的スムーズだった。他22区の対応を聞くと、足立区は対応が良いと感じた。
●生活保護家庭が多い。税金や国民健康保険料が高い。
●健康保険、介護保険、他区より高いと思う。
●足立区民であることに恥ずかしいと思ったことはありませんが、ただ誇りというと、その街の文化・歴史、そして今の区民の人情全体に誇りを持てないと。子どもと若者が文化的教養と品性をもって育てるように、区政を運営してください。いろいろたくさんの区民に密着した仕事があり、大変だと思いますが、がんばって下さい。

■ 誇れるものが特にない（33件）

●何をもって誇りというのか良くわからないが、残念ながら他と比べて、誇れるものがあるとは思えない。
●暮らしているものの、足立区との関わりを感じる事があまりない。誇ることが特に思いつかない。
●人に勧めたり誇りを持つほど、良いポイントはないかなと思う。
●足立区に誇りと言われても、足立区を人に勧めたいとは思わない。特に自慢することがない（場所など、文化事業など）。
●長年住んでいるので愛着はあるが、人に勧めるまでは自信がない。

■ その他（131件）

○足立区が好きだから。
○欠点であることを改善してきている。
○足立区民として、なにか出来ればいいと思います。
●我が子が育った町として愛着はありますが、安心した生活が送れるかというと、保育園に入れないとか、保育園の施設が老朽化していたり、要介護３になってもすぐ入所ができないとか、生活していく上で困難を感じる状況があるからです。
●買い物など住みやすさは感じるが、公立学校の教育水準、治安などで改善すべき点が多いと感じる。
●立地が悪く、交通の便も悪い。治安が良くなってきているが、一部だけの気がする。
●他の区と比べ、いろいろの所で劣っているので。
●足立区外で、良い街をたくさん知っている。

勧めたい

○足立区で生まれ育ちました。現在の区長になってから区が多くの変化を遂げ、「足立区出身」と言うことが恥ではなくなった。
○長年住んでいる事で、多くの方に良い所だと思ってほしい。
○出産直前から、その子どもが社会人になった今まで、子育ても楽しく、地元の幼稚園、小、中学校、全て充実していた。子どもも“足立区育ち”を自慢している。公園が多く、買い物も交通の便も良く、治安も良くなって、本当に暮らしやすい。
○生まれも育ちも足立区で、足立区の方々に見守られて育ったので、自分のホームタウンとして好感を持っている。
●足立区で暮らして年月が経っていないので、愛着を持っていません。足立区の情報や取り組みを理解する機会がないのでなおさらそう思います。治安が良くない所もあるので、勧めたいとは思わない。
●短期の入居であること。地域密着の店が少ない気がする。人と人との関わり。
●引っ越しで足立区に住み始め、まだ何年も経っていない為。区の事がよくわかる様なイベントやサービスに、参加もあまりした事もないので、人に区の良さをアピールできる程、足立区を良く知らないので。

■ 住みやすさ（130件）

○足立区は実際に住みやすくなって、特に人情に厚い下町だと思う。お買い物も便利ですし、都心への通勤も良い。そのため、ぜひ区外の転居したい人たちに勧めたいと思います。
○東京のベッドタウンの感覚。ごみごみしていない町並も静かで、住みやすさを感じる。
○住みやすいので人に勧めてもいいと思う。
○足立区は治安が悪いと有名だから誇りには思わないが、住みやすい為、勧めたい。
○色々な街に住んだが、比較的住みやすいと思う。
●以前より住みやすくなったと思うが、特化したサービスや整備があると感じない点から、区外の人に勧めたいとあまり思わない。
●西新井は道が狭い所がいっぱいあり、不安全な道があるため、住みやすいとは思えない。
●生活するのに良い所だが、人口が増えると、それだけトラブルも増えるので難しい。

■ 人情味・自然・利便性・物価・発展性（120件）

○足立区に長く住んでいて、隣人の方がみな親切でフレンドリーなので、住みごこちがよい。しかし他の区に住んでいる人に足立区に住んでいると言うと、あまりよく思われない。とてもいい区なのに残念です。
○ここ数年で、大学誘致や大学病院の新設等、自分の住む江北も大きく変化を遂げています。公園の整備～バス路線が増える等、今後とても楽しみでうれしく思っている。
○過去に凶悪な犯罪も区内でいくつかあったが、ほとんどは自転車盗難レベルの軽犯罪で、ある意味治安は悪くないと感じている。下町気質で、かっこつけずに過ごせるお気軽な“足立区”に愛着を感じる。短パン、サンダルで買い物に行ける。素の自分で街をふらふらできるお気楽さは、今の若い人にも勧められる街だと思う。
○物価も安いし、サービスも充実。住みやすいので人に勧めたい。
●都心から来たので、やはり利便性が悪いし、街が暗いイメージ。
●区のイメージが良いとは言えない（減ったとはいえ軽犯罪が多い）ため。利便性（商業施設やスポーツクラブが少ない、交通アクセスが悪いなど）が低いため。
●足立区は好きだが、区内の娯楽設備が少ない。また、街があまりきれいでない。不潔な人が多いなど好ましくないことも多く、人には勧められない。
●自然も多く良い所もあるが、商業施設などが少なく、賑わいがない。

■ 交通網・道路網・整備（96件）

○交通の利便性、近所の利便性が良いので。
○以前は交通の便が悪かったが、今は都心へのアクセス良好。
○舎人ライナーで陸の孤島ともお別れできました。静かな環境も誇れます。
○電車・高速道路も便利。
●足立区は他社との直通運転区間が増えましたが、まだまだバス利用の地域が多く、不便に思います。
●交通の便があまり良くない。駅そのものが少ないので、人には勧めない可能性が高い。
●町の整備を行っているとは感じるが、まだまだ障害を持った方が、安心、安全に道路（歩道）を移動するには、デコボコが多く、バリアフリー化されていない。よって勧めたいとは感じない。

■ 治安・防犯（90件）

○以前は世田谷に住んでいたが、実は足立区の方が犯罪発生率が低いと知り、驚いた。交通の便が良く、家賃も割安で、今の方がずっと生活に満足できている。もっと評判が良くてもいいはず。
○足立区は子どもの頃から住んでいる街ですが、その頃から比べると治安はすごく良くなっているし、交通の便についても、バスや電車などができるようになったり、住みやすくなっているなぁと実感している。
○犯罪などが減り、住みやすい環境になってきたから。夜、青パトなどの巡回で、夜遅くまで出歩く子どもが減ったと感じたから。
○引っ越しをする前にイメージしていたより治安が悪くないと感じた。不審者に会う頻度が減ったと感じた。
●特に愛着はないので誇りもない。犯罪も多い方で治安も良くはないので、人に勧めたいとは思わない。
●長い間住んでいるので愛着は出てきたが、治安の悪さや医療機関の質が悪過ぎるので、人には勧められない。
●治安が悪いように感じるため。住んでいる所でも、イタズラで車が少し傷ついたり、自転車のパンクなど、自分もしくは周りで被害にあっているため。
●公共心の低い人が多い。減少したとはいえ、犯罪は依然として多い。交通が不便な場所が多い。
●治安が悪い。交通の便が悪い。北千住は交通の便はいいと思うけど、すべてがいい訳ではない。区全体として見れば、あらゆる面でレベルは低いと感じる。

■ 区のイメージ（88件）

○昔より治安も改善してきていて、街もキレイになってきており、より改善されていくことに期待する。
○以前の足立区より良いまちになってきているから。
○足立区に生まれ、今の歳になるまで長い間暮らしてきました。足立区の良いところをたくさん知っています。しかし、他の場所で暮らしている方々にとっては、治安が悪いと思われているので、イメージが良くなったらいいと思っている。
●昔ながらの悪いイメージが払拭出来ていない。
●足立区といえばまだまだ世間的イメージが悪く、ガラが悪い地域で治安も良いイメージがない。
●区以外の人に足立区に在住と言うと、「え～」と言われる事が多い。イメージが悪いようです。
●愛着もあり住み心地もいいが、今までのあまり評判のよくないイメージが、他の人にはまだ強く残っているので、勧めづらい。

■ 勧めることは特にない（79件）

●魅力的な区とは感じない。
●自身がとても良いと思っていないのに、人に勧められない。
●以前より住みやすくなったと思うが、特化したサービスや整備があると感じない点から、区外の人に勧めたいとあまり思わない。
●特に理由がないが、人に勧める程の地域ではないと思っている。

■ 環境・衛生・公園（65件）

○公園や緑が多いので、子育てに良い環境だと思う。
○以前に比べ、街並の景観が良くなっている。きれいになってきたと感じる。
○街の中が比較的、きれいに整備されている。
○住環境と街の雰囲気が良いので、人にも勧めたい。
○幼少期から現在まで過ごし、大好きな街。自然が豊かで、住んでいる人の顔がわかる。インフラも整備されている。大変住みやすい街です。
●住宅の周辺は整備されていて満足しているが、足立区全体としては、街並みがまだきれいとは言えず、お勧めはできない。
●災害への不安があり、人には勧められない。
●子育て、教育環境、自然、緑化対策が整っていないため。
●町がきれいとは言えないので勧めない。
●人口が増えて、駅も混雑、歩道も狭く、街灯も少ない。

■ 区政（48件）

○15年位前までは、「足立区に住んでいる」と言うと「危ない街」だと言われる事も多かったが、近藤区長になってから、目に見えて街がきれいになり、良くなっている事がわかるので。
○約30年間住んでいる為、愛着をもっている。当時と比べて緑、花も増え、景観・街並みは大きくきれいになった。また今回のワクチン接種はスタートが早く、区長自らがＴＶ出演して、ワクチン確保を討えていたのには、感銘しました。
○区政が良い方向へ常に向かっていると感じます。住みやすい街であり、犯罪も減少して、大学も増え、お年寄りがのんびりと道を歩いている街、足立区は私にとってそんな街です。住環境と街の雰囲気が良いので、人にも勧めたい。
●生活保護、子育て、高齢者だけに手厚く、働く世代に何も恩恵がない為、税金の使い方も納得できない点が多い。払うだけ損している気分。
●足立区政に全く共感が持てないから。
●娘が働きざかりなのにワクチン接種券がなかなか来ず、高齢者を優先しすぎて、若者を軽視している様にしか思えない。早く転居したい。
●現在住んでいるエリアは特に足立区を代表する様な場所ではないし、区として特に重点的に取り組みを行っている様にも思えないため。

■ 住民の質や意識（マナー）（40件）

●高齢者の態度が、横柄な人がいる。よい人達もいるが、道が狭いせいなのか、先を急いでイライラしている人が結構いる。
●足立区は23区平均所得最下位なりの民度の人間が多いので、どの施設を利用してもレベルの低い人間が多く、不快に感じることが多い。
●長年住んでいるので愛着はあるが、民度が低いと感じるので、人には勧めようと思わない。

●犯罪が多い。低所得者のまち、ヤンキーが多いなどのイメージが他区からあるように、私もそう感じている。自分はここで生まれ育ち慣れているが、人には勧めようとは思わない。
●まだ住み始めて３年なのでよく分からないが、小さい頃から足立区で生まれ育った人の人柄があまり良くないことが多いと感じる。

■ 他区・他地域の方が優れていると感じる（37件）

●他区に比べて進歩が遅い。
●愛着はあるが、他の区に比べて交通、行政など、まだまだ遅れていると感じている点が多い。
●足立区に20年以上住んでいるので愛着は感じますが、他の区に比べると、もう少しこうしてほしいとか、こうなればいいのにと感じる事もありますので。
●より魅力的なまちが近くにあるから。

■ その他（109件）

○学習センターや住区センターなどに参加して色々学べる。
○就学援助等、子どもを育てる環境がとても整っていると思います。
○生まれ育った区で、学校給食など食に力を入れ、子どものことを考えてくれている。
●低所得の人が多い様で、人の為に手を貸したくても、自分の生活を維持する事が精一杯で、心にゆとりがないように感じるから。
●綾瀬に図書館などの文化施設がない。道路や歩道が狭く、身の危険を感じる。街全体が雑然としていて、魅力に乏しい。
●４月から小学生ですが、子どもが通う小学校に学童がない。学童が少なく入れるか心配。保育園が少なく、入れた保育園も園庭がないなど、不満がある。小学生・中学生の教育、学力レベルが低いと言われているので、人に勧めることができにくい（子育て世代として）。
●緑が多く住みやすいと感じているが、北千住以外は核となる街がなく、西新井も竹ノ塚も駅前は魅力に乏しい。
●生まれた時から住んでいる足立区だが、住む場所によって、生活の便利、安全に差がありすぎるので、足立区外の人に今いち自慢できない。足立区は駅から遠くなると田舎の感じがする。

（５）区を良いまちにするための行動

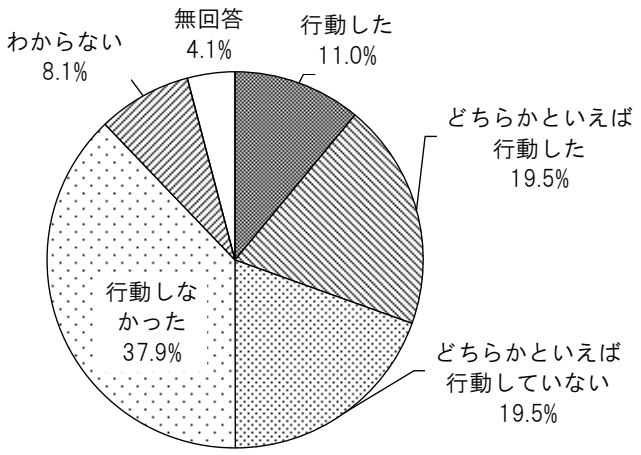
■【行動しなかった】が５割台半ばを超えて、【行動した】の３割を上回る

問56　あなたはこの１年間に足立区を良いまちにするために行動をしましたか
（○は１つだけ）。

※　町会・自治会活動、ボランティア活動、防犯活動、地域イベントの手伝いのほか、家の前の清掃をしている、道案内など困っている人を助けた、足立区内の魅力的な情報を伝えた（発信した）などの個人的な行動も含みます。

この１年間に足立区を良いまちにするための行動をしたか聴いたところ、「行動しなかった」（37.9%）が３割台半ばを超えて最も高く、「どちらかといえば行動していない」（19.5%）を合わせた【行動しなかった】（57.3%）は５割台半ばを超えている。一方、「行動した」（11.0%）は１割強に留まり、「どちらかといえば行動した」（19.5%）を合わせた【行動した】（30.5%）は３割となっている。

図11－５－１　区を良いまちにするための行動



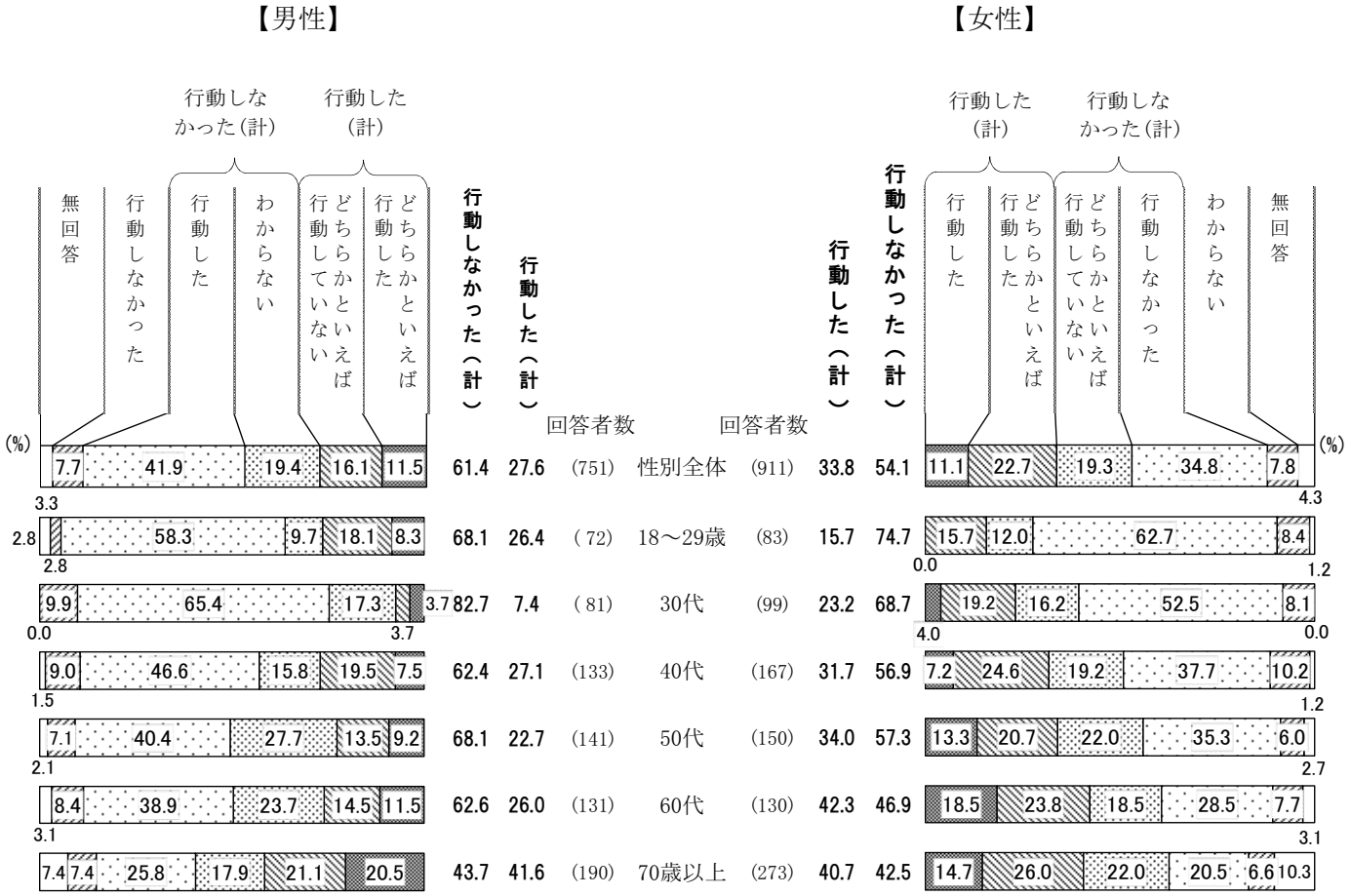
行動した（計）	30.5%
行動しなかった（計）	57.3%

回答者数(1,709)

性別にみると、【行動した】は女性（33.8%）の方が男性（27.6%）より6.2ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、【行動した】は女性ではおおむね年代が上がるほど割合も高くなり、60代と70歳以上では４割台となっている。男性では30代（7.4%）が特に低く、70歳以上で41.6%となっている。

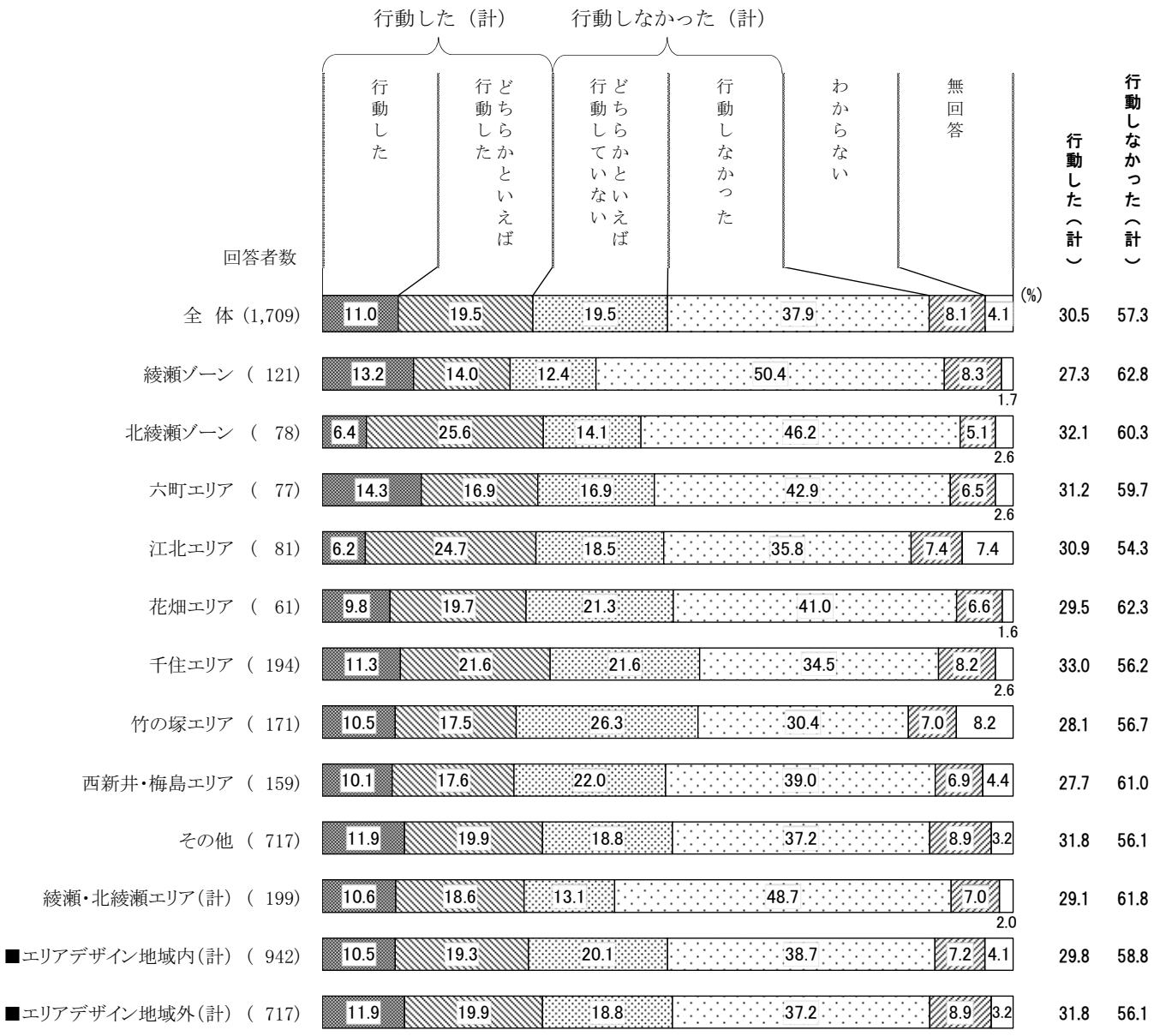
図 11－５－２　性別、性・年代別／区を良いまちにするための行動



『区を良いまちにするための行動』をエリアデザイン別にみると、「行動した」と「どちらかといえば行動した」を合わせた【行動した】は「千住エリア」が33.0％で最も高く、一方、「どちらかといえば行動しなかった」と「行動しなかった」を合わせた【行動しなかった】は、「綾瀬ゾーン」が62.8％で最も高く、僅差で「花畑エリア」が続いている。

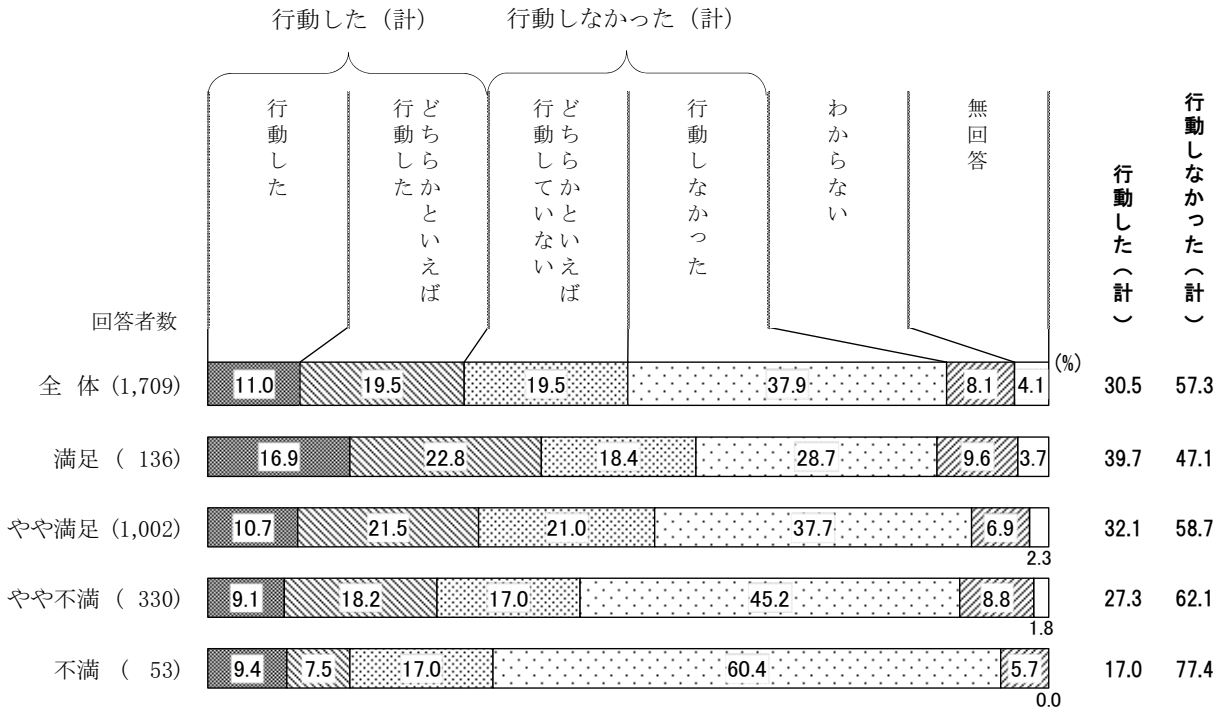
エリアデザインの地域内外で比較すると、【行動しなかった】は、地域内（58.8％）の方が地域外（56.1％）より2.7ポイント高くなっている。

図 11－５－３　エリアデザイン別／区を良いまちにするための行動



次に、『区を良いまちにするための行動』を区政満足度別にみると、満足度が高まるにつれて【行動した】の割合は増加し、『区政満足度』で〈不満〉と回答した層では【行動した】（17.0％）は１割台半ばに留まり、【行動しなかった】は７割台半ばを占めている。『区政満足度』で〈満足〉と回答した層では【行動した】は約４割となり、【行動しなかった】は４割台半ばと【行動しなかった】が高いものの割合の差は大幅に縮小している。

図11－５－４　区政満足度別／区を良いまちにするための行動



（６）区政についてのご意見、ご要望（自由回答）

問57　区政についてのご意見、ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

区政への意見、要望を自由に記述していただいたところ、618名から延べ778件の回答を得られたので、一部を抜粋してご意見・ご要望を掲載する。

■ 区政全般（98 件）

・ 区画整理（道路拡張や一方通行など)、綺麗な街づくりに力を入れて欲しい。若い世代に人気がある街、地域になる取り組みに期待します。

・ 区役所はコロナのパンデミックによく対応してくれています。彼らのおかげで、弱い人々（年寄り）や病気を持っている人が、この緊急事態宣言下でも安全に過ごせており、また想定よりも死者は少ない状況にあります。また、区からの支援のおかげで経済状況が悪い中でも事業所は経営できており、区民も仕事を続けられています。更に区役所は緊急事態宣言下で忙しいにも関わらず、区民への基本的なサービス・事業は一度も止まったことがありません。足立区はよく働いてくれているので、とても感謝しています。今後も良い仕事を続けてくれることを願っています。

・ ビューティフル・ウィンドウズ、ベジタベなど、他区の手本となるような政策が多く、生活するのに安心できることが20年前に比べてかなり増えました。これからも誇りを持てるような足立区であって欲しいと願います。

・ コロナ禍でワクチン接種券が日程通りに届いたり、期日がしっかり守られるなど、足立区らしいなと感じました。また、問い合わせなどをしても対応を親切にしてくださいました。これからも区民の不安を和らげて、犯罪の少ない、お年寄りがゆっくりと歩ける街づくりをよろしくお願い致します。子育て家庭の支援（貧困等）もお願いします。

・ 足立区の自民党議員によるＬＧＢＴ差別発言があった後に、区が反省し、パートナーシップ制度を導入したことに感動致しました。女性や性的マイノリティの平等への政策を今後も進めていって頂きたいです。

・ 女性区長を誇りに思っています。今までのイメージを払う、ビューティフル・ウィンドウズなど、非常に住みやすい区に着実に変わってきていると思います。強いて言うなら、昨今の状況で仕方ないとは思いますが、足立の花火や舎人公園桜祭り、Ａフェスタなどが中止になってしまい、非常に残念です。来年こそは是非開催できるよう願っています。足立区外からもたくさんの人が来て、区の良いアピールにもなると思います。今後も近藤区長頑張ってください。応援しています。

■ **交通機関・道路の整備（75件）**

・ 竹ノ塚駅の高架化を早く進めてください。そして、駅に様々なお店が入り、活気ある街づくりに期待しています。私達は意見することはできますが、直接行動はできないので、今よりもっと足立区が発展して欲しいと願っています。

・ 高齢者や弱者が安全安心に歩行できる歩道の整備を実施して欲しい。幅員が狭い歩道、歩道の中に高低差があるもの、車道に出る所の急勾配の解消、歩道に樹木が植えられている周りの安全対策、自転車との共存ができる安全対策、歩道がない所でのガードレールやガードパイプの設置、よろしくお願いします。

・ 車道と歩道の区別がなっていない道路もあり、しかも狭い。その道路を通るたびに怖い思いをする所がある。年末になると、やらなくてもよい様な道路工事をするのだったら、そういう所を考え直して欲しい。

・ 西新井駅の東口側と西口側の連絡通路のようなものを作って欲しい。自転車で反対側へ行こうとすると、かなり大回りしなければならず不便である。

・ 医療施設や区役所など、足立区内のどこからでもどこへでも、誰でも行けるように交通機関を充実させて頂きたい。駅や商業施設にも、公共交通機関を利用して行けるようにして頂きたい。車や自転車に乗らない、乗れない人がいることを忘れないでください。

■ 区のイメージ（74件）

- 非常に住みやすいので満足していますが、世の中では「足立区」の評判が悪いため、「どこに住んでいるの？」と聞かれた時は、「千代田線沿い」などのように工夫せざるを得ない時がある（相手にもよるが）。これを何とかして欲しいですね。
- 足立区は治安が良くなったと言われますが、人々の認識には時間がかかると思います。長く継続し、23区内で上位になる様に切に願います。
- 「区に誇りを持っている」方が10年で23ポイントアップとのことですが、区外の方のイメージはそれ程変わっていないと思います。事情があって、この区に住むことになりましたが、できれば足立区在住とは言いたくありません。区政の充実から始めて、他のイメージアップに繋がっていけばいいなと思います。
- 僕は産まれた時から足立区民で、これまでずっと住んできたので、自分ではすごく好きな町です。一方、足立区外に住んでいる友人達は、足立区のイメージはまだ悪いと思っている人達ばかりです。昔のイメージをくつがえすのはとても難しいことだと思いますが、足立区がより良い町になるよう、僕も自分なりにできたらいいなと思いますので、皆で頑張りましょう。
- 足立の花火大会のような他の区からも注目されるイベントでもっと足立区をアピールして欲しい。完全に他の区に負けていると思う。面積の広さや川をいかしてアピールできることはもっと多くあるはず。所得の少ない人が住みやすい街を目指すのではなく、働く人が住みやすい街も目指して欲しい。
- ここ数年の犯罪件数の減少やイメージアップの成功など、実績と区政の行動力、スピードに今後も期待しています。

■ コロナ対応・対策（70件）

- 今回、ワクチンの予約が取りづらく、対応も少し遅かったように思います。職員の方々に不満はありませんが、お知らせの案内、システムが問題あるように思います。避難場所も住民が多く収容できないと思います。現実に役立つ情報発信をして欲しいです。ぜひ税金を有意義に役立ててください。
- コロナワクチン接種、選挙投票校で日時、年齢指定でできなかったのでしょうか。指定された時に行けない人が予約して行くようにしたら良かったのでは。電話が繋がらず、ネットを使いこなせない年配者には大変でしたよね。
- 現在はコロナ感染で全国民が大変な時期と思いますが、ワクチン接種券が届き、電話をしても通じない。困りました。65歳以上全員ではなく、年代別に80代、70代、65歳～とかに分けて送付した方が良かったと思います。
- 現在、一番困っているのはワクチン接種の予約です。他の区ではもっと効率良く予約を取る方法も聞くので、足立区が何故、アクセスすらできない日が続くのか疑問です。大学も増えて以前よりイメージが良くなりつつあるので、それに伴って、生活に密着した部分でもっと暮らしやすい区になるように願っております。
- 今回のコロナワクチン接種についての区の対応は評価できるものと思っています。予約、空き情報などわかりやすく、若者ではない私でも予約が取りやすかったです。また、窓口を設けたことも良かったと思います。今後も住民のニーズに応えた区政を願っています。

■ この調査について（56件）

- ここに記入するにはスペースが足りないと思います。区政について、気軽に意見や相談ができる所があれば嬉しいです。
- こういった調査は、オンラインでも実施できるようにするべきだと思う。オンライン回答の場合、冊子にＩＤとパスワードを同封するなど。
- アンケート項目が多すぎる。多すぎるので回答もいい加減になりがち。もっと簡潔にすべき。
- パソコンやスマホを持っていないので、ＨＰでと言われても困ってしまう。

・　足立区で行っている事業などほとんど知りませんでした。すみません。このアンケートにより、あだち広報などの情報網に興味を持って、足立区のことを知っていきたいと思います。

■ 広報・情報公開（42件）

・　インターネットへのアクセスはしないため、“あだち広報”や“トキメキ”など、アナログで情報提供して欲しい。

・　あだち広報はレイアウトが非常にわかりやすいです。発行頻度も多く、区政の事が逐一わかるように工夫されていて、素晴らしいです。今後の区政も大いに期待しています。

・　インターネット等を使用しない高齢者等は、色々な情報がほとんど入ってこない。区として、現在取り組んでいる事や今後の施策、税金がどういったことに使われているのかなど、内容を見える化して欲しい。区民として自分が利用できるサービスや、どんな生活支援等があるのか知りたい（広報だけしか見ていない)。

・　福祉や各種の支援に対する情報がわかりづらく、支援が受けられることを知らないままになっているケースが多いと思います。申請が可能な場合や期限が失効する際は、行政からの通知が頂けると良いと思います。また申請のやり方なども高齢者がわかりやすいような案内や書類が欲しいです。

■ 都市対策・基盤整備（37件）

・　娯楽施設と大型デパートをもっと増やして欲しい。家が密集しすぎて、見ていて息苦しさを感じるので、古い家をなくして、全体を広々とした街空間を作って欲しい。

・　無電柱化を早く進めて欲しい。道幅を広くし、区画をきれいにして欲しい。駅前の施設を充実して欲しい。大きくて近代的な図書館を作って欲しい。大きな病院を増やして欲しい。

・　区外の人から足立区は貧乏区と言われたので、企業や学校など、更なる誘致をし、うるおいのある足立区にして欲しいです。区長の学校や病院を足立区に持つという目標は達成されつつあると思いますが、今に留まらず、上を目指して欲しいです。西新井駅を安全な駅にしてください。地震が来たら崩壊する。汚い。西新井開発エリアなのに、あの駅はあり得ません。

・　北綾瀬駅は再開発が行われ、活気づいて良いと思うが、街灯が少なすぎるので、設置を進めて頂きたい（特に谷中地域)。綾瀬駅前の元エトセトラの土地を少なくとも一部は商業施設にして頂きたい。足立区は他の区と比べて自然が多く、良いと感じるが、更に多くしても良いと思う。また“綺麗な自然”を作ることで、街が更に良くなると思う。文化施設のリニューアルも街の景観を良くする上で必要だと思う。

・　大学の誘致など、活性化、イメージ向上を目指して頑張っていると思います。今後も企業等、事業者や区民が一丸となって盛り上げていけるような呼び掛けやプロジェクトに期待しています。

・　足立区は公園が多く、木の多い街だと思うので、電柱の地中化や道路整備を行って頂くと、より一層景観の良い街になると思う。

■ 環境対策・公園（33件）

・　公園の固定遊具がどんどんなくなり、禁止事項が多く、子ども達が遊べていない気がします。幼児、小学生が遊べるようになって欲しいです。老人が堂々とゲートボールやスポーツを楽しんでいる場面ばかりで…。

・　足立区には公園がいっぱいありますが、遊んでいる子どももいませんし、避難場所の役目しか果たしていないと思います。少し減らして、敷地を何かに活用できたらと思います。もったいない。

・　遊具の少ない（無い）公園が多々ある。避難所等に指定されているのかもしれないが、鉄棒があまり無いので、鉄棒くらい場所を取らないと思うので設置して欲しい（鉄棒ができない子が多いことも理由に含む)。バスケットゴールの設置もして欲しい。バスケのできる公園が限られていて、子どもが利用できず帰宅した経験があり、あればありがたい。

■ 治安対策（30件）

- 綾瀬駅前の公園に大型モニターが設置されたが、誰も見ていないのに電気代や設備の維持代などで無駄だと思う。これは都の管轄なのかもしれませんが、撤去した方がいいと思います。そんな無駄なお金を使わずに、防犯カメラを増やした方がよっぽどいい。自転車による死亡ひき逃げ事故があったため、そこに防犯カメラがあったら犯人がわかったかもしれません。
- 空き巣や車上荒らし、変質者も相変わらずいるので、防犯対策をもっと強化して欲しいです。
- 青井駅には交番は作らないのですか。どこも駅の近くの交番や警察署がありますが。交番があるのとないのとでは、犯罪の起こりにくさは違うと思います。
- 青パトロールのボランティアの方への評価を上げて頂きたい。深夜など、パトロールされていることに大変感謝しております。

■ マナー（27件）

- 千住の商店街あたりの自転車のマナーが非常に悪い。ベルを鳴らし続けながら乗る人や、邪魔だと罵声を浴びせる人もいる。ほとんどが高齢者。歩道は歩行者優先だと思っていない。たまに警官が４号の交差点などにいるが、もっと駅寄りの方で注意してくれる人がいると良い。
- 信号無視や違法駐車が横行している。よくパトロールしているお巡りさんを見かけるが、注意しているとは思えない。細かいことではあるが、こういうことから治安やマナーが醸成されると思う。
- 歩きタバコ、喫煙所以外での喫煙は、同じ喫煙者として腹が立ちます。最低限のマナーは守って欲しい。難しいかもしれませんが、歩きタバコの取り締まりを強化して欲しい。
- 大学生が深夜にアパートで、道端で騒いでいる姿が目立つ。商業施設でも騒いでいる。迷惑だが注意すると怒られそうで怖い。足立区は大学が多い街とＰＲするなら、学生以外の住民への対策も十分に取ってもらいたい。

■ 生活保護・低所得（25件）

- 年金最低の受給者へ食料の手助けサービスを。生活保護者より食生活で困ることが多い。年１回のサービス位では不満である。せめて２ヶ月おき位でどうでしょうか。
- 介護保険料が都内一高いので、低所得者にはとても苦しいと感じる区です。一般の人が意見や要望を気軽に声を挙げられるのはどこかわかるといいなと思います。
- 生活保護受給者、医療が無料はおかしい。年金受給者の金額が少ないのに。年金の中から国民保険料や介護保険料が引かれている。不正受給者が多いのになぜ、と思います。
- 最近、次第に貧富の差が拡大し、低所得者はますます生活が苦しくなっています。これもコロナによるものと思いますが、低所得者にも何らかの手当をして、少しでも安心安全な生活ができるよう、施策を考えて頂きたいと思います。

■ 防災対策（24件）

- このところ、大量の雨で天候に大きな変化を起こしている。ここは荒川や芝川と本流・支流に近く、相当な水没も考えられる。避難所は広場、学校に限らずもう少し配慮して欲しい。また、防災無線も増やしたらしいが、はっきりとは聞こえず。今一番にすぐに情報が出るとしたら、やはりスピーカーによる早急の対応で、もっと大切な人を守る、近所同士助け合うという所からも考えて欲しい。
- 台風19号の時は、避難先が区の広報で指定した所（学校）に行ったが、学校が閉まっていて入れなかった。後から来た人達が避難できずに困っていたことがあった。今後、避難する時が不安です。
- 避難場所が少ない。特に浸水時が少ない。高齢者は遠くに行けません。

・ 防災行政無線が我が家では全く聞き取れない。テレビ、ラジオなどからの情報で雨、台風などの事を注意している。最近は多分、コロナの情報であろうと推察します。放送される声、音は反響する。時々は立ち位置を移動している状態。本当にイラッ！とするのです。
・ 花畑地区、伊興地区など、毛長川の堤防が何十年とそのままになっている。これからの大雨、豪雨に備えて河川を担当する行政に働きかけをお願いしたい。

■ 子育て支援（23件）

・ 我が家は子どもが３人いますが、とにかく、多子世帯への手厚いサービス、優遇をお願いします。
・ 保育園に入りにくく、母親が社会復帰しづらい。歩道がデコボコで、ベビーカーで通りにくい所が多い。信号のない横断歩道を車が停まらず、小さい子どもが危ないのでパトロールして。ボールで遊べる公園が少ない。
・ 将来を支えていく子ども達の環境（教育、治安、医療など）をさらに充実して頂けたらと思う。足立区は低所得者や高齢者が東京23区内でも多いと思うが、それ以外の現役世代に負担をかけないようにして頂きたいと思う。特に低所得者にとって住みやすい町だと、更に低所得者が区内に転入し、結果的に区の税政が厳しくなるのではないか。
・ 高所得者に対する子育て手当の廃止は見合わせて欲しい。高所得であっても、実家や義実家が遠方で支援が全くない場合（金銭的にも一時的に子どもを預けられるなどの子育ての参加も期待できない）は、区の子育て手当が貴重になってくるため。そこの支援もなくなった場合、社会的に孤立している感覚になります。ご検討ください。

■ 議員・職員（22件）

・ 納税者に対しての支援がほとんどない。区の職員の質が本当に悪い。他区に比べると、比べようがないほど理解度が低く、傾聴する姿勢すら感じられない。個人情報を見られるのだから、電話対応する際も相手を見て、言葉使いから直して、案内までやるべき。なぜなら、返答までに二人は交代する。身なりから、言葉使い、教養レベルが低く、再教育をした方が良いと思う。
・ 学校誘致は良い施策だったと思う。メディカル、教育など他区より飛び抜けて特化した強い施策を期待したい。また、目安箱ではないが、直接区長に声が届く仕組みがあれば良いと思う。区政ではないが、朝の区職員の歩行マナーが非常に悪くて残念。改善して欲しい。
・ 区が何をしているのかもっとわかりやすく、幅広い世代にアナウンスできる様にしてもらいたい。区議の方も何をやりました、ではなく、現在どんな事をしていて、達成状況はどんな感じかをわかるようにしてもらいたい。この問題について、有効にするか無駄にするかは受け取った方次第だと思います。
・ 公務員の方を一般企業で働くイメージで、足立区のために何ができるか積極的に活動して頂きたいです。あの広い区役所がガラーンとした雰囲気でなく、活気のある役所にして欲しいです。

■ 高齢者支援・介護（20件）

・ 年金生活者ですが、生活はしやすいと思います。今まであった支援などがなくなる事がない事を望みます。
・ 生きがい奨励金の終了はガッカリ。コロナワクチンの予約もＰＣやスマホがなければできない。コールセンターも繋がらない。耳が遠ければ、電話も無理。息子がいなければワクチンも打てない。
・ 保険者証がカードサイズで良いですが、高齢受給者証（３割）のサイズをカードサイズに変更願いたい。保険者証と共通化にして１枚にして頂きたい。
・ 足立区は介護保険料が23区の中で一番高いので、後期高齢者医療保険料と同じ様に東京都全体での平均になる様に特にお願いします。

■ 学校教育（18件）

- 子どもの教育、特に学校の進路について選択肢が少なすぎる。特に小・中学校に関しては、区外へ進路を求める必要がある程、魅力に欠けていると思う。せめて、私立校という選択肢が１、２校あっても良いと思う。大学より基礎教育である小・中の充実をして欲しいと願っています。
- 娘からまだオンライン授業の体制が整っていないと聞き、１年以上何をしていたのかと疑念が残る。高齢者が多いのはわかるが、子どもの方を優先して取り組んで欲しい。老い先短い者よりも若者を大事にする姿勢を見せて欲しい。
- もっと子どもの学力向上に力を入れて欲しい。他の区より授業の内容のレベルが低い。
- パソコンの貸し出しが小学校はあるのに、中学校はないのはとても困った。家庭環境はそれぞれなので、子ども達に平等な学習環境を区が整えて欲しい。未来のために子ども達の教育に重点を置く区政をお願いしたいです。
- 大学の誘致は成果があったと思いますが、学力の高い中学、高校も誘致して欲しい。

■ 医療・福祉（12件）

- 荒川区に住んでいた時には、子宮頸がん検診の受診のお知らせが自宅に届いたので、足立区でもお知らせしてもらえたら助かります。
- 安心してかかれる総合病院が近くにないように思われます。高齢者が一ヶ所で自分の身体の状態がわかればいいのにと思います。子どもには優しい区のような気がしますが、もう少し高齢者にも優しい区になって欲しいです。
- 現在、国民健康保険へ加入していますが、足立区内に健診ができる病院が少ない。エリアに片寄りがある。区外の病院でも受診できると良い。
- 子どもの医療費は考えた方がいい。調剤薬局で働いているが、同じ日に同じ症状で２つの病院にかかったり、１ヶ月間の間に５、６回同じ病院にかかっている人がたくさんいる。お薬手帳を見ると、薬を無駄にしている人達がたくさんいる。無償にするならば、一度支払いをして、後日、役所等で返金するなど、少し考えを変えた方がいい。必ず検討して欲しい。

■ 住宅問題（空き家等）（11件）

- 足立区は本当に進化したと思います。しかし、高齢化社会になっており、空家住宅も目立ってきて、手放しでは安心できるという思いにはもう少しかな？千住地区の開発はすばらしいと思いますが、まだまだ、足立区全体を見ると、見直しできる地区はたくさんあると思います。今後もより足立区が住み良くなる様に、よろしくお願い致します。
- 古い区営住宅を早く建替えて欲しい。エレベーターが付けられないため、高齢者が不自由している。
- 私は都営団地に住んでいます。たくさんの空家があります。空家をもう少し何かで利用できませんか。もったいないです。

■ 税金（8件）

- 税金の無駄遣いはやめて欲しい。生きがい奨励金は続けて欲しい。皆さん楽しみにしている方が多いはずです。
- 区民税が高すぎると思います。
- 区民の税金の使い方を真剣に考えて欲しい。ムダが多いと感じる。

■ 資源環境・ゴミ対策（7件）

・ 近所を歩いていると、街路樹の下や遊歩道、高圧電線鉄塔内などにたくさんポイ捨てゴミを見かけます。私の住んでいる道路の反対側の雑草の生い茂っている所にも、通行人がゴミを捨てるので大変困っています。私達、近所の住人が毎回拾って処分しています。ポイ捨てゴミをなくすために、足立区でポイ捨てした人に対し、罰金制度を設けて頂きたい。

・ 舎人３丁目付近、防犯カメラを増やして欲しい。私道のゴミ捨て場に不法投棄が多いので困っています。

・ 粗大ゴミで電化製品も扱って欲しいです。

■ スポーツ施設等（6件）

・ 地域学習センターの体育館をよく利用させて頂いております。子どもが運動、スポーツに親しむ機会を多くして欲しいと思います。竹ノ塚の学習センターにも体育館を設置して欲しいです。総スポは、個人利用の受付で、利用者が多い場合、相談する機会もなく、抽選にもれると帰らざるを得ません。

・ 子どもの遊ぶ場所が少ない。特にボール遊びができる場所が近くになく、コロナ禍で子どもも我慢を強いられている中、好きな遊びすら公園でできないことがとても不憫でならない。思いっきりボール遊びができる場所を作って欲しい。公園に広いグラウンドがあっても、ボール遊び禁止なんて、何のためのグラウンドなのか意味がわからない。学区域外の公園でボール遊びをすると、学区域外の公園には行かないようにと学校で注意される。亀田公園（梅田８丁目）のグラウンド活用を考えてください。

・ 演奏の練習が気軽にできる場所が増えたら嬉しいです。スポーツ、演奏、絵画など、たくさん触れる機会があると良いと思います。色々なことを見たり聞いたりすることで可能性が広がり、足立区からより多くのスターが生まれるのではないかと思います。

■ ひとり親世帯視点（5件）

・ 離婚して実家のある足立区に来ました。子どものはばたき塾、親子支援、児童扶養手当、フードパントリーで大変ありがたかったです。

・ 一人親家庭の支援をもっとして頂きたい。大学に行けるよう力を入れてもらいたい。犯罪（下着を盗まれるなど）などをきちんとパトロールしてもらいたい。

・ 母子家庭で二人目も大学進学する際の支援、情報がわかりにくい。相談窓口で母子家庭で大学へ二人行く人は少ないなど、前向きではなかった。未来の区政のため、子どもに進学の希望を。

■ 多文化共生施策（3件）

・ 近年の国際化における足立区民の外国人向けサービスを充実させると、ますます発展していくと思います。

・ 外国人の人を地元の人に溶け込ませて欲しいです。

■ その他（43件）

・ 他区・他県との境付近の住民のため、各種サービスについて他区・他県との連携を取って頂けるとありがたいです。例えば、地域商品券の使用可能範囲など。

・ 区の活動、住民に貢献できるボランティアに協力したい気持ちがありますが、具体的にどうすれば良いのか紹介、アドバイスを貰える窓口があるといいと思います。

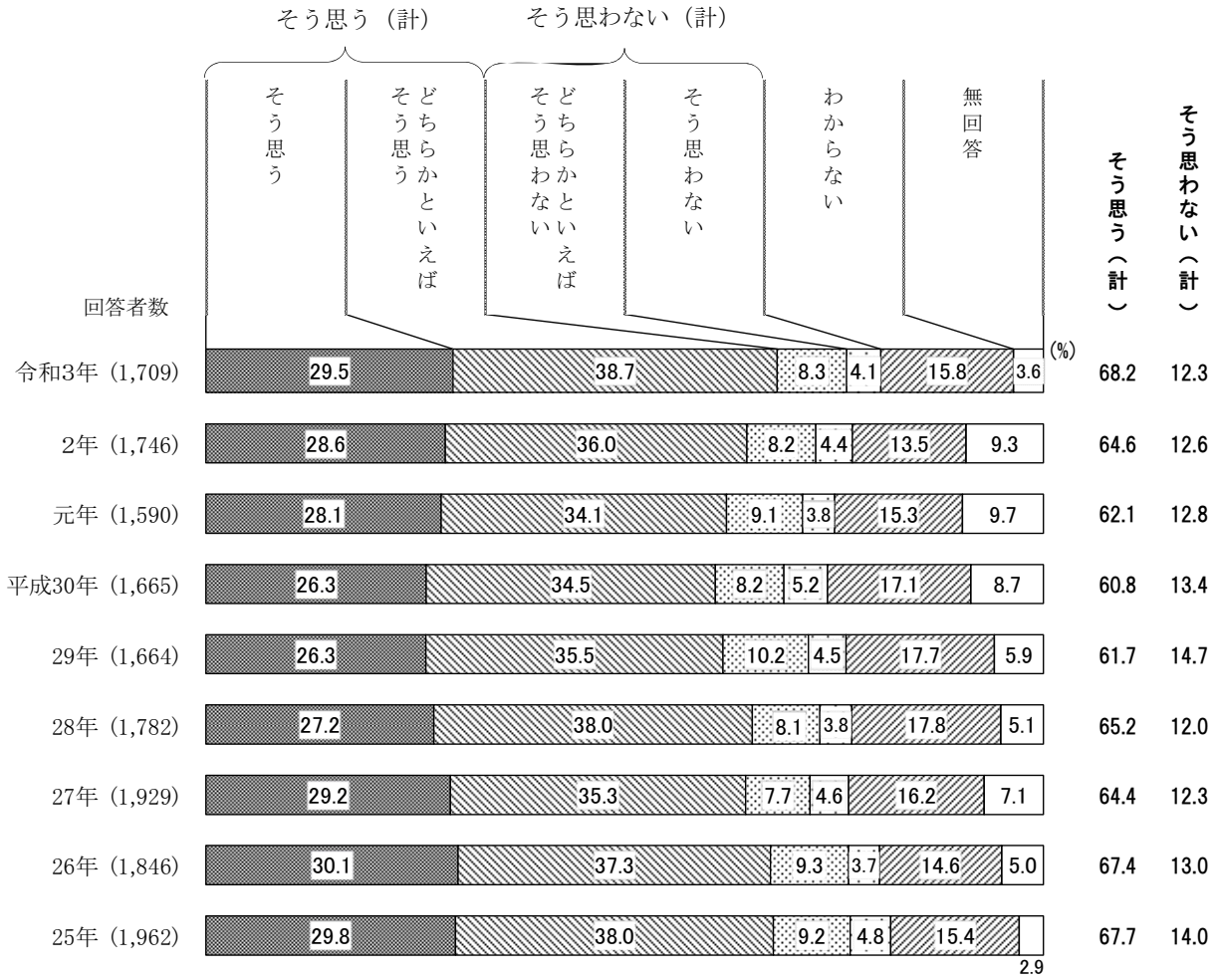
・ 他区と比べると子どもが伸び伸びしていて、とてもいい町だと感じています。問55－１でも書きましたが、働き盛りの世代のコミュニティはほぼないと感じているので、何かきっかけが欲しいと感じました。

（７）本調査内容の区民ニーズ・意識把握に対する有効度

■　本調査を有効な内容だと思う人は７割弱、一方、そう思わない人は１割強

問58　多数の質問にお答えいただき、ありがとうございました。最後におうかがいします。
今回の質問内容は、区民のニーズや意識を把握するうえで有効な内容だと思いますか
（○は１つだけ）。

図11－７－１　経年比較／本調査内容の区民ニーズ・意識把握に対する有効度



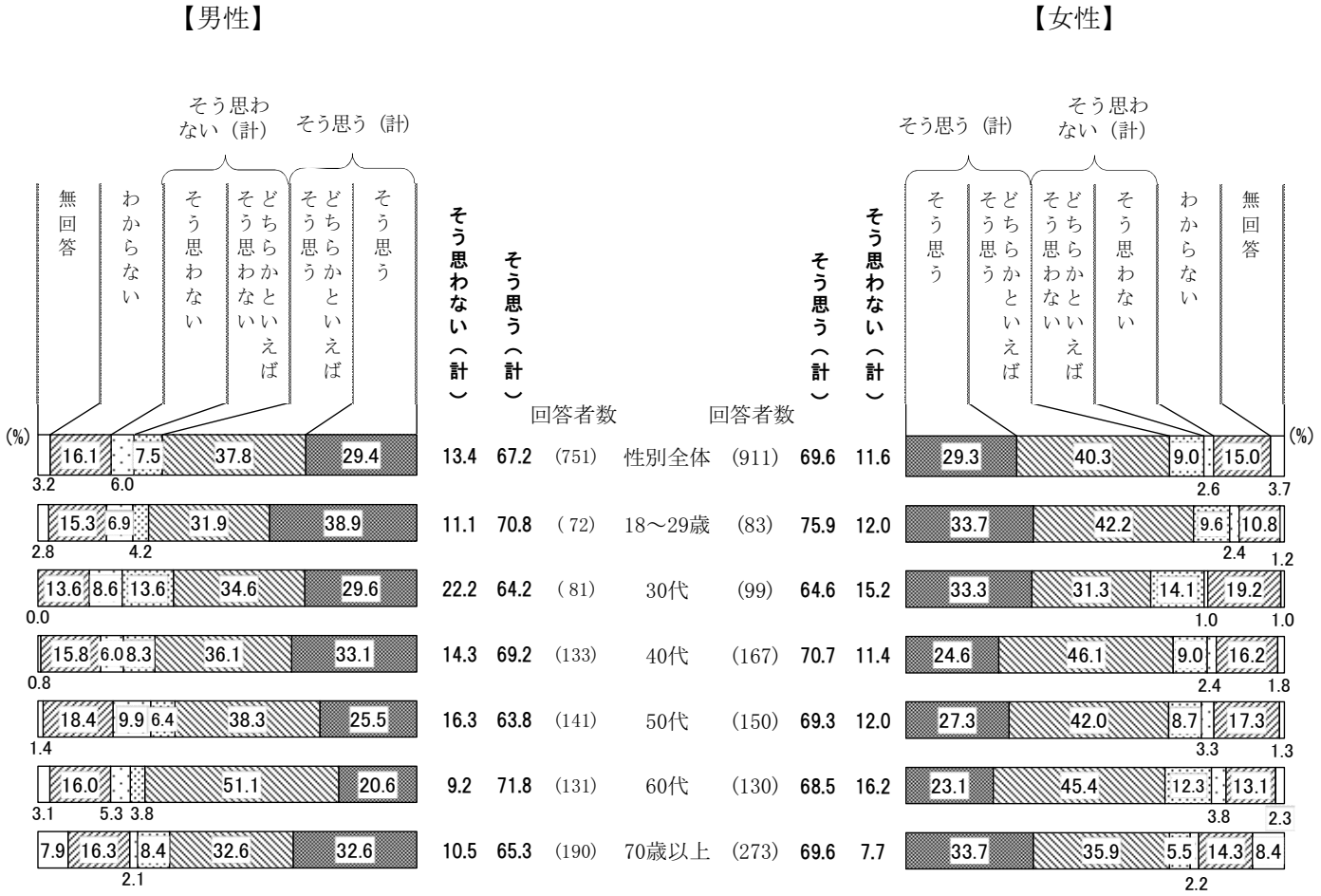
本調査の質問内容が、区民ニーズや意識を把握するうえで有効かを聴いたところ、「どちらかといえばそう思う」が38.7％で最も高く、次いで、「そう思う」が29.5％となっている。これらを合わせた【そう思う】は７割弱となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」（8.3％）と「そう思わない」（4.1％）を合わせた【そう思わない】は１割強となっている。

経年でみると、【そう思う】は前回より3.6ポイント増加しており、平成30年調査以降は漸増している。

性別でみると、【そう思う】は女性（69.6%）の方が男性（67.2%）より僅かに2.4ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【そう思う】は、女性の18～29歳で75.9%と最も高く、男性の18～29歳と60代、女性の40代で７割から７割強と高くなっている。一方、【そう思わない】は、男性の30代で22.2%と最も高くなっている。

図11－７－２　性別、性・年代別／本調査内容の区民ニーズ・意識把握に対する有効度



第４章　使用した調査票

令和３年度（第50回）足立区政に関する世論調査

ご回答にあたって

１　調査の回答は、あて名のご本人がご記入くださるようお願いします。
２　ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
３　お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
４　質問によっては、回答していただく方や○をつける数を指定しておりますので、（　）内のことわり書きをよくお読みください。
５　「その他」にあてはまる場合は、（　）内にできるだけ具体的にその内容をご記入ください。
６　この調査票は、無記名式となっています。調査票と返信用封筒には、ご住所・お名前をご記入いただく必要はありませんので、記入なさらないようお願いします。
７　このページの右上の「地域No.」は、区内を15の地域に分けて分析する際の区別のために用いるもので、これによってお名前やご住所が判明するということはありません。
８　お聞かせいただいたご意見は、すべて個人が特定できないよう統計的に処理します。お名前や個別のご意見の内容などがそのまま公表されることは決してありませんので、ぜひ率直なご意見をお聞かせください。

ご記入が終わりましたら

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒にて、９月１０日（金）までにご投函ください（切手を貼る必要はありません）。

なお、調査の内容、考え方、記入のしかたなどについて、わからないことがございましたら、下記までご連絡ください。

［調査主体］　足立区 政策経営部 広報室 区政情報課
区政情報係
足立区中央本町1-17-1
［お問合せ先］お問い合わせコール　あだち
０３―３８８０－００３９
（受付時間：午前８時～午後８時／１月１日から３日を除く毎日）
［調査受託機関］株式会社 サーベイリサーチセンター

※　調査票内の集計母数について
特にサンプル数表記のない設問は、全数ベース（回答者数1,709）で集計しており、母数の記載を割愛した。一部の該当設問については、設問ごとに回答者数を表記した。

これからお聞きすることは、お答えいただく内容を統計的に分類するための質問です

Ｆ１　あなたの性別は、次のどちらですか（○は１つだけ）。

１	男　性	43.9%	２	女　性	53.3	３	どちらでもない	0.1	無回答	2.6

Ｆ２　あなたは、何歳ですか（○は１つだけ）。

	18～19歳	0.5%	5	40～44歳	7.7	10	65～69歳	7.5
1	20～24歳	3.9	6	45～49歳	9.9	11	70～79歳	18.3
2	25～29歳	4.8	7	50～54歳	9.0	12	80歳以上	9.2
3	30～34歳	5.0	8	55～59歳	8.1		無回答	2.8
4	35～39歳	5.6	9	60～64歳	7.8			

Ｆ３　あなたは、足立区に住んで何年になりますか（○は１つだけ）。

１	１年未満	3.2%	３	３～５年未満	4.6	５	10～20年未満	12.5
２	１～３年未満	3.9	４	５～10年未満	7.2	６	20年以上	66.4
							無回答	2.3

Ｆ４　あなたのお住まい（住居）は、次のどれにあたりますか（○は１つだけ）。

１	一戸建て持家	42.9%	６	社宅・公務員住宅・寮	0.9
２	一戸建て借家	1.5	７	間借り・住み込み	0.2
３	分譲マンション	20.1	８	その他	0.4
４	賃貸マンション・アパート	20.4		無回答	2.5
５	都市再生機構（旧公団）・公社・都営住宅・区営住宅	11.2			

Ｆ５　あなたの職業は、次のどれにあたりますか（○は１つだけ）。

１	自営業・事業主	8.8%	５	主に家事に従事（専業主婦など）	10.7
２	自由業（開業医、弁護士、芸術家など）	0.5	６	学　生	2.6
３	会社員・公務員	36.7	７	無　職（年金生活を含む）	23.1
４	パート・アルバイト	13.6	８	その他	1.5
				無回答	2.5

（F5で「１」～「４」または「6」か「8」とお答えの方に）

Ｆ６　あなたの就労場所（就学場所）は、次のどれにあたりますか（○は１つだけ）。

回答者数 1,089

１	自　宅	7.1%	４	23区以外の東京	3.6
２	足立区内	29.4	５	茨城、神奈川、埼玉、千葉	9.7
３	足立区外の東京22区	45.6	６	その他	2.9
				無回答	1.7

Ｆ７　現在、あなたと一緒に暮らしている方はどなたですか（○はあてはまるものすべて）。

１	ひとり暮らし	17.8%	４	祖父・祖母	1.6	７	兄弟・姉妹	6.7
２	配偶者	57.2	５	子ども	40.0	８	その他	2.0
３	父・母	16.6	６	孫	2.6		無回答	2.4

Ｆ８　あなたご自身は、次の１から１２のどれにあたりますか（○は１つだけ）。

※「子ども」は同居・別居を問いません。

◎ 独身で子どもがいない　・・・・・・・・・・・・・・・		1	25.0%
◎ 離別・死別などにより配偶者はいないが子どもがいる			
	一番上の子どもが小学校入学前　・・・	2	0.2
	一番上の子どもが小学生　・・・・・・	3	0.2
	一番上の子どもが中学生　・・・・・・	4	0.3
	一番上の子どもが高校・大学生　・・・	5	0.8
	一番上の子どもが学校卒業　・・・・・	6	9.1
◎ 配偶者がいて子どもがいない　・・・・・・・・・・・		7	11.2
◎ 配偶者がいて子どもがいる			
	一番上の子どもが小学校入学前　・・・	8	5.6
	一番上の子どもが小学生　・・・・・・	9	4.9
	一番上の子どもが中学生　・・・・・・	10	2.5
	一番上の子どもが高校・大学生　・・・	11	5.3
	一番上の子どもが学校卒業　・・・・・	12	24.4
	無回答		10.5

次のページからも引き続きお答えください　⇒

Ｆ９　足立区では、「綾瀬」「北綾瀬」「六町」「江北」「花畑」「千住」「竹の塚」「西新井・梅島」のゾーン・エリアにおいて、新しいまちづくりを進めています。あなたのお住まいは、下段枠内の１～９の選択肢のうち、どの範囲に入っていますか（○は１つだけ）。

１	綾瀬ゾーン（綾瀬１～７、東和１・３、東綾瀬１～３）	7.1%
２	北綾瀬ゾーン（加平１～３、谷中１～４、大谷田４、東和５）	4.6
３	六町エリア（西加平１～２、一ツ家２～４、六町１～４、保塚町、南花畑１～３、北加平町、神明南１）	4.6
４	江北エリア（江北１～７、椿１～２、堀之内１～２、西新井７、西新井本町２、扇３）	4.7
５	花畑エリア（花畑１～７、保木間４～５）	3.9
６	千住エリア（千住関屋町、千住曙町、千住東１～２、千住旭町、柳原１～２、日ノ出町、千住橋戸町、千住河原町、千住仲町、千住緑町１～３、千住宮元町、千住中居町、千住龍田町、千住桜木１～２、千住１～５、千住大川町、千住寿町、千住元町、千住柳町）	11.5
７	竹の塚エリア（竹の塚１～７、西竹の塚１～２、六月１～３、栗原２・４、西保木間１～４、伊興１～５、伊興本町１～２、東伊興１～４）	10.6
８	西新井・梅島エリア（梅島１～３、梅田５～８、西新井栄１～２、関原３、島根３、栗原１・３）	9.8
９	その他（お住まいの町丁が１～８のゾーン・エリア以外の場合）	40.2
	無回答	2.9

お住まいの地域について、おうかがいします

問１　あなたは、お住まいの地域について、どのように感じていますか（○はそれぞれ１つずつ）。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
ア　自転車利用者の交通ルール、走行マナーが良いと感じる	4.8%	25.7	29.8	34.6	2.3	2.8
イ　快適で安全なまちである	9.5	52.0	22.4	11.2	2.5	2.3
ウ　景観・街並みが良好である	10.2	42.8	26.6	15.5	2.1	2.7
エ　まちなかの花や緑が多い	18.4	44.5	22.0	11.7	1.4	2.0
オ　ごみがなく地域がきれいになったと感じる	13.2	45.1	22.4	12.8	4.0	2.6
カ　不法投棄が減少したと感じる	12.7	41.8	19.5	11.5	12.6	1.9
キ　落書きが減少したと感じる	23.5	46.6	8.3	4.2	15.4	2.0
ク　普段の買い物が便利である	42.5	37.3	9.8	8.1	0.4	1.9
ケ　通勤や通学などの交通の便が良い	32.4	36.5	15.0	11.2	2.5	2.4
コ　よく行く、または行きたい公園がある	21.1	29.3	20.2	17.8	9.0	2.6
サ　子育て環境（保育所、学童クラブなど）が整っている	13.2	34.6	12.1	5.5	31.4	3.3
シ　地域の施設（建物や道路など）は、高齢者や障がいのある方なども利用しやすいよう配慮されている	7.3	32.5	25.3	11.6	21.3	2.0
ス　地域の人々が、日常生活で高齢者や障がいのある方などに配慮している	4.4	32.4	24.9	9.8	26.0	2.5
セ　男女が対等な立場で意思表示や活動ができ、また責任も分かちあっている	4.6	29.3	19.4	8.0	36.0	2.7
ソ　国籍、文化などが異なる人々がともに暮らしやすいまちである	6.1	37.3	16.7	6.3	31.1	2.5
タ　人権課題である「障がい者」「子ども」「女性」「インターネットによる人権侵害」について、偏見や差別がない	4.3	26.1	18.5	9.6	39.3	2.2

問２　問１を踏まえてお聞きします。あなたは、あなたのお住まいの地域について、暮らしやすいと感じていますか（○は１つだけ）。

１　暮らしやすい	30.0%	３　どちらかといえば暮らしにくい	11.4
２　どちらかといえば暮らしやすい	55.2	４　暮らしにくい	2.0
		無回答	1.5

（問２で「３　どちらかといえば暮らしにくい」または「４　暮らしにくい」とお答えの方に）

問２－１　特に暮らしにくいと感じることは何ですか（○は３つまで）。　回答者数 228

１　住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと	47.4%
２　地域の人間関係が希薄なこと	19.3
３　治安が良くないこと	27.2
４　自然が少ないこと	6.6
５　災害対策が不十分なこと	12.3
６　交通の便が悪いこと	39.0
７　職場や学校から遠いこと	6.6
８　買い物がしにくいこと	30.3
９　子育て環境が悪いこと	6.1
10　教育環境が整っていないこと	3.5
11　家の広さなどの居住環境が悪いこと	16.2
12　公共施設や介護・医療施設が不十分なこと	14.5
13　行政のサービスが良くないこと	14.0
14　その他	6.1
無回答	1.3

問３　あなたは、足立区に今後も住み続けたいと思いますか（○は１つだけ）。

１　ずっと住み続けたい	36.0%	３　区外に転出したい	6.1
２　当分は住み続けたい	44.0	４　わからない	12.5
		無回答	1.3

大震災などの災害に備えていることについて、おうかがいします

問４　あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料などの備蓄や防災用具などの用意をしていますか（○は１つだけ）。

１　災害に備えて食料の備蓄や防災用具などを用意している	25.9%
２　特に災害対策としてではないが、一定量の飲食物などの買い置きはある	47.1
３　特に用意していない ⇒次ページの問５へお進みください	23.5
無回答	3.5

（問４で「１　災害に備えて～」または「２　特に災害対策としてでは～」とお答えの方に）

問４－１　備蓄や防災用具、買い置きなどの内容を教えてください

（○はあてはまるものすべて）。回答者数 1,247

１	水	92.2%	
２	食料（缶詰、アルファー米、インスタント食品など）	90.3	
３	あかり（ろうそく、懐中電灯など）	80.0	
４	情報収集手段（携帯ラジオなど）	51.2	
５	医薬品（常備薬を含む）	47.8	
６	衣類	27.4	
７	生理用品	22.6	
８	簡易トイレ	34.1	
９	電池・予備バッテリー	54.7	
10	消火器	23.4	
11	ペット対策用品（ケージ、エサなど）	10.3	
12	水の確保用品（ポリタンク、水袋など）	31.3	
13	救助用工具（バール、ハンマーなど）	10.7	
14	ヘルメット	17.2	
15	救急セット	25.3	
16	避難ロープ	6.6	
17	防災袋（非常用持出袋）	33.3	
18	その他	3.8	
	無回答	0.5	

（問４－１で「１　水」または「２　食料」とお答えの方に）

問４－１－１　あなたのご家庭では、「水」と「食料」の備蓄の量はどれくらいありますか。

「水」「食料」いずれかの備蓄がない場合は、その項目についての回答は不要です

（○はそれぞれ１つずつ）。

※　水は大人１人１日３リットルで計算。水、食料は日常の買い置きなどを含みます。

ア 水 回答者数 1,150　／イ 食料 回答者数 1,126

	１週間分以上	３日分以上１週間分未満	１日分以上３日分未満	１日分程度	１日分未満	無回答
ア　水	9.8%	29.0	43.1	12.6	4.4	1.0
イ　食料	8.8	30.0	44.2	12.9	3.4	0.7

《 問６へお進みください 》

問５は、問４で「３　特に用意していない」とお答えの方におうかがいします

問５　災害が発生した場合、水や食料をどのようにして確保するつもりですか（○は１つだけ）。

回答者数 402

１	知人、親戚からもらう	2.2%	４	通常どおりスーパーなどで購入する	33.6
２	区役所からもらう	3.0	５	その他	6.2
３	避難所でもらう	22.1	６	考えていない	31.1
				無回答	1.7

ここから再び、すべての方におうかがいします

問６　あなたのご家庭では、つっぱり棒や壁止め金具などにより家具類（※）の転倒・落下・移動防止対策を行っていますか（○は１つだけ）。

※　家具類とは、タンス、食器棚、冷蔵庫、電子レンジ、ピアノ、本棚、テレビ、パソコン機器などを指します。

１	すべての家具類に対策を行っている	4.7%	３	対策をしている家具類は少ない	33.8
２	対策をしている家具類が多い	26.4	４	対策を行っていない	31.1
				無回答	3.9

（問６で「３　対策をしている家具類は少ない」または「４　対策を行っていない」とお答えの方に）

問６―１　どのような理由からですか（○はあてはまるものすべて）。　回答者数 1,110

１	方法がわからない	14.0%
２	金具などが高価である	8.8
３	家具にキズをつけたくない	9.3
４	建物の壁にキズをつけたくない	24.1
５	建物に取り付ける場所がない	12.5
６	室内に危険性のある家具類がないため不要である	25.8
７	面倒である	26.3
８	手が届かないなど、手助けがないと取り付けができない	14.9
９	地震で家具が倒れたり移動するとは思わない	6.4
10	（賃貸のため）勝手に取り付けられない	19.5
11	その他	5.9
	無回答	2.5

問７　大震災などで大規模な災害が発生した場合に、危険から身を守る、以下のア～ウのあなたの地域の避難場所とその意味を知っていますか（○はそれぞれ１つずつ）。

		知っている	なんとなく見当がつく	知らない	無回答
ア　一時集合場所	意 味	27.9%	34.2	21.5	16.4
	あなたの地域の場所	32.4	34.0	22.5	11.1
イ　避難場所	意 味	31.0	33.6	17.7	17.7
	あなたの地域の場所	36.3	35.1	18.6	10.0
ウ　第一次避難所	意 味	21.8	28.5	31.7	18.1
	あなたの地域の場所	23.3	30.4	33.1	13.2

（問７のいずれかで「１　知っている」とお答えの方に）

問７―１　それぞれの避難場所をどのように知りましたか（○はあてはまるものすべて）。

回答者数 809

１	あだち広報	31.9%
２	インターネット（区のホームページ、A-メール、ツイッター、フェイスブック）	14.2
３	足立区防災ナビ	21.3
４	あだち防災マップ＆ガイド	48.6
５	公園などに設置している表示板・標識	28.1
６	ポスター、チラシ	4.2
７	区が配布した資料	21.5
８	町会・自治会の掲示板・回覧板	22.0
９	新聞（区内紙）	2.0
10	J:COM足立（ケーブルテレビ）	0.9
11	防災訓練	10.5
12	人から聞いた	9.6
13	その他	3.7
14	覚えていない	3.2
	無回答	1.5

問８　大規模な災害が発生し家屋の倒壊などにより自宅で生活できない場合、どこで生活しようと考えていますか（○は１つだけ）。

１	避難所	49.6%	４	車や公園など	6.6
２	別居している家族や親戚の家	26.5	５	その他	2.2
３	友人・知人などの家	2.3	６	考えていない	11.2
				無回答	1.6

問９　あなたが、大地震の際の防災対策として、足立区に特に力を入れてほしいと考えていることは何ですか（○は５つまで）。

※　災害時における要配慮者とは、高齢者、障がい者、外国人、難病患者、乳幼児、妊産婦など、災害発生時に避難行動を取る際や、避難所における生活などにおいて、特に配慮を要する方々を指します。

１	町会・自治会などへの地域の防災力向上に係る支援	19.8%
２	子どもへの防災教育の充実	10.1
３	講演会などによる普及啓発や区主催の訓練	1.9
４	耐震診断・耐震改修事業などの促進	15.8
５	木造密集地域など災害危険箇所の解消	13.6
６	ライフラインやエネルギーの確保	60.2
７	関係機関・他自治体などとの応援体制の充実	10.5
８	災害に関する情報提供体制の充実	23.4
９	災害時医療体制の充実	45.5
10	帰宅困難者対策	17.4
11	避難所の管理運営体制の充実	21.6
12	避難所施設の設備などの充実	40.0
13	災害時における要配慮者（※）対策の充実	11.9
14	女性の視点に立った防災対策	14.5
15	災害時のペット対策	11.9
16	水・食料の備蓄の充実	55.6
17	非常用トイレの確保など衛生対策の充実	60.8
18	その他	1.8
19	特にない	1.2
	無回答	2.2

洪水対策について、おうかがいします

足立区は低地で平らな土地であるため、台風などの大雨により河川がはん濫すると、最大で5mの浸水被害が起こる可能性があります。

問10　あなたは、足立区が発行（区のホームページにも掲載）している「足立区洪水ハザードマップ」をご覧になったことがありますか（○は１つだけ）。

１	見て、自宅の浸水深を確認した	28.7%	４	そのような地図はみたことがない	12.4
２	見て、内容は確認した	25.2		無回答	3.1
３	見たが、内容までは覚えていない	30.6			

問11　あなたは、河川がはん濫する恐れがある場合、避難する場所を事前に決めていますか
（○は１つだけ）。

1　決めている（自宅にとどまる場合も含む）	77.9%	2　決めていない	19.8⇒ 下段の問11-2へお進みください
		無回答	2.2

（問11で「1　決めている（自宅にとどまる場合も含む）」とお答えの方に）

問11―1　あなたが、避難する場所はどこですか（○は１つだけ）。　回答者数 1,332

1	自宅にとどまる（自宅内の高い階への移動を含む）	62.9%	5	車や公共交通機関で浸水しない地域へ行く	1.8
2	区内の親戚や知人の家	4.4	6	近くにある高い建物	5.9
3	区外の親戚や知人の家	2.6	7	その他	0.8
4	近隣の小・中学校など区が開設する水害時の避難所	20.8		無回答	0.8

（問11で「2　決めていない」とお答えの方に）

問11－2　避難する場所を決めていない理由はなんですか（○は１つだけ）。　回答者数 339

1	避難する場所がわからないから	46.6%	4	河川のはん濫は起こらないと思っているから	16.2
2	近くに避難できる場所がないから	13.3	5	その他	15.6
3	自分や家族だけで避難することができないから	6.2		無回答	2.1

問 12　河川がはん濫して、浸水被害になるような大洪水が迫っている場合、以下のア～カまでの情報を知ったとき、あなたは避難しますか（自宅内の高い場所への移動も含む）。
（○はそれぞれ１つずつ）。

	避難する	避難しない	わからない	無回答
ア　数時間後に暴風雨で外出できなくなると見込まれたとき	30.5%	46.5	15.3	7.7
イ　近所の人が避難をしているのを見たとき	42.1	26.2	22.4	9.4
ウ　足立区に大雨・洪水警報が出たとき	28.1	47.7	16.3	7.9
エ　区から高齢者等避難が発令されたとき	34.6	42.0	15.9	7.5
オ　区から避難指示が発令されたとき	68.6	13.1	10.9	7.4
カ　自宅付近が浸水したとき	64.5	15.4	11.9	8.1

区の情報発信のあり方について、おうかがいします

足立区では、あだち広報やホームページ、メール配信システム（A-メール）などで区の情報を発信するほか、平成25年度からはツイッターやフェイスブックによる情報発信も開始しました。

問13　あなたは、足立区に関する情報をどのような手段で入手していますか
（○はあてはまるものすべて）。

1	あだち広報	70.0%	10	町会・自治会の掲示板・回覧版	29.4
2	トキメキ	29.1	11	新聞（区内紙、一般紙）	12.6
3	区のホームページ	30.4	12	テレビ、ラジオ	23.1
4	A-メール	20.1	13	J:COM足立（ケーブルテレビ）	6.3
5	ツイッター	7.0	14	人から聞く	12.2
6	フェイスブック	1.9	15	防災無線	12.0
7	ポスター、チラシ	10.1	16	その他	1.9
8	行政サービス案内	4.2	17	特に入手していない	8.4
9	区民事務所などの窓口	4.0		無回答	1.5

問14　あなたは、区が発信するどのような情報が重要だと考えていますか
（○はあてはまるものすべて）。

1	財政状況や予算などに関する情報	22.5%
2	国保・年金・税などに関する届出や証明に関する情報	50.4
3	健診や生活支援など健康や福祉に関する情報	63.8
4	出産や育児、就学など子どもや教育に関する情報	23.6
5	イベントやスポーツ施設、図書館など生涯学習や余暇活動に関する情報	24.5
6	災害や気象に関する情報	63.1
7	光化学スモッグや大気測定などの測定値情報	16.7
8	ごみ・リサイクルなど環境に関する情報	47.2
9	その他	2.0
10	特にない	5.0
	無回答	1.8

問15　あなたは、必要なときに必要とする区の情報を得られていますか（○は１つだけ）。

１	充分に得られている	5.9%	５	必要と思ったことがない	6.4
２	ある程度得られている	70.2	６	区の情報に関心がない	3.1
３	得られないことが多い	9.3		無回答	3.7
４	まったく得られない	1.3			

問15－１、２へお進みください

※　問15で、選択肢の「１」「２」「５」「６」のいずれかに○のついた方は、

次ページの「健康について」にお進みください。

（問15で「３　得られないことが多い」または「４　まったく得られない」とお答えの方に）

問15－１　主にどのような理由からですか（○は１つだけ）。　回答者数 182

１	情報が探しにくい	28.0%	４	情報の内容がわかりにくい	10.4
２	情報の探し方がわからない	30.8	５	情報量が少ない	14.3
３	情報伝達が遅い	3.8	６	その他	4.4
				無回答	8.2

（同様に、問15で「３　得られないことが多い」または「４　まったく得られない」とお答えの方に）

問15－２　問15－１の回答のように思われるのは、どうしてですか。理由をお書きください。

あだち広報	
区ホームページ	
その他	

健康について、おうかがいします

足立区では、患者数が多く、重症になると生活の質が低下してしまう糖尿病対策に、重点的に取り組んでいます。

問16　あなたは、「あだちベジタベライフ～そうだ、野菜を食べよう～（※）」を知っていますか（○は１つだけ）。

※　糖尿病予防や糖尿病の悪化防止のために「野菜から食べる」「野菜をよくかんで食べる」ことを推進する足立区のキャッチフレーズです。

1	内容まで知っている	12.6%	3	知らない（初めて聞いた）	58.2
2	詳しくは知らないが、言葉は聞いたことがある	26.3		無回答	2.9

問17　初期の糖尿病には自覚症状がありませんが、糖尿病が進行するとあらわれる病気や障がいの中で、あなたが知っているものはどれですか（○はあてはまるものすべて）。

1	神経障がい（手足のしびれ）	27.6%	5	脳梗塞	25.9	10	足の壊疽	60.3
2	網膜症	26.7	6	心筋梗塞	25.9	11	その他	1.3
3	白内障	23.4	7	口の渇き	45.4	12	ひとつも知らない	7.8
4	腎不全	36.1	8	人工透析	47.5		無回答	3.3
			9	失明	61.9			

問18　野菜から食べることは、糖尿病予防に効果がありますが、あなたは、野菜から食べていますか（○は１つだけ）。

※　糖尿病が進行して起こる様々な合併症は、食後に血糖値が急上昇し、血管を傷つけることが原因で起こります。このような血糖値の急上昇を抑えるためには、食事の最初に野菜をよくかんで食べることが効果的です。

1	食べている	68.1%	2	食べていない	22.2	3	わからない	7.2	無回答	2.5

問19　１日の野菜摂取量の目標は350ｇ以上（調理前の生の状態で）です。あなたは、毎日350ｇ以上の野菜が摂取できていますか（○は１つだけ）。

※ 野菜350ｇとは、１例をあげると、レタス１枚、きゅうり１本、プチトマト２個、にんじん1/2本、たまねぎ1/2個の合計に相当する量です。

1	できている	11.1%	3	あまりできていない	38.0	5	わからない	4.4
2	だいたいできている	32.5	4	できていない	12.1		無回答	1.9

問20　あなたの体調や習慣、身近な医療機関についてお答えください（○はそれぞれ１つずつ）。

	あてはまる	あてはまらない	無回答
ア　疲れているのに寝付けない、途中で目が覚める、朝早く起きてしまうことが２週間以上続くことがある	25.1%	69.3	5.6
イ　習慣的にタバコを吸っている	17.5	76.7	5.8
ウ　安心して受診できる医療機関が身近にある	66.0	30.7	3.3

問21　あなた自身が健康維持のために実行している、または心がけているものをお答えください（○はあてはまるものすべて）。

１	毎年健康診断を受けている	66.4%
２	がん検診を定期的に受けている	20.4
３	毎日朝ごはんを食べている	63.7
４	毎食、野菜料理（サラダ、お浸し、野菜の煮物、野菜炒め、具だくさん味噌汁など）を食べるようにしている	44.5
５	主食、主菜、副菜をそろえて食べるようにしている	37.5
６	食品の表示（栄養成分表示など）を見て購入している	17.7
７	日ごろ、健康のために適度に運動（スポーツを含む）をするか身体を動かしている	35.7
８	その他	2.9
９	特にない	6.0
	無回答	1.9

問22　あなたは普段、ご自分のことを健康だと感じていますか（○は１つだけ）。

１	非常に健康だと思う	5.3%	３	あまり健康ではない	26.7
２	健康な方だと思う	60.7	４	健康ではない	5.3
				無回答	2.0

問23　あなたは、この一年間で、何らかのがん検診を受けましたか（○は１つだけ）。

1　受けた	38.1%	3　その他	0.2	無回答	2.2
2　受けていない	59.0	4　わからない	0.5		

（問23で「1　受けた」とお答えの方に）

問23―1　あなたが受けたがん検診は以下のどれですか（○はあてはまるものすべて）。

回答者数 651

1　胃がん検診	36.6%	5　乳がん検診	36.4
2　肺がん検診	17.2	6　前立腺がん検診	6.9
3　大腸がん検診	47.3	7　その他	3.7
4　子宮頸がん検診	35.8	無回答	0.9

問24　あなたは、かかりつけ歯科医院を決めていますか（○は１つだけ）。

1　決めている	64.1%	2　決めていない	34.0	無回答	1.9

（問24で「1　決めている」とお答えの方に）

問24―1　その歯科医院では、むし歯・歯周病の治療や入れ歯の作製・修理などのほかに受けているものはありますか（○はあてはまるものすべて）。　回答者数 1,096

1　定期健診（年１回以上）	46.6%	4　その他	1.8
2　歯石除去・歯面清掃	59.0	5　特にない	24.3
3　歯みがき指導	17.8	無回答	2.0

問25　あなたは、帰宅時に感染症予防として手洗いを実践していますか（○は１つだけ）。

1　毎日（毎回）行っている	90.3%	3　あまり行っていない	1.7
2　ときどき行っている	6.1	4　行っていない	0.6
		無回答	1.2

問26　あなたは、「ゲートキーパー（※）」という言葉を知っていますか（○は１つだけ）。

※「ゲートキーパー」とは、自殺のサインに気づき、適切な相談機関へつなぐ「いのちの門番」のことです。

1　内容まで知っている	2.9%	3　知らない（初めて聞いた）	83.4
2　詳しくは知らないが、言葉は聞いたことがある	12.2	無回答	1.5

スポーツ・読書について　おうかがいします

問27　あなたは日常的に、どの程度運動・スポーツを行っていますか（○は１つだけ）。

※　ルールにもとづいて勝敗や記録を競うスポーツだけでなく、健康づくりのためのウォーキングや気分転換に行う軽い体操、自然に親しむハイキング、介護予防のためのトレーニングなど、目的をもった身体活動の全てを含みます。

1	３０分以上の運動を週２回以上	20.4%	6	運動・スポーツはしていない	40.5
2	週２回以上（時間は問わない）	13.8		⇒問27－３へお進みください	
3	週１回程度（時間は問わない）	10.1		無回答	3.2
4	月１回～３回程度（時間は問わない）	7.4			
5	年に数回（時間は問わない）	4.6			

（問27で１～５のいずれかをお答えの方に）

問27－１　あなたが最近、継続的に行っている運動・スポーツは何ですか。

（○はあてはまるものすべて）　　回答者数 963

1	野球・ソフトボール	3.3%	14	健康体操（エアロビクス・リズム体操・ストレッチなど）	24.9
2	サッカー・フットサル	2.1			
3	バスケットボール	0.7	15	ラジオ体操	13.1
4	バレーボール	1.0	16	武道（柔道・剣道・空手など）	0.8
5	ビーチボールバレー	1.0	17	ダンス	3.1
6	テニス	2.3	18	水泳・水中運動（ウォーキングなど）	3.4
7	ファミリーテニス	0.1	19	登山・ハイキング	3.1
8	バドミントン	1.6	20	陸上競技	0.3
9	卓　球	1.0	21	ウォーキング	51.0
10	ゴルフ	8.1	22	ジョギング・マラソン	8.9
11	ゲートボール・グラウンドゴルフ	0.9	23	サイクリング	7.7
			24	太極拳、ヨーガ	5.1
12	ボウリング	0.8	25	パラスポーツ（パラリンピック種目に限らない）	-
13	筋力トレーニング	21.3			
			26	その他	4.8
				無回答	1.0

（同様に、問27で１～５のいずれかをお答えの方に）

問27－2　あなたは、運動・スポーツをどこで行っていますか（○はあてはまるものすべて）。

回答者数 963

1	自　宅	35.8%
2	自宅周辺	59.0
3	職場及び職場周辺（区内）	5.0
4	職場及び職場周辺（区外）	6.2
5	その他の場所（区内）	15.4
6	その他の場所（区外）	15.1
	無回答	4.3

（問27で「６　運動・スポーツはしていない」とお答えの方に）

問27－３　あなたは、どのようなきっかけがあれば、運動・スポーツを行いたいと思いますか（○はあてはまるものすべて）。　回答者数 692

1	手頃な価格で施設を利用できる	27.0%
2	身近な場所で運動・スポーツができる	35.3
3	早朝や夜間にも施設が利用できる	11.7
4	一緒に運動・スポーツできる仲間と出会える	15.2
5	レベルを気にせず参加できる機会がある	21.5
6	運動・スポーツの楽しみ方・やり方を教えてもらえる	10.1
7	運動・スポーツできる場所や機会についての情報が得やすい	7.9
8	プロの試合や国際大会を観戦する機会がある	2.0
9	トップアスリートと交流する機会がある	1.6
10	託児サービスなど子どもの面倒を見てもらえる	4.9
11	その他	9.8
12	どのようなきっかけがあっても運動・スポーツを行う気はない	12.7
13	わからない	18.9
	無回答	3.9

※　問28からは、再び、すべての方におうかがいします。

問28　東京2020オリンピック・パラリンピックにおける区の取り組みで、関心があることは何ですか（○は３つまで）。

1	会場での応援活動	7.0%
2	会場外での観戦（パブリックビューイングなど）	4.9
3	大会を盛り上げるPR活動やイベントの実施	5.6
4	選手の育成や支援	14.9
5	大会関連ボランティアの支援	7.0
6	障がい者スポーツの普及・振興・環境整備・ボランティアの養成	11.5
7	バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	7.4
8	国際交流の促進	10.4
9	日本文化の発信	8.4
10	交通網・交通インフラの整備	13.0
11	スポーツ施設や用具の整備	7.5
12	区内への観光客の増加	2.5
13	区内産業の活性化	6.1
14	その他	2.0
15	特にない	48.0
	無回答	4.5

問29　東京2020大会はスポーツ・文化の祭典です。さらに、ボランティアが活躍できる場でもあります。そこで、あなたが新たに始めたいスポーツ、文化、ボランティア活動などはありますか（○は１つだけ）。

1	ある	17.6%	3	今までの活動を継続	6.1
2	ない	72.0	→ 次ページの問29-2へお進みください	無回答	4.3

→（問29で「1　ある」または「3　今までの活動を継続」とお答えの方に）

問29－１　それは何ですか（○はあてはまるものすべて）。

※　文化活動とは、華道、茶道、書道などの日本文化や音楽、美術、写真、舞踊などのスポーツ以外の習い事や趣味的な活動とお考えください。　回答者数 405

1	スポーツをする・スポーツを観戦する	59.5%	4	ボランティア活動	27.4
2	文化活動をする（※）・伝統文化などを観る	34.1	5	その他	1.5
3	語学（英語など）	26.9		無回答	3.7

（問29で「2　ない」とお答えの方に）

問29－2　あなたは、どのようなきっかけがあれば始めてみようと思いますか

（○はあてはまるものすべて）。回答者数 1,230

1	スポーツ・文化・ボランティアに関する講座やイベントの開催	8.1%	4	スポーツ・文化・ボランティア活動や団体の情報提供	11.9
2	オリンピアン・パラリンピアンとの交流	4.1	5	始めようとは思わない	66.8
3	外国人との交流	6.8	6	その他	4.6
				無回答	4.3

問30　足立区の温水プールは65歳以上、その他のスポーツ施設は70歳以上の区民（高齢者）は無料で使用できます。

この高齢者免除制度について、あなたの考えに最も近いものはどれですか（○は１つだけ）。

1	高齢者も施設使用料は全額負担するべき	5.4%
2	高齢者も施設使用料は半額など一部を負担するべき	15.9
3	適用される年齢を引き上げるべき	2.4
4	所得制限を設定するべき	13.1
5	現行のまま継続するべき	42.9
6	その他	1.7
7	わからない	15.4
	無回答	3.2

問31　あなたは、最近１か月間において、次のことをしたことはありますか。あなたの行動にあてはまるものを選んでください（○はあてはまるものすべて）。

※　ここでいう「本」「漫画（アニメ）」「雑誌」には、スマートフォンやパソコンなどで読む電子書籍も含みます。いずれも最後まで読み切っていなくてもかまいません。

※「新聞」には、電子版、オンライン上の新聞記事を読むことも含みます。

※　ただし、学校の課題図書、授業で読んだ本や教科書は含みません。

1	本を読む	44.2%	
2	漫画（アニメ）を読む	31.3	
3	雑誌を読む	37.3	
4	新聞を読む	47.4	
5	図書館に行く	12.1	
6	書店・古書店に行く	31.3	
7	本などの通販サイトをみる	16.2	
8	1～7のことをしたかったが、できなかった	1.6	⇒　理由を問31-1でお答えください
9	1～7のことはいずれもしなかった	10.5	⇒　理由を問31-1でお答えください
	無回答	3.9	

（問31で「８　１～７のことをしたかったが、できなかった」または「９　１～７のことはいずれもしなかった」をお答えの方に）

問31-1　あなたが「できなかった」または「しなかった」理由はなんですか

（○はあてはまるものすべて）。回答者数 207

1	子どもに手がかかるから	9.2%
2	忙しいから	32.4
3	加齢に伴い目が悪くなり読みづらくなったから	26.1
4	加齢に伴い読む気力がなくなったから	15.0
5	場所や施設がないから	2.4
6	本などをすすめてくれる人がいないから	0.5
7	どんな本を読めばいいかわからないから	1.4
8	お金に余裕がないから	7.2
9	本などを読むことが嫌いだから	15.0
10	面倒くさいから	15.5
11	その他	6.8
12	特に理由はない	22.7
	無回答	1.4

「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、すべての方におうかがいします

問32　あなたは、足立区が取り組んでいる「ビューティフル・ウィンドウズ運動（※）」という取り組みを知っていますか（○は１つだけ）。

※「ビューティフル・ウィンドウズ運動」とは、「美しいまち」を印象付けることで犯罪を抑止しようという足立区独自の運動です。区は、警視庁や区民のみなさんと協働して、まちの美化活動や防犯パトロールなどの取り組みを推進し、犯罪のない住みよいまちの実現をめざしています。

イメージキャラクター「ビュー坊」

1	知っていて、活動を実践している	5.8%	無回答	2.4
2	知っているが、特に何も行っていない	20.7		
3	名前は聞いたことはあるが、内容はわからない	18.0		
4	知らない（初めて聞いた）	53.1		

問33　「ビューティフル・ウィンドウズ運動」に関連する取り組みのうち、あなたが現在参加している、もしくは今後参加したいものは何ですか（○はあてはまるものすべて）。

1	防犯パトロール運動	8.1%	4	公園、児童遊園、プチテラスなどの管理活動	6.1
2	花の育成活動	11.9	5	違反広告物除却活動	3.2
3	まちの清掃活動	15.0	6	参加していない（今後も参加しない）	64.1
				無回答	6.0

問34　あなたの行動範囲で、「花のあるまちかど事業（※）」の『花のビュー坊プレート』や『ビュー坊のガーデンピック』を見たことがありますか（○はそれぞれ１つずつ）。

※「花のあるまちかど事業」とは、玄関先や店先で鉢植えやプランターを飾ったり、公園や公共施設などの花壇で花を育てることにより、まちを彩ることと、花の手入れを行う際の人の目で犯罪を抑止しようとする事業です。植木鉢などに『花のビュー坊プレート』や『ビュー坊のガーデンピック』をさして、事業をアピールしています。

プレート

ピック

	すでに使用している	見たことがあり、名称なども知っている	見たことはあるが、名称などは知らなかった	名称などは知っているが、見たことはない	見たことはない（初めて知った）	無回答
ア　花のビュー坊プレート	3.5%	5.9	19.1	4.9	61.9	4.7
イ　ビュー坊のガーデンピック	1.3	4.4	17.6	5.8	65.1	5.7

問35　あなたは、現在の足立区内の刑法犯認知件数（※）が、ピークであった平成13年と比較して１万件以上、減少していることを知っていますか（○は１つだけ）。

※　警察が犯罪について、被害の届出などによりその発生を確認した件数。ただし、交通違反などを除きます。

1　知っている	44.8%	2　知らない（初めて聞いた）	52.8	無回答	2.5

問36　あなたは、お住まいの地域の治安（※）について、どのように感じていますか
（○は１つだけ）。

※ 犯罪が少なく、世の中の秩序が保たれている状態のことです。

1	良い	9.4%	3	どちらかといえば悪い	18.7
2	どちらかといえば良い	53.2	4	悪い	3.6
5	わからない	12.1		無回答	3.0

（問36で「１　良い」または「２　どちらかといえば良い」とお答えの方に）

問36－１　どのような点で治安が良いと感じますか（○は２つまで）。　回答者数 1,071

1	防犯カメラが増えたことで、安心感があるから	34.5%
2	テレビや新聞などで、お住まいの地域における犯罪発生のニュースが少ないから	21.4
3	犯罪の発生件数が減っているということを聞いたから	20.4
4	自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから	45.9
5	青パト車など自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから	19.4
6	道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから	26.0
7	防犯に取り組む意識が高まり、活動が活発になってきていると感じられるから	5.3
8	その他	1.6
	無回答	0.3

（問36で「３　どちらかといえば悪い」または「４　悪い」とお答えの方に）

問36－２　どのような点で治安が悪いと感じますか（○は２つまで）。　回答者数 381

1	殺人、強盗、放火などの凶悪犯罪の発生が多いから	13.4%
2	自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから	44.4
3	子どもに対する「不審な声かけ事案など」の発生が多いと聞いたことがあるから	35.4
4	街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから	24.7
5	深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから	28.3
6	隣近所の連帯感がなくなり、相互に安全を守る意識が欠けているから	17.3
7	その他	11.0
	無回答	1.0

ここから再び、すべての方におうかがいします

問37　あなたが、治安対策として足立区に特に力を入れてほしいと考えていることは何ですか。
（○は２つまで）

１	犯罪の発生や検挙情報など生活安全に関する情報の提供	20.9%
２	街頭キャンペーンやイベントの実施	2.7
３	防犯講習会の開催	2.0
４	地域住民による防犯パトロール活動への支援（防犯用品の貸与など）	9.8
５	防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援	51.7
６	安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール	37.0
７	安全に配慮した道路、公園の整備	42.7
８	その他	2.8
９	特にない	3.1
	無回答	4.2

問38　あなたは、自転車を駐車するときには、自転車に鍵をかけていますか。
（○はそれぞれ１つずつ）

	いつも鍵をかけている	鍵をかけることが多い	短時間のときは鍵をかけないことがある	鍵をかけることは少ない	鍵はかけていない（鍵がついていないを含む）	自転車を持っていない、使っていない	無回答
ア　外出先で駐車するとき	71.0%	3.5	2.3	0.6	0.4	16.1	6.2
イ　自宅・マンションなどの敷地内に駐車するとき	61.3	3.3	0.8	4.4	7.3	15.6	7.3

環境・地域活動について、おうかがいします

問39　あなたが、環境のために心がけていることは何ですか（○はあてはまるものすべて）。

1	ごみと資源の分別を実行している	87.7%
2	節電や節水など省エネルギーを心がけている	48.2
3	くり返し使えるものは使うなど、ごみになるものを減らすよう心がけている	41.5
4	マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている	79.3
5	環境に配慮した製品を選んで使っている	10.9
6	家庭で使用しなくなった衣類や家具などについて、リサイクルショップなどで売り買いしたことがある	24.9
7	雑紙（※）を燃やすごみではなく、資源として出している	59.4
8	自然環境を大切にすることを心がけている	31.4
9	その他	0.6
10	特にない	1.8
	無回答	2.3

※　雑紙（ざつがみ）…家庭から排出される古紙のうち、新聞、雑誌、段ボール、紙パックのいずれの区分にも入らないもの（パンフレット、コピー用紙、お菓子の包装紙など）

問40　あなたが、食品ロス削減のために心がけていることは何ですか
（○はあてはまるものすべて）。

※　食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

1	残さず食べるようにしている	76.8%
2	料理を作りすぎない	42.4
3	大根の葉やキャベツの芯など棄てるものがないよう調理を工夫する	22.2
4	買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする	43.9
5	買い物前に必要なものをメモに書き、買いすぎないように注意している	44.2
6	買い物の際、棚の手前に陳列された食品から取る	11.9
7	外食時に食べられる分だけ注文する	50.3
8	その他	0.8
9	特に心がけていることはない	2.9
10	食品ロスについて、知らない	0.3
	無回答	2.2

問41　あなたは、日頃から環境への影響を考えて具体的に行動（※）していますか
（○は１つだけ）。

※　問39（1から8）や問40（1から7）で示された内容のことです。

１　行動している	33.0%
２　行動することが時々ある	40.8
３　環境への影響を考えるが、行動していない	18.3
４　環境への影響を考えたことはないし、行動もしていない	3.7
無回答	4.3

問42　町会・自治会の加入や活動についてお答えください（○はそれぞれ１つずつ）。

	はい	いいえ	無回答
ア　あなたは、自分の住所地に該当する町会・自治会を知っていますか。	70.6%	26.3	3.0
イ　あなたは、町会・自治会に加入していますか。	58.0	39.8	2.2
ウ　あなたは、町会・自治会の活動を知っていますか。	54.9	39.5	5.6
エ　あなたは、町会・自治会の活動に参加したことがありますか。	41.3	53.2	5.5

（問42の「イ　あなたは、町会・自治会に加入していますか。」で「2　ない」とお答えの方に）
問42－１　あなたが、町会・自治会に加入しない最も大きな理由は何ですか（○は１つだけ）。

回答者数 681

１　加入の方法がわからないから	13.5%
２　多忙により、手続きの時間がとれないから	9.4
３　加入する必要性を感じないから	30.7
４　会費が高いから	1.5
５　人間関係がわずらわしいから	13.8
６　役員をやりたくないから	7.2
７　短期間の居住だから	7.5
８　その他	14.4
無回答	2.1

問43　あなたがこの１年間に参加された活動と、引き続き、または今後あなたが参加したいと思う活動はどれですか（○はいずれも、あてはまるものすべて）。

内　　容	この１年間に参加された活動	引き続き、または今後参加したいと思う活動
1　自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み	17.3%	19.0
2　文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）	9.9	24.8
2-1　区内の文化施設や催しで親しむ機会	3.3	12.8
3　講演会や講座、サークル活動など	4.3	13.2
4　特に参加していない・特にない	51.0	37.6
無回答	24.9	25.1

「孤立ゼロプロジェクト」などについて、おうかがいします

問44　あなたは、足立区の「孤立ゼロプロジェクト（※）」という取り組みを知っていますか（○は１つだけ）。

※「孤立ゼロプロジェクト」とは、地域における見守り活動を支援するとともに、日常的な寄り添い支援活動を通じて、支援を必要とする方を早期に発見し、必要なサービスにつなぎ、地域活動などへの社会参加を促す一連の活動をいいます。

1　知っていて、内容も概ね理解している	8.6%
2　聞いたことはあるが、内容はわからない	17.7
3　知らない（初めて聞いた）	71.1
無回答	2.6

問45　あなたは、「地域包括支援センター（※）」を知っていますか（○は１つだけ）。

※「地域包括支援センター」は、足立区から委託を受けた公的な「高齢者の総合相談窓口」です。高齢者やご家族の方の健康や介護に関する様々なご相談に応じています。

1　知っていて、業務内容も概ね理解している	25.6%
2　聞いたことはあるが、詳しくはわからない	32.1
3　知らない（初めて聞いた）	40.2
無回答	2.0

問46　あなたは、高齢者の孤立防止や見守り活動に協力してみたいですか（○は１つだけ）。

１	積極的に協力したい	2.0%	無回答　5.2
２	負担にならない範囲で協力してもよい	17.8	
３	協力したいが、時間などに余裕がない	36.3	
４	興味がない、協力したくない	11.8	
５	わからない	26.9	

（問46で「１　積極的に協力～」または「２　負担にならない範囲で協力～」とお答えの方に）

問46－１　どのような活動に協力したいですか（○はあてはまるものすべて）。

回答者数 338

１	「世間話をする頻度」や「困りごとの相談相手」などを調査する活動	37.0%
２	体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかいの活動	52.4
３	住区センターや地域での自主的な活動への協力や参加の働きかけなどをする活動	30.5
４	活動を支援するための寄付や基金などへの金銭的援助	18.3
５	その他	2.4
	無回答	3.8

問47　あなたは、高齢期におこりやすい、筋力や心身の機能などが低下し、衰弱した状態「フレイル」にならないために、「運動」「口の健康・栄養」「社会参加」のそれぞれが大切なことを知っていますか（○は１つだけ）。

１	知っていて、活動を実践している	15.4%	３	知らない（初めて聞いた）	44.5
２	知っているが、特に何もしていない	37.0		無回答	3.2

問48　あなたは、たんぱく質を多く含む食品（肉・魚・卵・大豆製品の１種類以上）をどれくらいの頻度で食べていますか（○は１つだけ）。

※「フレイル」になる要因の一つとして、たんぱく質の不足があげられます。

１	毎食（１日３回）食べている	21.9%	４	週に数回食べている	8.4
２	１日２回位食べている	28.7	５	ほとんど食べない	0.8
３	１日１回位食べている	37.7		無回答	2.4

問49　あなたは、仕事と仕事以外の生活の調和が取れていると思いますか（○は１つだけ）。

１	取れている	43.6%	３	わからない	29.5
２	取れていない	22.4		無回答	4.5

問50　あなたは、下記のア～ウについて知っていますか（○はそれぞれ１つずつ）。

	内容まで知っている	聞いたことはあるが、内容はわからない	知らない	無回答
ア　高齢者などの権利を守るしくみである「成年後見制度」について	23.4%	37.2	35.7	3.7
イ　身体的暴力以外のＤＶ（精神的・経済的・社会的・性的）について	49.2	34.6	12.0	4.2
ウ「ＬＧＢＴ」という言葉について	47.0	23.7	25.0	4.3

協働・協創について、おうかがいいたします

問51「協創」とは、平成28年10月策定の足立区基本構想により打ち出した「区民・団体・企業・ＮＰＯ・大学など多様な主体がつながり支えあい、自ら行動する」新たな仕組みです。
あなたは、この「協創」を知っていますか（○は１つだけ）。

１　知っている	4.4%	３　知らない（初めて聞いた）	76.9
２　聞いたことはある	15.4	無回答	3.3

（問51で「１　知っている」とお答えの方に）
問51－１　あなたは、区役所・区民・団体との協力・連携（協働）や自主的な取り組み・活動（協創）を実践していますか（例　ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクト、野菜から食べるベジタベライフ、子どもの貧困対策など）
（○は１つだけ）。回答者数 75

１　すでに、活動を実践している	25.3%	３　関心がない	10.7
２　関心はあるが、特に活動していない	62.7	無回答	1.3

問52　あなたは、区役所・区民・団体の協力・連携（協働）や自主的な取り組み・活動（協創）が進んでいると感じていますか（例　ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクト、野菜から食べるベジタベライフ、子どもの貧困対策など）（○は１つだけ）。

１　そう思う	3.4%	４　そう思わない	6.4
２　どちらかといえばそう思う	18.3	５　わからない	55.4
３　どちらかといえばそう思わない	11.0	無回答	5.5

足立区の取り組みについて、おうかがいします

問53　足立区の取り組みについて、あなたの現状評価（満足度）と今後の取り組みの重要度について、ア～ニの項目ごとに、最も近いものを選んでください

（○はいずれも、それぞれ１つずつ）。

区の取り組み	内　容	現状評価（満足度） 満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
ア　情報提供	広報やホームページなどによる区政情報の提供など	15.3%	61.6	15.1	1.9	6.1
イ　職員の接客態度	窓口や仕事での区民対応における接客態度など	24.2	55.0	12.3	2.9	5.6
ウ　ＩＣＴ活用	ＩＣＴを活用した業務の効率化や区民サービスの向上など	6.9	45.1	27.9	5.4	14.7
エ　防災対策	防災活動の充実、都市の不燃化など	7.4	50.3	28.8	4.0	9.5
オ　自然・緑化対策	公園や緑地、河川の整備など	15.7	56.6	18.0	3.3	6.3
カ　資源環境対策	省エネルギー、ごみ処理、リサイクルなど	17.5	59.3	14.8	2.0	6.4
キ　治安対策	防犯パトロールやビューティフル・ウィンドウズ運動、警察との連携など	11.5	53.8	22.5	5.0	7.3
ク　地域活動支援	町会・自治会活動の支援、青少年の健全育成など	7.3	57.5	22.7	3.4	9.1
ケ　社会参加支援	ＮＰＯやボランティアの育成や支援など	5.4	56.6	23.8	2.6	11.6
コ 男女共同参画推進	男女が平等に社会参加できるしくみづくりなど	7.5	55.6	22.6	3.5	10.8
サ　生涯学習振興	文化・芸術・スポーツ活動の支援、施設の充実など	9.8	55.2	21.8	3.2	10.0
シ　学校教育対策	教育内容の充実、施設の改修など	8.8	53.5	22.5	3.9	11.4

次ページへ続く

（前ページからの続き）

区の取り組み	内　容	現状評価（満足度） 満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
ス　子育て支援	保育サービス、子ども医療費助成や子育て相談の充実など	12.9%	54.5	17.6	3.5	11.6
セ　高齢者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、生きがい対策など	8.8	56.3	21.6	4.6	8.7
ソ　障がい者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、就労支援など	7.8	56.6	21.1	3.2	11.2
タ　保健衛生対策	健康づくり、健康診査、生活衛生など	11.1	60.1	17.0	2.3	9.6
チ　低所得者対策	生活の援助や自立支援など	8.7	49.4	24.9	6.8	10.2
ツ　産業振興	商工業の支援、企業起こしの支援、消費者対策など	5.0	54.5	24.0	3.6	12.8
テ　都市開発	開発・再開発、美しい街並みや景観づくりなど	8.5	50.0	25.6	6.0	9.9
ト　住環境対策	多様で良好な住宅供給、中古住宅市場の活性化、空き家利活用、公共住宅の再生など	5.8	43.1	34.0	6.4	10.6
ナ　交通対策	道路や交通網の整備、交通安全対策など	9.0	46.8	25.4	10.0	8.8
ニ　区政全体として		8.0	58.6	19.3	3.1	11.0

区の取り組み	内　容	重要度				
		重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	無回答
ア　情報提供	広報やホームページなどによる区政情報の提供など	50.4%	35.3	3.3	0.4	10.5
イ　職員の接客態度	窓口や仕事での区民対応における接客態度など	48.7	35.0	4.8	0.6	10.8
ウ　ＩＣＴ活用	ＩＣＴを活用した業務の効率化や区民サービスの向上など	34.1	40.1	7.7	1.3	16.9
エ　防災対策	防災活動の充実、都市の不燃化など	63.9	22.5	1.9	0.1	11.6
オ　自然・緑化対策	公園や緑地、河川の整備など	47.7	36.9	4.3	0.4	10.6
カ　資源環境対策	省エネルギー、ごみ処理、リサイクルなど	51.6	34.9	2.3	0.5	10.7
キ　治安対策	防犯パトロールやビューティフル・ウィンドウズ運動、警察との連携など	65.6	21.9	1.6	0.2	10.6
ク　地域活動支援	町会・自治会活動の支援、青少年の健全育成など	25.9	45.9	14.2	2.5	11.5
ケ　社会参加支援	ＮＰＯやボランティアの育成や支援など	21.1	48.2	15.2	3.0	12.5
コ 男女共同参画推進	男女が平等に社会参加できるしくみづくりなど	30.0	43.5	11.5	2.3	12.7
サ　生涯学習振興	文化・芸術・スポーツ活動の支援、施設の充実など	27.7	47.3	10.5	2.1	12.3
シ　学校教育対策	教育内容の充実、施設の改修など	48.6	32.8	5.0	1.1	12.5

次ページへ続く

（前ページからの続き）

区の取り組み	内　容	重要度				
		重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	無回答
ス　子育て支援	保育サービス、子ども医療費助成や子育て相談の充実など	56.5%	28.5	2.8	0.6	11.5
セ　高齢者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、生きがい対策など	52.3	33.6	3.3	1.3	9.4
ソ　障がい者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、就労支援など	49.7	35.2	3.6	0.8	10.7
タ　保健衛生対策	健康づくり、健康診査、生活衛生など	45.3	39.6	4.3	0.5	10.3
チ　低所得者対策	生活の援助や自立支援など	38.7	40.0	8.1	2.9	10.4
ツ　産業振興	商工業の支援、企業起こしの支援、消費者対策など	28.7	46.5	11.0	1.6	12.3
テ　都市開発	開発・再開発、美しい街並みや景観づくりなど	37.7	43.1	7.9	1.1	10.2
ト　住環境対策	多様で良好な住宅供給、中古住宅市場の活性化、空き家利活用、公共住宅の再生など	38.7	42.8	7.5	1.1	9.9
ナ　交通対策	道路や交通網の整備、交通安全対策など	55.1	32.2	2.5	0.5	9.6

問54　あなたは、区政に区民の意見が反映されていると感じていますか（○は１つだけ）。

1	そう思う	4.2%	4	そう思わない	7.8
2	どちらかといえばそう思う	27.3	5	わからない	34.9
3	どちらかといえばそう思わない	19.0		無回答	6.8

問55　あなたの足立区に対する気持ちとして、以下の項目にそれぞれどの程度あてはまりますか（○はそれぞれ１つずつ）。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
ア　足立区に愛着をもっている	25.0%	48.3	10.9	5.9	4.9	5.0
イ　足立区に誇りをもっている	12.0	33.6	24.8	14.2	10.1	5.2
ウ　足立区を人に勧めたい	10.8	33.6	22.9	14.0	12.3	6.3
エ　足立区を良いまちにするために何かしたい	9.0	42.7	13.7	7.1	17.7	9.9
オ　足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する	26.3	47.7	5.7	3.6	7.7	9.1

問55－１　問55の項目のア．イ．ウで、そう答えた理由をお書きください。

問56　あなたはこの１年間に足立区を良いまちにするために行動をしましたか（○は１つだけ）。

※　町会・自治会活動、ボランティア活動、防犯活動、地域イベントの手伝いのほか、家の前の清掃をしている、道案内など困っている人を助けた、足立区内の魅力的な情報を伝えた（発信した）などの個人的な行動も含みます。

１　行動した	11.0%	４　行動しなかった	37.9
２　どちらかといえば行動した	19.5	５　わからない	8.1
３　どちらかといえば行動していない	19.5	無回答	4.1

問57　区政についてのご意見、ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

問58　多数の質問にお答えいただき、ありがとうございました。最後におうかがいします。今回の質問内容は、区民のニーズや意識を把握するうえで有効な内容だと思いますか（○は１つだけ）。

1	そう思う	29.5%	4	そう思わない	4.1
2	どちらかといえばそう思う	38.7	5	わからない	15.8
3	どちらかといえばそう思わない	8.3		無回答	3.6

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
ご記入がお済みになりましたら、まことにお手数ですが、
返信用封筒に入れて 9月10日（金）までにご投函ください。

第50回　足立区政に関する世論調査

２０２２年３月発行

発　行　**足立区**

編　集　**足立区 政策経営部 広報室 区政情報課**
東京都足立区中央本町１－１７－１
電話　０３－３８８０－５１１１（代表）

実　施　（株）サーベイリサーチセンター
東京都荒川区西日暮里２－４０－１０
電話　０３－３８０２－６７１１（代表）

世論調査報告書の《概要版》、本編、《集計表》は足立区ホームページでもご覧いただけます。

ホームページアドレスhttps://www.city.adachi.tokyo.jp　足立区　政策経営部　広報室　区政情報課